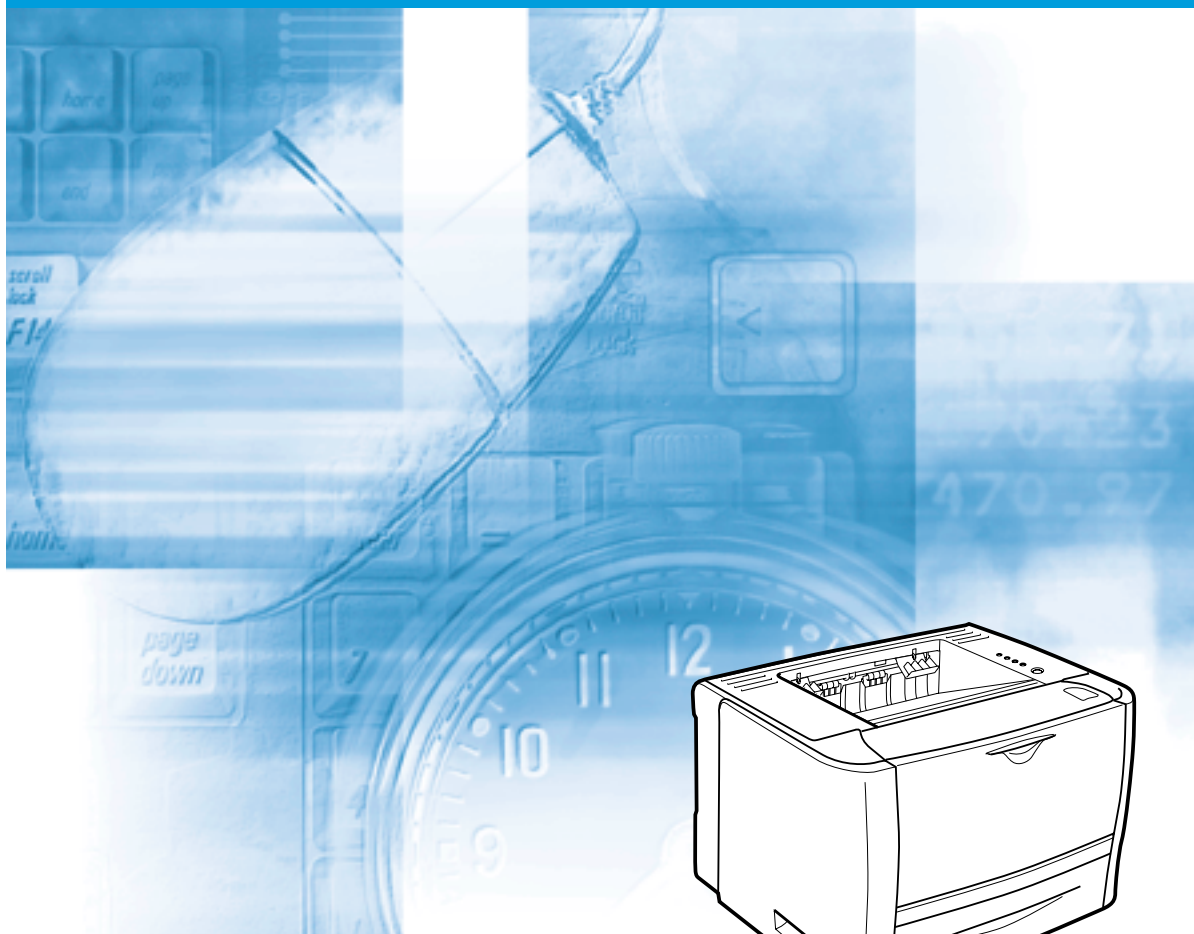
Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP3310

ユーザーズガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **トラブルの簡単な解決方法を知るには**
- **プリンタの簡単な使いかたを知るには**

かんたん操作ガイド

- **プリンタを設置するには**
- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド（本書）

- **ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには**
- **ネットワーク環境でプリンタを管理するには**
  オプションのネットワークボードを装着している場合のみ

ネットワークガイド／本編

- **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには**
  オプションのネットワークボードを装着している場合のみ

リモート UI ガイド

Macintosh の取扱説明書

オンラインマニュアル

Macintosh 用プリンタドライバの使用方法を説明しています。
「オンラインマニュアル」は、CD-ROM の［CAPT］-［Japanese］-［Documents］フォルダに［GUIDE-CAPT-x.xxJP.pdf］＊というファイル名で収められています。
＊「x.xx」はお使いのプリンタドライバのバージョンによって異なります。

Macintosh をお使いのお客様は、本プリンタに付属の CD-ROM に収められている「ユーザーズガイド」、「ネットワークガイド／本編」、「リモート UI ガイド」もあわせてお読みください。「ネットワークガイド／本編」、「リモート UI ガイド」は、付属の CD-ROM 内の［Manuals］フォルダに収められています。

PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

本書の構成について

目次

第２章　プリンタの設置

第３章　用紙のセットと排紙先について

第 4 章　Windows の印刷環境を設定するには

第５章　Windows でのプリンタの基本的な使いかた

第 6 章　Windows でいろいろな印刷機能を使用する

第７章　日常のメンテナンス

第８章　困ったときには

第 9 章　オプション品の取り付け

第 10 章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP3310 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- 操作パネル上のキー：<キーアイコン>＋（キー名称）
  例：◎（ジョブキャンセル）
- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]
  例：[OK]
  　　[設定]

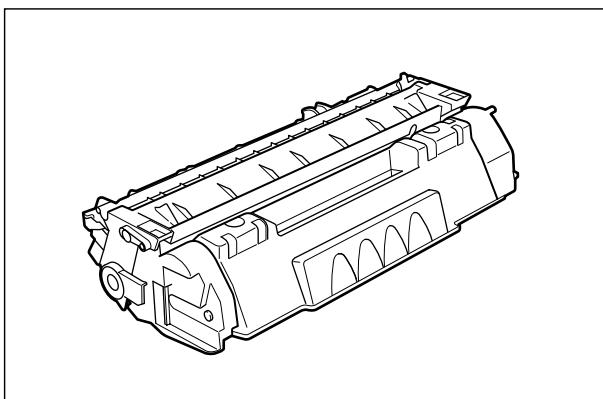
画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

イラストについて

本書で使われているトナーカートリッジのイラストは、Canon Cartridge 515 の場合のものです。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows 2000 operating system：	Windows 2000
Microsoft Windows XP operating system：	Windows XP
Microsoft Windows Server 2003 operating system：	Windows Server 2003
Microsoft Windows Vista operating system：	Windows Vista
Microsoft Windows Server 2008 operating system：	Windows Server 2008
Microsoft Windows 7 operating system：	Windows 7
Microsoft Windows operating system：	Windows

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（）内の名称で登録されている場合があります。

LBP3310（F151800）

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

物質エミッションの拡散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No122「プリンタ Version2.0」の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております Canon Cartridge 515 を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ62:2002 の付録 3 ～ 5 に基づき試験を実施しました。）

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、NetSpot、PageComposer は、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGallery は、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、Mac OS、Macintosh、TrueType は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

IBM は、米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律で罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

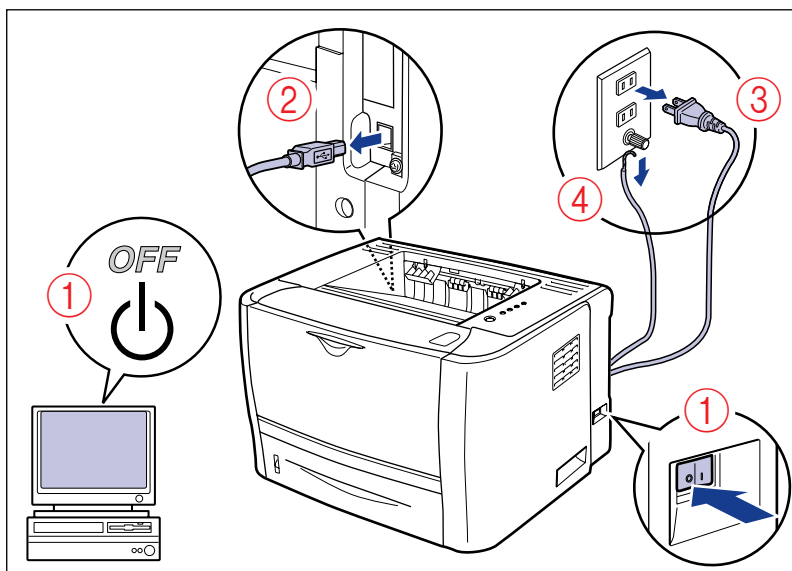
関係法律		
	● 刑法	● 郵便法
	● 著作権法	● 郵便切手類模造等取締法
	● 通貨及証券模造取締法	● 印紙犯罪処罰法
	● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 印紙等模造取締法

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

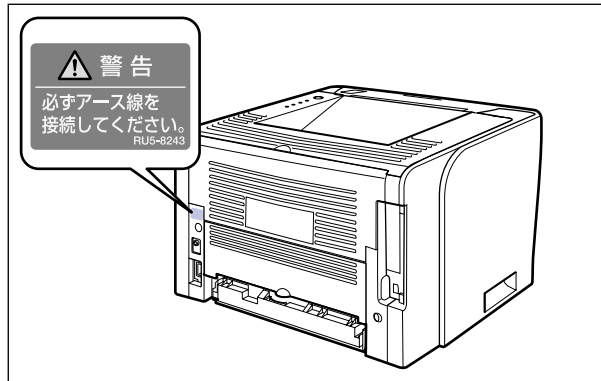
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし ①、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルをプリンタから抜いてください ②。そのあと、電源プラグを抜いて ③、アース線を取り外し ④、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  - ・アクセサリーなどの金属物
  - ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やホコリの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因になることがあります。(➞ プリンタを移動する：P.7-21)

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり､その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。

  ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。

  ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

  ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。

  ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。

  ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

⚠ 注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

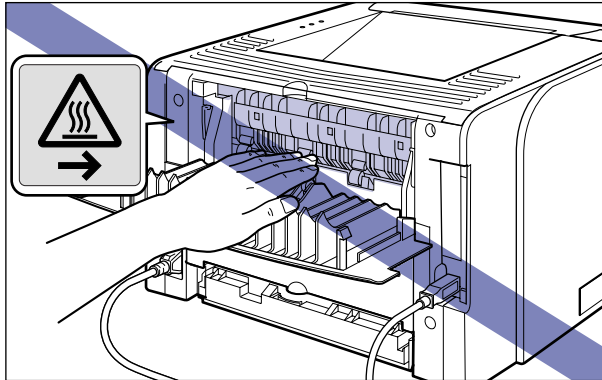
取り扱いについて

⚠ 警告

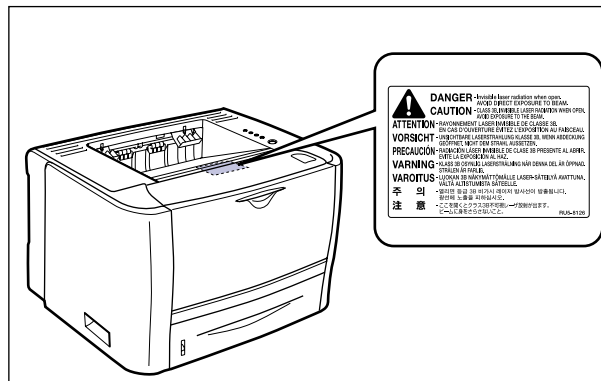
- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は、直ちにプリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを接続している場合は、USB ケーブルを抜いてください。そのあと、電源プラグを抜いて、アース線を取り外し、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 拡張ボードの取り扱いには注意してください。拡張ボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスアップ排紙口が高温になります。フェイスアップ排紙口周辺に触れないように気を付けてください。やけどの原因になることがあります。

- 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続印刷した場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

- 本書で規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。
- この製品は IEC60825-1:2007 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、プリンタとコンピュータの電源をオフにし、USB ケーブルを抜き、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ホコリ、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周囲にたまったホコリが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。
  掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。
- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- トナーカートリッジを取り出すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

消耗品について

警告

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジを廃棄する場合は、トナーカートリッジを袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。
  掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

注意

- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーカートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナーカートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

その他

トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

資源再利用のお願い

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

■ 使用済みプリンタの受け入れ場所について

使用済みとなったプリンタにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済みプリンタのリサイクルを推進しています。 使用済みのプリンタの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

■ 使用済みトナーカートリッジなどの回収について

使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。 使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋等に入れて、地域の条例に従い処分してください。

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長

本プリンタのおもな特長を説明しています。

■ **ハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」搭載**

Windows OS および Mac OS に対応したキヤノン最新のハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」(Canon Advanced Printing Technology) を搭載。このシステムは従来プリンタで行っていた印刷時のデータ処理をコンピュータで一括処理するため、コンピュータの性能をフルに活かした高速印刷を実現しています。また、重いデータでもプリンタ側のメモリの追加なしに処理できます。

■ **USB 2.0 Hi-Speed 標準搭載**

最高 480Mbps の高速 I/F USB 2.0 Hi-Speed への対応により高速転送を実現。

■ **高速印刷&超高画質印刷**

毎分26枚の高速印刷を実現。印刷待ちのストレスを感じさせません。印字機構に600dpiのプリントエンジンを搭載。さらに、キヤノン独自の新スーパースムージングテクノロジー技術により、2400dpi 相当× 600dpi の超高画質を実現しました。また、ディザ法を採用したグレースケールで、写真やグラフィックの微妙な表現も美しく印刷します。

■ **両面ユニット標準搭載**

両面ユニットを標準装備。手差しトレイや給紙カセットにセットした用紙(A4、リーガル、レターサイズ)を自動両面印刷できます。これにより、用紙の節約やファイルスペースの効率化が図れます。

■ **容易なメンテナンス&プリンタステータスウィンドウ**

本プリンタ用トナーカートリッジ(キヤノン純正品)はトナーと感光ドラムの一体型で、簡単に交換可能。

印刷時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、グラフィックスにより的確な判断が可能。本プリンタの操作性を向上させております。また、プリンタの共有機能を使用している場合に、クライアント上でのプリンタステータスウィンドウの表示方法を、プリントサーバが一括管理することができます。

■ **省電力設計&クイックスタート**

「オンデマンド定着方式」の採用により省電力とクイックスタートを実現しました。「オンデマンド定着方式」とは、定着ヒータを印刷時のみ瞬間的に加熱するキヤノン独自の方式です。

■ 多彩なペーパーハンドリング

最大 50 枚セット可能な手差しトレイと最大 250 枚セット可能な給紙カセットにより、標準で最大 300 枚の給紙が可能。さらに、オプションで最大 250 枚セット可能なペーパーフィーダを用意。最大 550 枚、3 種類の用紙サイズの連続自動給紙が可能となります。

また、A4 機であっても、縮小モードにより、A3、B4 サイズの原稿を A4 サイズに縮小する定形変倍印刷ができます。不定形なユーザ定義用紙サイズにも印刷でき、多様な用途に応えます。

■ さまざまなマテリアルに対応

普通紙、厚紙、はがき、封筒、ラベル用紙、OHP フィルムなどさまざまな用紙に対応。

■ ネットワーク対応プリンタ

オプションのネットワークボードを装着することで、Ethernet のネットワーク直結プリンタとして使用可能。また、ネットワークボードにはブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる「リモート UI」を内蔵しており、プリンタの設定・管理をネットワーク上のコンピュータから行えます。また、ジョブが終了したり、エラーが発生したときに E-mail にて通知する E-mail 通知機能があります。

メモ　オプションのネットワークボードの対応 OS や設定のしかたなどの詳細については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

CD-ROM について

プリンタに付属の CD-ROM には、次のソフトウェアが同梱されています。

■ プリンタドライバ

プリンタドライバは、本プリンタを使用して印刷するために必要なソフトウェアです。お使いのコンピュータに必ずインストールしてください。

メモ
- Windowsでお使いになる前には、必ずインストール画面で[ ]をクリックしてREADMEファイルをお読みください。

- Mac OS X でお使いになる前には、必ず付属の CD-ROM 内（または、キヤノンホームページからダウンロードしたファイル内）の［CAPT］-［Japanese］-［Documents］フォルダに収められている、README ファイル（README-CAPT-x.xxJP.rtf）* をお読みください。

  * 「x.xx」はお使いのプリンタドライバのバージョンによって異なります。

■ NetSpot Device Installer

「NetSpot Device Installer」は、簡単にプリンタのネットワーク接続の初期設定を行うことができるソフトウェアです。なお、Windows をお使いの場合、CD-ROM Setup からプリンタドライバをインストールすると、自動的にネットワークの初期設定が行われます。
「NetSpot Device Installer」は、CD-ROM Setup を使用せずに手動で IP アドレスを設定しなおす場合に、必要に応じてご使用ください。

メモ
「NetSpot Device Installer」の詳細については、ネットワークガイド／本編「第 2 章 ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」を参照してください。

■ FontGallery（TrueType フォント）

「FontGallery」は、Windows および Macintosh 対応の TrueType フォントです。Windows 2000/XP および Macintosh 上のアプリケーションで自由に使うことができます。アウトラインフォントで作成され、フォントサイズも自由に変更して表示、印刷できます。
また、「FontGallery」の各書体と「かなデータ」を組み合わせて、新しい書体として登録するためのユーティリティ 「FontComposer」もお使いいただけます。

メモ
- Macintosh をお使いの場合は、かな書体および FontComposer はご利用いただけません。詳細は「第 10 章 付録」を参照してください。
- Windows で FontGallery をインストールする前には、必ず付属の CD-ROM 内の［FGALLERY］フォルダにある README ファイルをお読みください。
- Macintosh で FontGallery をインストールする前には、必ず付属の CD-ROM 内の［FGallery］フォルダにある［FontGallery 取扱説明］をお読みください。
- Windows Vistaをお使いの場合は、FontGalleryおよびFontComposerはご利用いただけません。

■ NB-C2 Firmware

オプションのネットワークボード「NB-C2」のファームウェアです。
本プリンタに対応するネットワークボードのファームウェアのバージョンは次のとおりです。

プリンタ	ネットワークボードのファームウェアのバージョン
LBP3310	Ver 1.30 以降

ファームウェアのバージョンが 1.30 以降でない場合、正常に動作しないことがあります。ネットワークボードの取り付けとプリンタドライバのインストールが完了したあと、バージョンが 1.30 以降であることを確認してください。
バージョンが1.30以降でない場合は、プリンタに付属のCD-ROM内の「NB-C2_Firmware」フォルダに収められているアップデートファイルを使用して、ネットワークボードのファームウェアを更新してください。
ファームウェアのバージョンの確認方法や更新方法については、「NB-C2_Firmware」フォルダに収められている README ファイルをご覧ください。

メモ
ファームウェアのアップデートファイルは、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードすることもできます。

CD-ROM Setup について

Windows をお使いの場合は、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、次の CD-ROM Setup が自動的に表示されます。
CD-ROM Setup から各ソフトウェアのインストールなどを始めることができます。

メモ
- Windows Vista をお使いの場合、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［AUTORUN.EXE の実行］をクリックします。

- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）
  - ･Windows Vista 以外の OS の場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、[OK] をクリックします。
  - ･Windows Vista の場合は、[スタート] メニューの [検索の開始] に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの [ENTER] キーを押します。
- Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[許可] をクリックします。

1

お使いになる前に

■ おまかせインストール

このボタンをクリックすると、プリンタドライバのインストールと同時に、取扱説明書をインストールすることができます。

■ 選んでインストール

このボタンをクリックすると、プリンタドライバのみインストールするか、取扱説明書のみインストールするかを選択することができます。

■ 付属ソフトウェア

このボタンをクリックすると、「NetSpot Device Installer」を起動することができます。

メモ　「NetSpot Device Installer」の詳細については、ネットワークガイド／本編「第 2 章 ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには」を参照してください。

■ マニュアル表示

このボタンをクリックすると、取扱説明書（PDF マニュアル）を見ることができます。各ガイドの横にある [PDF] をクリックすると、PDF マニュアルが表示されます。

* 付属の CD-ROM の「Manuals」フォルダには、次の PDF マニュアルが収められています。

ユーザーズガイド：	UsersGuide.pdf
ネットワークガイド／本編：	NetworkGuide.pdf
リモートUI ガイド：	RemoteUIGuide.pdf

メモ　PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

■ オンラインユーザ登録

このボタンをクリックすると、キヤノンホームページのご購入者アンケートページへアクセスします。大変お手数ではございますが、質問事項にご回答ください。ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

* アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例） 商品名称 LBP3310

本体機番 LXMA000001
（保証書およびプリンタ背面、梱包箱外側に記載されています。）

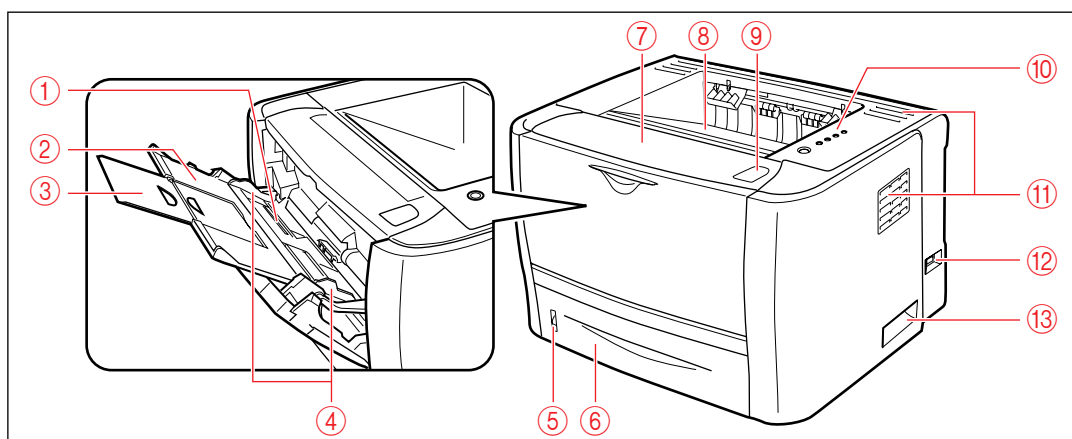
■ 終了

CD-ROM Setup を閉じます。

各部の名称と機能

本体

⚠注意　本プリンタには通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面

① **手差しトレイ（→P.3-31）**

② **補助トレイ**
手差しトレイに用紙をセットするときは、必ずこの補助トレイを引き出します。

③ **延長トレイ**
A4 サイズの用紙など長いサイズの用紙をセットするときに、用紙が垂れ下がらないように開けます。

④ **用紙ガイド**
手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。

⑤ **用紙残量表示**
給紙カセットにセットされている用紙の量を示す表示です。
用紙がいっぱいまで入っていると、表示が上がります。用紙が減るにしたがって表示が下がってきますので、用紙の残量を知る目安になります。

⑥ **給紙カセット（→P.3-17）**

⑦ **前カバー**
トナーカートリッジを交換するときや紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。（→P.7-2）

⑧ **フェイスダウン排紙トレイ**
印刷された用紙が下向きで排紙されます。
（→P.3-13）

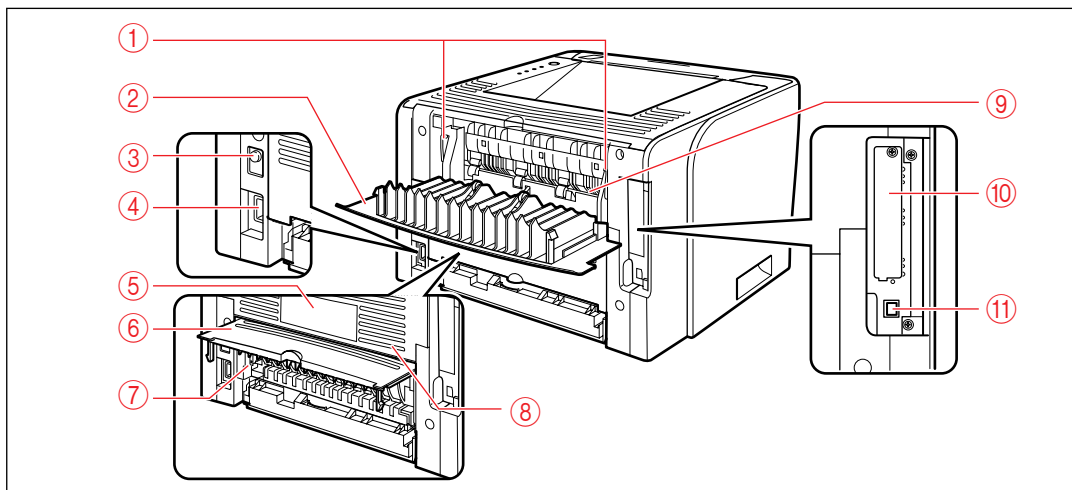
⑨ **オープンボタン**
前カバーを開けるときに、このボタンを押します。

⑩ **操作パネル**
プリンタの状態を示すランプとジョブをキャンセルできるキーがあります。（→P.1-10）

⑪ **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

⑫ **電源スイッチ（→P.2-27）**

⑬ **運搬用取っ手（→P.7-21）**

背面

① **加圧解除レバー**
紙づまりを除去するときに、このレバーを下げます。(→P.8-7)

② **排紙切り替えカバー**
フェイスアップ排紙口を使用するときや排紙部の紙づまりを除去するときに、ここを開けます。(→P.3-16)

③ **アース線端子(→P.2-21)**

④ **電源コード差し込み口(→P.2-21)**

⑤ **定格銘板ラベル**
明示されている電流値は、平均消費電流です。

⑥ **両面ユニットカバー**
両面印刷するときの用紙サイズの設定をするときや両面ユニットの紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。

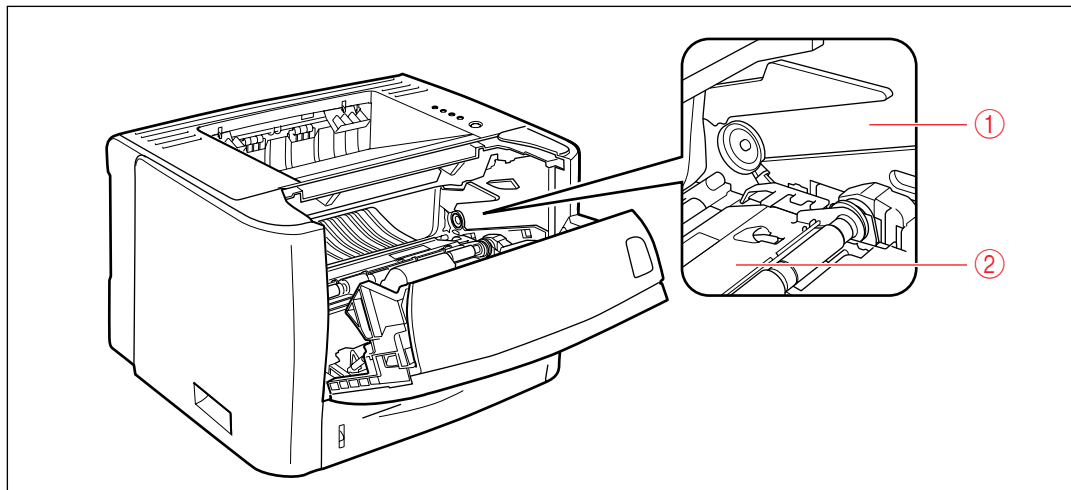
⑦ **用紙サイズ切り替えレバー**
両面印刷するときに、用紙サイズに合わせてレバーを切り替えます。(→P.5-10)

⑧ **通気口**
プリンタ内部冷却用の通気口です。

⑨ **フェイスアップ排紙口**
印刷した面を上向きにして排紙します。
(→P.3-14)

⑩ **拡張ボードスロット**
オプションのネットワークボードを取り付けます。(→P.9-13)

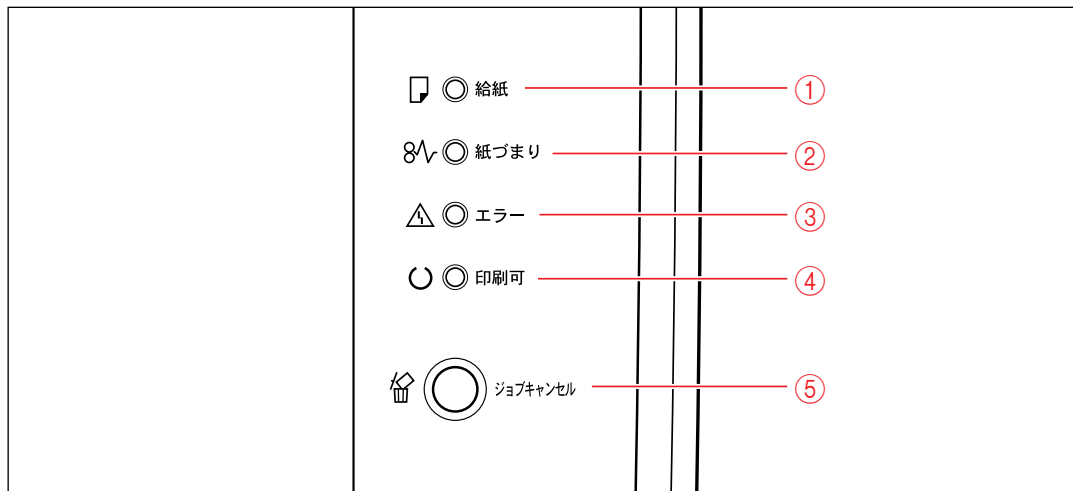
⑪ **USB コネクタ(→P.2-24)**

プリンタ内部

① **トナーカートリッジガイド**
トナーカートリッジをセットするときは、左右の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。
(→P.7-2)

② **搬送ガイド**
前カバー内部の紙づまりを除去するときに、ここを持ち上げて作業します。(→P.8-7)

操作パネルについて

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとジョブをキャンセルできるキーがあります。

メモ　プリンタ状態の詳しい情報は、お使いのコンピュータからプリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）で確認することができます。プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（→P.5-33）を参照してください。ステータスモニタについては、オンラインマニュアル「第4章 便利な印刷機能」を参照してください。

■ ランプ

番号	名称	状態		参照先
①	給紙ランプ	給紙（点滅）	用紙がなくて印刷できない状態、または印刷するサイズの用紙がセットされていない状態。	P.3-17、P.3-31
②	紙づまりランプ	紙づまり（点滅）	紙づまりが発生していて印刷できない状態。	P.8-3
③	エラーランプ	エラー（点灯）	サービスエラーが発生している状態。	P.8-26
		エラー（点滅）	エラーが発生していて印刷できない状態。	P.8-29
④	印刷可ランプ	印刷可（点灯）	印刷可能な状態。	－
		印刷可（点滅）	印刷中、ウォームアップ中、クリーニング中など、プリンタが何らかの処理または動作を行っている状態。	－

番号	名称	状態		参照先
⑤	ジョブキャンセルランプ	（点灯）	ジョブキャンセルキーを押している状態。	P.5-23
		（点滅）	ジョブのキャンセル処理を行っている状態。	P.5-23

■ キー

番号	名称	機能	参照先
⑤	ジョブキャンセルキー	このキーを押すと、エラーが発生しているジョブや印刷中のジョブをキャンセルできます。	P.5-23

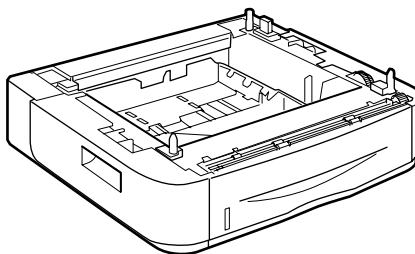
オプション品について

本プリンタの機能を十分にご活用いただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

ペーパーフィーダ

標準の手差しトレイと給紙カセットに加えて、オプションのペーパーフィーダを取り付けると、最大 3 つの給紙部を使用することが可能です。

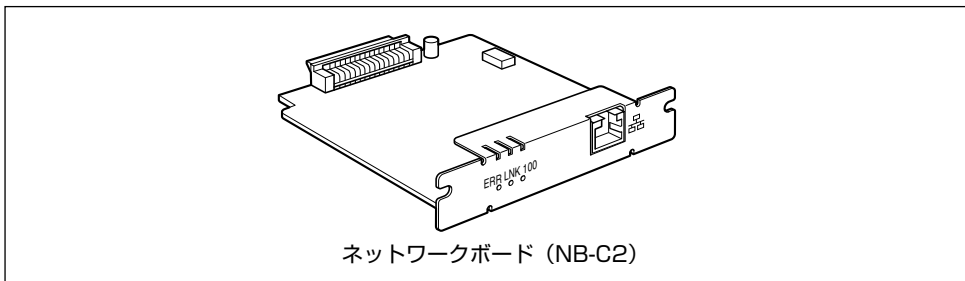
ペーパーフィーダには、A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブサイズと次のサイズのユーザ定義用紙を普通紙（64g/m^2 の場合）で最大約 250 枚までセットできます。

- 幅 148.0mm ～ 215.9mm、長さ 210.0mm ～ 355.6mm

ペーパーフィーダユニットPF-35P

重要　ペーパーフィーダは、必ず本プリンタに対応したものをご使用ください。

メモ　ペーパーフィーダの取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（➞P.9-2）を参照してください。

ネットワークボード

オプションのネットワークボード（NB-C2）を取り付けると、プリンタをLANケーブルで直接ネットワークに接続することができます。
ネットワークボードには、お手持ちのWebブラウザを使用してプリンタの設定や管理を行うことができる「リモートUI」を内蔵しております。

ネットワークボード（NB-C2）

メモ

- 「リモートUI」の詳細については、「リモートUIガイド」を参照してください。
- ネットワークボードの取り付けかたについては、「ネットワークボード」（→P.9-13）を参照してください。

プリンタの設置

この章では、本プリンタをパッケージから取り出して設置するまでの手順について説明しています。

設置手順について

お客様の設置状況に合わせ、該当する手順にそって作業を進めてください。オプション品を取り付けない場合は、（オプション）と表記された手順は読み飛ばしてください。

1 ペーパーフィーダの設置（→P.9-2）（オプション）

2 プリンタの設置（→P.2-8）

3 トナーカートリッジのセット（→P.2-11）

4 用紙のセット（→P.2-19）

5 ネットワークボードの設置（→P.9-13）（オプション）

6 電源コード、アース線の接続（→P.2-21）

7 プリンタとコンピュータの接続（→P.2-23）

8 プリンタドライバのインストール（→P.4-1）

設置場所について

本プリンタを安全かつ快適にご使用いただくために、「設置環境」に記載されている「温度／湿度条件」、「電源条件」、「設置条件」を満たした場所に設置してください。

重要 本プリンタを設置する前に、「安全にお使いいただくために」（➞P.xv）を必ずお読みください。

設置環境

本プリンタの設置場所は、次の環境条件を考慮の上、お選びください。

温度／湿度条件

温度、湿度が次の範囲内の場所でご使用ください。

- 周囲温度：10 ～ 32.5 ℃
- 周囲湿度：20 ～ 80%RH（結露のないこと）

重要
- 次のような場合は、プリンタ内部に水滴が付着（結露）することがあります。本プリンタを周囲の温度や湿度に慣らすために、2 時間以上放置してからご使用ください。
  - ・本プリンタが設置されている部屋を急激に暖めた場合
  - ・本プリンタを温度や湿度が低い場所から高い場所へ移動させた場合
- プリンタ内部に水滴が生じると、用紙の搬送に不具合が起こり、紙づまりの原因になったり、印字不良となることがあります。

■ 超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因になります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をおすすめします。

電源条件

本プリンタの最大消費電力は 550W 以下です（AC100V ± 10%、50/60Hz ± 2Hz）。

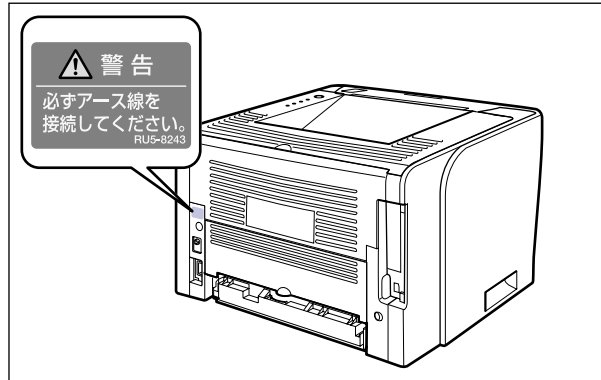
電源を接続するときは、次の事項をお守りください。

- 必ず 15A 以上の電源コンセントに、プリンタの電源を接続してください。
- プリンタへの電源供給が安全であることや、安定電圧であることを確認してください。
- アース線を接続してください。

お使いの電源について不明な点があれば、ご契約の電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

2

プリンタの設置

警告 アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

重要
- 一つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。同一電源コンセント上の他の差し込み口は、使用しないでください。
- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- 複写機やエアコン、シュレッダーなど、消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントに電源を接続しないでください。

設置条件

本プリンタは、次のような場所に設置してください。

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量に耐えられる十分な強度のある場所

警告 アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

注意
- 本プリンタを次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - ・湿気やホコリの多い場所
  - ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  - ・雨や雪が降りかかるような場所
  - ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・高温になる場所
  - ・火気に近い場所
- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

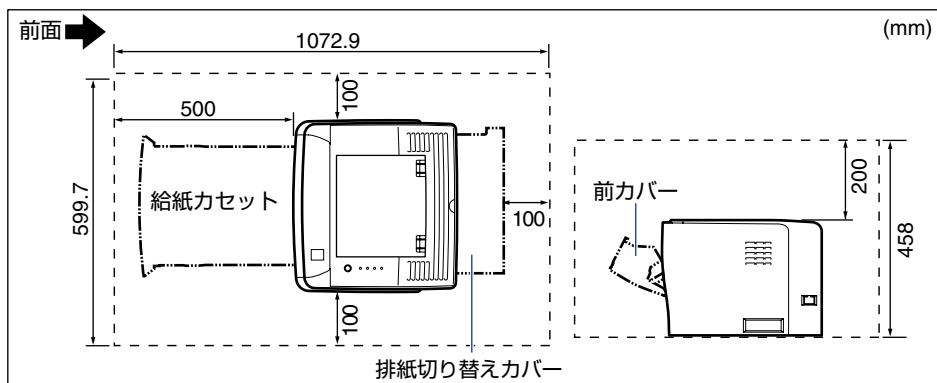
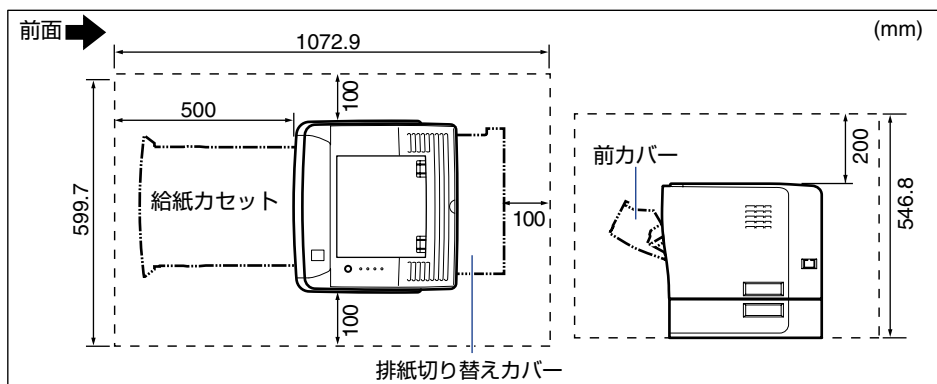
重要

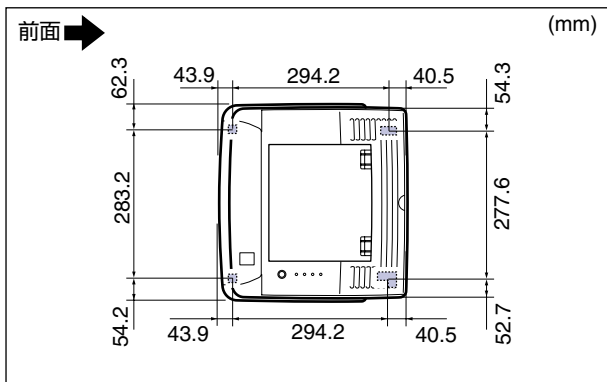
本プリンタは次のような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。

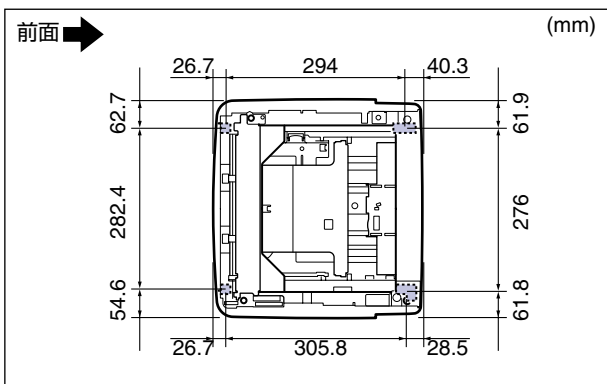
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所や結露の発生する場所
- 風通しの悪い場所（使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。）
- 磁気や電磁波を発生する機器の近く
- 実験室など、化学反応を起こすような場所
- 空気中に、塩分やアンモニアガスなどの腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）

設置スペース

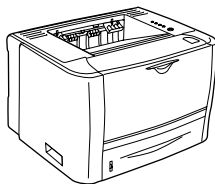
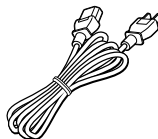
周囲に必要なスペース

■ 標準状態

■ ペーパーフィーダ装着状態

足の位置

■ プリンタ

メモ　前側の足の高さは 7.8mm、先端は 12mm × 12mm の正方形です。
後側の足の高さは 7.8mm、先端は左側 21.7mm × 40mm の長方形、右側 18.6mm × 40mm の L 字形です。

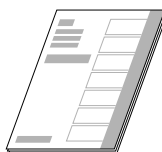
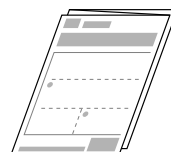
■ ペーパーフィーダユニット PF-35P

メモ　前側の足の高さは 7.8mm、先端は 12mm × 12mm の正方形です。
後側の足の高さは 7.8mm、先端は左側 21.7mm × 40mm の長方形、右側 31.7mm × 40mm の L 字形です。

パッケージの内容を確認する

プリンタを設置する前に、パッケージに次のものがすべて揃っているかどうかを確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがあった場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。

□プリンタ
次のものが取り付けられています。
・給紙カセット
・トナーカートリッジ

□電源コード

□アース線

□CD-ROM
「LBP3310 User Software」
・プリンタドライバ
・NetSpot Device Installer
・FontGallery
・ユーザーズガイド
・ネットワークガイド／本編
・リモートUIガイド
・Macintosh用オンラインマニュアル
・NB-C2用ファームウェア

□保証書

□かんたん操作ガイド

□かんたん設置ガイド

メモ

- 同梱されているトナーカートリッジの寿命は、A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」*に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合、3,000 ページです。

  * 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準

- 交換用のトナーカートリッジは、寿命が異なる次の 2 種類を用意しています。
  ・同梱されているトナーカートリッジと同じ寿命のもの
  ・同梱されているトナーカートリッジより寿命が長いもの

  交換用のトナーカートリッジの詳細については、「トナーカートリッジを交換する」（→P.7-2）を参照してください。

- 本プリンタにはインタフェースケーブルは付属していません。お使いのコンピュータ、または接続方法に合わせてご用意ください。USB ケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

2

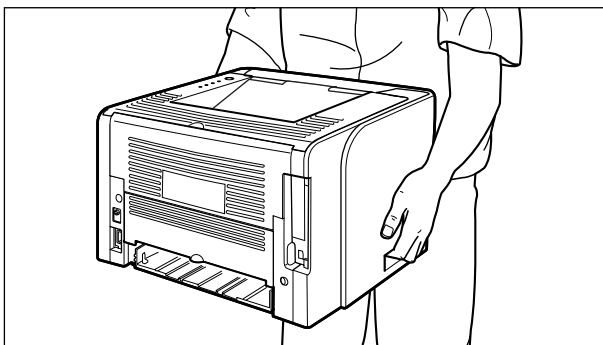
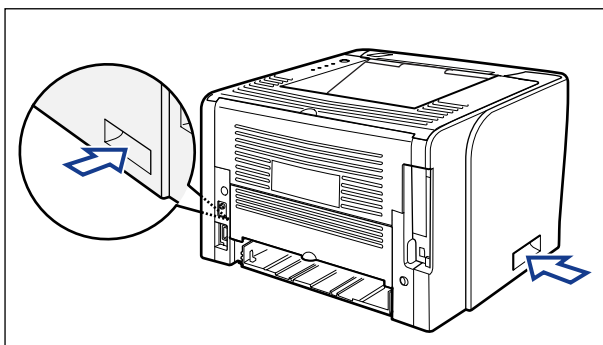
プリンタの設置

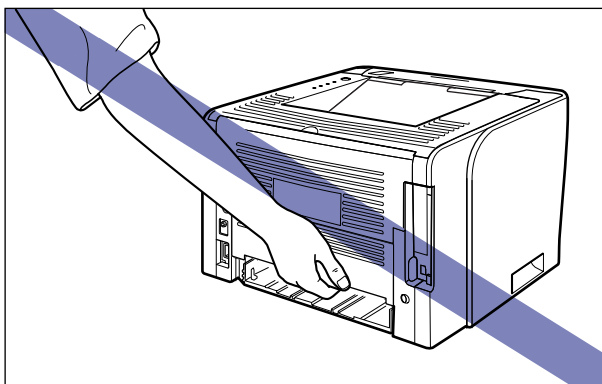
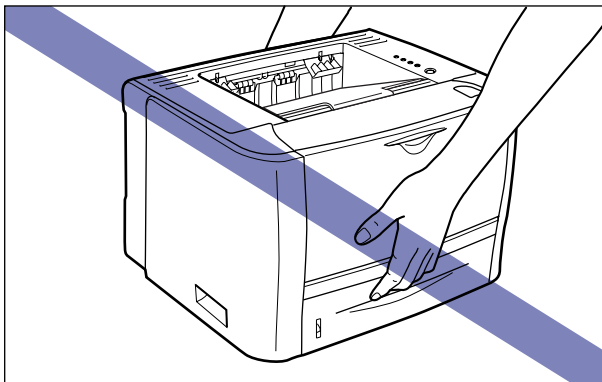
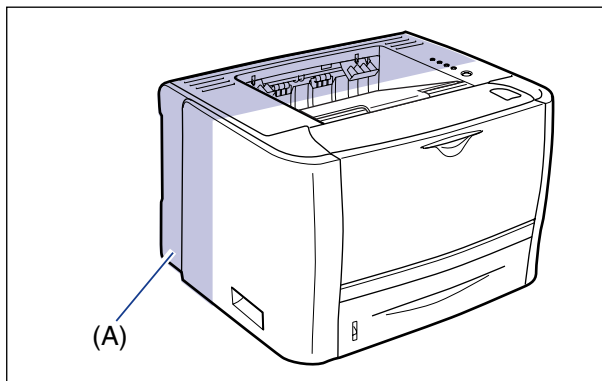
設置場所に運び、プリンタ外部の梱包材を取り外す

重要
- オプションのペーパーフィーダを取り付けるときは、プリンタを箱から取り出す前にペーパーフィーダを設置してください。
  ペーパーフィーダの設置方法については、「ペーパーフィーダ」（➞P.9-2）を参照してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

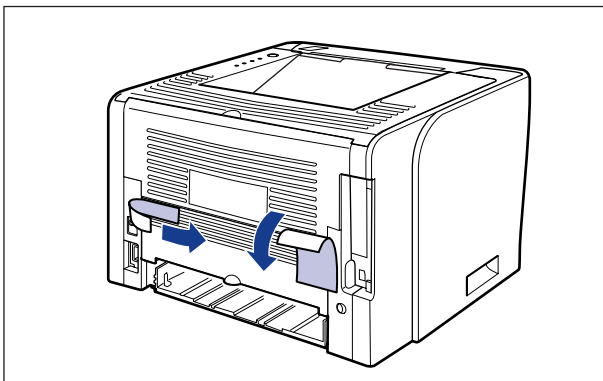
メモ　梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 プリンタを設置場所へ運びます。

プリンタ下部にある運搬用取っ手に、プリンタ前面から手を掛け、両手でしっかり持ってください。

注意　• 本プリンタは約 12kg あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

- プリンタの前面や背面など運搬用取っ手以外の部分は、絶対に持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

- 本プリンタは、背面側（A）が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

2 設置場所にゆっくりとおろします。

⚠注意 プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

3 プリンタに貼られているテープ（2 箇所）を取り外します。

プリンタ内部の梱包材を取り外して、トナーカートリッジをセットする

プリンタには、梱包材が付いたトナーカートリッジが取り付けられています。

必ず次の手順にしたがって、一度トナーカートリッジをプリンタから取り出して、梱包材を取り外してください。

トナーカートリッジをセットするときのご注意

注意 トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

メモ
- トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱いのご注意」（→P.7-14）を参照してください。
- 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

トナーカートリッジの偽造品にご注意ください

トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。

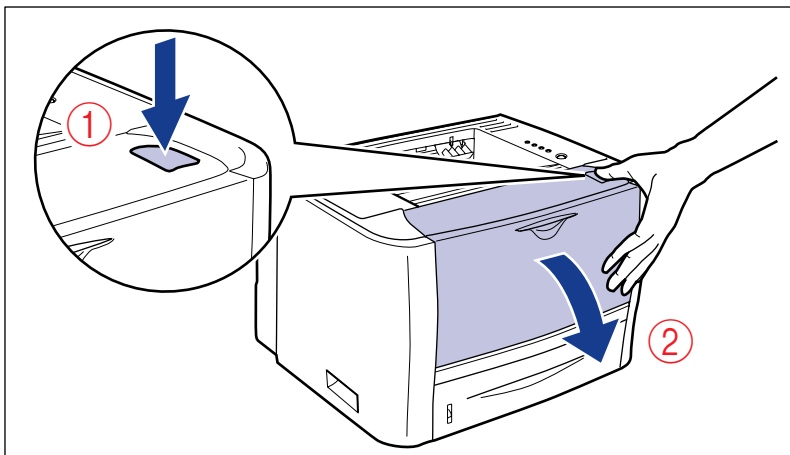
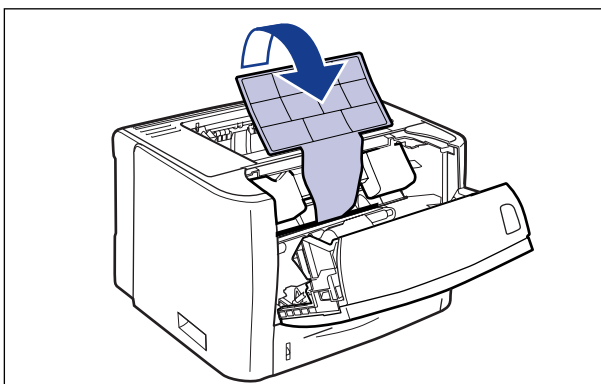
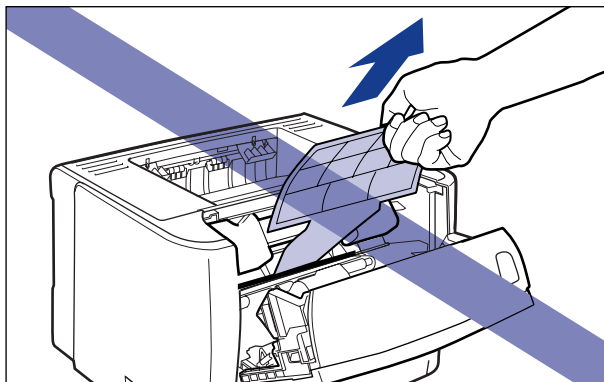
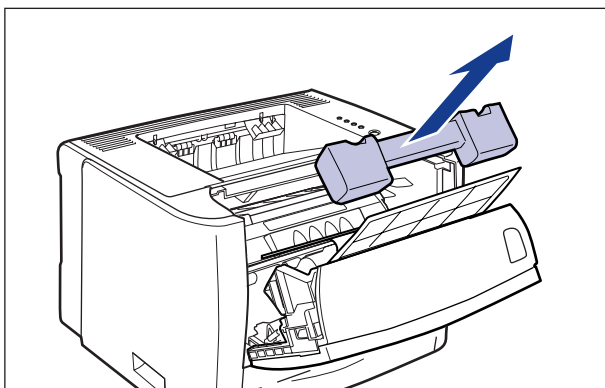
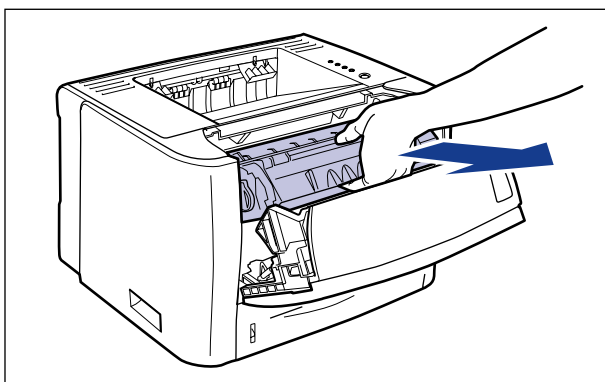
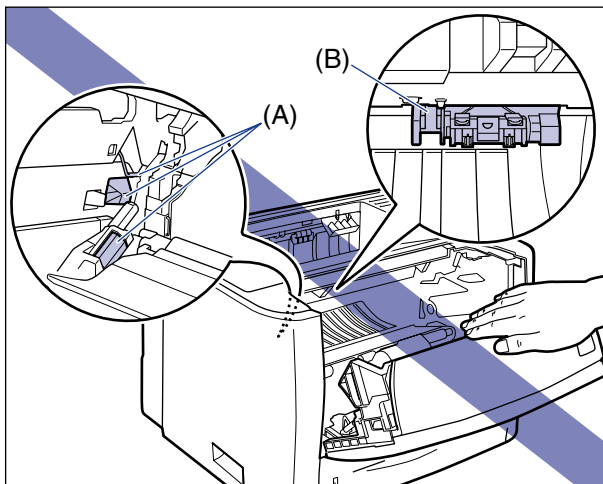
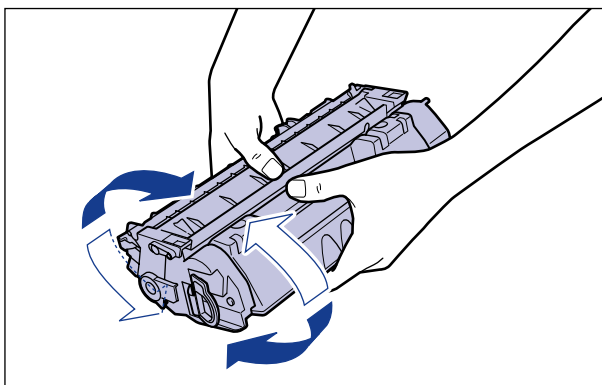
「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」を含む非純正トナーカートリッジに起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは、下記 Web サイトを参照してください。

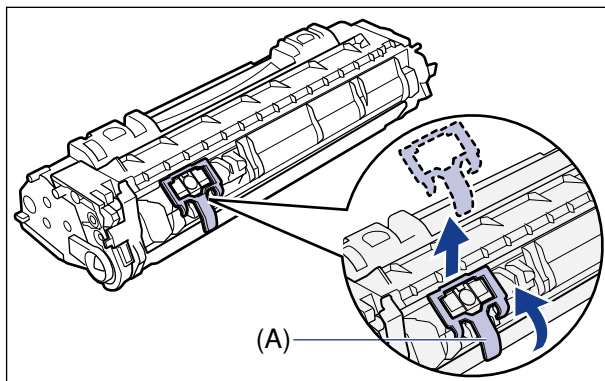
canon.com/counterfeit

トナーカートリッジのセット

1 前カバーを開けます。

前カバー上面にあるオープンボタンを押しながら ①、ゆっくりと開けます ②。

2 用紙を手前に倒します。

重要　トナーカートリッジや梱包材を取り付けたまま、用紙は取り外さないでください。

3 梱包材を取り外します。

4 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

重要　図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。プリンタの故障の原因になることがあります。

5 **トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。**

重要
- トナーが均一になっていないと、印刷品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

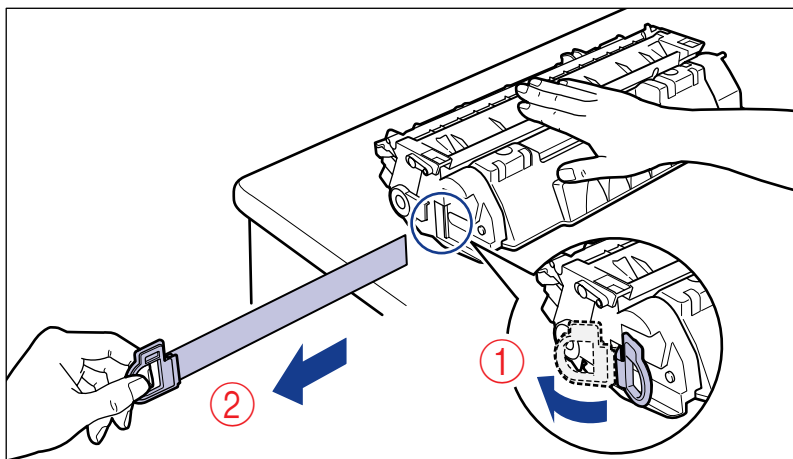
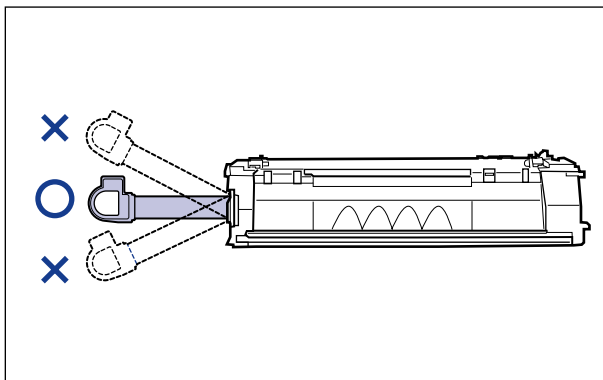
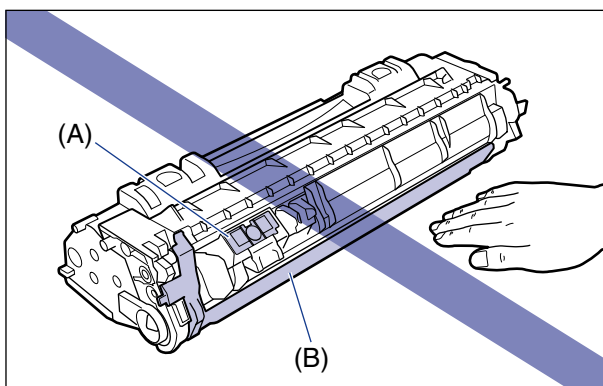
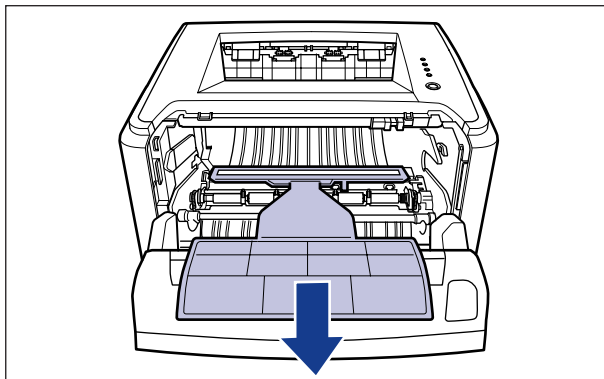
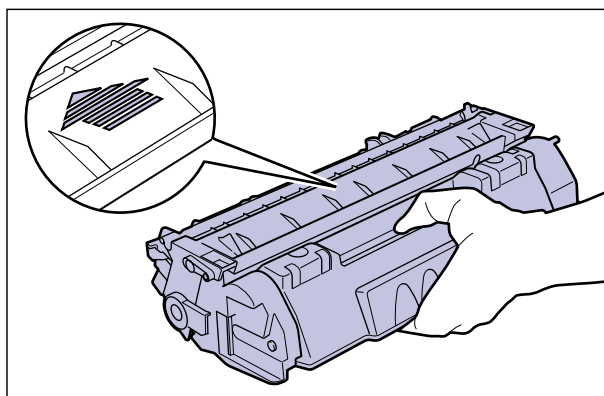
6 図の位置にある梱包材を取り外します。

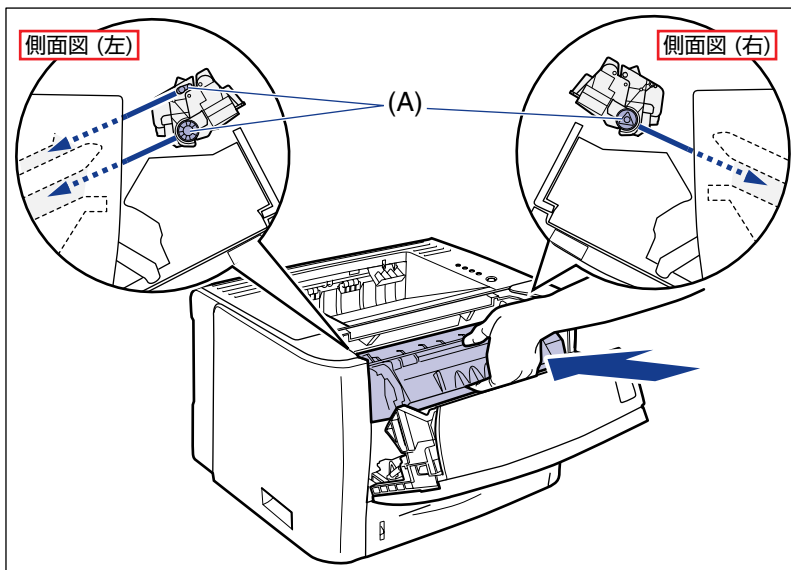
梱包材の取っ手（A）を持ち上げて、取り外します。

7 トナーカートリッジを平らな場所に置きます。

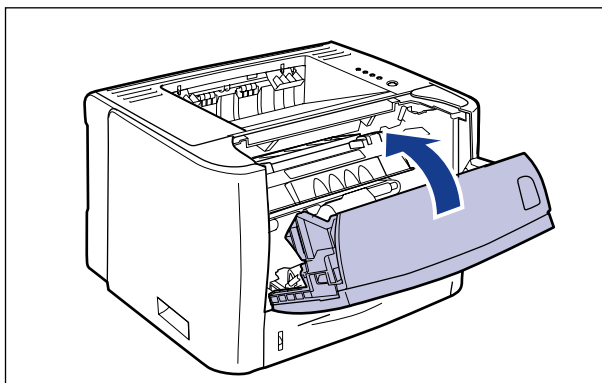
8 シーリングテープを引き抜きます。

トナーカートリッジを押さえながらタブに指を掛けて折ります ①。
シーリングテープ（約 45cm）を矢印の方向にまっすぐにゆっくりと引き抜きます ②。

⚠注意 シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。
- シーリングテープを引き抜くときは、トナーカートリッジメモリ（A）に触れたり、ドラム保護シャッター（B）を手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

9 前カバー内部の用紙付き梱包材を取り外します。

10 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

11 トナーカートリッジを取り付けます。

トナーカートリッジ左右の（A）をプリンタ内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。

12 前カバーを閉めます。

前カバーはゆっくりと確実に閉めます。

重要

- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。印刷品質低下の原因になることがあります。

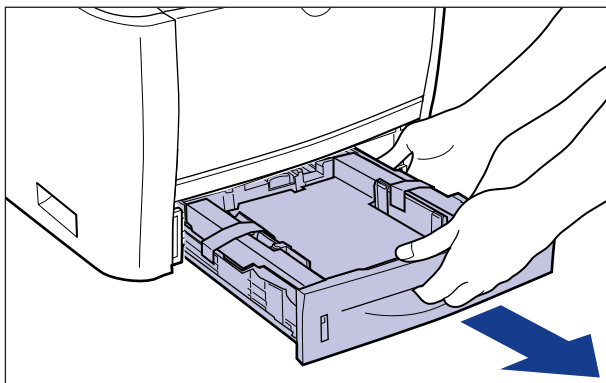
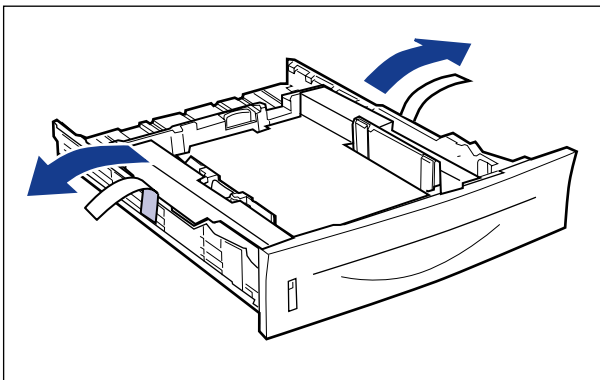
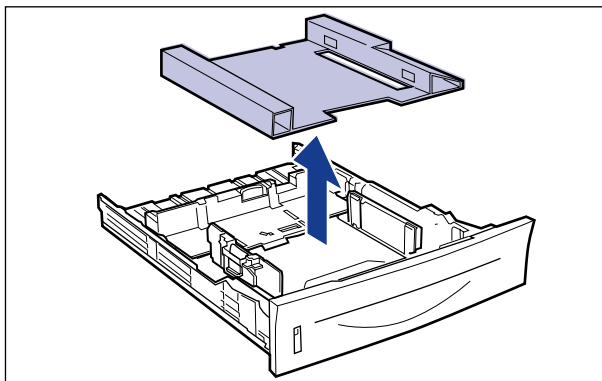
給紙カセットの梱包材を取り外して、用紙をセットする

重要

- 給紙カセットの取り扱いについては「手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意」（➞P.3-12）を参照してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

メモ

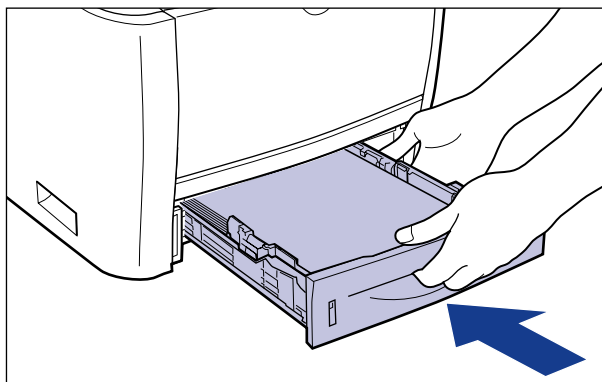
梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 給紙カセットを引き出します。

2 給紙カセット内部の梱包材を止めているテープ（2箇所）を取り外します。

3 給紙カセット内部の梱包材を取り外します。

4 給紙カセットに用紙をセットします。

給紙カセットに用紙をセットする方法は、「給紙カセットに用紙をセットする」(➞P.3-17)を参照してください。

メモ　手差しトレイに用紙をセットする場合は、手順５のあとに用紙をセットしてください。手差しトレイに用紙をセットする方法は、「手差しトレイに用紙をセットする」（➞P.3-31）を参照してください。

5 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

注意　給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

本プリンタの給紙カセットは、自動的に用紙サイズの検知ができないため、セットした用紙サイズを登録する必要があります。
プリンタドライバをインストール（➞P.4-1）したあと、用紙サイズの登録を行ってください。用紙サイズを登録する方法は、「給紙カセットに用紙をセットする」（➞P.3-17）の手順６以降を参照してください。

電源コードとアース線を接続する

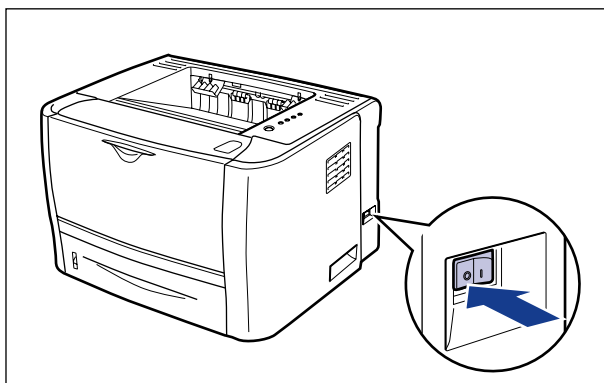
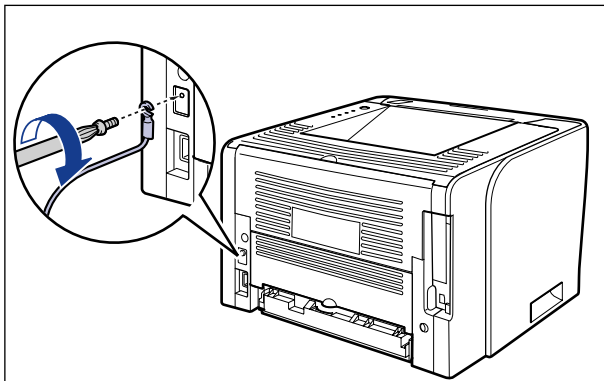
電源コードとアース線を接続する際には「安全にお使いいただくために」（→P.xv）を参照してください。

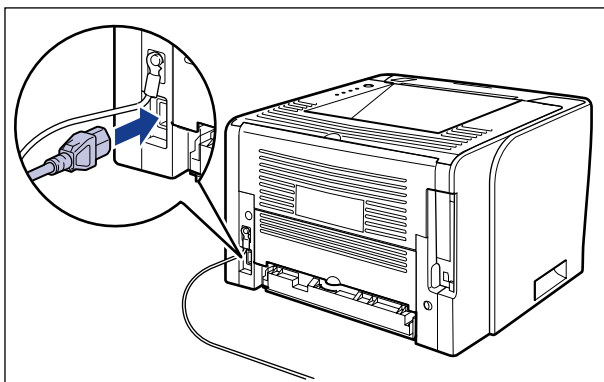
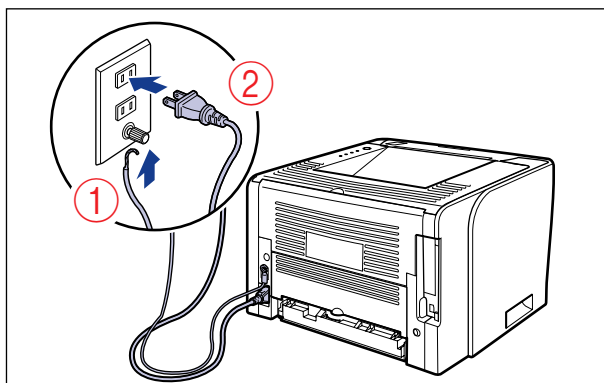
注意
- 感電防止のため、プリンタの電源コードが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。
- プリンタとコンピュータがUSBケーブルで接続されているときは、感電防止のため、USBケーブルを抜くか、コンピュータの電源コードを抜いてからアース線を接続してください。

重要
- アース線を接続するときは、プリンタ、コンピュータ双方とも接続してください。片方だけ接続すると、機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。
- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- 本プリンタを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作を起こしたり、故障する恐れがあります。

メモ
アース線の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源が入っていないことを確認します。

電源スイッチの"○"側を押した状態がオフです。

2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

重要　アース線が、電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

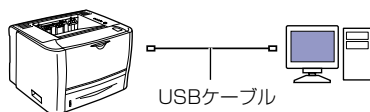
3 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

4 アース線を専用のアース線端子に ①、電源プラグを電源コンセントに接続します ②。

コンピュータと接続する

プリンタとコンピュータの接続方法について

本プリンタは標準で USB コネクタを装備しています。また、オプションのネットワークボード（NB-C2）を装着すると、LAN ケーブルで直接ネットワークに接続することができます。

お使いの環境に合わせた接続方法で、プリンタとコンピュータを接続してください。

プリントサーバ環境の場合（Windows のみ）

●お使いのコンピュータがプリントサーバの場合

- ･USB ケーブルで接続する場合（→P.2-24）
- ･LAN ケーブルで接続する場合 *（→P.2-25）

* オプションのネットワークボードを装着している場合のみ

●お使いのコンピュータがクライアントの場合

本プリンタとコンピュータを直接接続する必要はありません。
プリンタドライバのインストール（→P.4-48）に進んでください。

USB ケーブルで接続する場合

USB ケーブルを接続するときのご注意

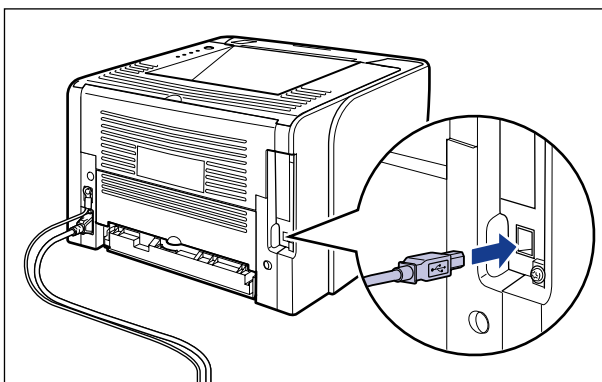
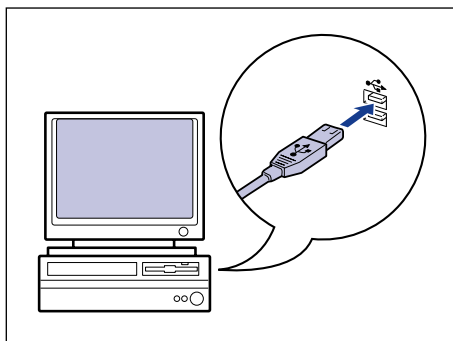
警告
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源プラグを電源コンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

重要
- コンピュータまたはプリンタの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差ししないでください。プリンタの故障の原因になります。
- 本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信のプリントサーバや USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

メモ
- 本プリンタの USB インタフェースは、次のようになっています。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
  ・USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。USB ケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

USB ケーブルを接続する

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていないことを確認します。

2 USB ケーブルのＢタイプ（四角い）側を本プリンタの USB コネクタへ接続します。

3 USBケーブルのAタイプ(平たい)側をコンピュータのUSBポートへ接続します。

メモ

USBケーブルの接続後に、プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードやダイアログボックスが表示された場合（Windowsのみ）は、次のいずれかの方法で本プリンタのプリンタドライバをインストールしてください。

・[キャンセル] をクリックして、CD-ROM Setupからインストールする

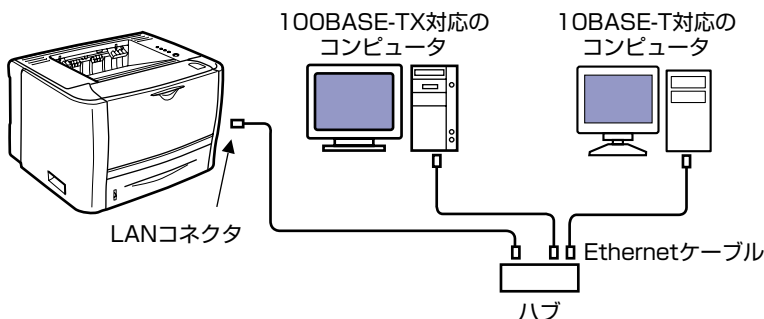
・プラグアンドプレイでインストールする

詳しくは、「プリンタドライバをインストールする」（➞P.4-5）を参照してください。

LANケーブルで接続する場合

LANケーブルを接続するときのご注意

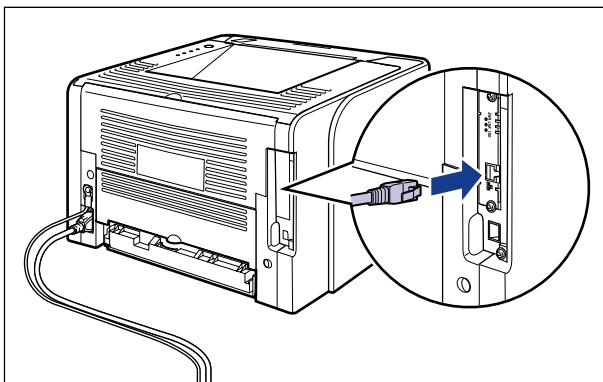
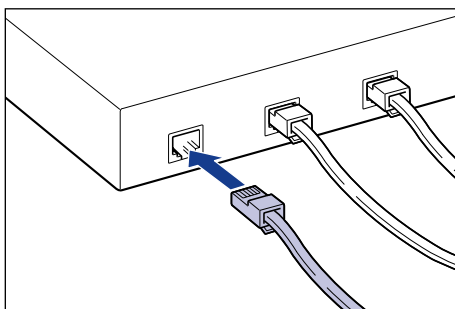
■ ネットワークの環境について

オプションのネットワークボードは、10BASE-T/100BASE-TX接続に対応しています。

メモ

- ネットワークボードの取り付けかたについては、「ネットワークボード」（➞P.9-13）を参照してください。
- 本プリンタやネットワークボードにはLANケーブルやハブなどは付属していません。必要に応じて別途ご用意ください。
  LANケーブルは、カテゴリ5対応のツイストペアケーブルをご使用ください。

- 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、LAN に接続している機器（ハブや LAN ケーブル、コンピュータ用ネットワークボードなど）は、すべて 100BASE-TX に対応している必要があります。
  詳しくは、お買い求めの販売店、または「お客様相談センター」（巻末参照）へお問い合わせください。

LAN ケーブルを接続する

1 LAN ケーブルをネットワークボードの LAN コネクタへ接続します。

2 LAN ケーブルの反対側をハブに接続します。

メモ

本プリンタをネットワークに接続した場合、次の作業が必要です。

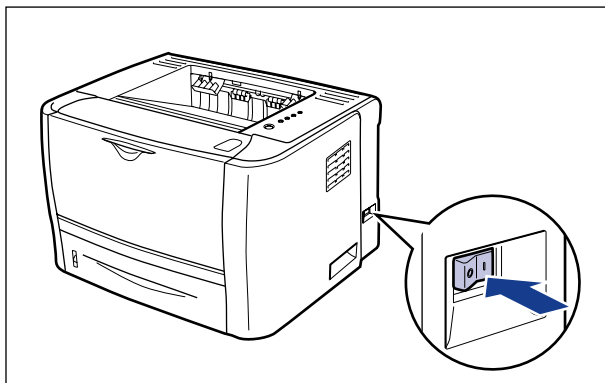
・コンピュータのネットワーク設定（→コンピュータの取扱説明書）
・ネットワークでプリンタを使用するためのインストール作業やネットワーク設定（→ネットワークガイド／本編）
・プリントサーバの設定（→ プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する：P.4-35）

電源を入れる／切る

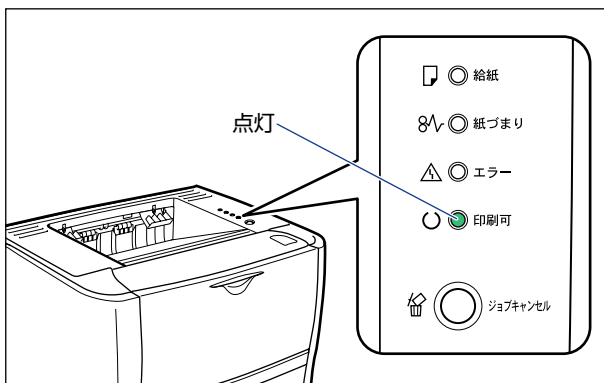
電源を入れる

重要

- 電源を切った直後に、再度電源を入れないでください。電源を切ったあとに再度電源を入れるときは、電源を切ってから 10 秒以上経ったあと、電源を入れてください。
- 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）にエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（➞P.8-1）を参照してください。
- プリンタを設置後、初めて電源を入れるときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットをプリンタにセットしてからプリンタの電源を入れてください。
- プリンタを設置後、初めて電源を入れたときに、白紙が 1 枚排紙されることがありますが、異常ではありません。

1 プリンタの電源スイッチの“I”側を押します。

プリンタのすべてのランプが点滅し、プリンタやオプション品の状態の自己診断が行われます。

● 自己診断の結果が正常な場合

印刷可ランプ（緑色）が点灯し、印刷可能な状態になります。

● 自己診断の結果が異常な場合

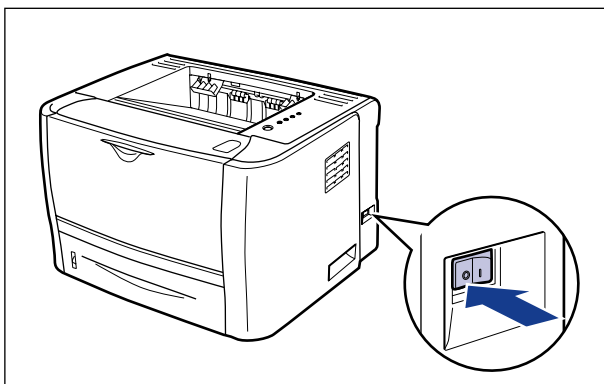
エラーランプ（オレンジ色）が点灯／点滅します（→P.8-25）。

電源を切る

1 電源を切るときは、プリンタが次の状態ではないことを確認してください。

- 印刷中
- 電源を入れた直後の自己診断中（すべてのランプが点滅している状態）

重要 電源を切ると、プリンタのメモリに残っている印刷データは消去されます。

2 プリンタの電源スイッチの"○"側を押します。

重要 電源を切った場合でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態では、わずかですが電力が消費されています。
完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

用紙のセットと排紙先について

3

CHAPTER

この章では、本プリンタで使用できる用紙や用紙のセット、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について

重要
- 印刷速度は、用紙サイズ、用紙タイプ、印刷枚数の設定により遅くなることがあります。
  ・はがき：約 10 ページ／分
  ・封筒：約 6 ページ／分
- 長さが264.4mm以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約 6 ページ／分まで遅くなることもあります。）

使用できる用紙

用紙サイズ

本プリンタでは次の用紙を使用できます。
◎：片面印刷と自動両面印刷が可能
○：片面印刷のみ可能
×：印刷不可

用紙サイズ	給紙部		
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）
A4	◎	◎	◎
B5	○	○	○
A5	○	○	○
リーガル	◎	◎	◎
レター	◎	◎	◎
エグゼクティブ	○	○	○
ユーザ定義用紙	○ *1	○ *2	○ *2
はがき 100.0mm × 148.0mm	○	×	×
往復はがき 148.0mm × 200.0mm	○	×	×
4 面はがき 200.0mm × 296.0mm	○	×	×
封筒 洋形 4 号 105.0mm × 235.0mm	○	×	×
封筒 洋形 2 号 114.0mm × 162.0mm	○	×	×

*1 幅 76.2 ～215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm のユーザ定義用紙をセットすることができます。
*2 幅 148.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0～ 355.6mm のユーザ定義用紙をセットすることができます。

用紙タイプ

本プリンタでは次の用紙タイプを使用できます。
◎：片面印刷と自動両面印刷が可能
○：片面印刷のみ可能
×：印刷不可

用紙タイプ		プリンタドライバの［用紙タイプ］の設定	給紙部		
			手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）
普通紙 *1	60 ～89g/m^2	［普通紙 L］ *2	◎	◎	◎
		［普通紙］	◎	◎	◎
厚紙	90 ～120g/m^2	［厚紙 1］ *3	◎	◎	◎
	121 ～ 149g/m^2	［厚紙 2］	○	×	×
	150 ～ 163g/m^2	［厚紙 3］	○	×	×
OHP フィルム		［OHP フィルム］	○	×	×
ラベル用紙		［ラベル用紙］	○	×	×
はがき		*4	○	×	×
封筒		*4	○	×	×

*1 再生紙（60 ～89g/m^2）は、普通紙として使用できます。再生紙は古紙配合率 100% の再生紙が使用できます。
*2 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してください。
*3 用紙タイプが [厚紙 1] の用紙を給紙カセットから印刷するとき、[給紙部] で [カセット 1] または [カセット2]（オプション）を選択してください。
※ [自動] を選択すると、給紙カセットからは給紙できません。（手差しトレイから給紙します。）
*4 はがきや封筒を使用する場合は、用紙サイズを設定すると、自動的に各用紙タイプに適した印刷モードで印刷されます。用紙サイズの設定は次のプルダウンメニューで行います。
・ Windows の場合：
［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］
・ Macintosh の場合：
［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］（Mac OS X 10.4.x 以降の場合は［用紙処理］パネルの［出力用紙サイズ］でも設定できます）

メモ　用紙の厚さは、 1m^2 あたりの重さがどれくらいかということで表され、一般的に g/m^2 という単位が使われます。用紙の厚さについては用紙メーカーにお問い合わせください。

■ 普通紙

次のサイズの普通紙（60 ～ 89g/m^2）を使用できます。

- 定形用紙：A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ
- ユーザ定義用紙：幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm

※ A4、リーガル、レターサイズの用紙は、自動両面印刷が可能です。

※ 再生紙(60 ～ 89g/m^2)は、普通紙として使用できます。再生紙は古紙配合率 100% の再生紙が使用できます。

■ 厚紙

次のサイズの厚紙（90 ～ 163g/m^2）を使用できます。

- 定形用紙：A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ
- ユーザ定義用紙：幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm

※ 重さ 90 ～120g/m^2 の A4、リーガル、レターサイズの用紙は、自動両面印刷が可能です。

■ OHP フィルム

A4 またはレターサイズの OHP フィルムを使用できます。

OHP フィルムは、「キヤノン推奨品 LBP 用 OHP フィルム A4」を使用してください。「キヤノン推奨品 LBP 用 OHP フィルム A4」の重さは 1 枚 8.7g です。

■ ラベル用紙

A4 またはレターサイズのラベル用紙を使用できます。

重要

- ラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」をご使用ください。「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」の重さは 1 枚 7.8g です。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。使用すると、復旧の困難な紙づまりやプリンタの故障の原因になります。
  - ・ラベルがはがれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙からはがれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙

■ はがき

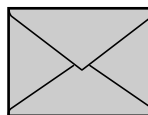
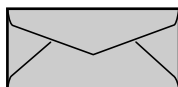
郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがきを使用できます。

- 郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき以外のはがきへの印刷は、印刷品質が低下したり、紙づまりの原因になることがあります。
- 往復はがきは折り目がないものを使用してください。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の郵便はがき、郵便往復はがきを使用することはできません。
- はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

■ 封筒

洋形 4 号、洋形 2 号で次のような封筒を使用できます。

洋形4 号（105mm×235mm ）

洋形2号（114mm×162mm）

※短辺にふたが付いているものは使用できません。

重要

- 次のような封筒は使用しないでください。使用すると、復旧の困難な紙づまりやプリンタの故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。

- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

メモ　封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

印刷できる範囲

メモ　Windows をお使いの場合、印刷できる範囲を用紙の端近くまで広げるときは、プリンタドライバで次の設定を行います。

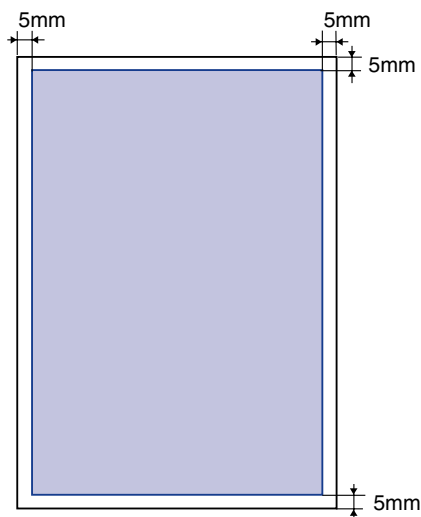
1. ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックする
2. ［用紙の左上を原点として印字する］にチェックマークを付ける

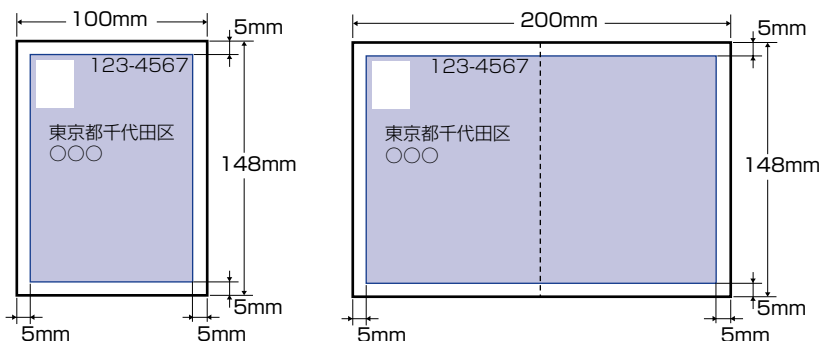
ただし、印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されることがあります。詳しくは、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

■ 普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル用紙

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

3

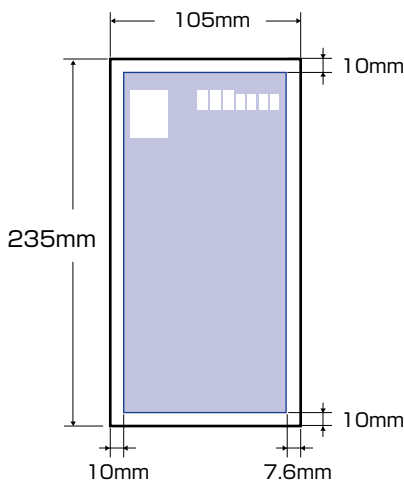
用紙のセットと排紙先について

■ はがき / 往復はがき /4 面はがき

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

重要　はがきの有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印刷品質が得られないことがあります。データをはがきの有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

■ 封筒

次の範囲に印刷できます。

お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形 4 号封筒の例）

重要　封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印刷品質が得られないことがあります。データを封筒の有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

使用できない用紙

紙づまりやプリンタの故障、トラブルを防ぐため、次のような用紙はお使いにならないでください。

重要

- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ・不規則な形の用紙
  - ・湿っている用紙、濡れている用紙
  - ・破れている用紙
  - ・表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ・バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ・カールした用紙や折り目のある用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も使用できません。ただし、本プリンタで一度印刷した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印刷した同一面に再度印刷することはできません。）
  - ・バリのある用紙（裁断状態が悪い用紙）
  - ・しわのある用紙
  - ・角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ・定着器の加熱温度（約 270 ℃）以下で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発するインクを使用した用紙
  - ・感熱用紙
  - ・表面加工したカラー用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・糊などがついた用紙
- プリンタの損傷の原因になる用紙
  - ・カーボン紙
  - ・ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も使用できません。ただし、本プリンタで一度印刷した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印刷した同一面に再度印刷することはできません。）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印刷品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要

- 用紙は湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙がカールしたり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙のカールやしわの原因になります。

印刷した用紙の保管について

本プリンタで印刷した用紙の取り扱いや保管をするときは、次のことに気を付けてください。

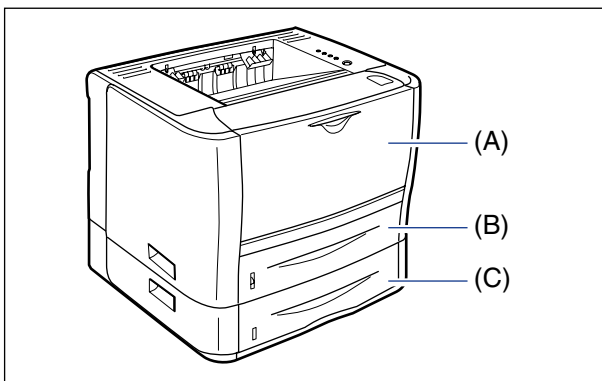
重要

- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーがはがれることがあります。
- 印刷した用紙を指や布などでこすると、トナーで汚れたりトナーがはがれたりすることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙部について

給紙部の種類

本プリンタには、次の給紙部があります。

(A)：手差しトレイ
(B)：カセット 1
(C)：カセット 2（オプション）

重要　カセット 2 から印刷する場合は、必ずカセット 1 がセットされていることを確認してから印刷してください。カセット 1 がセットされていない状態で、カセット 2 から印刷すると紙づまりが起こります。

給紙部の積載枚数

×：使用できません

用紙の種類	積載枚数		
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）
普通紙（64g/m^{2}の場合）	約 50 枚	約 250 枚	約 250 枚
厚紙（91g/m^{2}の場合）	約 40 枚	約 200 枚	約 200 枚
厚紙（128g/m^2 の場合）	約 25 枚	×	×
OHP フィルム	約 40 枚	×	×
ラベル用紙	約 20 枚	×	×
郵便はがき	約 25 枚	×	×
郵便往復はがき	約 25 枚	×	×
郵便 4 面はがき	約 25 枚	×	×
封筒	約 5 枚	×	×

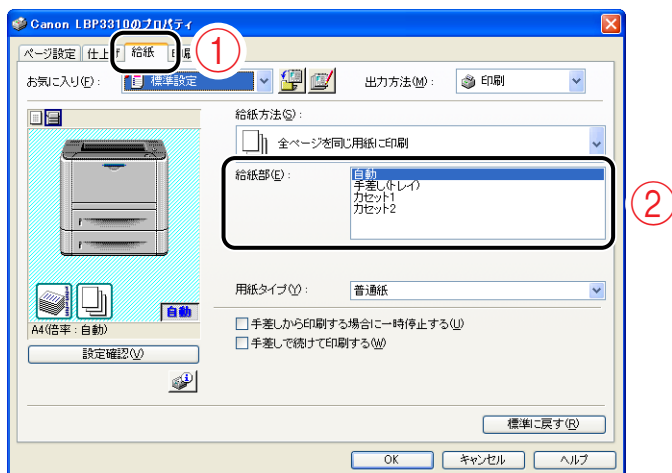
給紙部の選択

給紙部の選択は、プリンタドライバの［給紙］ページで行います。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 3 章 基本的な印刷機能」を参照してください。

1 ［給紙］ページを表示して ①、［給紙部］を選択します ②。

プリンタドライバの［給紙］ページの表示方法は、次の項目を参照してください。

• アプリケーションソフトから印刷する（→P.5-2）
• 印刷設定の初期値（デフォルト値）を変更する（→P.5-8）

メモ

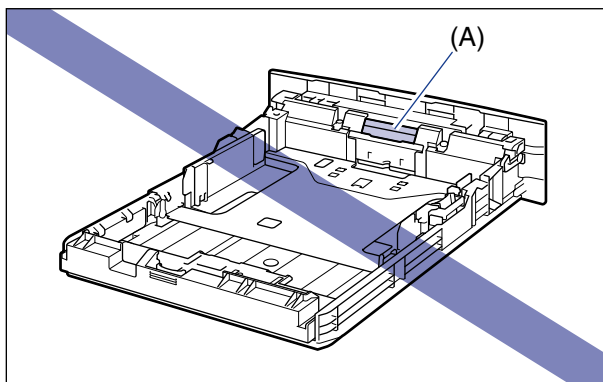
［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］が次のように変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定してください。

・［最初のページ］
・［2 枚目のページ］
・［表紙］
・［その他のページ］
・［最後のページ］

2 ［OK］をクリックします。

手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意

手差しトレイや給紙カセットを取り扱うときは、次のことに気を付けて取り扱ってください。

重要
- ペーパーフィーダの設置後、初めて給紙カセットに用紙をセットするときは、必ずプリンタの電源を一度入れてから行ってください。
- 印刷中は次のことを守ってください。紙づまりや故障の原因になることがあります。
  ・給紙カセットを抜き取らない
  ・手差しトレイの用紙に触れない、引き抜かない
- 給紙カセットに用紙を補充する場合は、セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
- 手差しトレイの上には印刷する用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。手差しトレイが破損することがあります。
- 給紙カセットの黒いゴムパッド（A）には触れないでください。給紙不良の原因になります。

- カセット２から印刷する場合は、必ずカセット１がセットされていることを確認してから印刷してください。カセット１がセットされていない状態で、カセット２から印刷すると紙づまりが起こります。

メモ
手差しトレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除いてから閉めてください。手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。

排紙先について

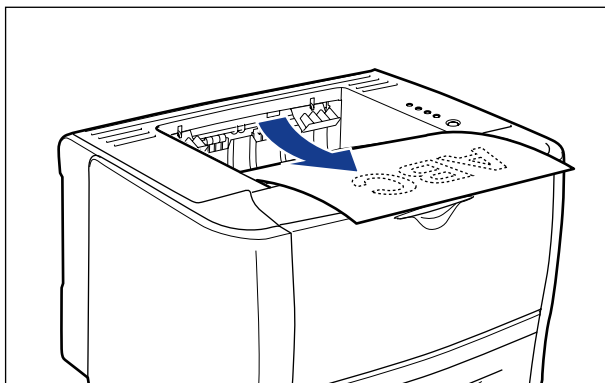
排紙先の種類

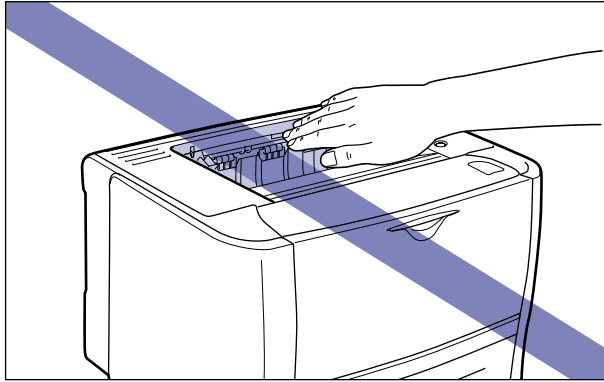
本プリンタには、「フェイスダウン排紙トレイ」と「フェイスアップ排紙口」の２つの排紙先があります。

印刷中に排紙先の切り替えは行わないでください。紙づまりの原因になります。

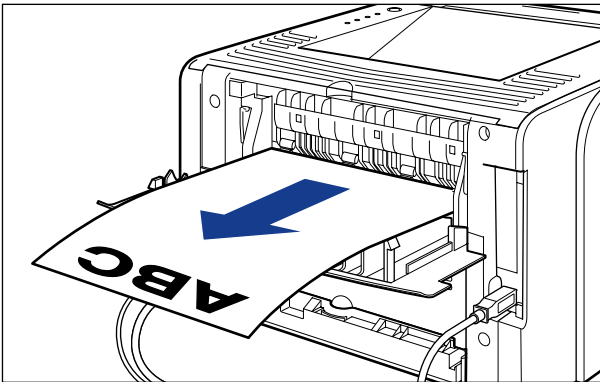
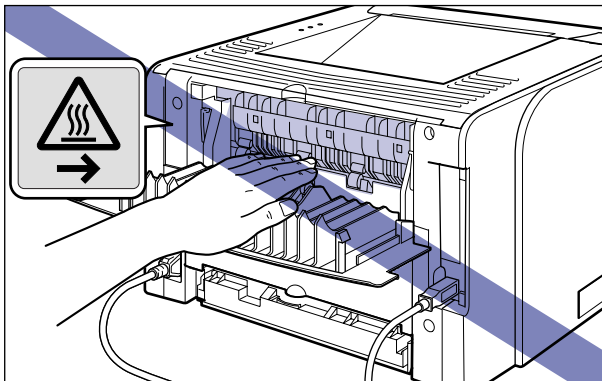
注意
- 排紙部のローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続印刷した場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。

フェイスダウン排紙トレイ

プリンタ上面のフェイスダウン排紙トレイに印刷した面が下向き（フェイスダウン）で排紙されます。

重要
- 自動両面印刷するときは、フェイスダウン排紙トレイにのみ排紙できます。
- 両面印刷中はフェイスダウン排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。

- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスダウン排紙トレイ周辺が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスダウン排紙トレイ周辺に触れないように気を付けてください。

メモ　フェイスダウン排紙トレイには、普通紙で約 125 枚（64g/m^2 の用紙）まで積載することができます。用紙タイプや用紙サイズにより積載枚数は異なります。詳しくは「排紙先の積載枚数」（→P.3-15）を参照してください。

フェイスアップ排紙口

プリンタ背面のフェイスアップ排紙口に印刷した面が上向き（フェイスアップ）で排紙されます。
フェイスアップ排紙口への排紙は、用紙がまっすぐに排紙されるので、カールしやすい OHP フィルムやラベル用紙、はがき、封筒などに印刷するときに向いています。

注意 プリンタの使用中や使用直後は、フェイスアップ排紙口が高温になります。フェイスアップ排紙口周辺に触れないように気を付けてください。やけどの原因になることがあります。

重要
- フェイスアップ排紙口に排紙する場合は、自動両面印刷できません。
- フェイスアップ排紙口に排紙された用紙は、排紙されるたびに1枚ずつ取り除いてください。

排紙先の積載枚数

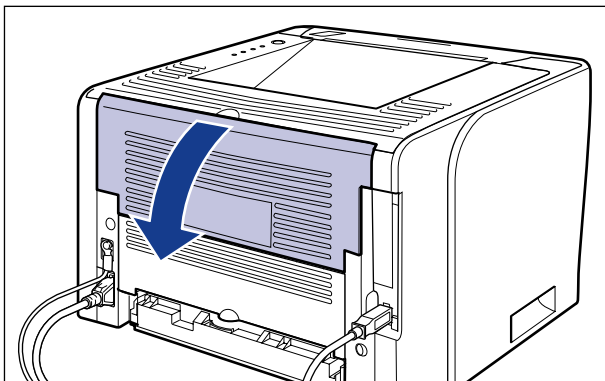
×：使用できません

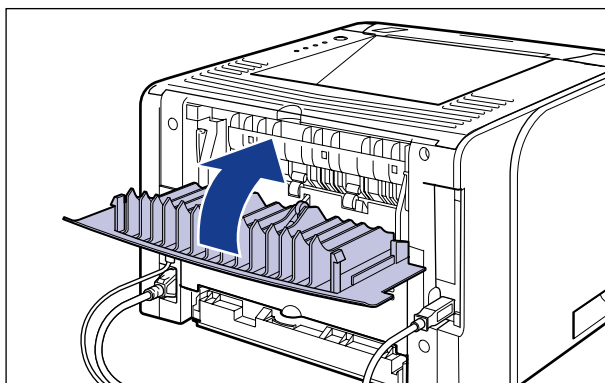
用紙タイプ	積載枚数 *	
	フェイスダウン排紙トレイ	フェイスアップ排紙口
普通紙（64g/m²）	約125枚	×
厚紙（91g/m²）	約50枚	×
厚紙（128g/m²）	約30枚	1枚
OHPフィルム	1枚	1枚
ラベル用紙	約10枚	1枚
郵便はがき	約10枚	1枚
郵便往復はがき	約10枚	1枚
郵便4面はがき	約10枚	1枚
封筒	約10枚	1枚

* 設置環境や使用する用紙タイプ、用紙サイズによっては、実際の積載枚数は異なります。

排紙先の選択

フェイスアップ排紙口に切り替える

排紙先をフェイスアップ排紙口に切り替えるときは、排紙切り替えカバーを図のように開けます。

フェイスダウン排紙トレイに切り替える

排紙先をフェイスダウン排紙トレイに切り替えるときは、排紙切り替えカバーを図のように閉めます。

給紙カセットに用紙をセットする

給紙カセットには、次の用紙がセットできます。

用紙タイプ	用紙サイズ	セット方法
普通紙（60 ～ 89g/m^2） 厚紙（90 ～ 120g/m^2）	A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ	P.3-17
	ユーザ定義用紙 （幅 148.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 355.6mm）	P.3-23

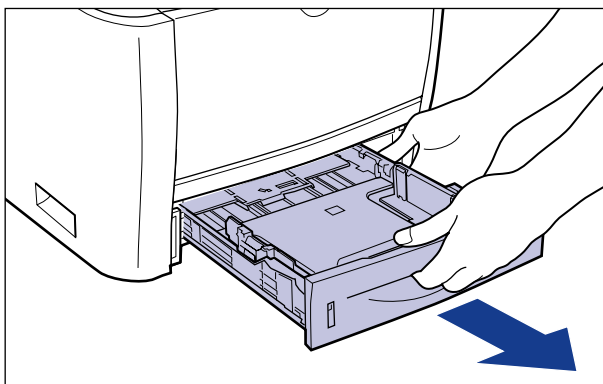
重要

- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（➞P.3-2）を参照してください。
- 給紙カセットの取り扱いについては「手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意」（➞P.3-12）を参照してください。

メモ

カセット 2（オプションのペーパーフィーダ装着時）の用紙のセット方法は、カセット 1 と同じです。

定形用紙をセットする場合

1 給紙カセットを引き出します。

注意

用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

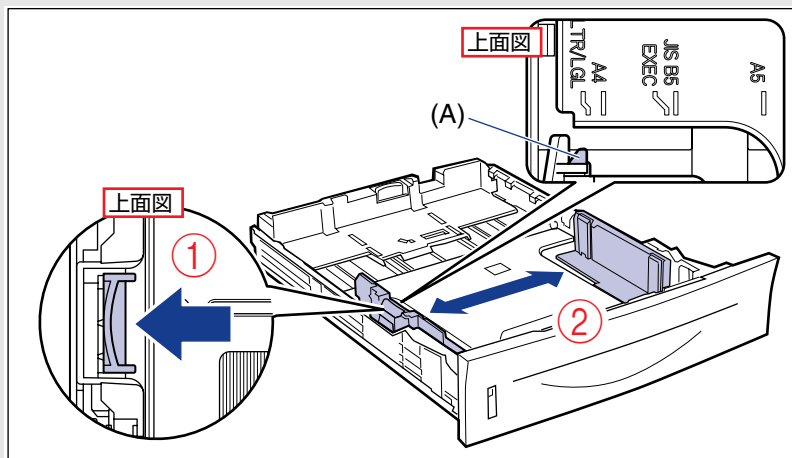
2 セットする用紙のサイズを変更するときは、用紙ガイドの位置を変更します。

用紙ガイドの表示は、次の略号で表示されます。

用紙サイズ	用紙ガイド
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

● **セットする用紙に合わせて側面の用紙ガイドを移動します。**

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

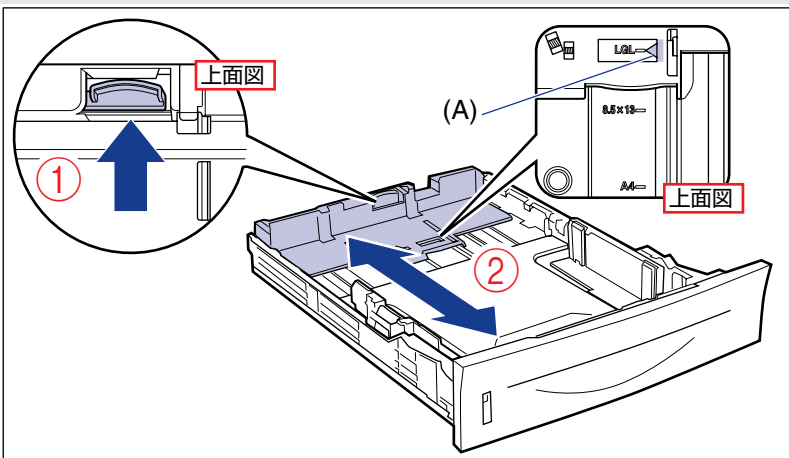
側面の用紙ガイドの移動方法
① ロック解除レバーをつまむ
② セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動する

メモ　B5 サイズ（182mm × 257mm）を使用する場合は、用紙ガイドを「JIS B5」に合わせてください。

● **セットする用紙に合わせて後端の用紙ガイドを移動します。**

（A）の部分をセットする用紙サイズに合わせます。

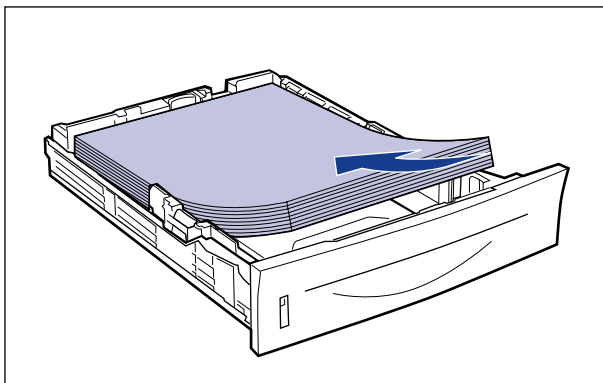
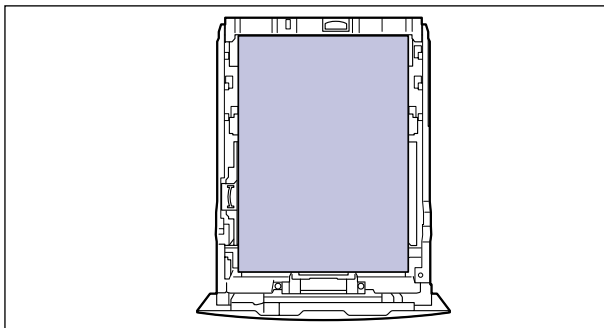
後端の用紙ガイドの移動方法

① ロック解除レバーをつまむ

② セットする用紙サイズの位置に合わせて用紙ガイドを移動する

重要 「8.5 × 13」の位置は使用しません。

3 用紙の後端を用紙ガイドに合わせてセットします。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

3 用紙のセットと排紙先について

重要
- 用紙は必ず縦置きにセットしてください。

- 用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っているかを、必ず確認してください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていないと、給紙不良の原因になります。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重なって送られる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ
レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」(→P.3-49)を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

4 用紙を図のように下へ押さえて、用紙ガイドに付いているツメ(A)の下に用紙を入れます。

次のことを確認してください。
・積載制限マーク(B)を超えていないか
・用紙ガイドのツメと用紙の間にすき間が十分にあるか

重要
給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。
・普通紙($64g/m^2$ の場合): 約 250 枚
・厚紙($91g/m^2$ の場合): 約 200 枚

絶対に積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。

5 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

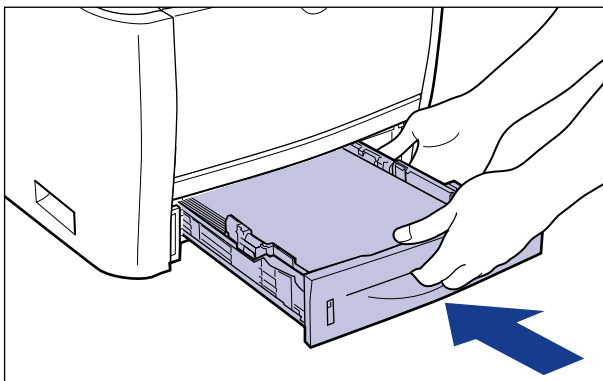
注意 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

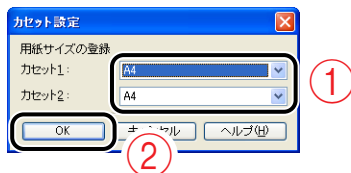
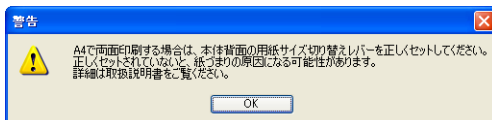
以降の手順で、セットした用紙サイズの登録を行います。

本プリンタの給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、セットした用紙サイズを登録する必要があります。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第４章 便利な印刷機能」を参照してください。

6 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」(→P.5-34) を参照してください。

7 ［オプション］メニューから［デバイス設定］→［カセット設定］を選択します。

8 給紙カセットにセットした用紙サイズを選択して ①、［OK］をクリックします ②。

用紙サイズを A4、レター、リーガルサイズに変更した場合、次の画面が表示されます。

両面印刷する場合：	プリンタ背面の用紙サイズ切り替えレバーを正しくセットしてから、［OK］をクリックします。
両面印刷しない場合：	そのまま［OK］をクリックします。

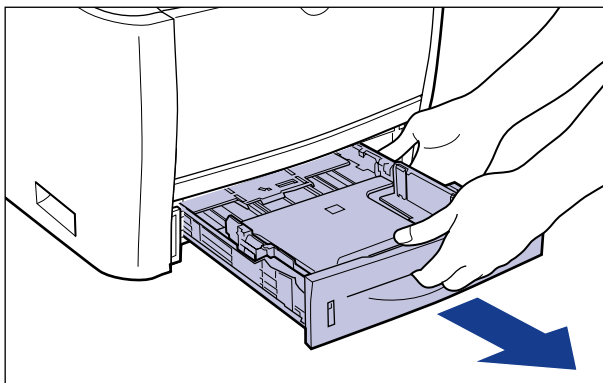
メモ　用紙サイズ切り替えレバーのセット方法については、「自動で両面に印刷する」（→P.5-10）を参照してください。

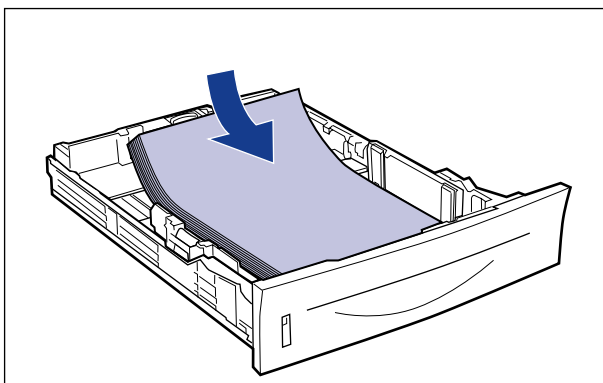
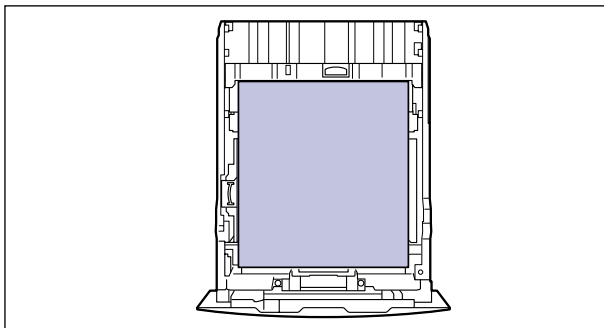
用紙のセットが完了しました。
印刷時の操作については、「アプリケーションソフトから印刷する」（→P.5-2）を参照してください。

ユーザ定義用紙（不定形用紙）をセットする場合

次のサイズのユーザ定義用紙をセットできます。

• 幅 148.0 ～ 215.9mm、長さ 210.0 ～ 355.6mm

1 給紙カセットを引き出します。

⚠注意　用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

2 用紙を給紙カセットの手前側に合わせてセットします。

⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 用紙は必ず縦置きにセットしてください。

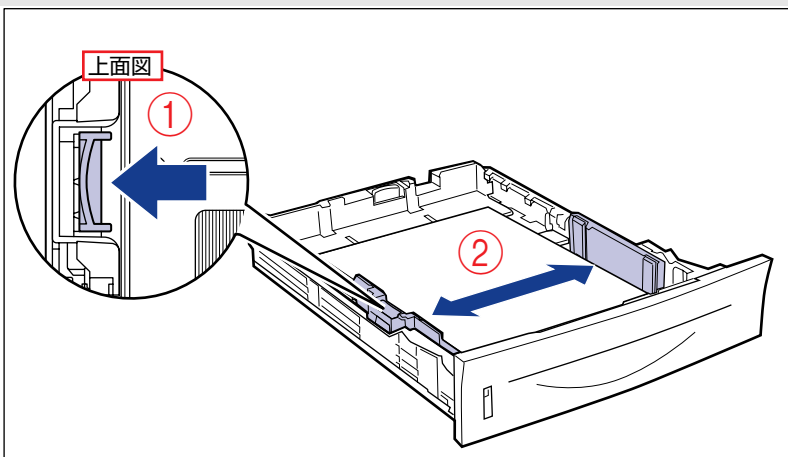
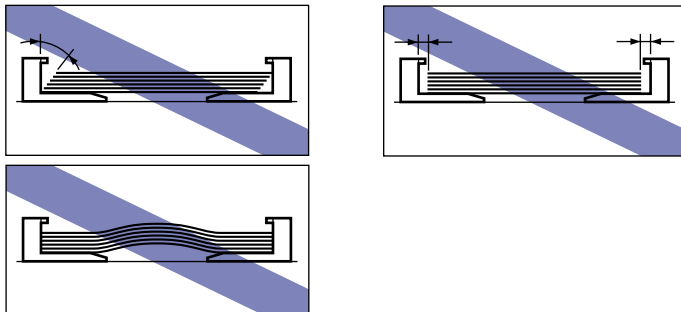
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重なって送られる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ
レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」（➞P.3-49）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

3 用紙ガイドを移動します。

● セットした用紙に合わせて側面の用紙ガイドを移動します。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

側面の用紙ガイドの移動方法
① ロック解除レバーをつまむ
② セットした用紙に合わせて用紙ガイドを移動する

重要 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

● **セットした用紙に合わせて後端の用紙ガイドを移動します。**

後端の用紙ガイドの移動方法

① ロック解除レバーをつまむ

② セットした用紙に合わせて用紙ガイドを移動する

4 用紙を図のように下へ押さえて、用紙ガイドに付いているツメ（A）の下に用紙を入れます。

次のことを確認してください。
・積載制限マーク（B）を超えていないか
・用紙ガイドのツメと用紙の間にすき間が十分にあるか

重要 給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。
・普通紙（64g/m² の場合）： 約 250 枚
・厚紙（91g/m² の場合）： 約 200 枚
絶対に積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因になります。

5 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

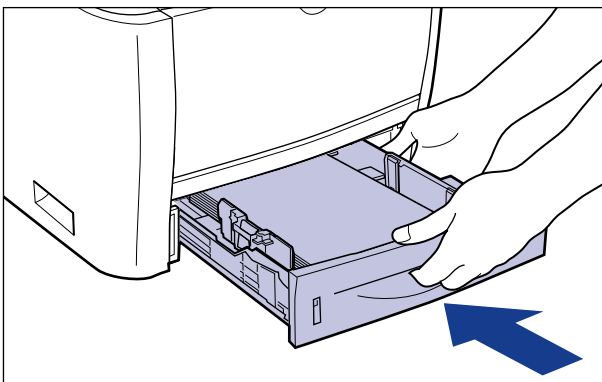
注意 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

以降の手順で、セットした用紙サイズの登録を行います。

本プリンタの給紙カセットは自動的に用紙サイズの検知ができないため、セットした用紙サイズを登録する必要があります。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第４章 便利な印刷機能」を参照してください。

6 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.5-34）を参照してください。

7 ［オプション］メニューから［デバイス設定］→［カセット設定］を選択します。

8 ［ユーザ定義］を選択して①、［OK］をクリックします②。

以降の手順で、セットしたユーザ定義用紙の登録を行います。

ユーザ定義用紙を印刷する場合は、あらかじめユーザ定義用紙のサイズをプリンタドライバに登録しておく必要があります。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第４章 便利な印刷機能」を参照してください。

9 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

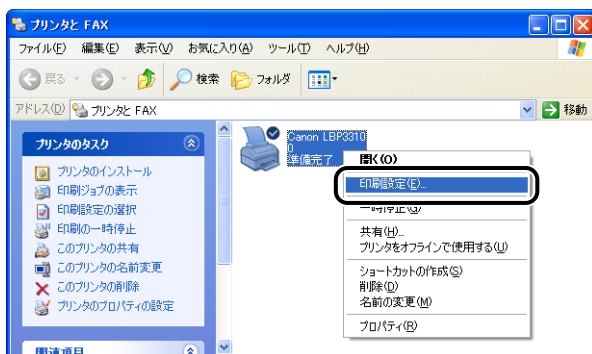
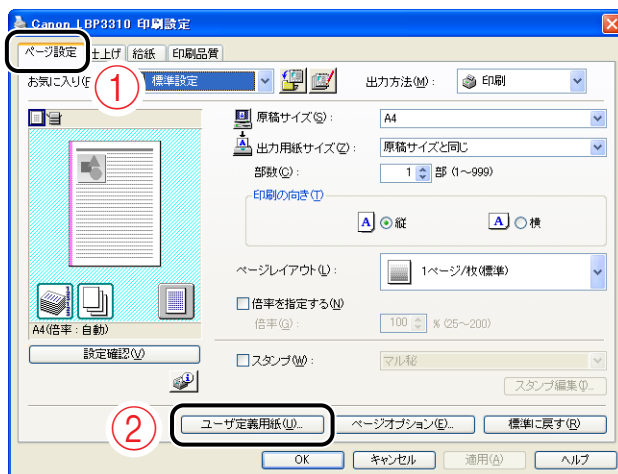
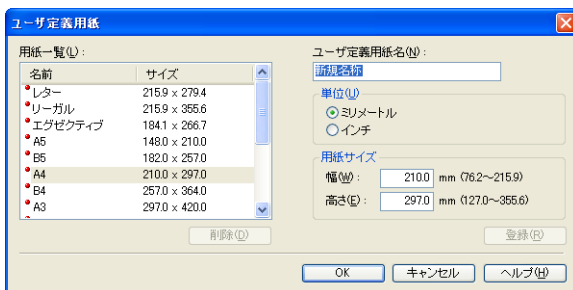
Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

10 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

3
用紙のセットと排紙先について

11 ［ページ設定］ページを表示して ①、［ユーザ定義用紙］をクリックします ②。

12 必要に応じて次の項目を設定します。

［用紙一覧］：	定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙の［名前］と［サイズ］が表示されます。
［ユーザ定義用紙名］：	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。半角 / 全角 31 文字まで入力できます。
［単位］：	ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位（［ミリメートル］または［インチ］）を選択します。
［用紙サイズ］：	ユーザ定義用紙の高さと幅（［高さ］≧［幅］）を設定します。用紙サイズは、縦長（［高さ］≧［幅］）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

13 ［登録］をクリックします。

メモ　登録できるユーザ定義用紙は、ご使用のシステム環境によって異なります。

14 設定内容を確認して、[OK] をクリックします。

用紙のセットが完了しました。
印刷時の操作については、「アプリケーションソフトから印刷する」(→P.5-2) を参照してください。

手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイには、次の用紙がセットできます。

用紙タイプ	用紙サイズ	セット方法
普通紙（60 ～ 89g/m²） 厚紙（90 ～ 163g/m²）	A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ	P.3-31
	ユーザ定義用紙 （幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm）	P.3-42
OHP フィルム	A4*1、レター	P.3-31
ラベル用紙	A4*2、レター	P.3-31
はがき	郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき	P.3-36
封筒	洋形４号、洋形２号	P.3-36

*1 キヤノン推奨品 LBP 用OHP フィルム A4

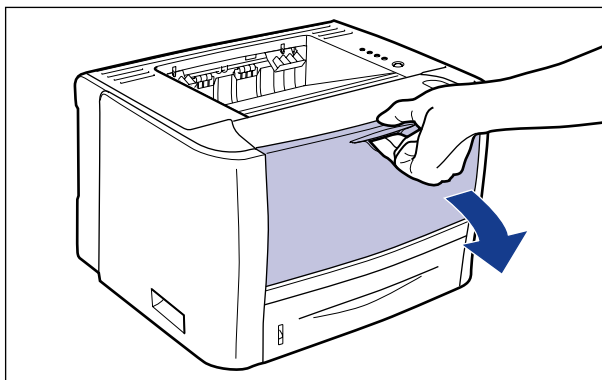
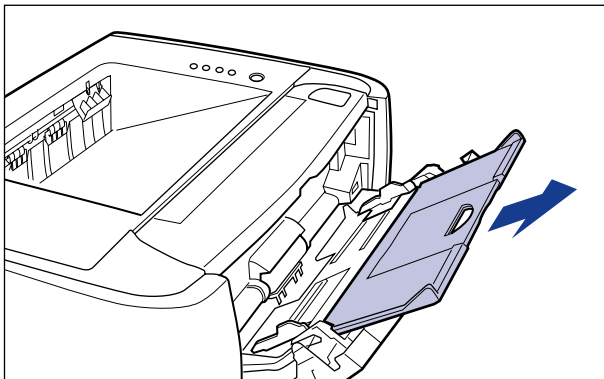
*2 キヤノン推奨品ラベル用紙 A4

重要

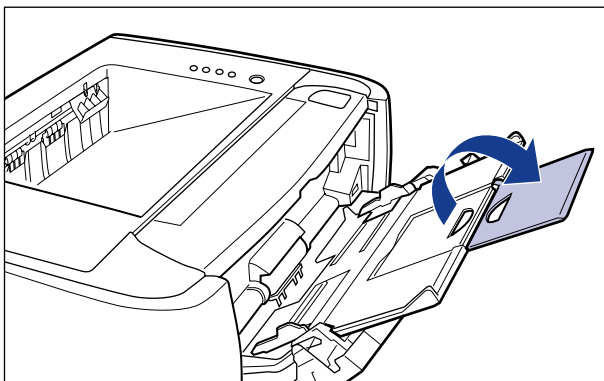
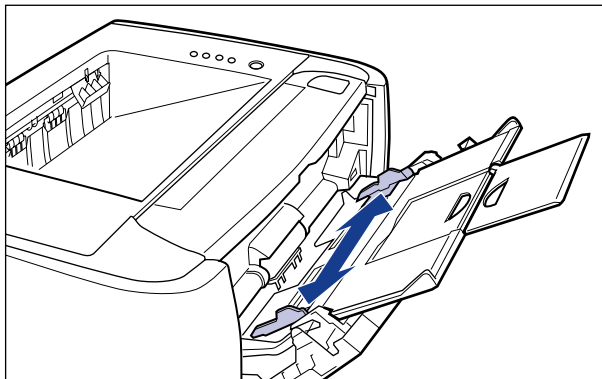
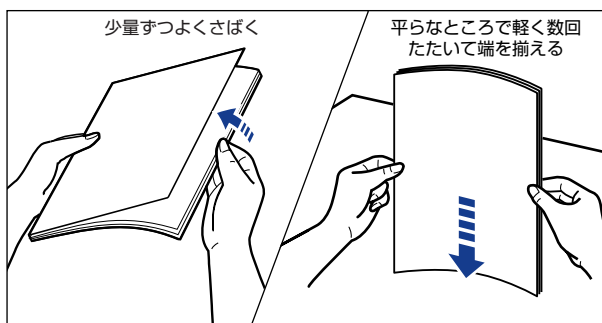
- 使用できる用紙の詳細は、「使用できる用紙」（→P.3-2）を参照してください。
- 手差しトレイの取り扱いについては「手差しトレイや給紙カセットの取り扱いのご注意」（→P.3-12）を参照してください。

定形用紙（はがき、封筒以外）をセットする場合

1 手差しトレイを開けます。

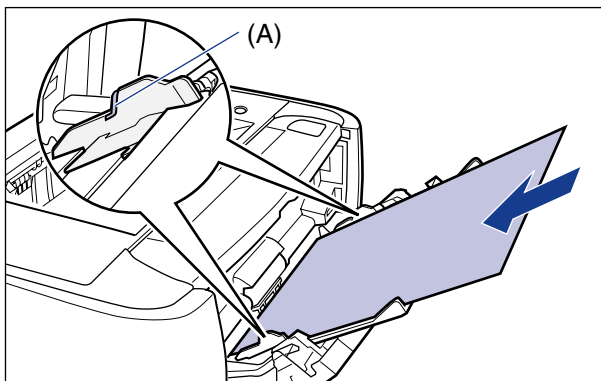
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

2 補助トレイを引き出します。

重要　手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

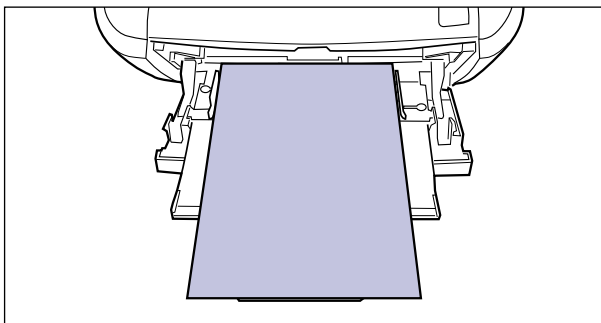
3 A4 などの長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

4 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

5 OHP　フィルムやラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

- OHP フィルムやラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重なって送られて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

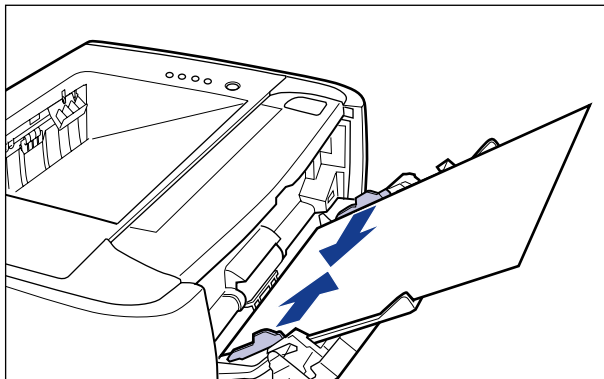
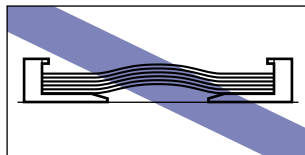
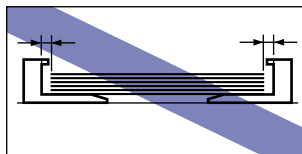
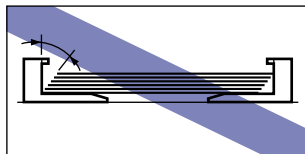
6 用紙を奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 用紙は必ず縦置きにセットしてください。

- 手差しトレイにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。
  - ・普通紙（64g/m² の場合）：約 50 枚
  - ・厚紙（91g/m² の場合）：約 40 枚
  - ・厚紙（128g/m² の場合）：約 25 枚
  - ・OHP フィルム：約 40 枚
  - ・ラベル用紙：約 20 枚

  用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態が悪い用紙を使用すると、重なって送られる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」(➞P.3-49）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

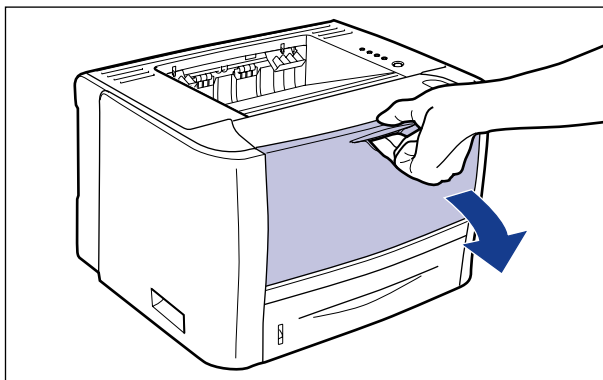
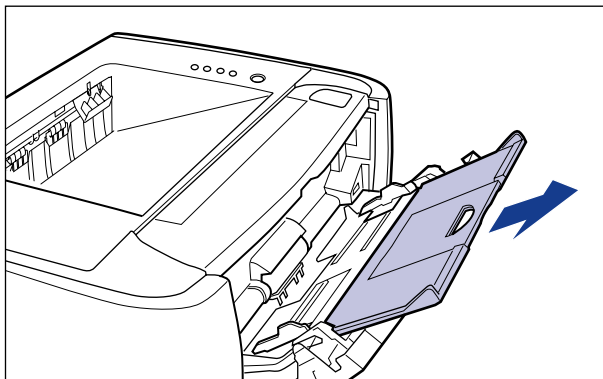
7 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

用紙のセットが完了しました。
印刷時の操作については、「アプリケーションソフトから印刷する」(→P.5-2)を参照してください。

はがき、封筒をセットする場合

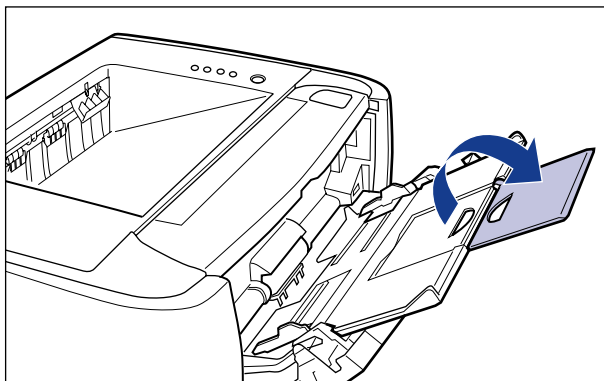
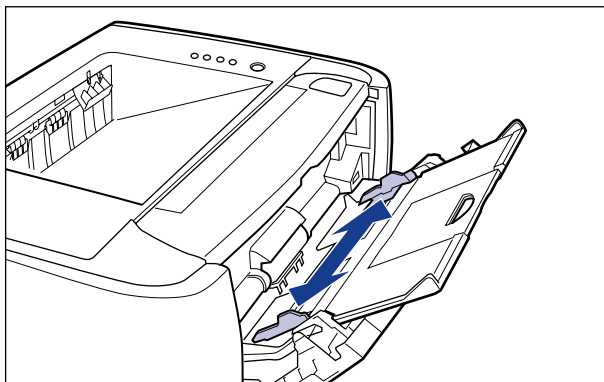
次のはがき、封筒をセットできます。

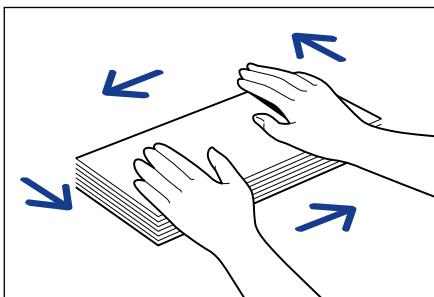
- はがき：　郵便はがき、郵便往復はがき、郵便４面はがき
- 封筒：　　洋形４号、洋形２号

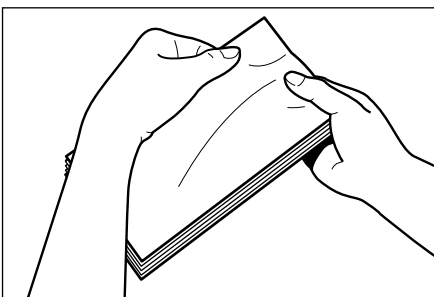
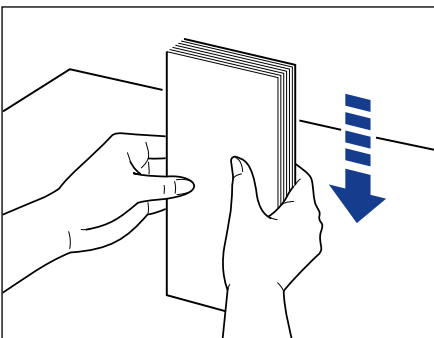
1 手差しトレイを開けます。

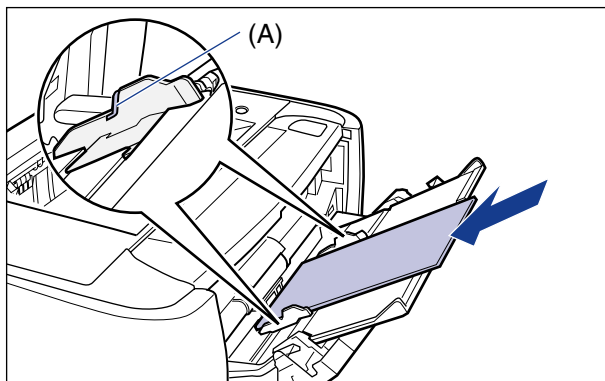
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

2 補助トレイを引き出します。

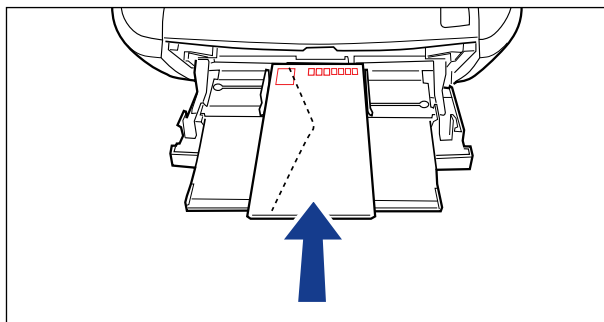
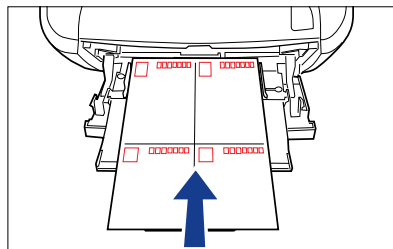
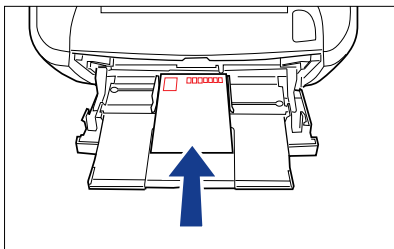
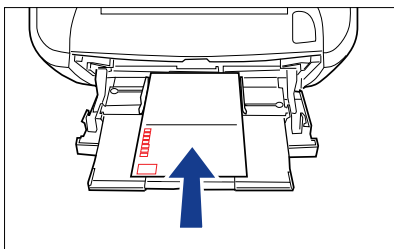
重要　手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

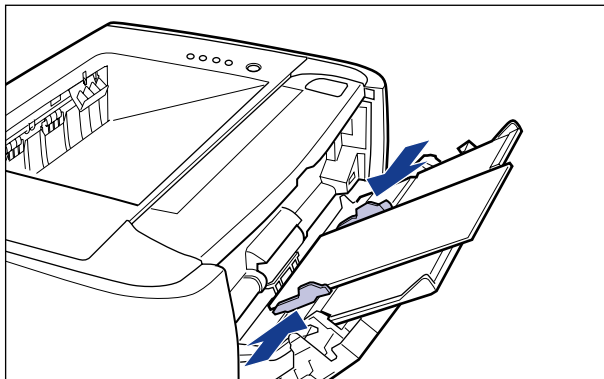
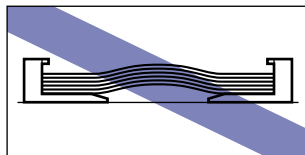
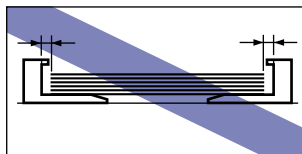
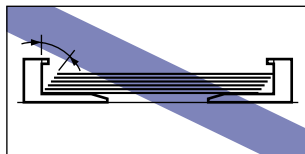
3 4面はがきなどの長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

4 用紙ガイドの幅を用紙の幅より少し広めにセットします。

5 封筒をセットする場合は、次のように揃えます。

● 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

● 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

● 封筒を平らな場所で揃えます。

6 用紙を奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

- はがきや封筒は印刷面を上にして、次のようにセットします。
（ ：給紙方向）
・洋形４号／洋形２号
ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

・はがき／4面はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

・往復はがき
はがきの上端がプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

- 手差しトレイにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。
  ・郵便はがき、郵便往復はがき、郵便4面はがき：約25枚
  ・封筒：約5枚
  用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 封筒の裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。
- 往復はがきに印刷するときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印刷方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：「往復はがき横」）
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- 裁断状態が悪いはがきを使用すると、重なって送られる場合があります。そのような場合は、はがきを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

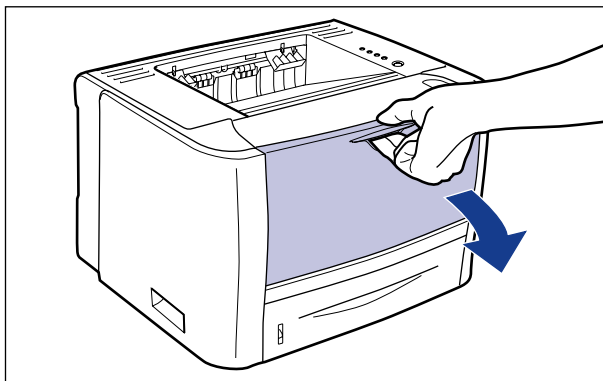
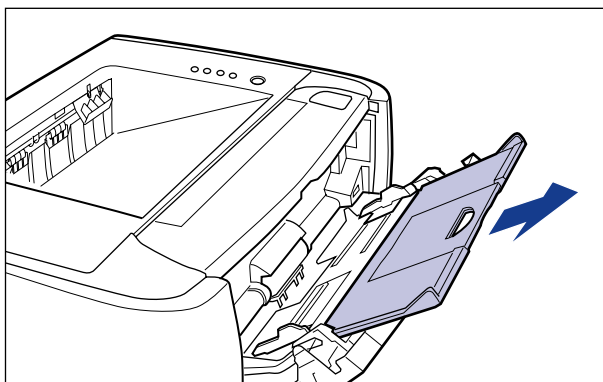
7 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

用紙のセットが完了しました。
印刷時の操作については、「アプリケーションソフトから印刷する」(→P.5-2) を参照してください。

ユーザ定義用紙（不定形用紙）をセットする場合

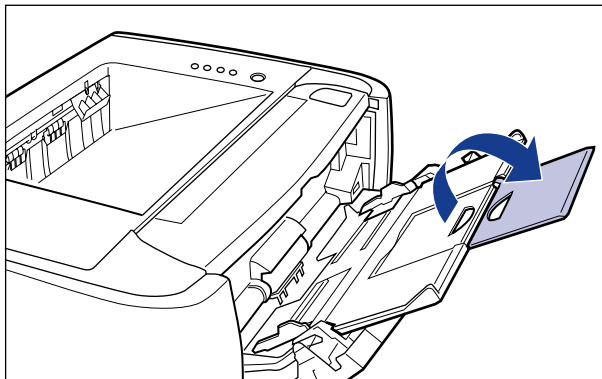
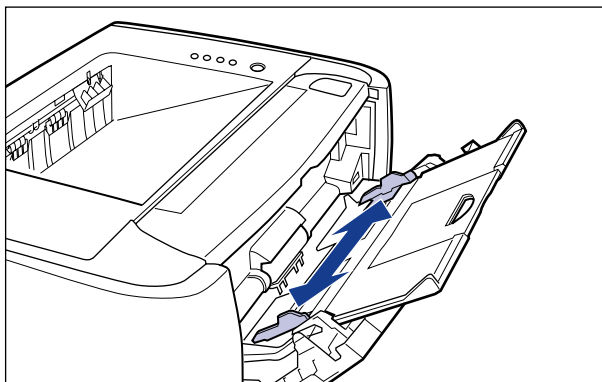
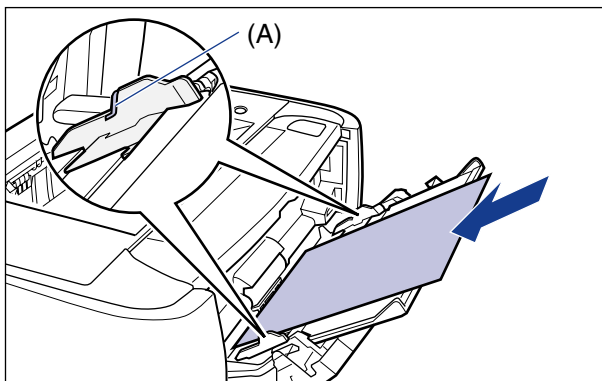
次のサイズのユーザ定義用紙をセットできます。

- 幅 76.2 ～ 215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm

1 **手差しトレイを開けます。**

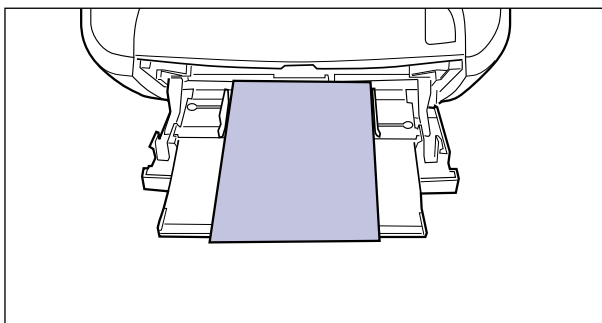
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

2 **補助トレイを引き出します。**

重要　手差しトレイに用紙をセットするときは、必ず補助トレイを引き出してください。

3 長いサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを開けます。

4 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

5 用紙を奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

用紙束は積載制限ガイド（A）の下を通してください。

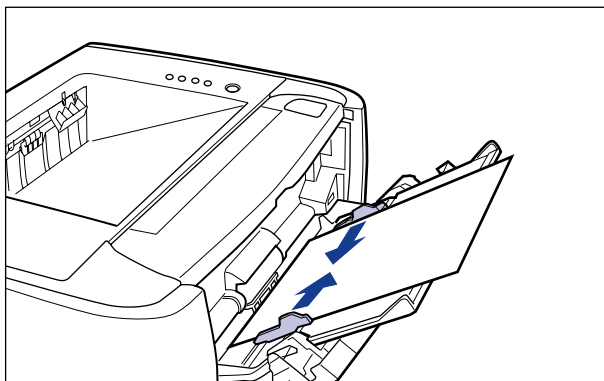
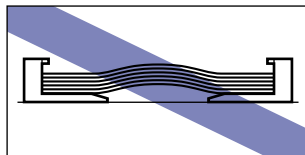
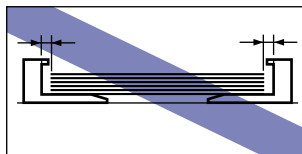
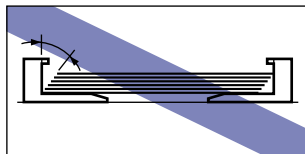
⚠注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

- 用紙は必ず縦置きにセットしてください。

- 手差しトレイにセットできる用紙の枚数は、次の通りです。
  - ・普通紙（64g/m^2 の場合）： 約 50 枚
  - ・厚紙（91g/m^2 の場合）： 約 40 枚
  - ・厚紙（128g/m^2 の場合）： 約 25 枚

  用紙束の高さが積載制限ガイドを超えていないことを確認してください。
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたり、カールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重なって送られる場合があります。そのような場合は、用紙の束をよくさばき、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、「用紙のセット向きについて」（➞P.3-49）を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

6 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

重要　必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

以降の手順で、セットしたユーザ定義用紙の登録を行います。

ユーザ定義用紙を印刷する場合は、あらかじめユーザ定義用紙のサイズをプリンタドライバに登録しておく必要があります。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

7 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional **Windows Server 2003**

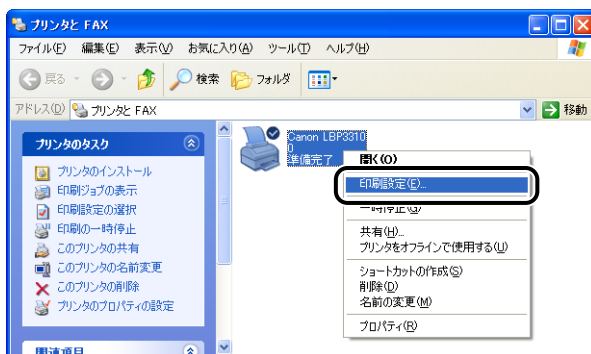
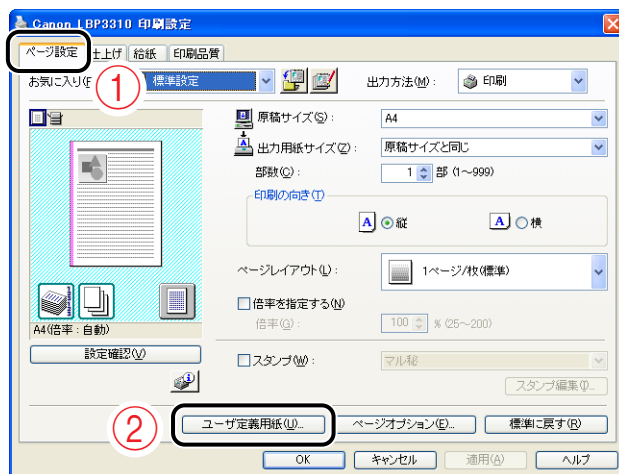
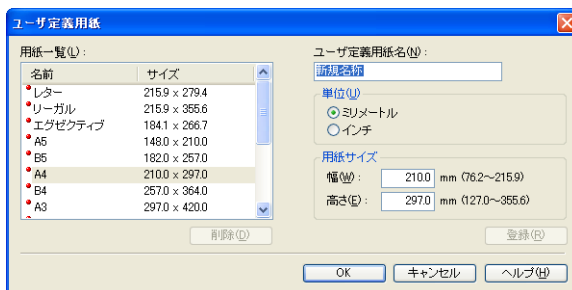
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

8 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

9 ［ページ設定］ページを表示して ①、［ユーザ定義用紙］をクリックします ②。

10 必要に応じて次の項目を設定します。

［用紙一覧］：	定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙の［名前］と［サイズ］が表示されます。
［ユーザ定義用紙名］：	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。半角 / 全角 31 文字まで入力できます。
［単位］：	ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位（［ミリメートル］または［インチ］）を選択します。
［用紙サイズ］：	ユーザ定義用紙の高さと幅（［高さ］≧［幅］）を設定します。用紙サイズは、縦長（［高さ］≧［幅］）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

11 ［登録］をクリックします。

メモ　登録できるユーザ定義用紙は、ご使用のシステム環境によって異なります。

12 設定内容を確認して、[OK] をクリックします。

用紙のセットが完了しました。
印刷時の操作については、「アプリケーションソフトから印刷する」(→P.5-2) を参照してください。

用紙のセット向きについて

レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次のように正しい向きに用紙をセットしてください。表中の➡は給紙方向を表しています。

	縦レイアウト	横レイアウト
給紙カセット（片面印刷）		
給紙カセット（自動両面印刷）		
手差しトレイ（片面印刷）		
手差しトレイ（自動両面印刷）		
手差しトレイ（手動両面印刷）		

メモ　封筒やはがきの用紙セットの方向については、「はがき、封筒をセットする場合」（➞P.3-36）を参照してください。

Windows の印刷環境を設定するには

4
CHAPTER

この章では、Windows にプリンタドライバをインストールする手順、プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷するための設定について説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

必要なシステム環境

※ Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- Windows XP Professional x64 Edition 日本語版
- Windows Server 2003 日本語版
- Windows Server 2003 x64 Editions 日本語版
- Windows Vista 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）
- Windows Server 2008 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）
- Windows 7 日本語版（32 ビット版／ 64 ビット版）

※ Windows 7/Server 2008 をお使いの場合の操作方法や説明などは、Windows Vista の記載をご参考ください。

※ 最新の OS および Service Pack の対応状況については、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）でご確認ください。

・最低動作環境

	Windows 2000/XP/Server 2003	Windows Vista
CPU	300MHz 以上	800MHz 以上
メモリ（RAM）*	128MB 以上	512MB 以上
ハードディスク空き容量	プリンタドライバのインストール画面に表示の容量	

（IBM-PC 互換機）

* お使いのコンピュータのシステム構成や使用するアプリケーションソフトにより実際に使用できるメモリ容量が異なるため、上記の環境はどんな場合でも印字を保証するものではありません。

・推奨動作環境

	Windows 2000/XP/Server 2003	Windows Vista
CPU	1.2GHz 以上	1.8GHz 以上
メモリ（RAM）	256MB 以上	1GB 以上

■ インタフェース環境

- USB 接続時
  USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- ネットワーク接続時
  ・コネクタ：10BASE-T または 100BASE-TX
  ・プロトコル：TCP/IP

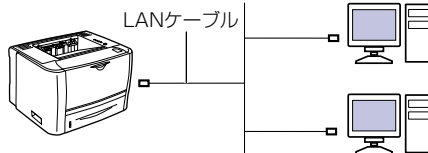
メモ　本プリンタは、双方向通信を行います。片方向通信のプリントサーバや USB ハブ・切替器等を使用しての接続は、動作確認を行っておりませんので動作保証はできません。

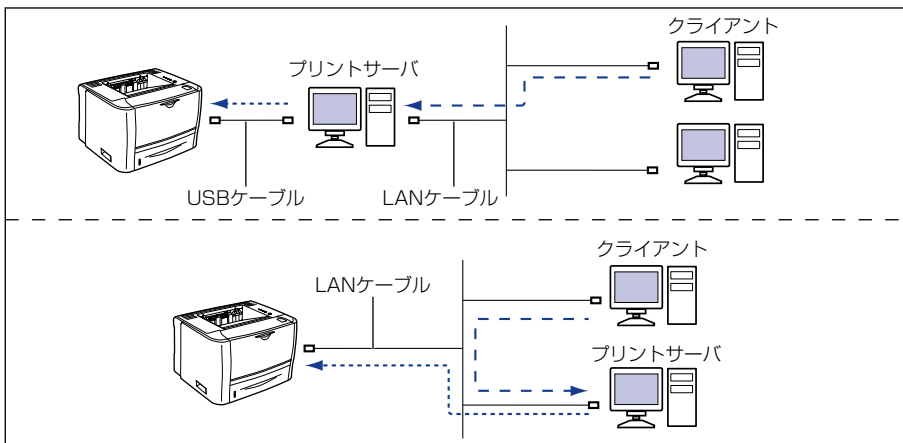
お使いの印刷環境の確認

プリンタドライバのインストール方法は、お使いの環境によって異なります。お使いの環境に応じたインストール方法を参照してください。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続している場合（→P.4-5）

プリンタとコンピュータを LAN ケーブルで接続している場合 *
（→ ネットワークガイド／本編）

* オプションのネットワークボードを装着している場合のみ

プリントサーバ環境の場合

●**お使いのコンピュータがプリントサーバの場合**

・プリンタとプリントサーバを USB ケーブルで接続している場合（→P.4-5）
・プリンタとプリントサーバをLAN ケーブルで接続している場合 *(→ ネットワークガイド／本編)

＊　オプションのネットワークボードを装着している場合のみ

●**お使いのコンピュータがクライアントの場合（→P.4-48）**

プリンタドライバをインストールする

コンピュータにプリンタドライバをインストールします。プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。ここでは、USB ケーブルで接続したコンピュータにインストールする方法を説明します。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

インストール方法には次の種類があります。

インストール方法	インストールの内容	参照ページ
CD-ROM からインストールする	プリンタに付属の CD-ROM（CD-ROM Setup）からプリンタドライバをインストールします。プリンタドライバと同時に取扱説明書をインストールすることもできます。*	P.4-6
プラグアンドプレイでインストールする	プリンタを自動的に検索して、プリンタに付属の CD-ROM からインストールに必要なファイルを選択し、プリンタドライバをインストールします。	Windows Vista：P.4-13
		Windows XP/Server 2003：P.4-19
		Windows 2000：P.4-24

* 取扱説明書のみをインストールする場合は、「取扱説明書をインストールする」（→P.5-28）を参照してください。

ハードディスクの空き容量が不足している場合は、インストールの途中でメッセージが表示されます。インストールを中止して、ディスクの空き容量を増やしたあとインストールをやりなおしてください。

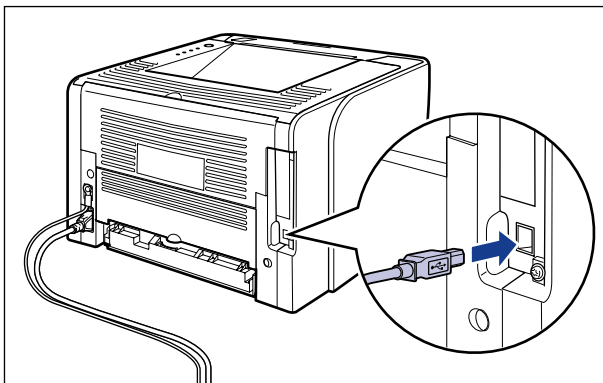
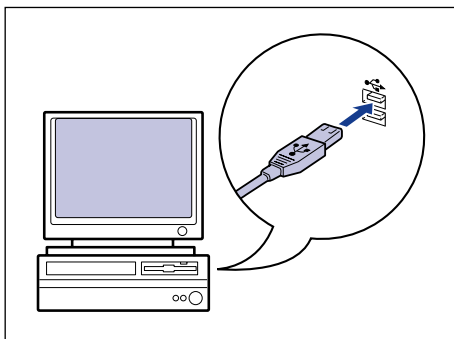
メモ

- プリントサーバ環境で、64 ビット版の Windows Vista がプリントサーバの場合、追加ドライバ（代替ドライバ）を更新（アップデート）するときは、次の操作を行います。
  1. プリントサーバで使用しているプリンタドライバをアンインストールする（→P.4-68）
  2. プリントサーバに新しいプリンタドライバをインストールする（→P.4-5）
  3. 「プリントサーバの設定」（→P.4-36）を参照して再度追加ドライバをインストールしなおす
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。USB ケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

CD-ROM からインストールする

メモ　ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていないことを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ（四角い）側を本プリンタの USB コネクタへ接続します。

3 USB ケーブルの A タイプ（平たい）側をコンピュータの USB ポートへ接続します。

4 コンピュータの電源を入れて、Windows を起動します。

5 管理者権限のユーザとしてログオンします。

重要

- プラグアンドプレイの自動セットアップによりウィザードやダイアログボックスが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、プリンタの電源を切り、本手順でインストールを行ってください。
- 権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

6 付属の CD-ROM「LBP3310 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

重要

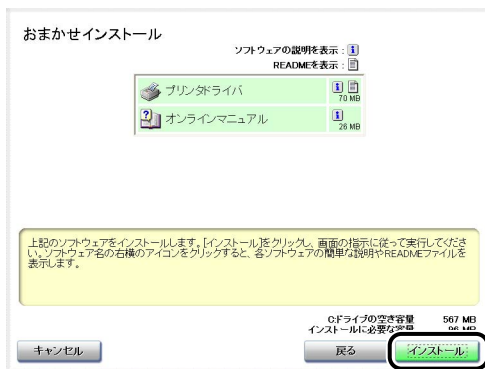
- Windows Vista をお使いの場合、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［AUTORUN.EXE の実行］をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）
  - ・Windows Vista 以外の OS の場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、［OK］をクリックします。
  - ・Windows Vista の場合は、［スタート］メニューの［検索の開始］に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの［ENTER］キーを押します。

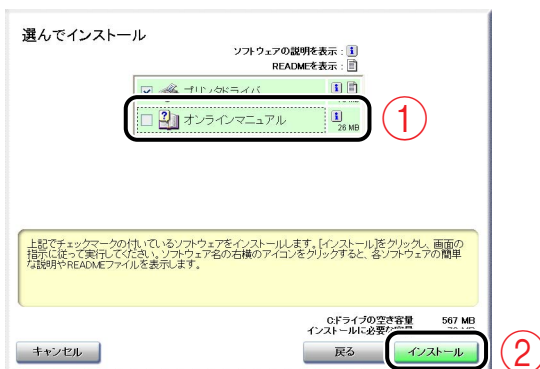
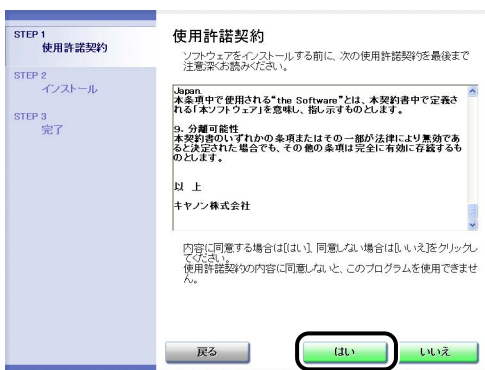
メモ

Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［許可］をクリックします。

7 ［おまかせインストール］または［選んでインストール］をクリックします。

- プリンタドライバと取扱説明書をインストールする場合：　［おまかせインストール］
- プリンタドライバのみをインストールする場合：　［選んでインストール］

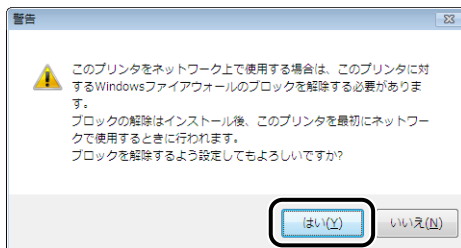
4
Windowsの印刷環境を設定するには

8 ［インストール］をクリックします。

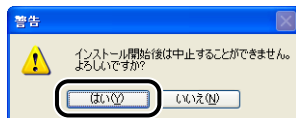
手順 7 で［選んでインストール］を選択した場合は、［オンラインマニュアル］のチェックマークを消して ①、［インストール］をクリックします ②。

9 内容を確認して、［はい］をクリックします。

10 [Readme ファイルの表示] をクリックして、Readme ファイルの内容を確認し、閉じます。

11 [次へ] をクリックします。

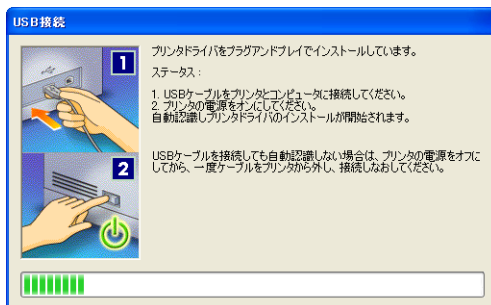
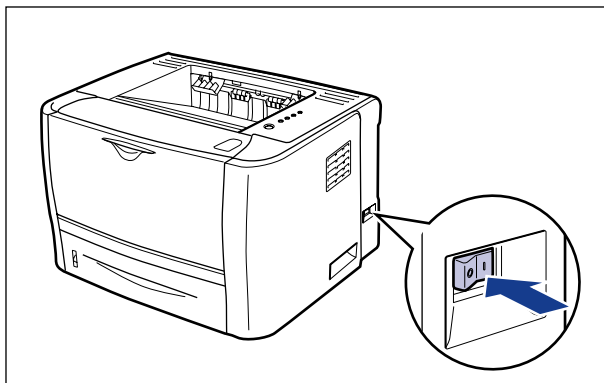
12 [USB 接続でインストール] を選択して ①、[次へ] をクリックします ②。

お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールをやりなおしてください。

Windows Vista を使用している場合は、次の画面が表示されますので、[はい] をクリックします。

[いいえ] は、プリンタとインストール中のコンピュータを LAN ケーブルで接続して使用することがない場合にのみ選択してください。

13 [はい] をクリックします。

メモ

- Windows 2000 をお使いの場合、[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示されたときは、[はい] をクリックします。
- Windows XP/Server 2003 をお使いの場合、[ハードウェアのインストール] ダイアログボックスが表示されたときは、[続行] をクリックします。
- Windows Vista をお使いの場合、[Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示されたときは、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

14 次の画面が表示されたら、プリンタの電源を入れます。

プリンタの電源スイッチの“｜”側を押して、プリンタの電源を入れます。

プリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

手順7で［おまかせインストール］を選択した場合は、取扱説明書も同時にインストールされます。

メモ

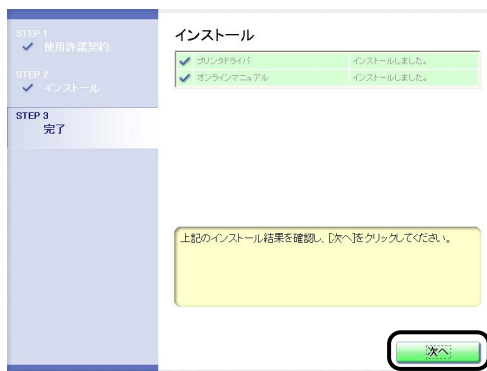
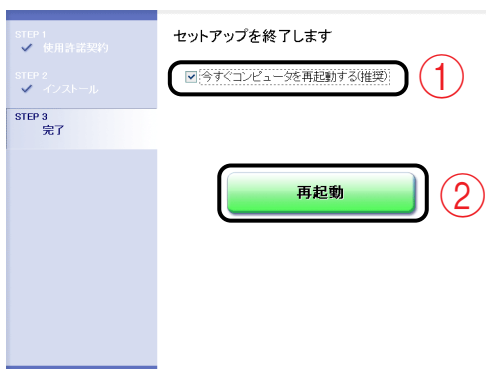
- お使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。
- USBケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル（Windowsのみ）」（➞P.8-37）を参照してください。
- Windows XP/Server 2003をお使いの場合、［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。
- Windows Vistaをお使いの場合、［Windowsセキュリティ］ダイアログボックスが表示されたときは、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

15 インストール結果を確認して、［次へ］をクリックします。

メモ

正常にインストールされなかった場合は、「インストールのトラブル（Windows のみ）」（➞P.8-37）を参照してください。

4

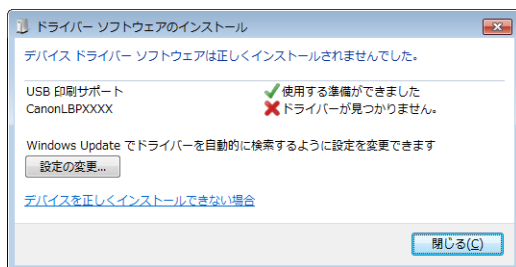
Windowsの印刷環境を設定するには

16 [今すぐコンピュータを再起動する] にチェックマークを付けて ①、[再起動] をクリックします ②。

Windows が再起動します。

プリンタドライバのインストールが完了しました。
インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。

プラグアンドプレイでインストールする

プラグアンドプレイでインストールする方法は、お使いの OS によって異なります。お使いの OS に応じたインストール方法を参照してください。

- Windows Vista の場合（➞P.4-13）
- Windows XP/Server 2003 の場合（➞P.4-19）
- Windows 2000 の場合（➞P.4-24）

Windows 7 をお使いの場合、プラグ・アンド・プレイでプリンタを検出しても Windows の制限により正しくインストールできないことがあります。

［デバイスを正しくインストールできない場合］をクリックして、Windows のヘルプを参照するか、「CD-ROM からインストールする」（➞P.4-6）でインストールしなおしてください。

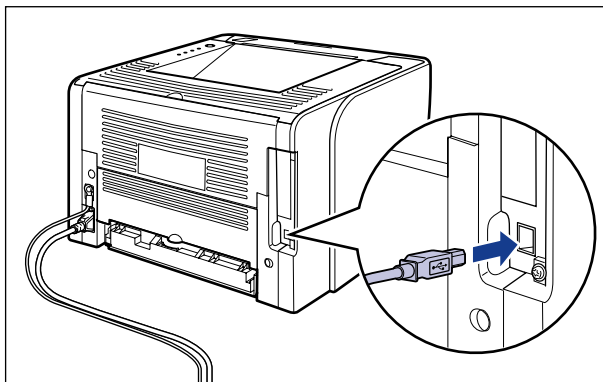
Windows Vista の場合

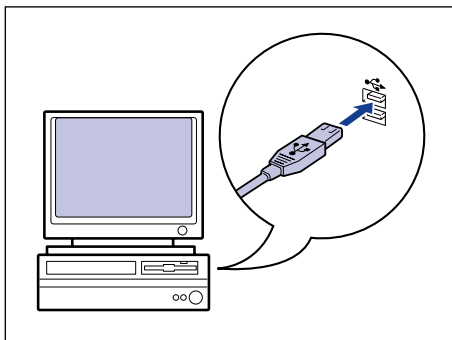
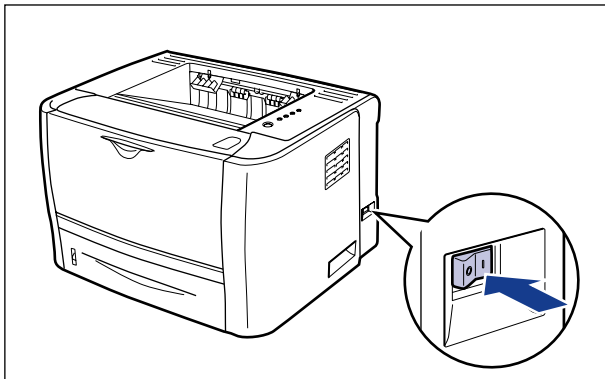
重要

本プリンタのプリンタドライバをインストールしたことがあるコンピュータの場合は、次の操作を行うと、自動的にプリンタドライバがインストールされます。

1. プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続する
2. プリンタの電源を入れる

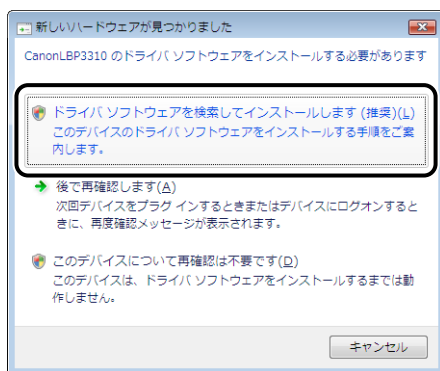
プリンタドライバをバージョンアップしたい（手動でインストールしたい）ときは、「CD-ROM からインストールする」（➞P.4-6）を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていないことを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ(四角い)側を本プリンタのUSB コネクタへ接続します。

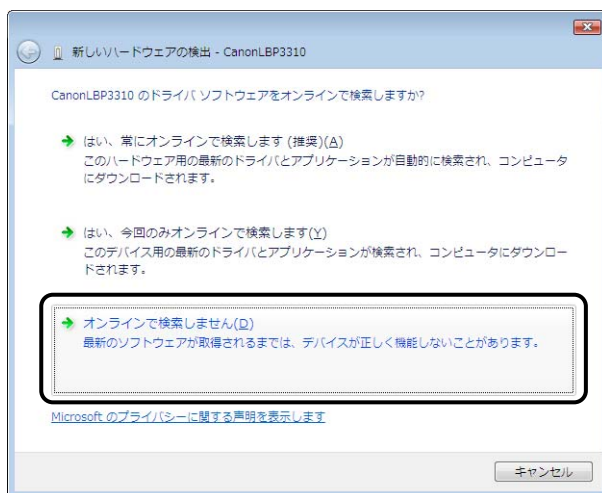
3 USB ケーブルの A タイプ(平たい)側をコンピュータのUSB ポートへ接続します。

4 プリンタの電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源を入れます。

5 コンピュータの電源を入れて、Windows Vistaを起動します。

6 管理者権限のユーザとしてログオンします。

重要　権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

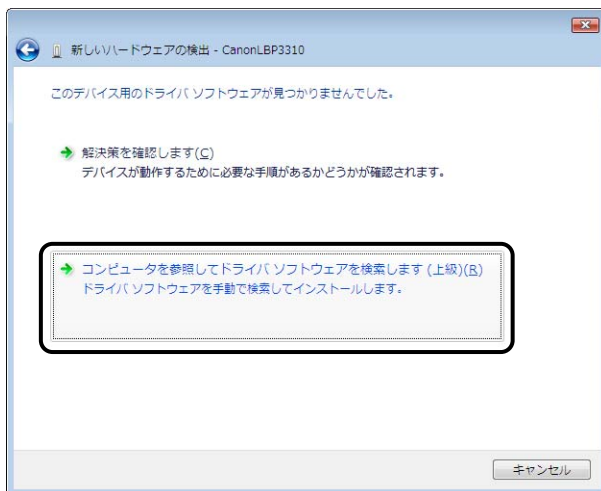
7 ［ドライバソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。

重要　本プリンタのプリンタドライバをインストールしたことがあるコンピュータの場合は、上記画面は表示されず、自動的にプリンタドライバがインストールされます。
プリンタドライバをバージョンアップしたい（手動でインストールしたい）ときは、「CD-ROMからインストールする」（➞P.4-6）を参照して、プリンタドライバをインストールしてください。

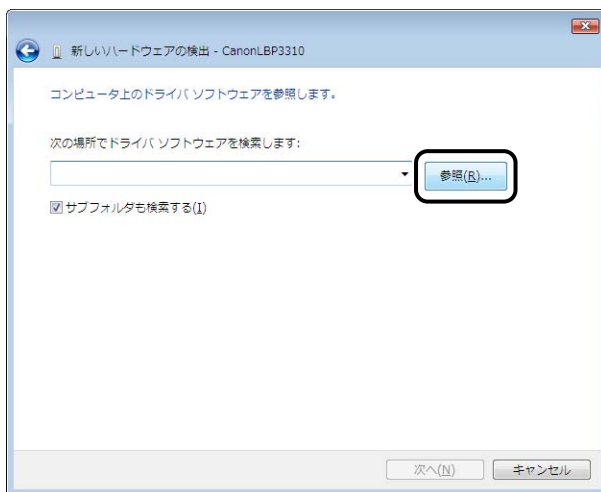
メモ　［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

8 次の画面が表示された場合は、［オンラインで検索しません］をクリックします。

9 ［ディスクはありません。他の方法を試します］をクリックします。

4

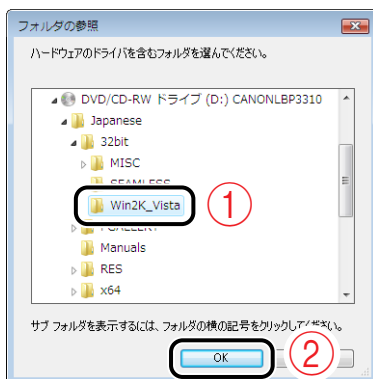
Windowsの印刷環境を設定するには

10 [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級)] をクリックします。

11 付属の CD-ROM「LBP3310 User Software」を CD-ROM ドライブにセットして、［参照］をクリックします。

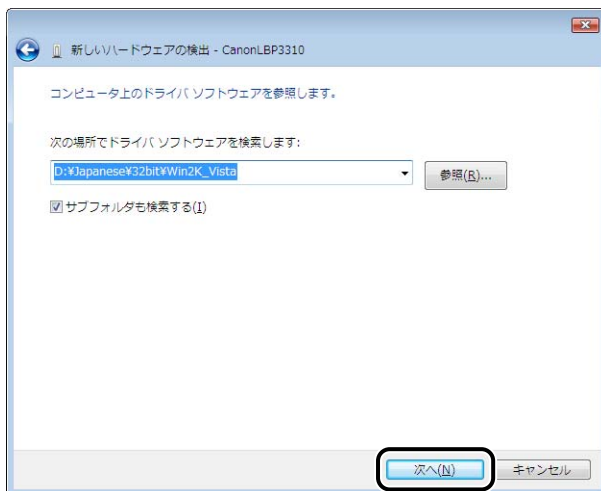
CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

12 プリンタドライバが収められているフォルダを選択します。

メモ　お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」（→P.10-9）を参照してください。

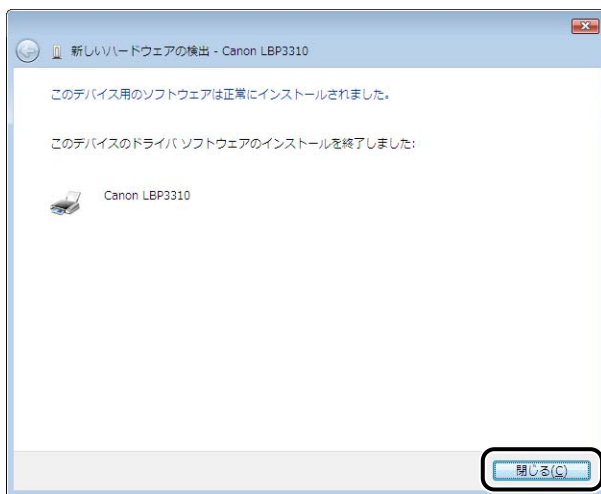
● 32 ビット版の Windows Vista をお使いの場合

付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［32bit］-［Win2K_Vista］フォルダを選択して ①、［OK］をクリックします ②。

● 64 ビット版の Windows Vista をお使いの場合

付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［x64］-［Driver］フォルダを選択して ①、［OK］をクリックします ②。

13 [次へ] をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

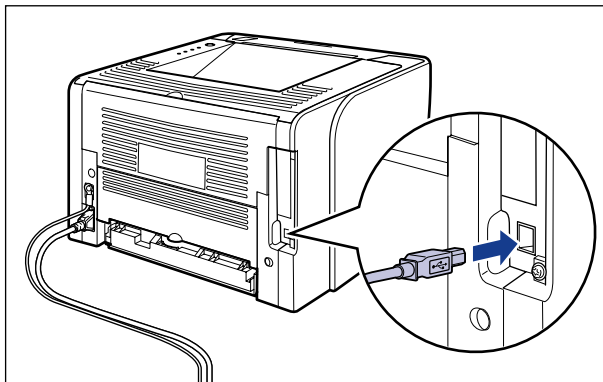
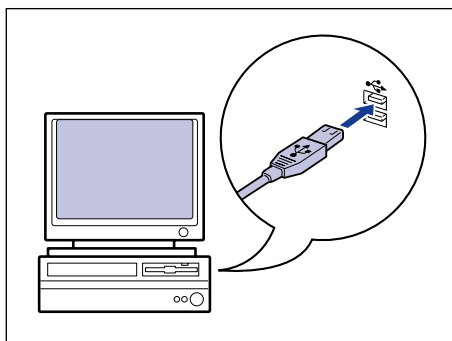
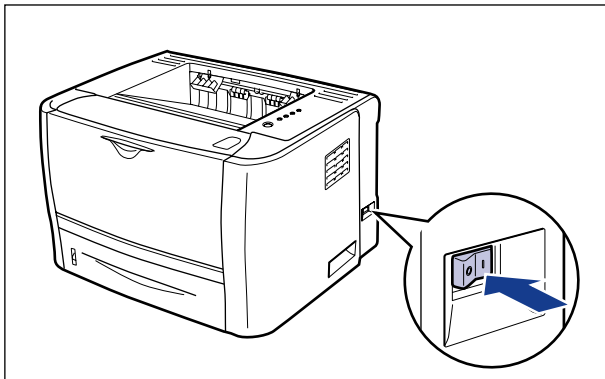
メモ　[Windows セキュリティ] ダイアログボックスが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

14 [閉じる] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。
インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。

Windows XP/Server 2003の場合

メモ　ここでは、Windows XP Professionalの画面例で手順を説明します。

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていないことを確認します。

2 USBケーブルのBタイプ(四角い)側を本プリンタのUSBコネクタへ接続します。

3 USBケーブルのAタイプ(平たい)側をコンピュータのUSBポートへ接続します。

4 プリンタの電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源を入れます。

5 コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。

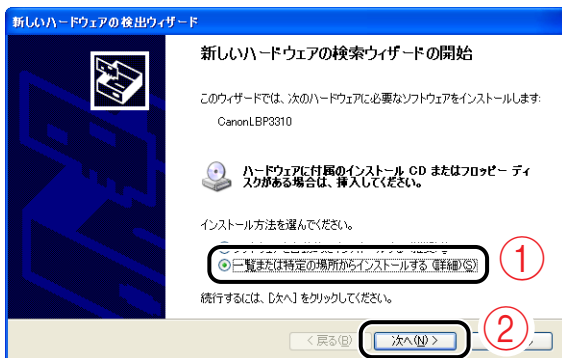
6 管理者権限のユーザとしてログオンします。

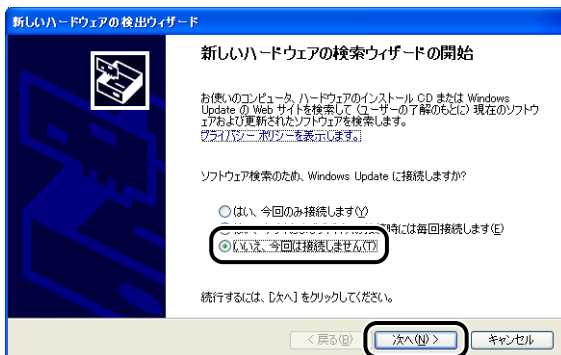
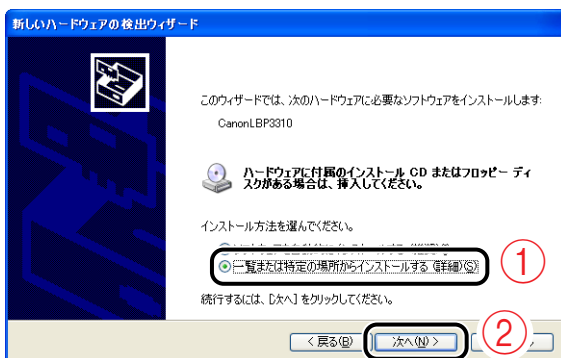
重要 権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

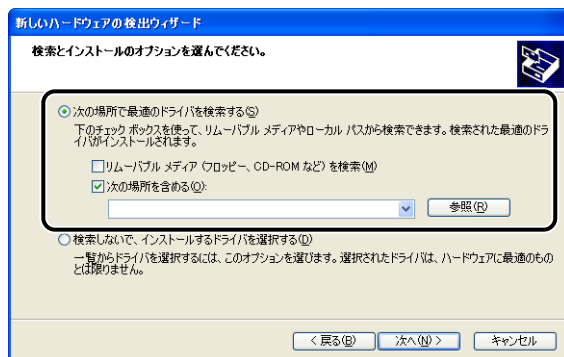
7 付属の CD-ROM「LBP3310 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

● 以下の画面が表示された場合

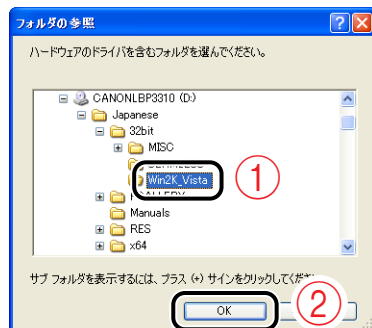
［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

● 以下の画面が表示された場合

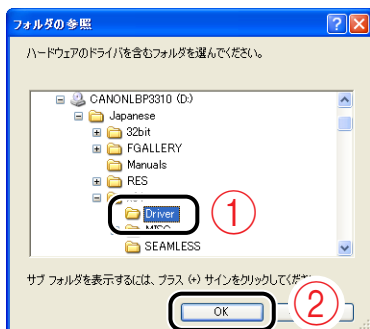
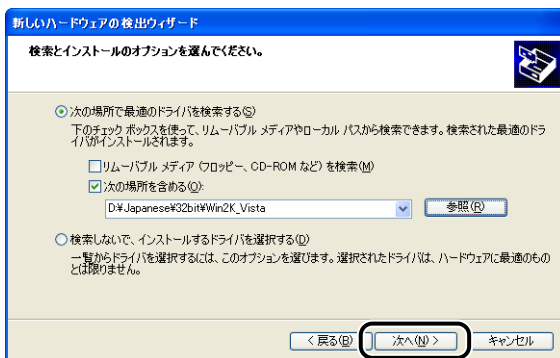
1. ［いいえ、今回は接続しません］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

2. ［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

8 次の操作を行います。

1. ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択する
2. ［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックマークを消す
3. ［次の場所を含める］にチェックマークを付ける
4. ［参照］をクリックする

9 プリンタドライバが収められているフォルダを選択します。

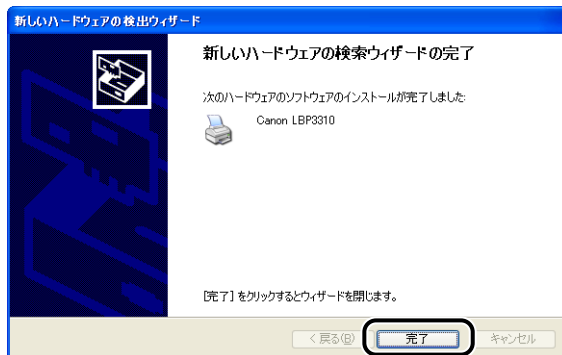
お使いのWindows が、32 ビット版と64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」（→P.10-9）を参照してください。

● 32 ビット版の Windows XP/Server 2003 をお使いの場合

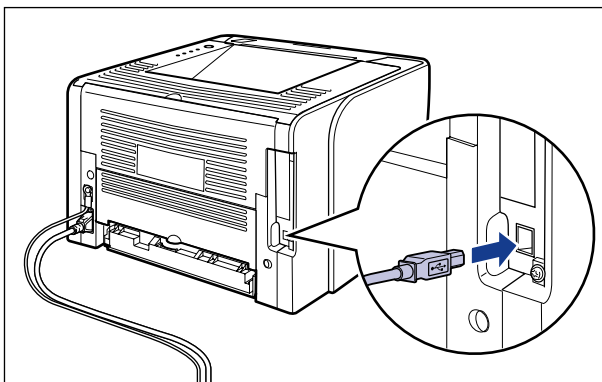
付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［32bit］-［Win2K_Vista］フォルダを選択して①、［OK］をクリックします②。

● 64 ビット版の Windows XP/Server 2003 をお使いの場合

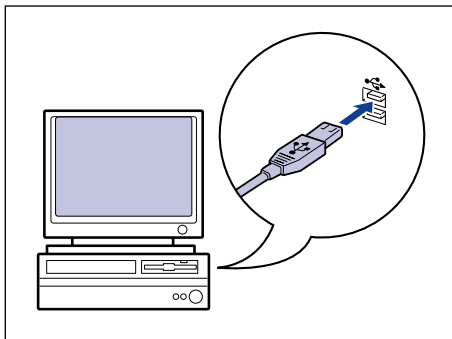
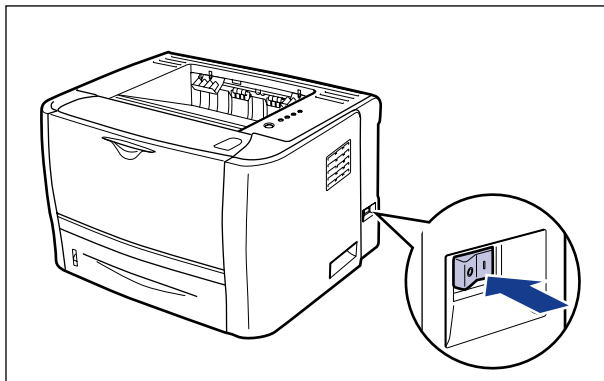
付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［x64］-［Driver］フォルダを選択して ①、［OK］をクリックします ②。

10 ［次へ］をクリックします。

インストール中の画面が表示されます。

メモ　［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

11 [完了] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。
インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。

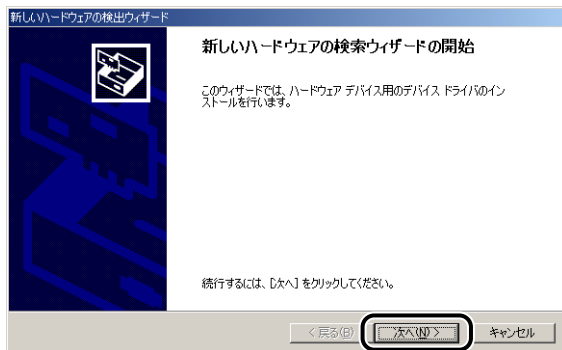
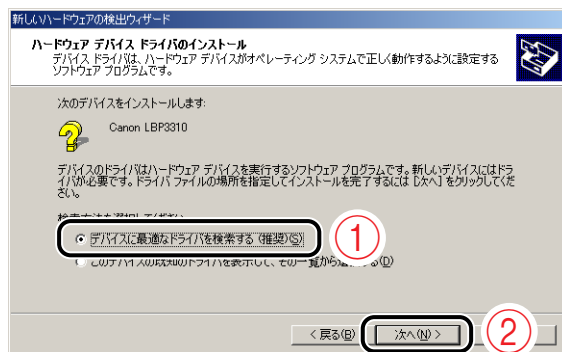
Windows 2000 の場合

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていないことを確認します。

2 USB ケーブルの B タイプ(四角い)側を本プリンタの USBコネクタへ接続します。

3 USBケーブルのAタイプ(平たい)側をコンピュータのUSBポートへ接続します。

4 プリンタの電源スイッチの"I"側を押して、プリンタの電源を入れます。

5 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000を起動します。

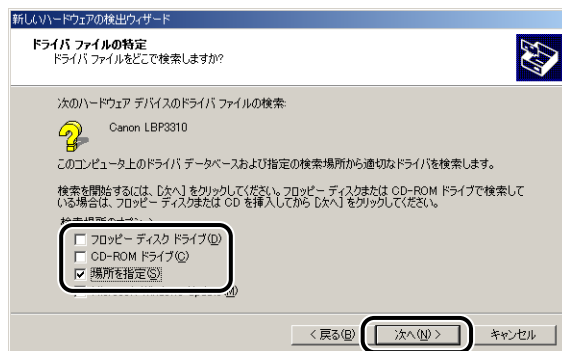
6 管理者権限のユーザとしてログオンします。

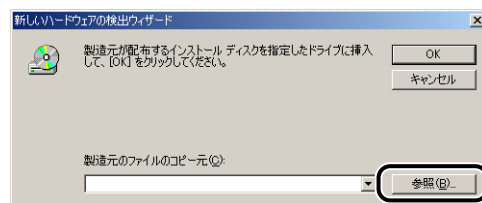
重要　権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

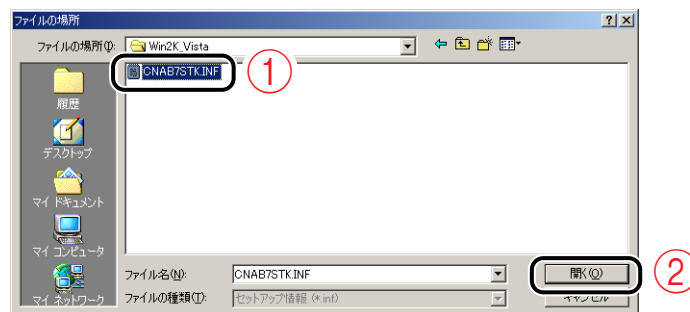
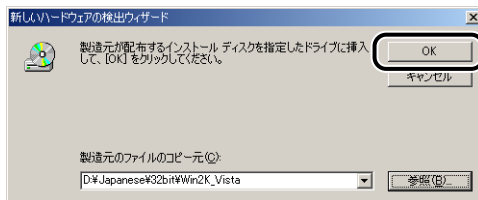
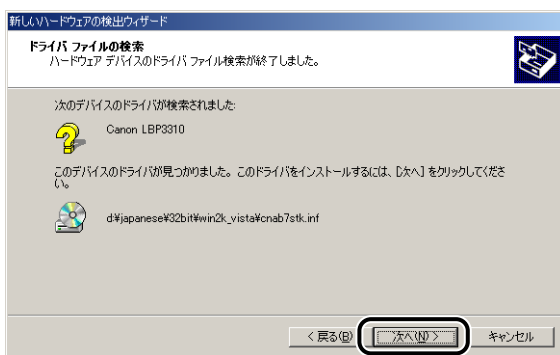
7 ［次へ］をクリックします。

8 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

メモ　デバイスの名称が［不明］と表示されることがあります。

9 次の操作を行います。

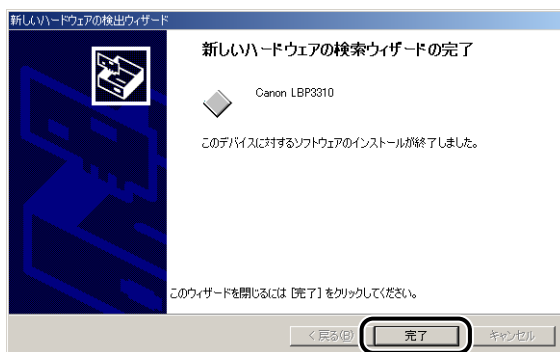
1. ［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消す
2. ［場所を指定］にチェックマークを付ける

3. ［次へ］をクリックする

10 付属のCD-ROM「LBP3310 User Software」をCD-ROMドライブにセットして、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。

11 付属のCD-ROM内の［Japanese］-［32bit］-［Win2K_Vista］フォルダを開きます。

12 ［CNAB7STK.INF］を選択して①、［開く］をクリックします②。

13 [OK] をクリックします。

14 [次へ] をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

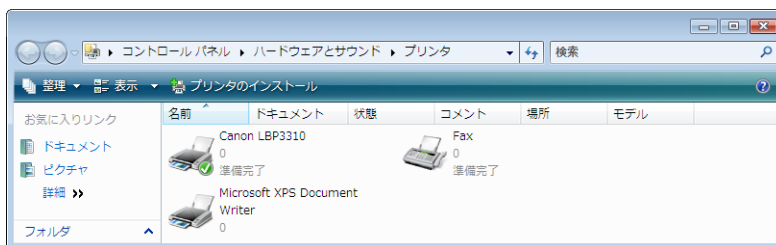
メモ　[デジタル署名が見つかりませんでした] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックします。

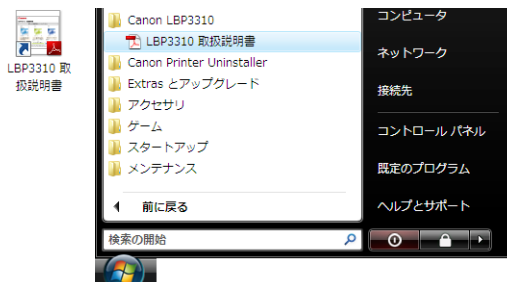
15 [完了] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。
インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。

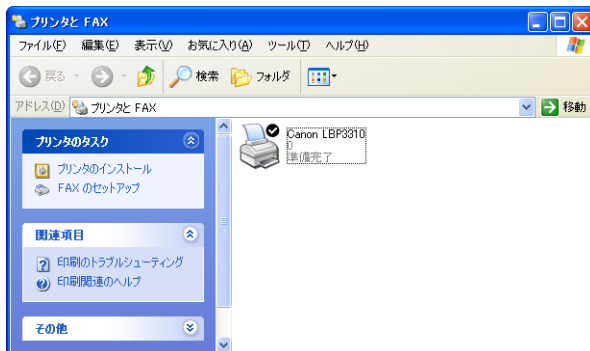
インストールが完了すると

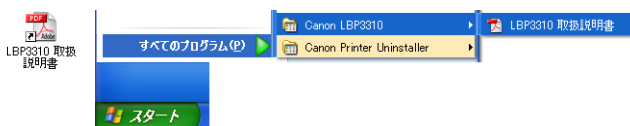
プリンタドライバのインストールが完了すると、本プリンタのアイコンやフォルダが作成されます。

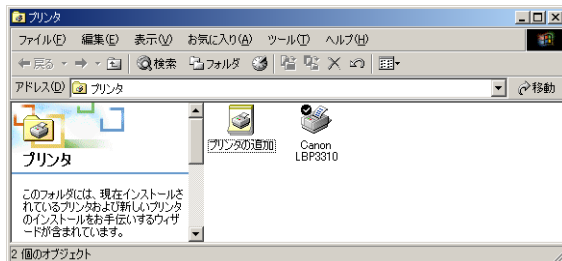
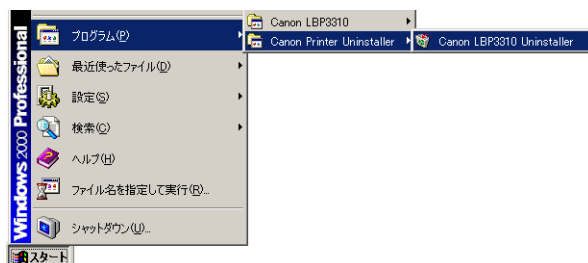
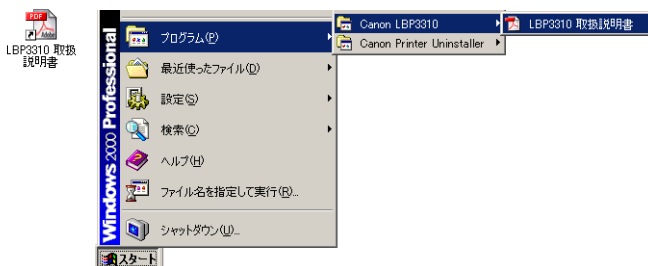
Windows Vista の場合

• ［プリンタ］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

• ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

• 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBP3310 取扱説明書］が作成され、［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon LBP3310］-［LBP3310 取扱説明書］が追加されます。

Windows XP/Server 2003 の場合

- [プリンタと FAX] フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

- [スタート] メニューの [すべてのプログラム] に [Canon Printer Uninstaller] が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに [LBP3310 取扱説明書] が作成され、[スタート] メニューの [すべてのプログラム] に [Canon LBP3310] - [LBP3310 取扱説明書] が追加されます。

Windows 2000 の場合

- ［プリンタ］フォルダに本プリンタのプリンタアイコンが表示されます。

- ［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

- 取扱説明書をインストールした場合は、デスクトップに［LBP3310 取扱説明書］が作成され、［スタート］メニューの［プログラム］に［Canon LBP3310］-［LBP3310 取扱説明書］が追加されます。

プリンタステータスプリントを印刷して動作を確認する

プリンタドライバをインストールした後は、次の手順で必ずプリンタステータスプリントを印刷して動作を確認してください。

プリンタステータスプリントには、プリンタのオプション情報や各種設定値が印刷されます。

※ Macintosh をお使いの場合、プリンタステータスプリントの印刷はできません。

メモ
- プリンタステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ここでは、Windows XP Professional をお使いの場合の画面で説明します。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional **Windows Server 2003**

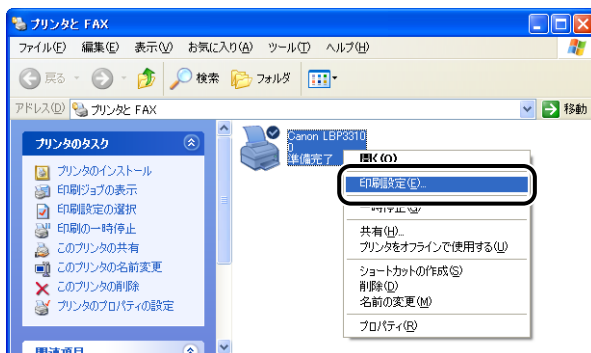
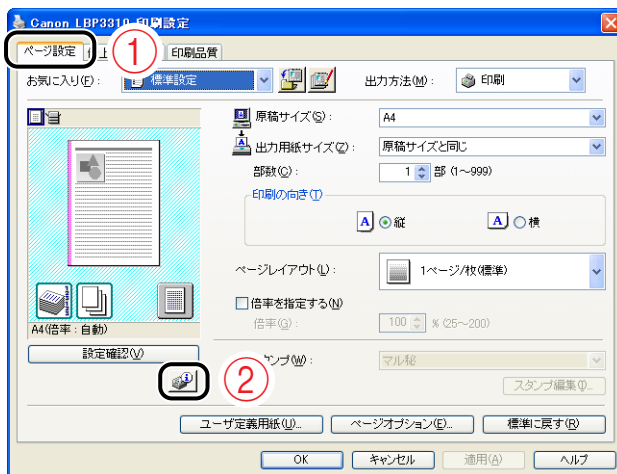
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

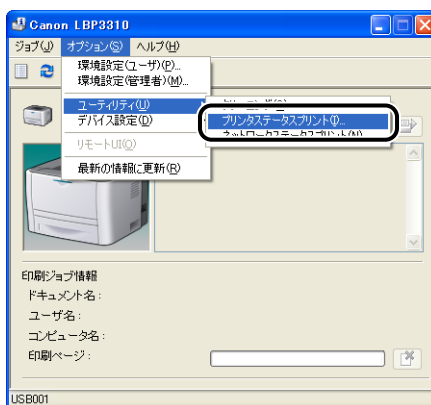
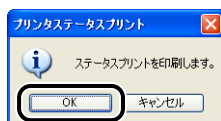
Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

3 ［ページ設定］ページを表示して①、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックします②。

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（→P.5-33）を参照してください。

4 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［プリンタステータスプリント］を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスプリントが印刷されます。

Canon　ステータスプリント

項目	値
オプション機器	
カセット2	: あり
ネットワークボード	: あり
デバイス設定	
カセットの登録用紙サイズ	
カセット1	: A4
カセット2	: A4
ジョブキャンセルキー設定	
エラー中のジョブキャンセル	: する
印刷中のジョブキャンセル	: する
プリンタ日時	: 2007/07/26 16:29
製品名	: LBP3310
コントローラバージョン	: XXXX
エンジンバージョン	: XXXX
プリンタ名	: Canon LBP3310
ポート名	: USB001
ドライババージョン	: XXXXXXXX
ランゲージモニタプログラムバージョン	: XXXXXXXX
ステータスモニタプログラムバージョン	: XXXXXXXX
USB	
ベンダーID	: XXXXX
プロダクトID	: XXXXX
シリアルナンバー	: XXXXXXXXXXXX
カウンタ	
日時	: 2007/07/26 14:29
総印刷ページ数	: 100 ページ
両面印刷枚数	: 18 枚
ジョブ数	: 69 ジョブ

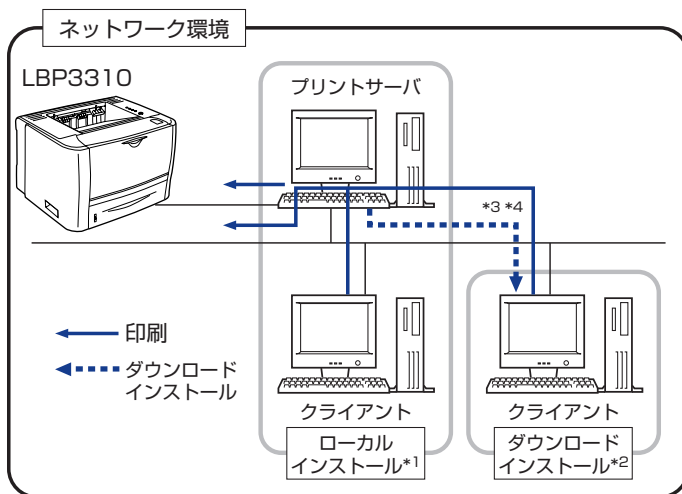
Canon および Canon ロゴはキヤノン株式会社の商標です。

重要　ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで印刷したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

メモ　プリンタステータスプリントが正しく印刷されなかった場合は、「第8章 困ったときには」を参照してください。

プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する

プリンタを共有プリンタとして設定しておくと、本プリンタに直接接続されていない他のコンピュータからも印刷できます。

本プリンタを共有としてお使いになる場合は、下記の設定を行います。ここでは、プリンタを直接接続するコンピュータを「プリントサーバ」、ネットワークを経由してプリンタを利用する他のコンピュータを「クライアント」と呼びます。

*1 ローカルインストールとは、付属の CD-ROM を使って、プリンタドライバをインストールすることです。

*2 ダウンロードインストールとは、付属の CD-ROM を使わずに、プリンタドライバをプリントサーバからクライアントへダウンロードしてインストールすることです。

*3 プリントサーバが Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合、64 ビット版の Windows XP/Server 2003/Vista へのダウンロードインストールはできません。

*4 プリントサーバが 64 ビット版 OS の場合、次の 32 ビット版 OS のクライアントへのダウンロードインストールには、Windows の制限により対応しておりません。
・ Windows 2000
・ Windows XP（サービスパック未適用および SP1）
・ Windows Server 2003（サービスパック未適用）
上記の 32 ビット版 OS のクライアントにダウンロードインストールすると、インストールに失敗して、プリンタドライバの画面などが開かないことがあります。

プリントサーバ環境を使用する場合は、次の作業を行ってください。

プリントサーバの場合
1. プリンタドライバをインストールする ・ プリンタとプリントサーバをUSBケーブルで接続している場合（→P.4-5） ・ プリンタとプリントサーバをLANケーブルで接続している場合（→ネットワークガイド／本編） 2. プリントサーバの設定を行う（→P.4-36）

クライアントの場合
プリンタドライバをインストールする（→P.4-48）

プリントサーバの設定

メモ　ここでは、Windows XP Professionalの画面例で手順を説明します。

プリンタの共有設定の準備

1 次の操作を行います。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］→［ネットワークとダイヤルアップ接続］を選択します。

Windows XP

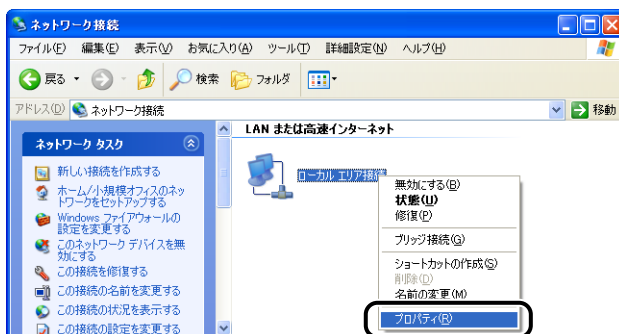
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［ネットワークとインターネット接続］→［ネットワーク接続］の順にクリックします。

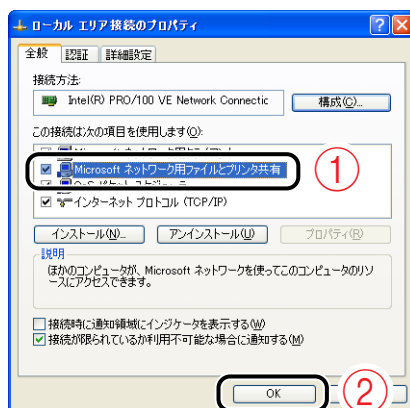
Windows Server 2003

［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［ネットワーク接続］→［ローカルエリア接続］を選択し、［プロパティ］をクリックして手順3へ進みます。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［ネットワークの状態とタスクの表示］→［ネットワーク接続の管理］の順にクリックします。

2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。

3 ［Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有］が選択されていることを確認して①、［OK］をクリックします②。

4 Windowsの印刷環境を設定するには

プリンタの共有設定

プリンタの共有設定は、お使いの OS によって異なります。お使いの OS に応じた設定方法を参照してください。

- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合（→P.4-38）
- Windows XP/Server 2003/Vista（64 ビット版）の場合（→P.4-41）

メモ　お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」（→P.10-9）を参照してください。

■Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合

メモ　Windows XP の場合、初期設定（インストール直後の設定）ではプリンタの共有設定はできません。
共有設定をお使いになる場合は、［ネットワークセットアップウィザード］を実行して、プリンタの共有を有効に設定する必要があります。
詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［共有］を選択します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［共有オプションの変更］が表示されているときは、［共有オプションの変更］をクリックします。

［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたら、［続行］をクリックします。

3 次の操作を行います。

Windows 2000

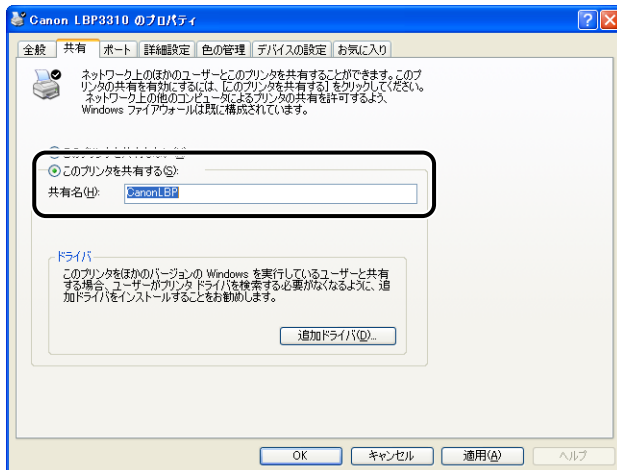
［共有する］を選択します。必要であれば共有名を変更します。

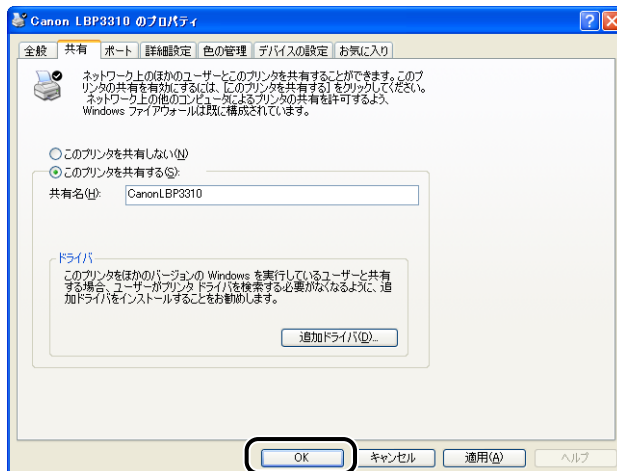
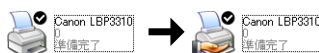
Windows XP Professional **Windows Server 2003**

［このプリンタを共有する］を選択します。必要であれば共有名を変更します。

Windows Vista

［このプリンタを共有する］にチェックマークを付けます。必要であれば共有名を変更します。

メモ

- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 ［OK］をクリックします。

プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更されます。

重要　プリンタの共有設定は、次の方法で解除します。
- Windows Vista以外の OS の場合は、［共有］ページで［このプリンタを共有しない］（Windows 2000 は［共有しない］）を選択します。
- Windows Vista の場合は、［共有］ページで［このプリンタを共有する］のチェックマークを消します。（［共有オプションの変更］が表示されているときは、［共有オプションの変更］をクリックして、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたら、［続行］をクリックします。）

■Windows XP/Server 2003/Vista（64 ビット版）の場合

メモ　Windows XP の場合、初期設定（インストール直後の設定）ではプリンタの共有設定はできません。
共有設定をお使いになる場合は、［ネットワークセットアップウィザード］を実行して、プリンタの共有を有効に設定する必要があります。
詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

---

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

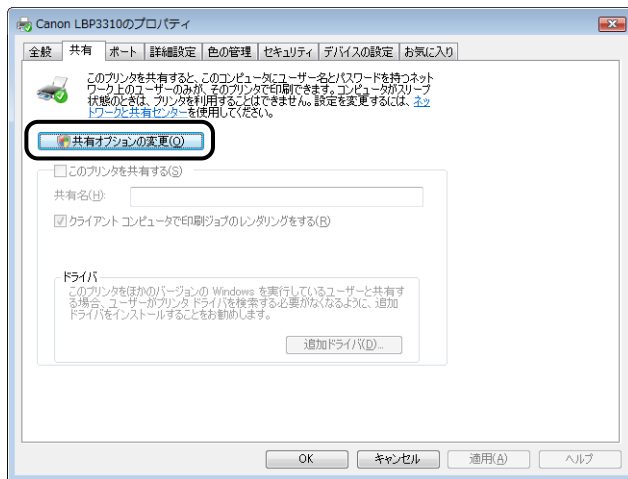
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［共有］を選択します。

メモ

Windows Vista をお使いの場合、［共有オプションの変更］が表示されているときは、［共有オプションの変更］をクリックします。

［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたら、［続行］をクリックします。

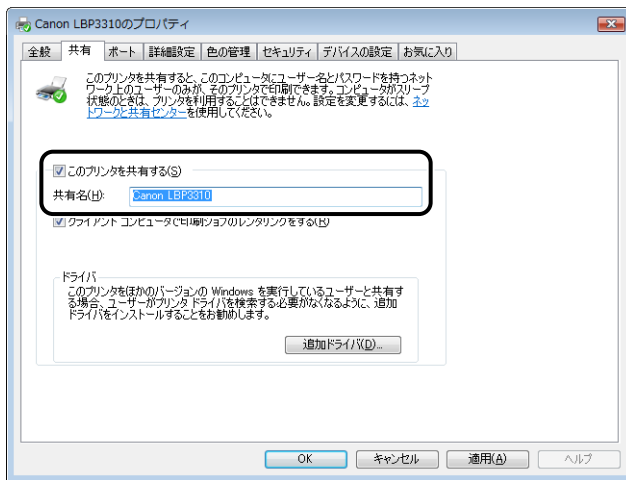
3 次の操作を行います。

Windows XP Professional　Windows Server 2003

［このプリンタを共有する］を選択します。必要であれば共有名を変更します。

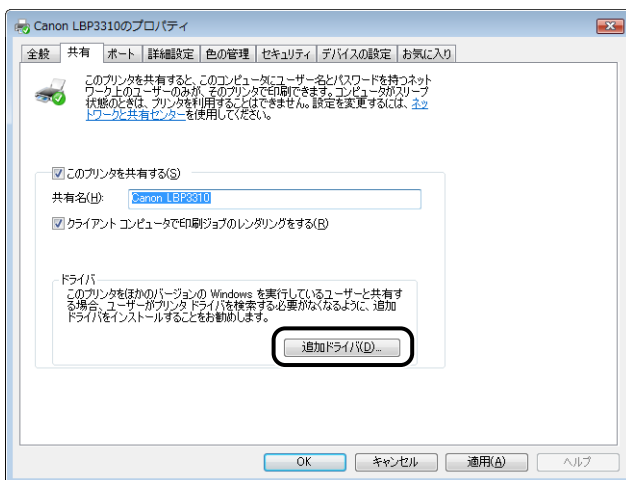
Windows Vista

［このプリンタを共有する］にチェックマークを付けます。必要であれば共有名を変更します。

メモ

- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 次の操作を行います。

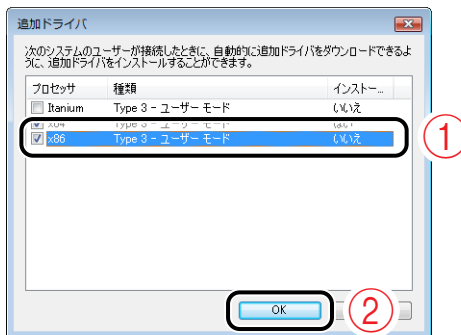
● クライアントで Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）を使用しているユーザがいる場合

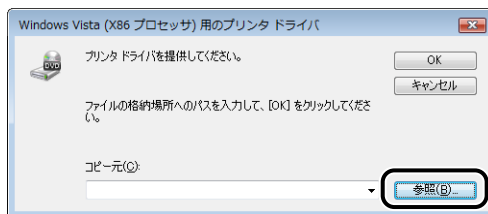
［追加ドライバ］をクリックします。

メモ　追加ドライバ（代替ドライバ）を更新（アップデート）するときは、次の操作を行います。

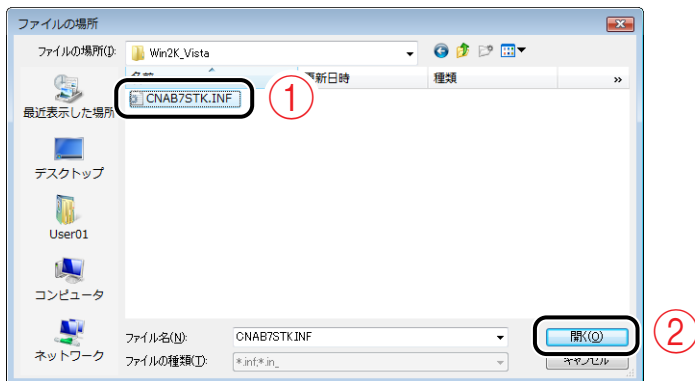
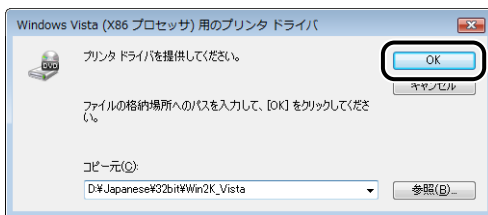
1. プリントサーバで使用しているプリンタドライバをアンインストールする（→P.4-68）
2. プリントサーバに新しいプリンタドライバをインストールする（→P.4-5）
3. 再度追加ドライバをインストールしなおす

● クライアントで Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）を使用しているユーザがいない場合

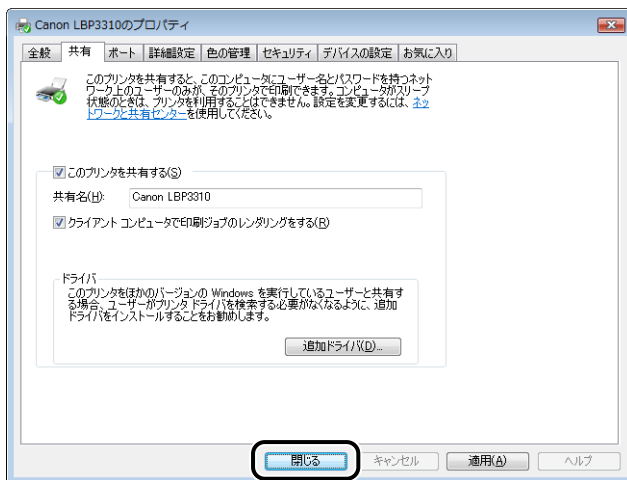
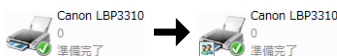
手順 10 へ進みます。

5 ［バージョン］が［Windows 2000、Windows XP および Windows Server 2003］の項目または、［プロセッサ］が［x86］の項目にチェックマークを付けて①、［OK］をクリックします②。

6 付属の CD-ROM「LBP3310 User Software」を CD-ROM ドライブにセットして、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

7 付属の CD-ROM 内の［Japanese］-［32bit］-［Win2K_Vista］フォルダを開きます。

8 ［CNAB7STK.INF］を選択して①、［開く］をクリックします②。

9 ［OK］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。
コピーの完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。

メモ　［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］をクリックします。

10 ［閉じる］または［OK］をクリックします。

プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更されます。

重要　プリンタの共有設定を解除するには、［共有］ページで［このプリンタを共有する］のチェックマークを消します。（［共有オプションの変更］が表示されているときは、［共有オプションの変更］をクリックして、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたら、［続行］をクリックします。）

クライアントへのインストール

クライアントへのプリンタドライバのインストール方法には、ローカルインストールとダウンロードインストールがあります。

■ **ローカルインストール（→P.4-48）**
付属の CD-ROM を使って、プリンタドライバをインストールします。

■ **ダウンロードインストール**
付属の CD-ROM を使わずに、プリントサーバからプリンタドライバをダウンロードしてインストールします。ダウンロードインストールには次の 2 種類があります。

- ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダからインストールする（→P.4-55）
- ［エクスプローラ］からインストールする（→P.4-66）

メモ

- プリントサーバが Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32ビット版）の場合、64ビット版のWindows XP/Server 2003/Vistaへのダウンロードインストールはできません。
- プリントサーバが64ビット版OSの場合、次の32ビット版OSのクライアントへのダウンロードインストールには、Windowsの制限により対応しておりません。
  ・Windows 2000
  ・Windows XP（サービスパック未適用および SP1）
  ・Windows Server 2003（サービスパック未適用）
  上記の 32 ビット版 OS のクライアントにダウンロードインストールすると、インストールに失敗して、プリンタドライバの画面などが開かないことがあります。
- ここでは、Windows XP Professional の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

1 **コンピュータの電源を入れて、Windows を起動します。**

2 **管理者権限のユーザとしてログオンします。**

重要　権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

3 **付属の CD-ROM「LBP3310 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

重要

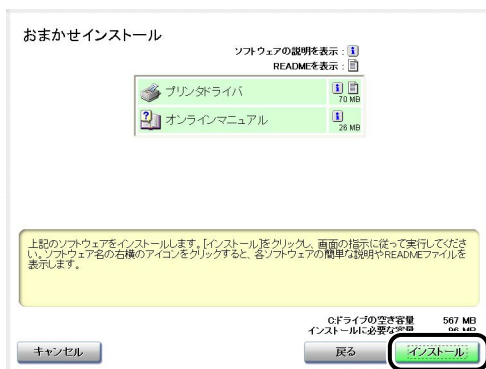
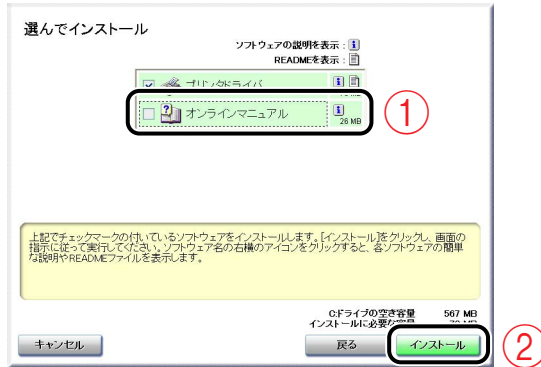
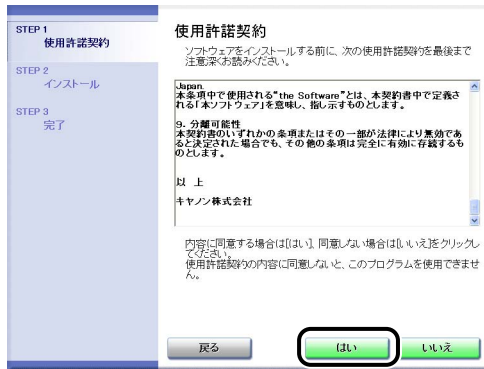
- Windows Vista をお使いの場合、［自動再生］ダイアログボックスが表示されたときは、［AUTORUN.EXE の実行］をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

・Windows Vista以外のOSの場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、[OK] をクリックします。
・Windows Vistaの場合は、[スタート]メニューの[検索の開始]に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの [ENTER] キーを押します。

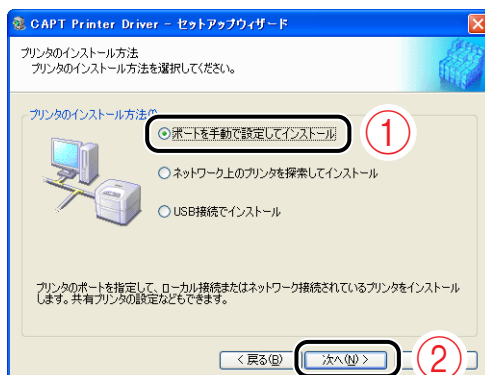
メモ　Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[許可] をクリックします。

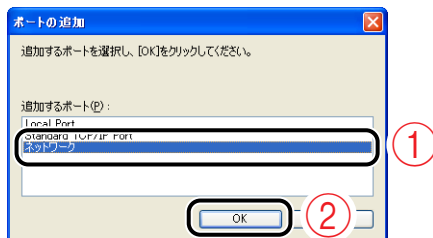
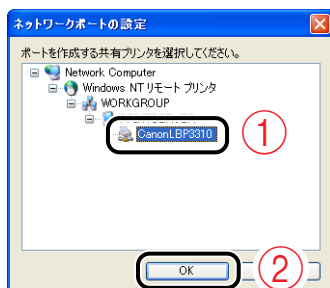
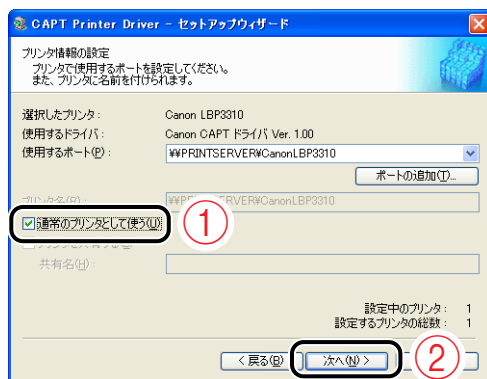
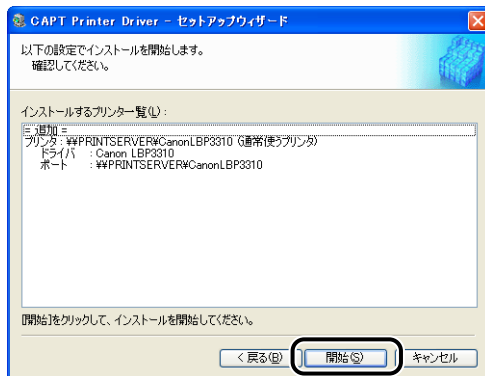
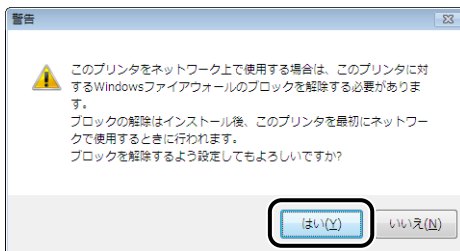
4 [おまかせインストール] または [選んでインストール] をクリックします。

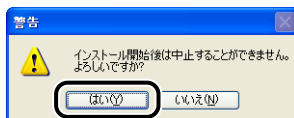
• プリンタドライバと取扱説明書をインストールする場合：　[おまかせインストール]
• プリンタドライバのみをインストールする場合：　[選んでインストール]

5 [インストール] をクリックします。

手順４で［選んでインストール］を選択した場合は、［オンラインマニュアル］のチェックマークを消して ①、［インストール］をクリックします ②。

6 内容を確認して、［はい］をクリックします。

7 ［Readme ファイルの表示］をクリックして、Readme ファイルの内容を確認し、閉じます。

8 ［次へ］をクリックします。

9 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

10 ［ポートの追加］をクリックします。

11 ［ネットワーク］を選択して①、［OK］をクリックします②。

12 プリントサーバの中の共有されたプリンタのアイコンを選択して①、［OK］をクリックします②。

13 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択して①、［次へ］をクリックします②。

14 ［開始］をクリックします。

Windows Vista を使用している場合は、次の画面が表示されますので、［はい］をクリックします。

［いいえ］は、プリンタとインストール中のコンピュータを LAN ケーブルで接続して使用することがない場合にのみ選択してください。

15 ［はい］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

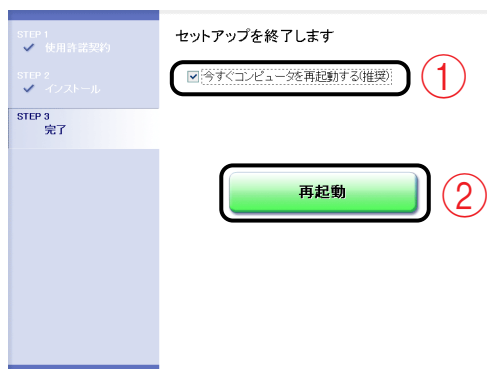
Windows Vista の場合は、［プリンタ］ダイアログボックスが表示されますので、［ドライバのインストール］をクリックします。

手順 4 で［おまかせインストール］を選択した場合は、取扱説明書も同時にインストールされます。

メモ　お使いの環境によっては、インストールに時間がかかることがあります。

16 インストール結果を確認して、［次へ］をクリックします。

メモ　正常にインストールされなかった場合は、「インストールのトラブル（Windows のみ）」（→P.8-37）を参照してください。

17 ［今すぐコンピュータを再起動する］にチェックマークを付けて ①、［再起動］をクリックします ②。

Windows が再起動します。

プリンタドライバのインストールが完了しました。
インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。

[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダからインストールする

[プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダからインストールする方法は、お使いの OS によって異なります。お使いの OS に応じたインストール方法を参照してください。

- Windows Vista の場合（→P.4-55）
- Windows XP/Server 2003 の場合（→P.4-59）
- Windows 2000 の場合（→P.4-63）

■Windows Vista の場合

1 コンピュータの電源を入れて、Windows Vista を起動します。

2 Windows Vista にログオンします。

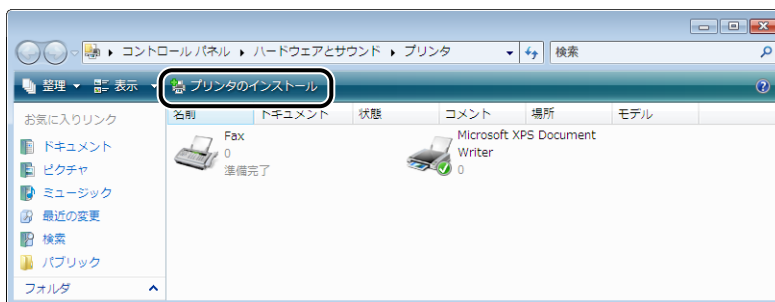
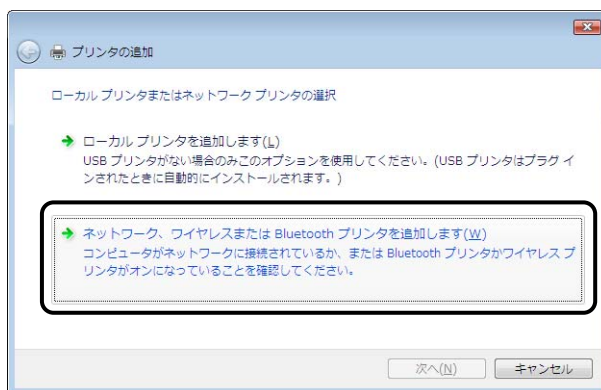
メモ　管理者権限がないユーザでも、プリンタドライバをインストールすることができます。ただし、管理者権限がないユーザとしてログオンした場合は、インストールの途中で管理者権限のユーザのパスワードが必要となります。

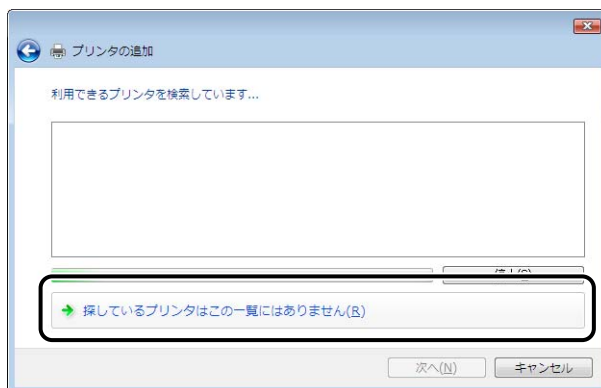
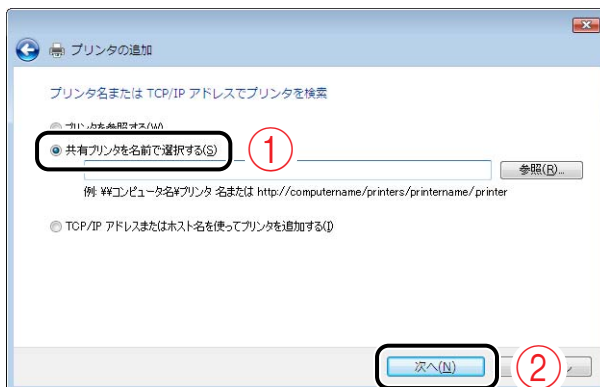
3 [プリンタ] フォルダを表示します。

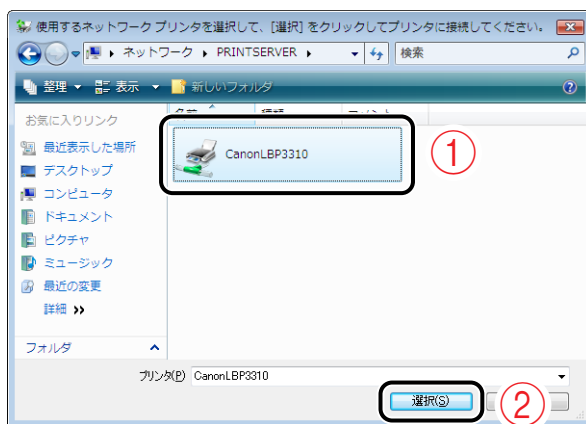
[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択して、[プリンタ] をクリックします。

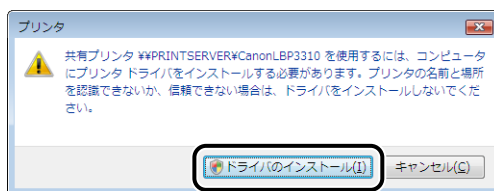
4 [プリンタのインストール] をクリックします。

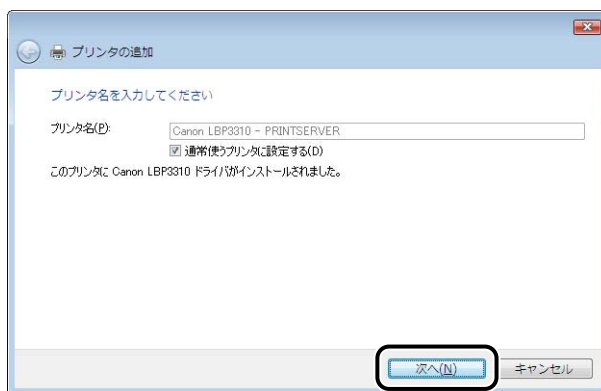
4

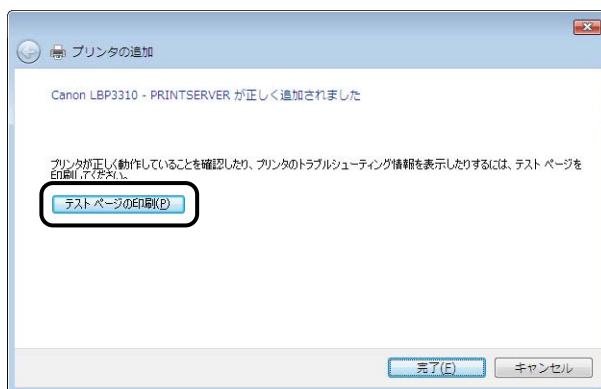
Windowsの印刷環境を設定するには

5 ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックします。

ネットワーク上のプリンタの検索が自動的に開始されます。

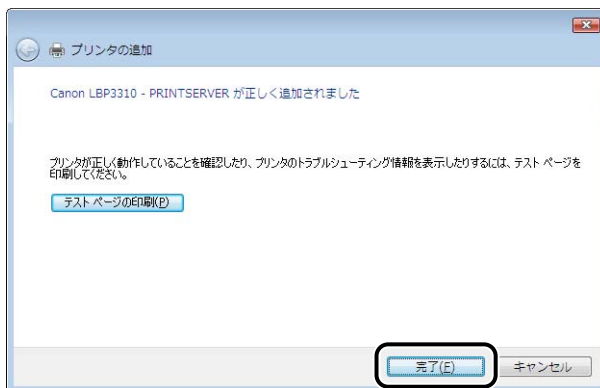
6 ［探しているプリンタはこの一覧にはありません］をクリックします。

7 [共有プリンタを名前で選択する]を選択して①、[次へ]をクリックします②。

8 プリントサーバ内のプリンタを選択して①、[選択]をクリックします②。

メモ

「¥」を使用して直接ネットワークのパスを指定する場合は、「¥¥ プリントサーバ名（プリントサーバのコンピュータ名）¥ プリンタ名」で指定します。

9 [ドライバのインストール］をクリックします。

メモ　［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。

10 ［次へ］をクリックします。

メモ　すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、［通常使うプリンタに設定する］が表示されます。通常使うプリンタに設定する場合には、［通常使うプリンタに設定する］にチェックマークを付けます。

11 テストページを印刷する場合は、［テストページの印刷］をクリックします。

確認のダイアログボックスが表示されます。［閉じる］をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

12 ［完了］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

■Windows XP/Server 2003 の場合

1 コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。

2 Windows XP/Server 2003 にログオンします。

メモ　管理者権限がないユーザでも、プリンタドライバをインストールすることができます。

3 ［プリンタと FAX］フォルダを表示します。

Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

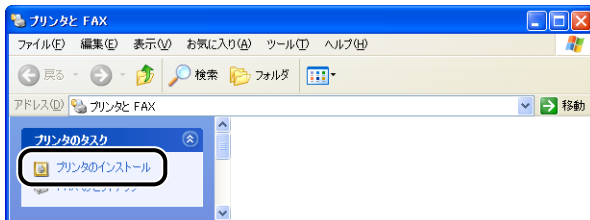
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

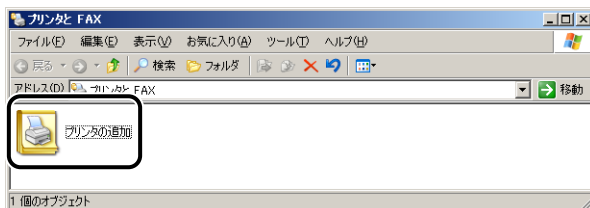
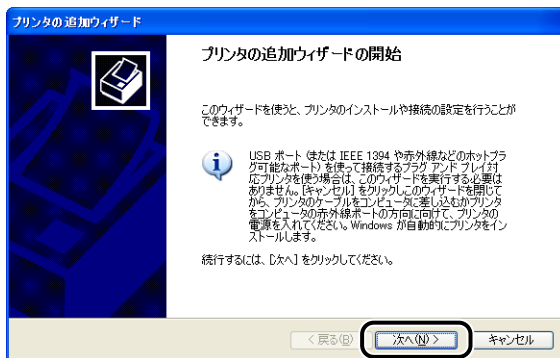
Windows XP Home Edition

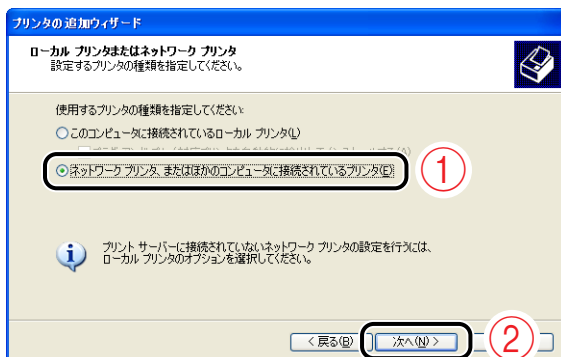
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

4 ［プリンタの追加ウィザード］を表示します。

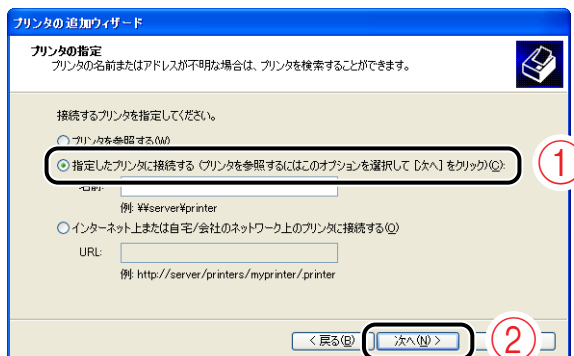
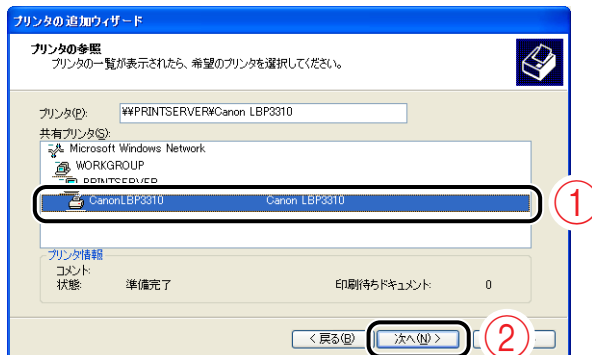
Windows XP

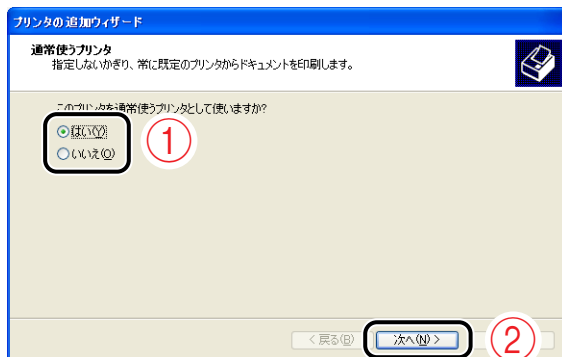
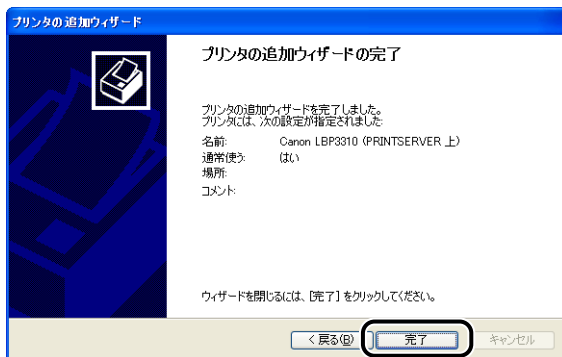
［プリンタのインストール］をクリックします。

Windows Server 2003

［プリンタの追加］をダブルクリックします。

5 ［次へ］をクリックします。

6 ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

7 ［指定したプリンタに接続する（プリンタを参照するにはこのオプションを選択して［次へ］をクリック)］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

8 プリントサーバ内のプリンタを選択して ①、[次へ]をクリックします ②。

メモ

- [プリンタの接続] ダイアログボックスが表示された場合は、メッセージにしたがって操作してください。
- 「¥」を使用して直接ネットワークのパスを指定する場合は、「¥¥ プリントサーバ名（プリントサーバのコンピュータ名）¥ プリンタ名」で指定します。

9 次の画面が表示された場合は、通常使うプリンタに設定するかどうかを選択して ①、[次へ] をクリックします ②。

10 [完了] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

■Windows 2000 の場合

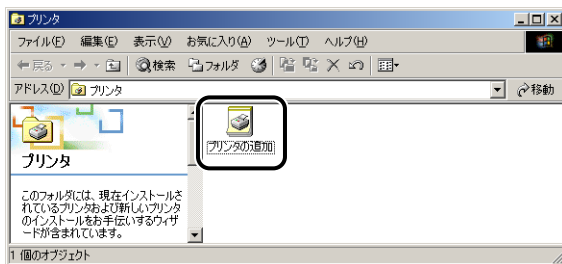
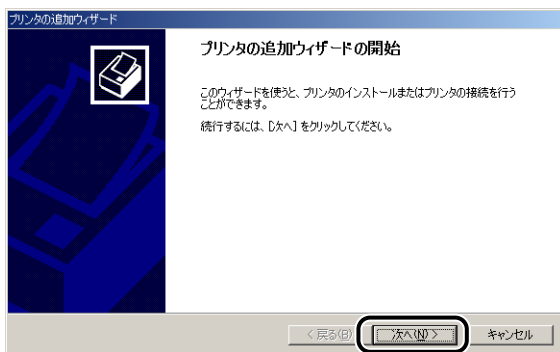
1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

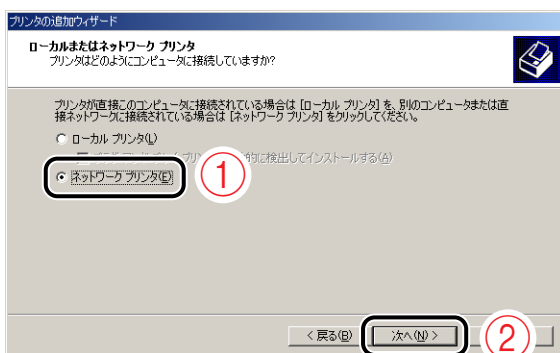
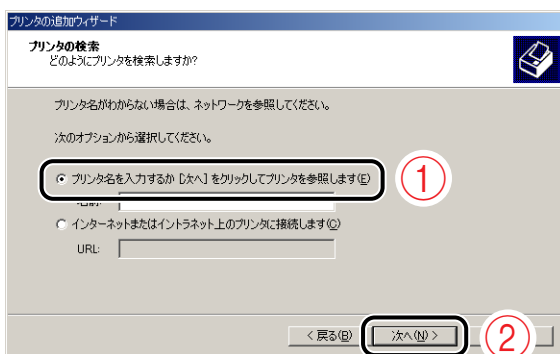
2 Windows 2000 にログオンします。

メモ　管理者権限がないユーザでも、プリンタドライバをインストールすることができます。

3 [プリンタ] フォルダを表示します。

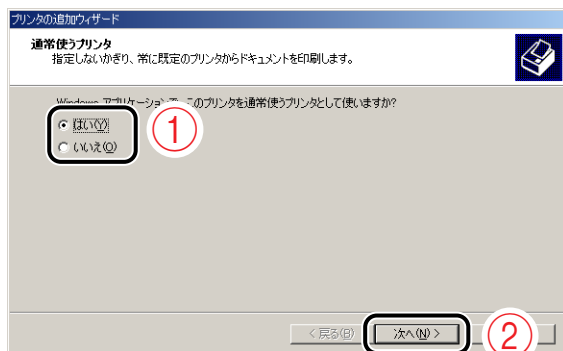
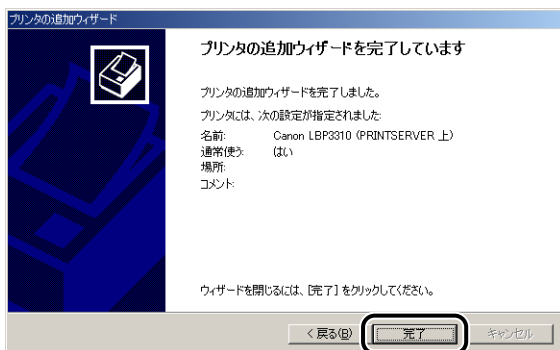
[スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。

4 [プリンタの追加] をダブルクリックします。

5 ［次へ］をクリックします。

6 ［ネットワークプリンタ］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

7 ［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］を選択して ①、［次へ］をクリックします ②。

8 プリントサーバ内のプリンタを選択して①、[次へ]をクリックします②。

メモ

「¥」を使用して直接ネットワークのパスを指定する場合は、「¥¥ プリントサーバ名（プリントサーバのコンピュータ名）¥ プリンタ名」で指定します。

9 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択して①、[次へ] をクリックします②。

10 ［完了］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

［エクスプローラ］からインストールする

1 コンピュータの電源を入れて、Windows を起動します。

2 Windows にログオンします。

メモ

管理者権限がないユーザでも、プリンタドライバをインストールすることができます。ただし、Windows Vista の場合に管理者権限がないユーザとしてログオンすると、インストールの途中で管理者権限のユーザのパスワードが必要となります。

3 ［エクスプローラ］を表示します。

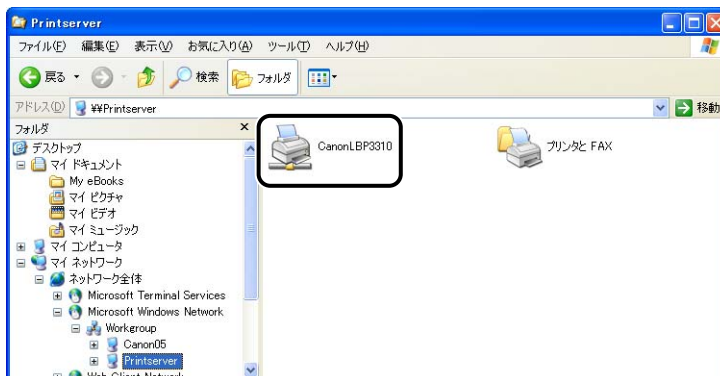
Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］を選択します。

Windows XP **Windows Server 2003** **Windows Vista**

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［エクスプローラ］を選択します。

4 ［マイ　ネットワーク］（Windows Vista の場合は［ネットワーク］）からプリントサーバを選択して、本プリンタのアイコンをダブルクリックします。

または、本プリンタのアイコンを［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダにドラッグ・アンド・ドロップします。

5 画面の指示に従って操作してください。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

4

Windowsの印刷環境を設定するには

プリンタドライバのアンインストール

プリンタドライバを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。プリンタドライバをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

重要

- 管理者権限がないユーザはアンインストールできません。必ず、管理者権限のユーザとしてログオンしてからアンインストールを行ってください。
  権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。
- Windows 7 をお使いの場合、プリンタドライバをアンインストールするときは、必ずUSB ケーブルを抜いてから、プリンタドライバをアンインストールしてください。
- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32ビット版）の場合、プリンタドライバをアンインストールすると、インストールした取扱説明書もアンインストールされます。64 ビット版の Windows XP/Server 2003/Vista の場合、プリンタドライバをアンインストールしても、インストールした取扱説明書はアンインストールされません。取扱説明書のアンインストールについては、「取扱説明書をアンインストールする」（→P.5-31）を参照してください。

  * お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」（→P.10-9）を参照してください。

1 次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。

- ヘルプファイル
- プリンタステータスウィンドウ
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションソフト

2 次の操作を行います。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBP3310 Uninstaller］を選択します。

Windows XP **Windows Server 2003** **Windows Vista**

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］→［Canon Printer Uninstaller］→［Canon LBP3310 Uninstaller］を選択します。

メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［許可］をクリックします。

3 次の操作を行います。

● **［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストに本プリンタが表示されている場合**

本プリンタを選択して ①、［削除］をクリックします ②。

● **［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストに本プリンタが表示されていない場合**

［削除］をクリックします。

4 ［はい］をクリックします。

4

Windowsの印刷環境を設定するには

プリンタ共有している場合は、次の画面が表示されます。メッセージの内容を確認して、アンインストールする場合は［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［終了］をクリックします。

6 ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタとFAX］の順にクリックします。

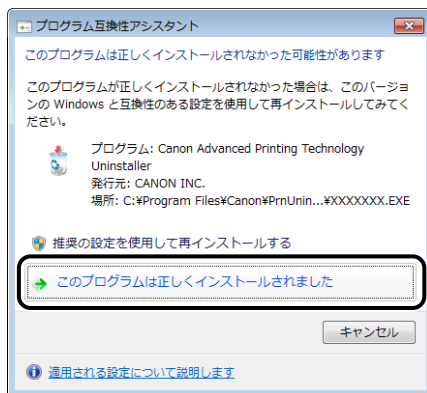
Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

7 ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダに本プリンタのアイコンがないことを確認します。

重要　本プリンタのアイコンが表示されている場合は、必ずアイコンを削除してください。アイコンを削除しないと、プリンタドライバを再度インストールすることができません。
本プリンタのアイコンを削除する場合は、アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［削除］を選択します。

8 Windows を再起動します。

重要　本製品のドライバをアンインストールしたあとで、コンピュータに［プログラム互換性アシスタント］ダイアログボックスが表示される場合があります。

［プログラム互換性アシスタント］ダイアログボックスが表示された場合でも、ドライバのアンインストールは正常に完了していますので、［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。

メモ　アンインストールができなかった場合は、「アンインストールできなかったときは」（➞P.8-42）を参照してください。

Windows でのプリンタの基本的な使いかた

5
CHAPTER

この章では、Windows でのプリンタの基本的な使いかたについて説明しています。
Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

アプリケーションソフトから印刷する

プリンタドライバをインストールしたら、印刷してみましょう。

ここでは、Adobe Reader 7.0 を例に、アプリケーションソフトから印刷する手順を簡単に説明します。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

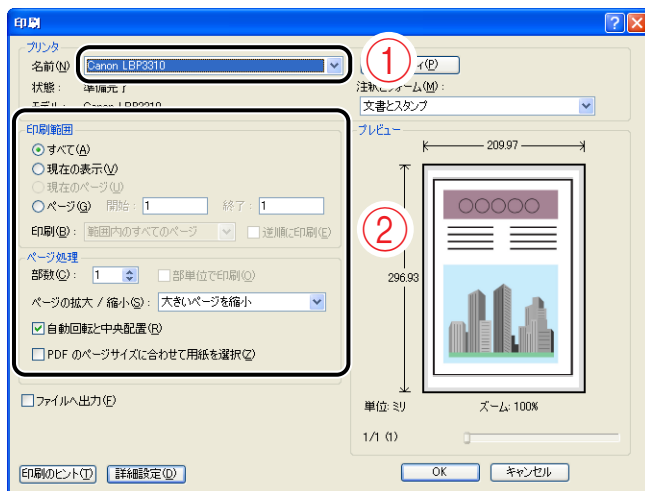
メモ
- プリンタドライバのインストール方法については、「プリンタドライバをインストールする」（→P.4-5）を参照してください。
- お使いのアプリケーションソフトによって印刷時の操作が異なる場合があります。

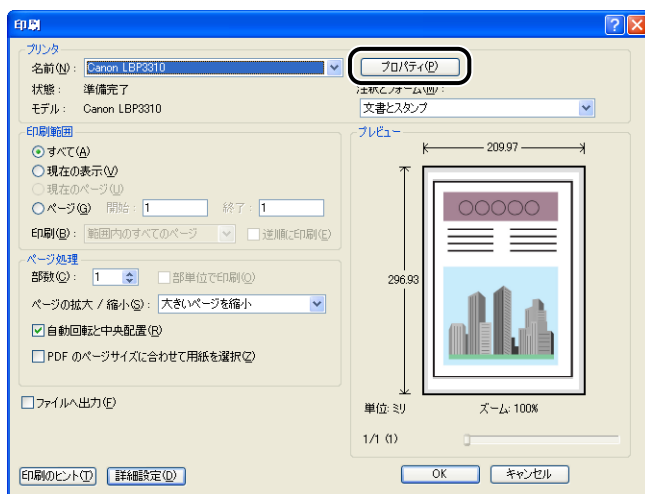
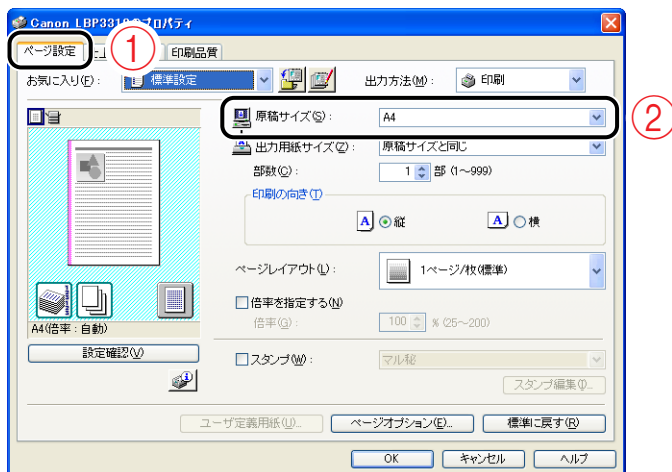
1 給紙カセットまたは手差しトレイに用紙をセットします。

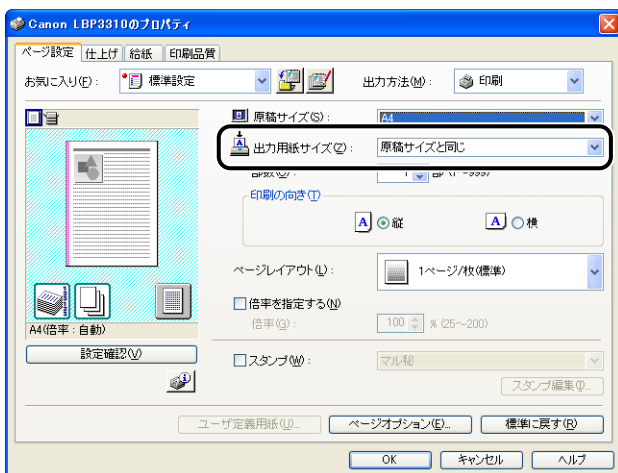
メモ
用紙のセット方法については、「第 3 章 用紙のセットと排紙先について」を参照してください。

2 印刷する PDF ファイルを Adobe Reader で開きます。

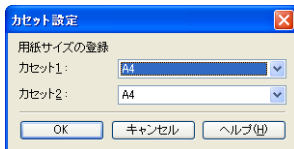
3 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

4 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択して ①、印刷条件を設定します ②。

メモ　ここに表示されるプリンタ名は、［プリンタと FAX］フォルダ（Windows 2000/Vista の場合は、［プリンタ］フォルダ）で変更することができます。

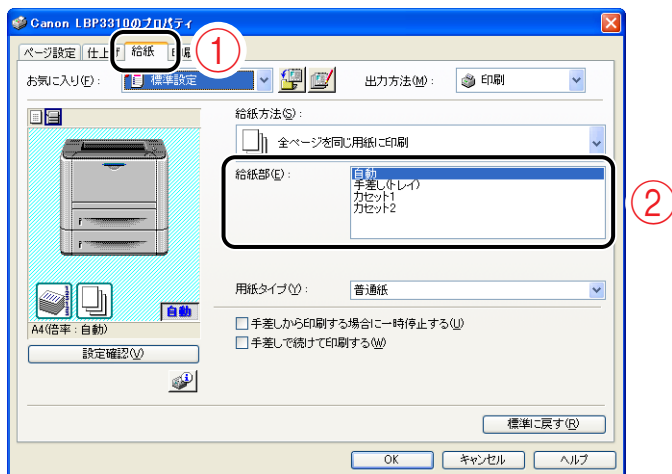
5 ［プロパティ］をクリックします。

6 ［ページ設定］ページを表示して ①、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します ②。

7 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

［原稿サイズ］と給紙部にセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

8 給紙カセットから印刷する場合は、[出力用紙サイズ] と [用紙サイズの登録] * の設定が一致していることを確認します。

* プリンタステータスウィンドウの [カセット設定] ダイアログボックスにある設定

メモ　[カセット設定] ダイアログボックスは、次の手順で表示します。

1. [ページ設定] ページなどにある [ ] (プリンタステータスウィンドウを表示する) をクリックします。
2. [オプション] メニューから [デバイス設定] → [カセット設定] を選択します。

9 [給紙] ページを表示して ①、[給紙部] を選択します ②。

メモ　[給紙方法] を [全ページを同じ用紙に印刷] 以外に設定している場合は、[給紙部] が次のように変わりますが、[給紙部] の設定と同様に設定してください。

・[最初のページ]
・[2 枚目のページ]
・[表紙]
・[その他のページ]
・[最後のページ]

10 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

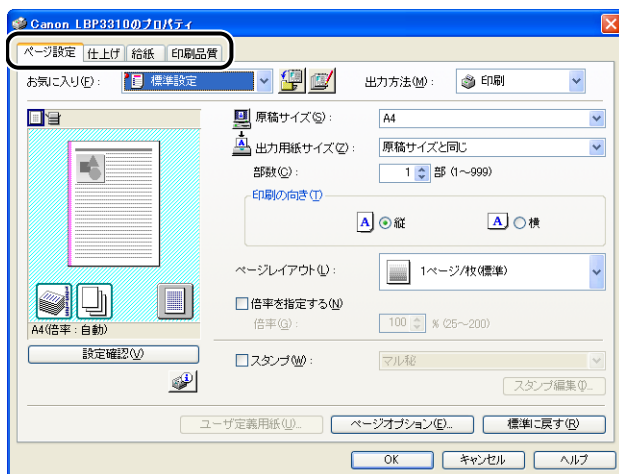
メモ　用紙タイプに応じて、次のように設定してください。

用紙タイプ		プリンタドライバの［用紙タイプ］の設定
普通紙	60 ～89g/m^2	［普通紙 L］ *1
		［普通紙］
厚紙	90 ～120g/m^2	［厚紙 1］ *2
	121 ～ 149g/m^2	［厚紙 2］
	150 ～ 163g/m^2	［厚紙 3］
OHP フィルム		［OHP フィルム］
ラベル用紙		［ラベル用紙］
はがき		*3
封筒		*3

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してください。

*2 用紙タイプが［厚紙 1］の用紙を給紙カセットから印刷するとき、［給紙部］で［カセット 1］または［カセット 2］（オプション）を選択してください。
※［自動］を選択すると、給紙カセットからは給紙できません。（手差しトレイから給紙します。）

*3 はがきや封筒を使用する場合は、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］を設定すると、自動的に各用紙タイプに適した印刷モードで印刷されます。

11 必要に応じて［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］の各ページで、その他の印刷条件を設定します。

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（➞P.5-24）を参照してください。

12 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

メモ
- ［ページ設定］ページと［給紙］ページの設定内容は、印刷するたびに確認することをおすすめします。
- ここで設定した内容は、同じアプリケーションソフトから印刷するジョブに対してのみ有効です。アプリケーションソフトを閉じると、設定した内容は初期値に戻ります。
印刷設定の初期値を変更する方法については、「印刷設定の初期値（デフォルト値）を変更する」（➞P.5-8）を参照してください。

13 ［OK］をクリックします。

印刷がはじまります。

メモ
- 正常に印刷できないときは、「第８章 困ったときには」を参照してください。
- 「第６章 Windows でいろいろな印刷機能を使用する」では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

印刷設定の初期値（デフォルト値）を変更する

「アプリケーションソフトから印刷する」（➞P.5-2）で行った印刷設定は、同じアプリケーションソフトから印刷するジョブに対してのみ有効です。アプリケーションソフトを閉じると、設定した内容は初期値に戻ります。

すべてのジョブに対して適用される印刷設定の初期値（デフォルト値）は、次の手順で変更することができます。

※ Macintosh をお使いの場合、印刷設定の初期値（デフォルト値）を変更することはできません。

---

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional **Windows Server 2003**

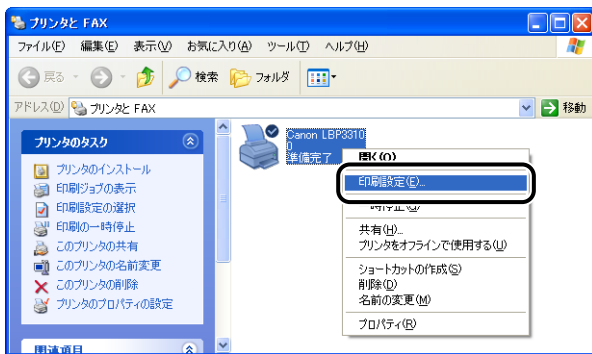
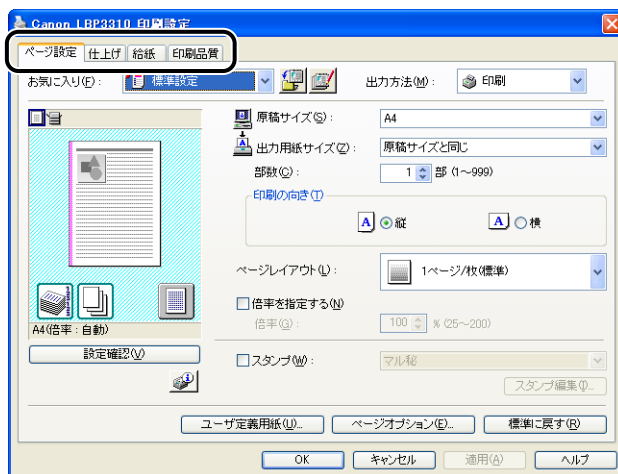
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

3 印刷設定の初期値を、［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］の各ページで設定します。

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（➞P.5-24）を参照してください。

4 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダに戻ります。

印刷設定の初期値（デフォルト値）の変更が完了しました。

メモ　「第 6 章 Windows でいろいろな印刷機能を使用する」では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

両面に印刷する

本プリンタは標準で自動両面印刷することができます。

自動両面印刷で使用できる用紙は、A4、リーガル、レターサイズの普通紙と厚紙（90 ～ 120g/m^2）です。

また、自動両面印刷できない用紙にも、手差しトレイを使用して手動両面印刷（印刷済み用紙の裏面に印刷）することができます。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 3 章 基本的な印刷機能」を参照してください。

重要

- 厚紙（121 ～ 163g/m^2）、OHP フィルム、ラベル用紙、はがき、封筒には、自動両面印刷できません。
- 自動両面印刷中はフェイスダウン排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。
- 自動両面印刷するときは必ず排紙切り替えカバーを閉めてから行ってください。

メモ

両面印刷ジョブの最後のページが片面の場合などに、次の設定を行うと通常の両面印刷時よりも速く印刷することができます。

1. ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックする
2. ［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
3. ［両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する］にチェックマークを付ける
   ただし、パンチ紙やプレプリント紙（あらかじめ印刷している紙）に両面印刷する場合、最後のページの向きや表裏が他のページと異なることがあります。そのときはチェックマークを消してください。

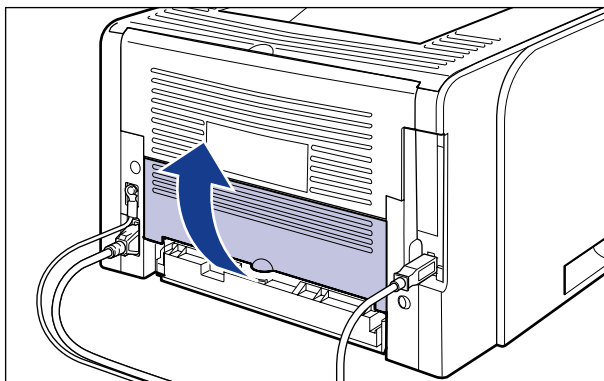
自動で両面に印刷する

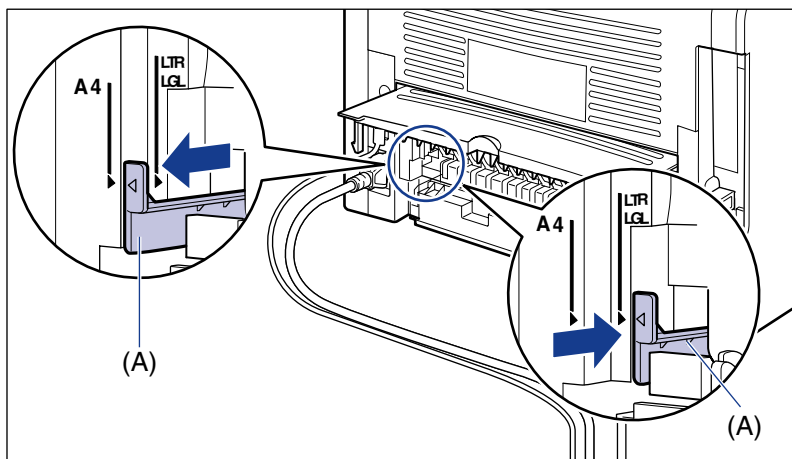
1 手差しトレイまたは給紙カセットに用紙をセットします。

メモ

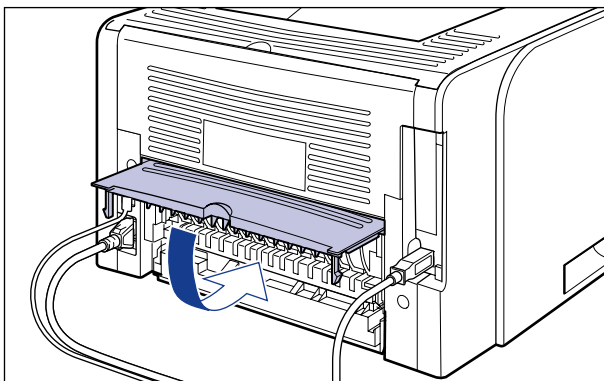
自動両面印刷では、裏面から印刷されますので、用紙をセットする向きが片面印刷のときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙に印刷するときは、「用紙のセット向きについて」(➞P.3-49) を参照して正しい向きに用紙をセットしてください。

2 両面ユニットカバーを開けます。

両面ユニットカバーは中央の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。

3 自動両面印刷する用紙サイズに合わせて、青色の用紙サイズ切り替えレバー（A）を正しくセットします。

A4 サイズの場合は、用紙サイズ切り替えレバーを手前に引きます。
レターおよびリーガルサイズの場合は、用紙サイズ切り替えレバーを奥に押し込みます。

重要 自動両面印刷する場合は、用紙サイズ切り替えレバーが正しくセットされていることを、必ず確認してください。正しくセットされていないと、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になることがあります。

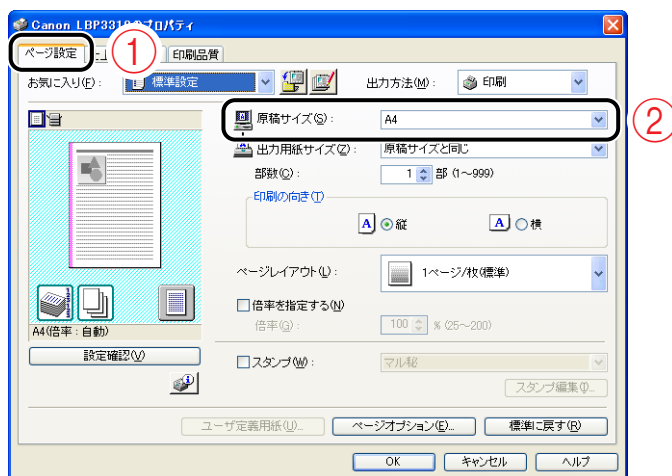
4 両面ユニットカバーを閉めます。

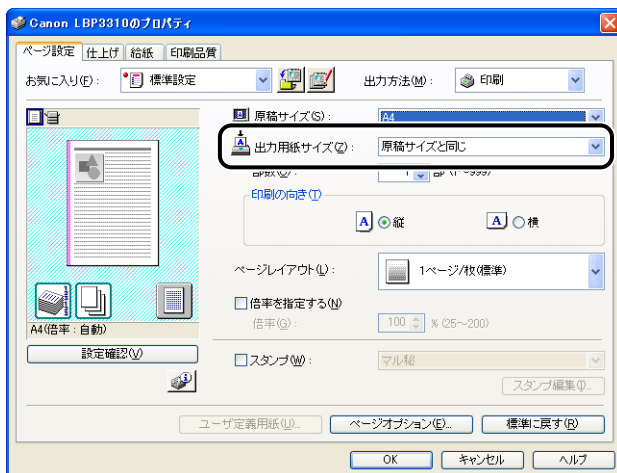
両面ユニットカバーは中央の取っ手を持って、ゆっくりと確実に閉めます。

5 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

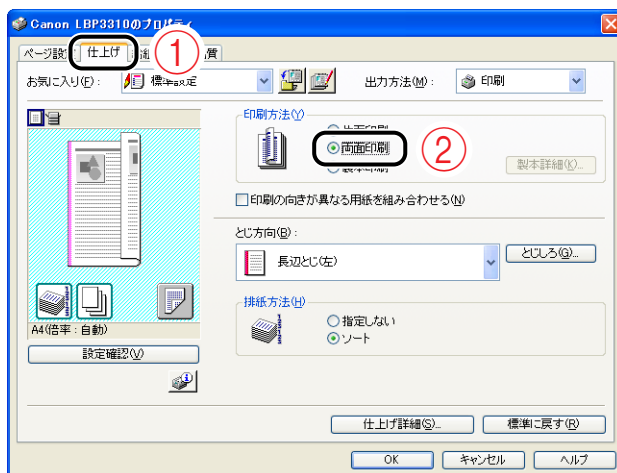
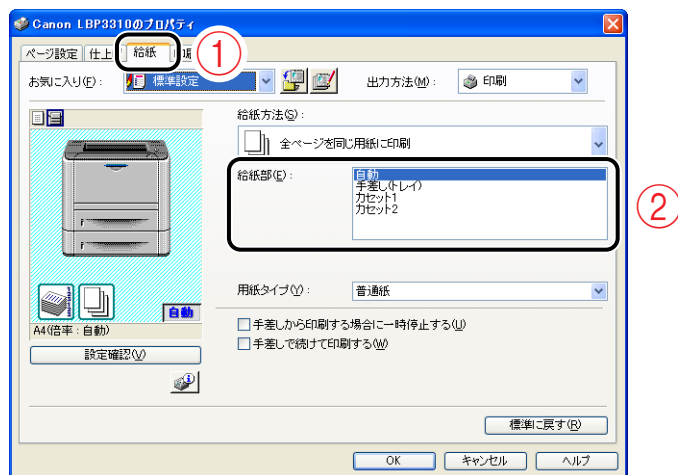
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

6 本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。

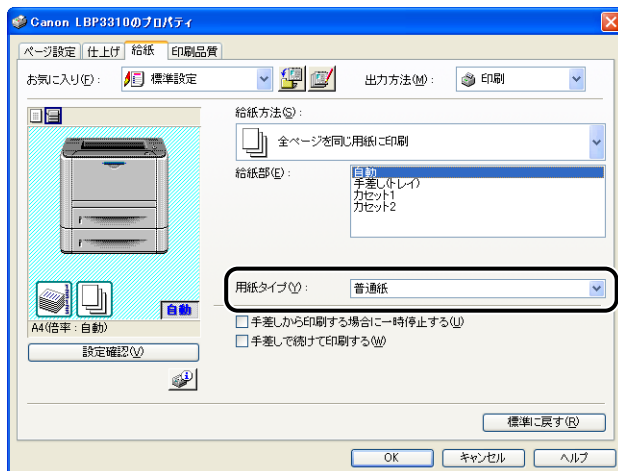
7 ［ページ設定］ページを表示して ①、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します ②。

8 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと給紙部にセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要 ［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

9 [仕上げ]ページを表示して ①、[印刷方法]で[両面印刷]を選択します ②。

10 [給紙] ページを表示して ①、[給紙部] を選択します ②。

メモ

[給紙方法] を [全ページを同じ用紙に印刷] 以外に設定している場合は、[給紙部] が次のように変わりますが、[給紙部] の設定と同様に設定してください。

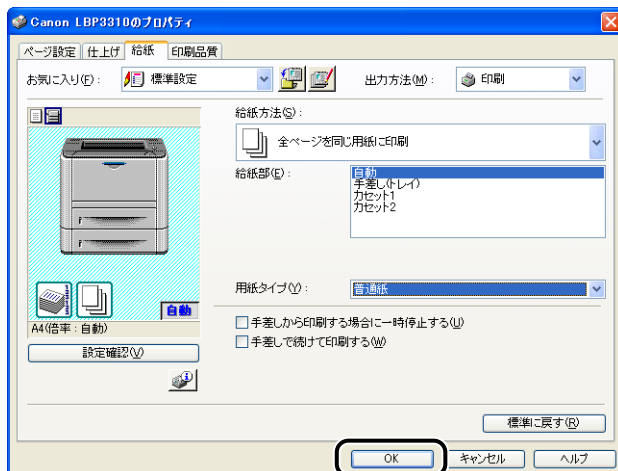
- [最初のページ]
- [2 枚目のページ]
- [その他のページ]
- [最後のページ]

11 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

メモ　用紙タイプに応じて、次のように設定してください。

用紙タイプ	プリンタドライバの［用紙タイプ］の設定
普通紙（60 ～ 89g/m^2）	［普通紙 L］ *1
	［普通紙］
厚紙（90 ～ 120g/m^2）	［厚紙 1］ *2

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してください。

*2 用紙タイプが［厚紙 1］の用紙を給紙カセットから印刷するとき、［給紙部］で［カセット 1］または［カセット2］（オプション）を選択してください。
※［自動］を選択すると、給紙カセットからは給紙できません。（手差しトレイから給紙します。）

12 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

13 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

手動で両面に印刷する

本プリンタは、裏面に印刷済みの用紙にも対応しており、自動両面印刷できない用紙にも両面印刷することが可能です。

重要　はがきに両面印刷する場合、裏面（文書側の面）から先に印刷したあと、表面（宛名側の面）を印刷してください。

1 手差しトレイに裏面に印刷済みの用紙をセットします。

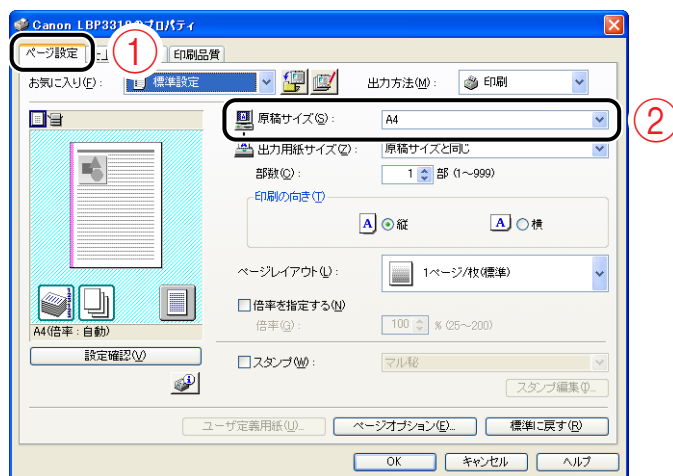
メモ　用紙のセットのしかたについては、「用紙のセット向きについて」（→P.3-49）を参照してください。

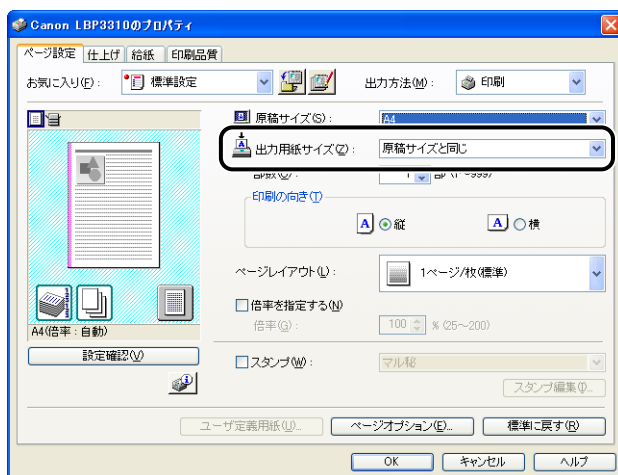
2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

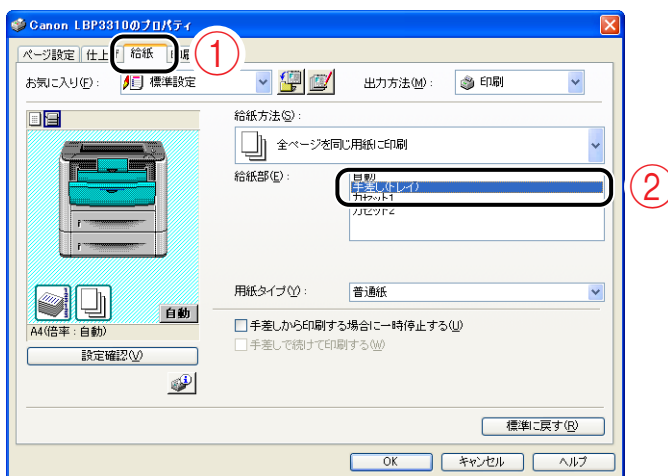
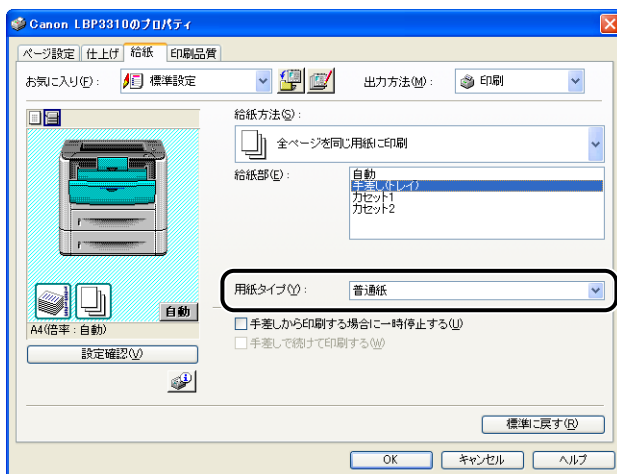
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

3 本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。

4 ［ページ設定］ページを表示して ①、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します ②。

5 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要 ［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

6 ［給紙］ページを表示して ①、［給紙部］で［手差し（トレイ)］を選択します ②。

7 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

メモ　用紙タイプに応じて、次のように設定してください。

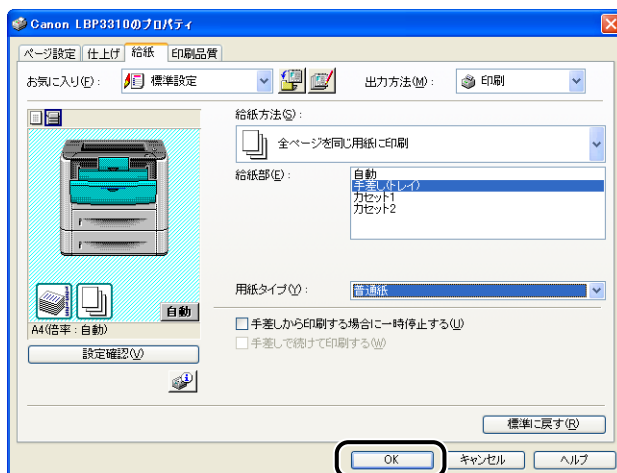
用紙タイプ		プリンタドライバの［用紙タイプ］の設定
普通紙	60 ～89g/m^2	［普通紙 L］ *1
		［普通紙］

用紙タイプ		プリンタドライバの［用紙タイプ］の設定
厚紙	90 ～ 120g/m2	［厚紙 1］*2
	121 ～ 149g/m2	［厚紙 2］
	150 ～ 163g/m2	［厚紙 3］
はがき		*3

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙 L］に設定してください。

*2 用紙タイプが［厚紙 1］の用紙を給紙カセットから印刷するとき、［給紙部］で［カセット 1］または［カセット2］（オプション）を選択してください。
※［自動］を選択すると、給紙カセットからは給紙できません。（手差しトレイから給紙します。）

*3 はがきを使用する場合は、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］を設定すると、自動的にはがきに適した印刷モードで印刷されます。

8 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

9 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

印刷を中止する

本プリンタでは、次のいずれかの方法で印刷を中止することができます。

- 印刷キューを使用する（➞P.5-20）
- プリンタステータスウィンドウを使用する（➞P.5-22）
- ジョブキャンセルキーを使用する（➞P.5-23）

メモ　オプションのネットワークボードを装着している場合は、リモートUI（お手持ちのWebブラウザを使用してプリンタの管理を行うためのソフトウェア）から印刷を中止することもできます。
リモートUIで印刷を中止する方法については、リモートUIガイド「第3章 リモートUIのいろいろな機能」をご覧ください。

印刷キューで印刷を中止する

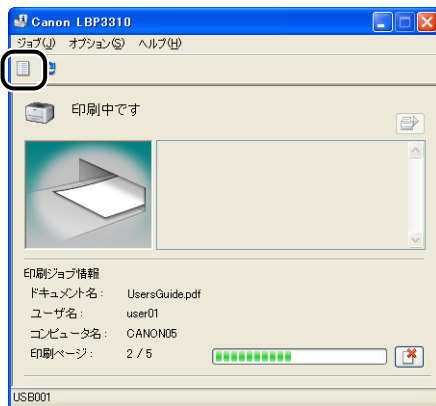
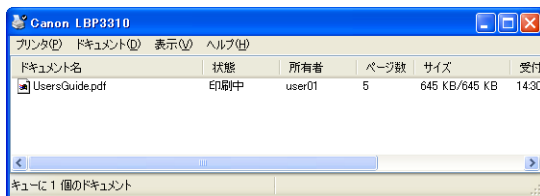
※ Macintoshをお使いの場合は、ステータスモニタで印刷を中止します。ステータスモニタで印刷を中止する方法については、オンラインマニュアル「第3章 基本的な印刷機能」を参照してください。

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.5-34）を参照してください。

2 **[ ]（印刷キュー）をクリックします。**

印刷キューが表示されます。

メモ

- 印刷キューは、次の手順で表示することもできます。
  1. ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

     Windows 2000

     ［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

     Windows XP Professional　Windows Server 2003

     ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

     Windows XP Home Edition

     ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

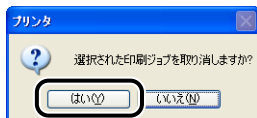
     Windows Vista

     ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。
  2. 本プリンタのアイコンをダブルクリックします。
- 印刷キューの詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

3 中止したいジョブを右クリックして、ポップアップメニューから［キャンセル］を選択します。

メモ

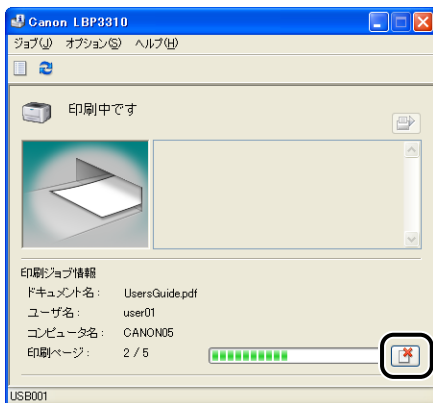
- 他のユーザのジョブは表示されません。
  ただし、コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリントサーバ上ではすべてのジョブが表示されます。
- 本プリンタでは、印刷が終了するまで印刷キューでジョブを操作することができます。

4 ［はい］をクリックすると、印刷を中止します。

プリンタステータスウィンドウで印刷を中止する

※ Macintosh をお使いの場合は、ステータスモニタで印刷を中止します。ステータスモニタで印刷を中止する方法については、オンラインマニュアル「第３章 基本的な印刷機能」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.5-34）を参照してください。

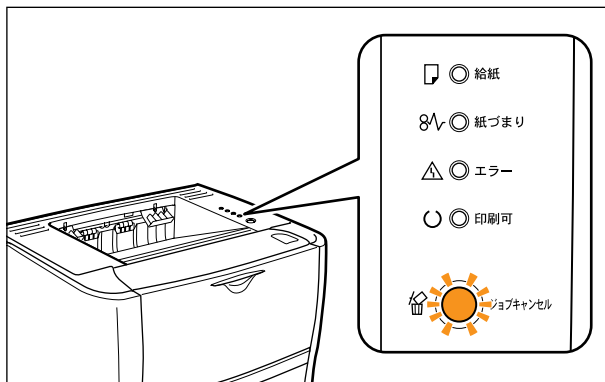
2 ［ ］（印刷中止）をクリックすると、印刷を中止します。

メモ

他のユーザのジョブが印刷されている場合は、印刷を中止することはできません。
ただし、コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリントサーバ上では印刷を中止することができます。

ジョブキャンセルキーでジョブをキャンセルする

他のユーザのジョブにエラーが発生していて、印刷できない（自分のコンピュータのプリンタステータスウィンドウで他のユーザのジョブを削除できない）ときなどに、ジョブキャンセルキーを使ってジョブをキャンセルします。

1 **◎（ジョブキャンセル）キーを押すと、ジョブをキャンセルします。**

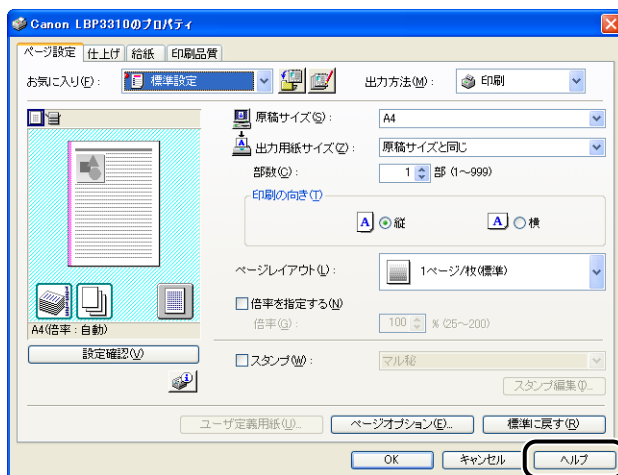
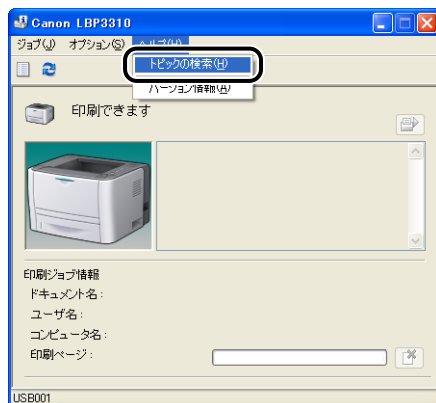
キーを押している間はジョブキャンセルランプ（オレンジ色）が点灯し、キーを離した時点でジョブキャンセル処理が開始されます。ジョブのキャンセル処理中はジョブキャンセルランプ（オレンジ色）が点滅します。

重要

- 次のページやジョブをキャンセルすることはできません。
  - ・すでにデータの受信が終わった状態のページ
  - ・印刷枚数が 1 枚のジョブ
- キーを押したときのジョブとキーを離した時のジョブが異なる場合、ジョブはキャンセルされません。
- プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の［ジョブキャンセルキー設定］ダイアログボックスの設定によっては、ジョブをキャンセルすることができない場合があります。
  プリンタステータスウィンドウ（Windows）の［ジョブキャンセルキー設定］ダイアログボックスについては、「［デバイス設定］メニューについて」（➞P.5-36）を参照してください。ステータスモニタ（Macintosh）の［ジョブキャンセルキー設定］ダイアログについては、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

ヘルプの使いかた

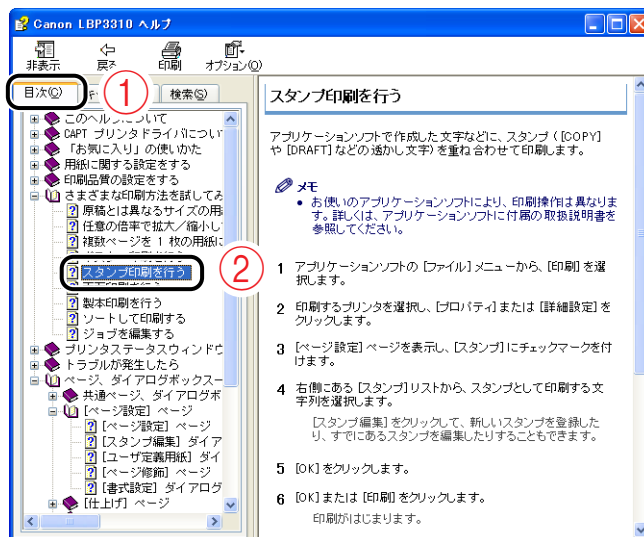
プリンタ ドライバやプリンタステータスウィンドウの使用方法や各機能の詳細については、次の方法でヘルプを表示して、記載されている説明をご覧ください。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

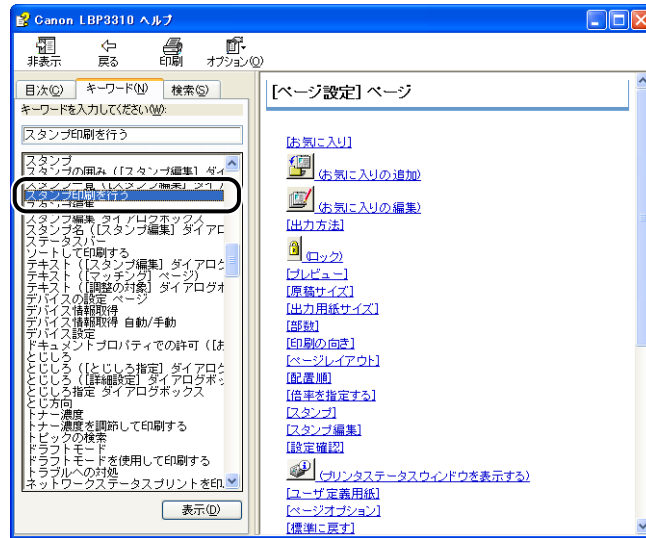
1 ［ヘルプ］をクリックします。

プリンタステータスウィンドウからヘルプを表示する場合は、［ヘルプ］メニューから［トピックの検索］を選択します。

2 知りたい項目を表示します。

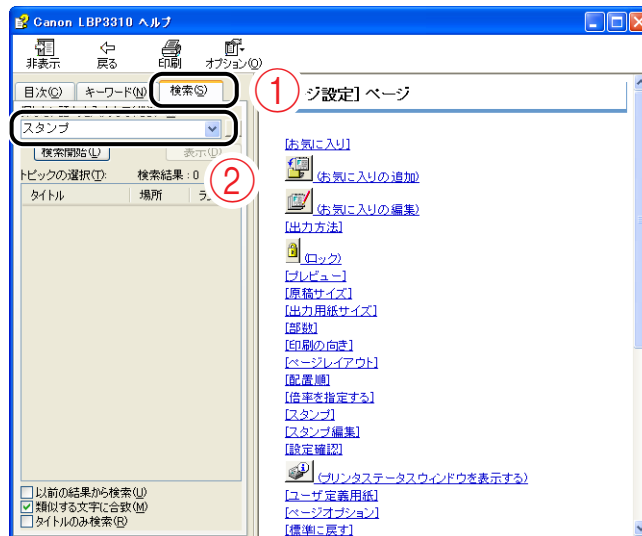
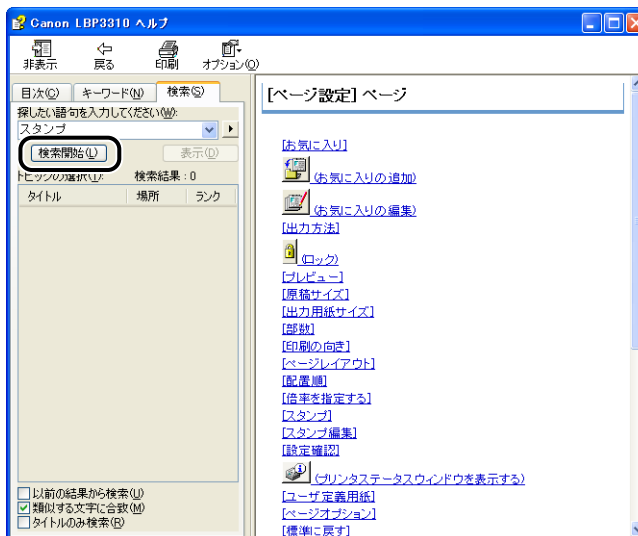
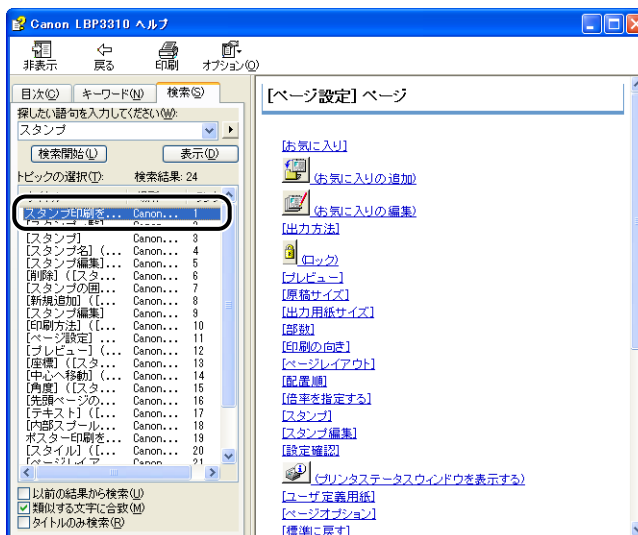
- 目次から知りたい項目を表示する場合（➞P.5-25）
- キーワードから知りたい項目を表示する場合（➞P.5-25）
- ヘルプの本文に含まれている語句を検索して、知りたい項目を表示する場合（➞P.5-26）

● 目次から知りたい項目を表示する場合

［目次］をクリックして ①、知りたい項目のタイトルをクリックします ②。

● キーワードから知りたい項目を表示する場合

1. ［キーワード］をクリックして ①、知りたい項目のキーワードを入力します ②。

2. 知りたい項目のタイトルをダブルクリックします。

● ヘルプの本文に含まれている語句を検索して、知りたい項目を表示する場合

1. ［検索］をクリックして①、知りたい項目に関連する語句を入力します②。

2. ［検索開始］をクリックします。

3. 表示されたトピックの一覧から、説明を見たいタイトルをダブルクリックします。

取扱説明書について

ここでは、プリンタに付属の CD-ROM に収められている取扱説明書をお使いのコンピュータにインストールする方法とアンインストールする方法を説明します。

※ Macintosh をお使いの場合、取扱説明書のインストールやアンインストールはできません。

取扱説明書をインストールする

プリンタに付属の CD-ROMに収められている取扱説明書をお使いのコンピュータにインストールする場合は、次の手順で行います。

5

Windowsでのプリンタの基本的な使いかた

1 付属の CD-ROM「LBP3310 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

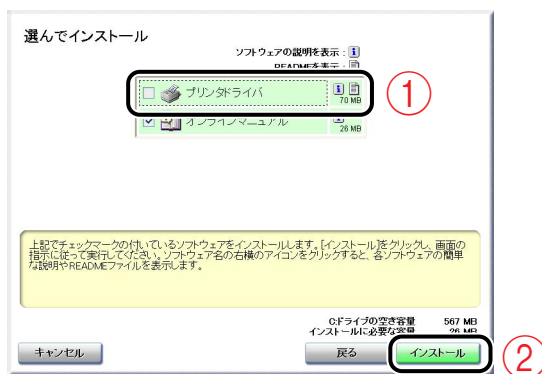
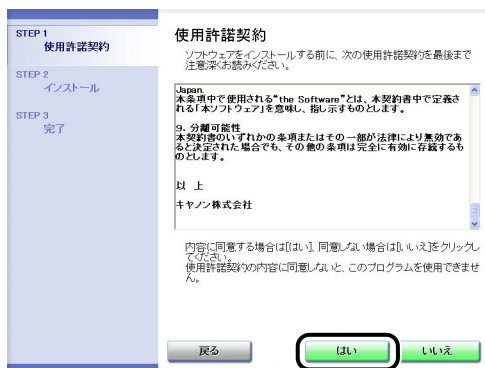
重要

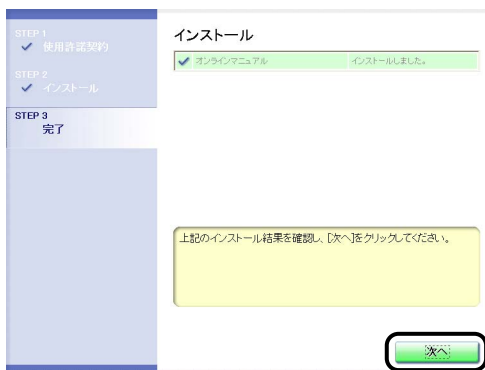
- Windows Vista をお使いの場合、[自動再生] ダイアログボックスが表示されたときは、[AUTORUN.EXEの実行] をクリックします。
- CD-ROM Setup が表示されない場合は、次の方法で表示します。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)
  - ･Windows Vista以外の OS の場合は、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行] を選択して「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、[OK] をクリックします。
  - ･Windows Vistaの場合は、[スタート] メニューの [検索の開始] に「D:¥Japanese¥MInst.exe」と入力し、キーボードの [ENTER] キーを押します。

メモ

Windows Vista をお使いの場合、[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[許可] をクリックします。

2 ［選んでインストール］をクリックします。

3 ［プリンタドライバ］のチェックマークを消して ①、［インストール］をクリックします ②。

4 内容を確認して、［はい］をクリックします。

インストールが開始されます。

5 インストール完了の画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

6 ［終了］をクリックします。

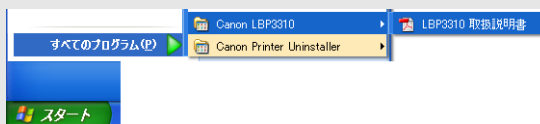
取扱説明書のインストールが完了しました。

インストール完了後は、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出すことができます。

取扱説明書の表示方法

インストールした取扱説明書をご覧になる場合は、次のどちらかの操作を行います。

- デスクトップに作成された［LBP3310 取扱説明書］をダブルクリックする

- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］（Windows 2000 の場合は［プログラム］）に追加された［Canon LBP3310］-［LBP3310 取扱説明書］を選択する

取扱説明書をアンインストールする

取扱説明書をアンインストールする方法は、お使いの OS によって異なります。お使いの OS に応じたアンインストール方法を参照してください。

- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合（→P.5-31）
- Windows XP/Server 2003/Vista（64 ビット版）の場合（→P.5-32）

重要

取扱説明書が管理者権限でインストールされている場合、管理者権限がないユーザはアンインストールできません。必ず、管理者権限のユーザとしてログオンしてからアンインストールを行ってください。
権限がわからない場合は、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください。

メモ

お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、「Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する」（→P.10-9）を参照してください。

Windows 2000/XP/Server 2003/Vista（32 ビット版）の場合

プリンタドライバをアンインストールすることで、取扱説明書もアンインストールできます。プリンタドライバのアンインストールについては、「プリンタドライバのアンインストール」（→P.4-68）を参照してください。

プリンタドライバのアンインストールをせずに取扱説明書のみをアンインストールする場合は、次のファイルやフォルダを削除してください。

- 「¥Program Files¥Canon¥LBP3310」
  - 「Manuals」フォルダ
- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］（Windows 2000 の場合は［プログラム］）の［Canon LBP3310］を右クリックして、ポップアップメニューから［削除］を選択する
- デスクトップ
  - ［LBP3310 取扱説明書］（［Index.pdf］のショートカット）

メモ

Windows Vista をお使いの場合、［フォルダアクセスの拒否］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）

Windows XP/Server 2003/Vista（64 ビット版）の場合

プリンタドライバをアンインストールしても、取扱説明書はアンインストールされません。取扱説明書をアンインストールする場合は、次のファイルやフォルダを削除してください。

- 「¥Program Files (x86)¥Canon¥LBP3310」
  - ･「Manuals」フォルダ
- デスクトップ
  - ･［LBP3310 取扱説明書］（［Index.pdf］のショートカット）

プリンタドライバのアンインストールをせずに取扱説明書のみをアンインストールする場合は、次の操作も行ってください。

- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］の［Canon LBP3310］を右クリックして、ポップアップメニューから［削除］を選択する

メモ　［フォルダアクセスの拒否］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。（［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、［続行］をクリックします。）

プリンタステータスウィンドウについて

プリンタステータスウィンドウは、プリンタのステータス（操作状況、ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、アイコンなどで表します。

プリンタステータスウィンドウでは次のことを行うことができます。プリンタに何らかの異常を感じたら、プリンタステータスウィンドウを確認してください。

- プリンタにエラーが起こったときや印刷されないときにエラーの内容や処置を確認できる（➞P.8-25）
- 印刷を中止することができる（➞P.5-22）
- 印刷しているジョブの情報（ユーザ名やドキュメント名など）が確認できる

プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能

プリンタステータスウィンドウの各操作の詳細については、ヘルプをご覧ください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（➞P.5-24）を参照してください。

■ メニューバー

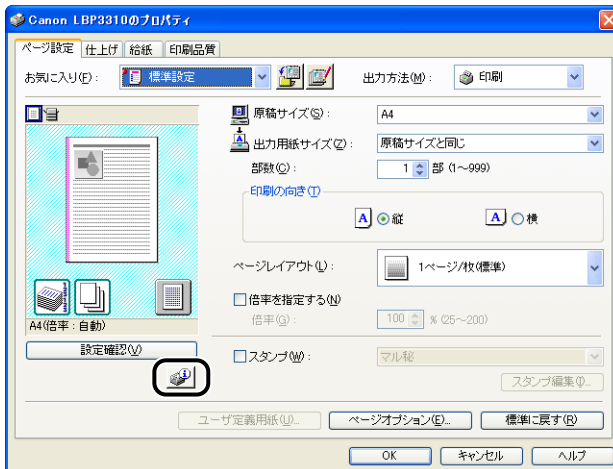
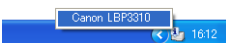
[ジョブ] メニュー	印刷を中止したり、印刷中に何らかの理由で停止したジョブを再開することなどができます。
[オプション] メニュー	プリンタステータスウィンドウの環境の設定やプリンタの定着ローラの清掃などを行います。
[ヘルプ] メニュー	知りたい項目をキーワードを用いて検索したり、プリンタステータスウィンドウの [バージョン情報] を表示します。

■ その他の機能

[アイコン]	プリンタの状態を表示します。
[メッセージ領域]	プリンタの状態を短文で表示します。
[メッセージ領域]（補助）	エラーが起きたときなど、補助情報を文字で表示します。
[アニメーション領域]	プリンタの状況をグラフィックで表示します。背景色は、通常は青、何らかの操作が必要な場合はオレンジ、警告時は赤に変化します。
[印刷キュー] ボタン	Windows の機能である印刷キューを表示します。印刷キューの詳細については、Windows のヘルプを参照してください。
[最新の情報に更新] ボタン	プリンタのステータスを取得して、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。
[エラー復帰] ボタン	印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。
[ジョブ情報領域]	ジョブに関する情報を表示します。
[プログレスバー]	印刷中ジョブの進行状況を、ページ数やバーの動きで表します。
[印刷中止] ボタン	現在のジョブを中止します。他のユーザのジョブが印刷されている場合は、グレー表示になります。
[ステータスバー]	プリンタの接続先を表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法

プリンタステータスウィンドウの表示のしかたは、次の 2 通りあります。

- プリンタドライバの [ページ設定] ページなどにある [ ]（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックします。

- Windows のタスクバーに表示されているプリンタステータスウィンドウのアイコンをクリックして、プリンタ名をクリックします。

プリンタステータスウィンドウが表示されていない場合に、印刷を開始したときや、エラーが発生したときには、プリンタステータスウィンドウが自動的にアイコンの状態で起動します。このアイコンをクリックすると、プリンタステータスウィンドウを表示することができます。

※ プリンタステータスウィンドウの［環境設定（ユーザ）］または［環境設定（管理者）］ダイアログボックスの［表示設定］の設定によって、起動の動作が次のように異なります。

・［エラー発生時のみ表示］に設定されている場合： エラーが発生したときにのみ自動的にアイコンの状態で起動する

・［自動で表示しない］に設定されている場合： 自動的に起動しない

［環境設定（ユーザ）］ダイアログボックスについて

［オプション］メニューから［環境設定（ユーザ）］を選択すると、［環境設定（ユーザ）］ダイアログボックスが表示されます。［環境設定（ユーザ）］ダイアログボックスでは、プリンタステータスウィンドウの表示方法を設定します。

詳しくは、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（➞P.5-24）を参照してください。

［環境設定（管理者）］ダイアログボックスについて

［オプション］メニューから［環境設定（管理者）］を選択すると、［環境設定（管理者）］ダイアログボックスが表示されます。［環境設定（管理者）］ダイアログボックスでは、次の設定などを行うことができます。

- プリンタの共有機能を使用している場合に、クライアント上でのプリンタステータスウィンドウの表示方法を、プリントサーバが一括管理するかどうかの選択
- プリンタの状態を監視するタイミングの選択

詳しくは、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（➞P.5-24）を参照してください。

重要 プリンタに対する管理者権限がない場合、［環境設定（管理者）］ダイアログボックスを表示できません（詳しくは、お使いのコンピュータの管理者へお問い合わせください）。

［ユーティリティ］メニューについて

［オプション］メニューにある［ユーティリティ］メニューでは、プリンタの定着ローラの清掃やプリンタステータスプリントなどを行います。

■［クリーニング］

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合に、定着ローラを清掃します。清掃することで、印字不良の発生を防止します。
詳しくは、「定着ローラを清掃する」（➞P.7-17）を参照してください。

■ [プリンタステータスプリント]
プリンタのオプションの装備状態や[オプション]メニューの[デバイス設定]の設定値、印刷した総ページ数などの現在のプリンタの情報が印刷されます。
詳しくは、「プリンタの機能を確認したいときには (Windows のみ)」(➞P.8-55)を参照してください。

■ [ネットワークステータスプリント](ネットワークボード装着時のみ)
オプションのネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定が印刷されます。
詳しくは、ネットワークガイド/本編「第4章 困ったときには」を参照してください。

[デバイス設定]メニューについて

[オプション]メニューにある[デバイス設定]メニューでは、給紙カセットにセットした用紙サイズの設定やネットワークの設定など、プリンタに対する設定を行います。

■ [カセット設定]
給紙カセットにセットした用紙サイズの設定を行います。
詳しくは、「給紙カセットに用紙をセットする」(➞P.3-17)の手順6以降を参照してください。

■ [ジョブキャンセルキー設定]
プリンタのジョブキャンセルキーを使用してキャンセルすることができるジョブを設定します。このダイアログボックスでの設定は、すべてのユーザのジョブに対して有効となります。

重要
[ジョブキャンセルキー設定]ダイアログボックスの設定は、プリンタのジョブキャンセルキーに対する設定を行います。
プリンタステータスウィンドウやリモート UI(ネットワークボード装着時のみ)からジョブをキャンセルする場合は、[ジョブキャンセルキー設定]ダイアログボックスの設定に関わらず、キャンセルすることができます。
リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」をご覧ください。

■ [ネットワーク設定](ネットワークボード装着時のみ)
プリンタのネットワークの設定を行います。
詳しくは、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」(➞P.5-24)を参照してください。

[リモート UI]について(ネットワークボード装着時のみ)

[オプション]メニューから[リモート UI]を選択すると、リモート UI を起動します。リモート UI は、お手持ちの Web ブラウザを使用してプリンタの管理を行うためのソフトウェアです。リモート UI の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。

重要
プリンタとコンピュータがネットワーク経由で通信できない場合は、[リモート UI]を選択できません。

[最新の情報に更新］について

［オプション］メニューから［最新の情報に更新］を選択すると、プリンタの最新の情報を取得して、プリンタステータスウィンドウの表示が更新されます。

プリンタステータスウィンドウ上の［ ］（最新の情報に更新）をクリックしても同様の操作ができます。

[エラー復帰］について

［ジョブ］メニューから［エラー復帰］を選択すると、印刷中に何らかの理由で停止したジョブを再開することができます。ただし、［エラー復帰］を選択して再開したジョブは、正しく印刷されないことがあります。

次の場合は［エラー復帰］の機能は使用できません。

- 紙づまりが起こった、用紙がなくなったなどのプリンタの問題で印刷が停止している場合
- 他のユーザのジョブが停止している場合
（プリンタの共有機能を使用している場合、プリントサーバ上では［エラー復帰］の機能は使用可能です。）

プリンタステータスウィンドウ上の［ ］（エラー復帰）をクリックしても同様の操作ができます。

重要　プリンタステータスウィンドウに、「ディスク容量が不足しています」というメッセージが表示されている場合は、不要なファイルを削除してから、［エラー復帰］を選択してください。

[印刷中止］について

［ジョブ］メニューから［印刷中止］を選択すると、現在のジョブを中止します。

他のユーザのジョブが印刷されている場合は、［印刷中止］の機能は使用できません。

（プリンタの共有機能を使用している場合、プリントサーバ上では［印刷中止］の機能は使用可能です。）

プリンタステータスウィンドウ上の［ ］（印刷中止）をクリックしても同様の操作ができます。

[印刷キュー］について

［ジョブ］メニューから［印刷キュー］を選択すると、Windows の機能である印刷キューを表示します。印刷キューでは、ジョブの確認や、削除などの操作を行うことができます。印刷キューの詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

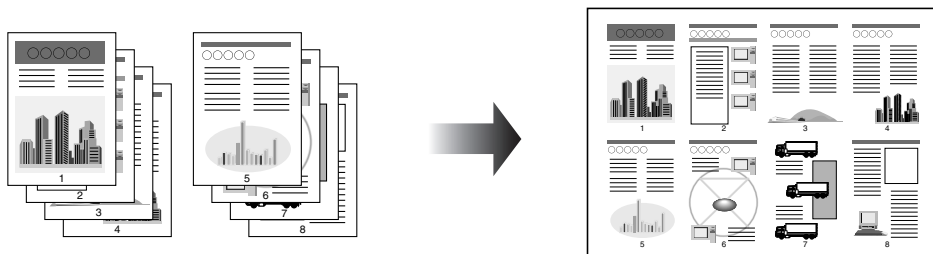
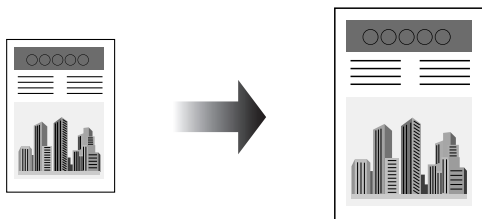
プリンタステータスウィンドウ上の［ ］（印刷キュー）をクリックしても同様の操作ができます。

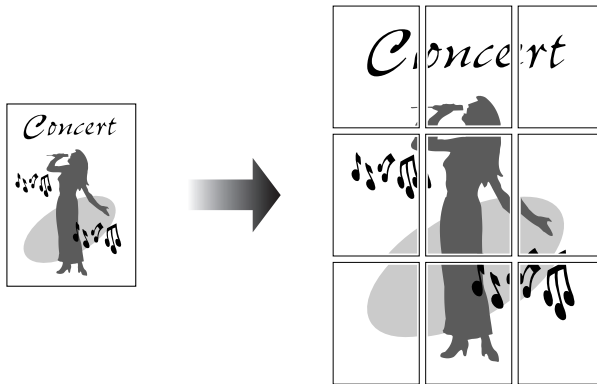
Windows でいろいろな印刷機能を使用する

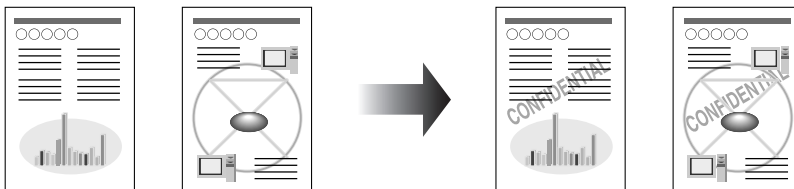
この章では、Windows でいろいろな印刷機能を使用した印刷のしかたについて説明しています。
Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

こんなことができます

本プリンタでは、次のような印刷をすることができます。

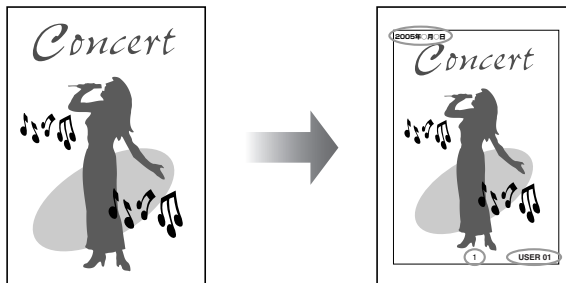
■ **用紙 1 枚に複数ページを印刷する（→P.6-19）**
1 枚の用紙に複数のページを印刷することができます。

■ **拡大／縮小して印刷する（→P.6-21）**
A4 サイズの原稿を B5 サイズの用紙に縮小して印刷したり、逆に B5 サイズの原稿を A4 サイズの用紙に拡大して印刷します。任意の倍率で拡大縮小することもできます。

■ ポスター印刷を行う（→P.6-24）

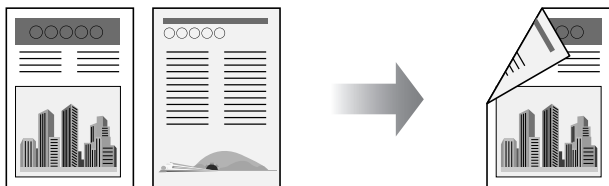
1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙に分割して印刷します。この印刷した複数枚の用紙を貼り合わせると、ポスターのような大きなプリントを作成することができます。

■ スタンプを付けて印刷する（→P.6-26）

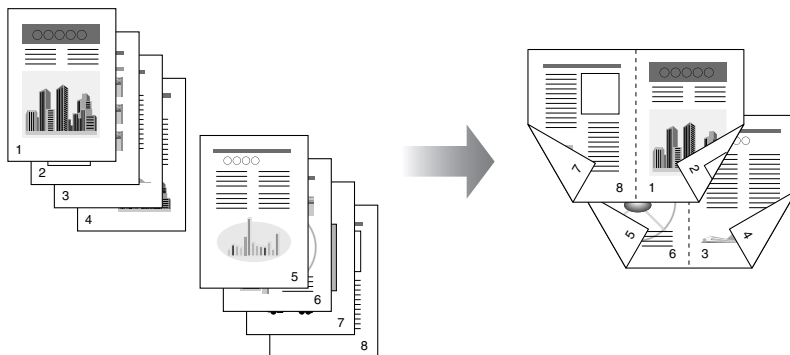
アプリケーションソフトで作成した原稿に、スタンプ（［COPY］や［DRAFT］などの透かし文字）を重ね合わせて印刷することができます。

■ ページに枠や日付を付けて印刷する（→P.6-30）

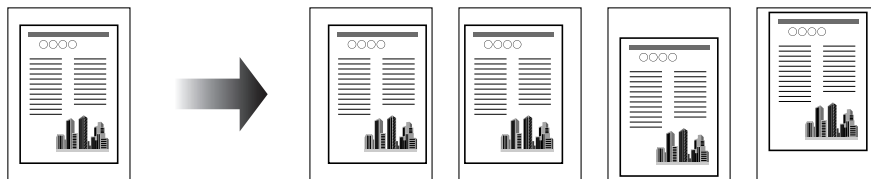
出力する用紙に枠や日付、ページ番号などを一緒に印刷することができます。

6

Windowsでいろいろな印刷機能を使用する

■ 両面に印刷する（→P.5-10）

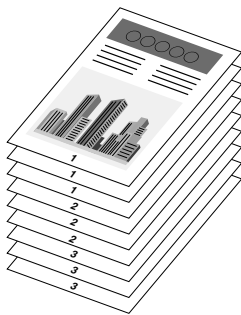
2 ページ分の原稿を、1 枚の用紙の表と裏の両面に印刷することができます。

■ 製本印刷を行う（→P.6-32）

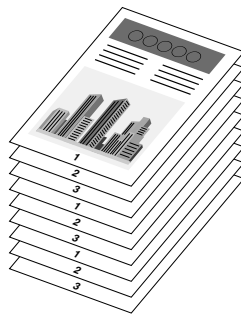
印刷した用紙を 2 つ折りにするだけで、本のようにすることができます。
たとえば、8 ページの文書を製本印刷するときは、1 枚の用紙の両面に 2 ページずつ印刷され、合計 2 枚の用紙に印刷されます。
また、大量のページを製本印刷したいときは、2 つ折りにする枚数を指定し、2 つ折りにしたものをまとめて、本を作ることもできます。

■ とじしろを付けて印刷する（→P.6-34）

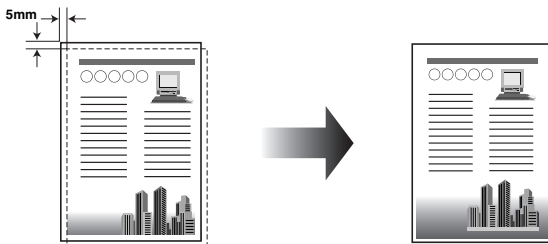
印刷する用紙にとじしろを付けることができます。

■ 排紙方法を選択して印刷する（→P.6-36）

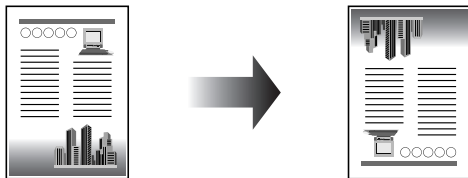
排紙方法を選択して印刷することができます。

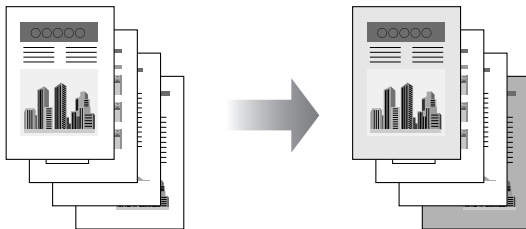
- **指定しない場合**

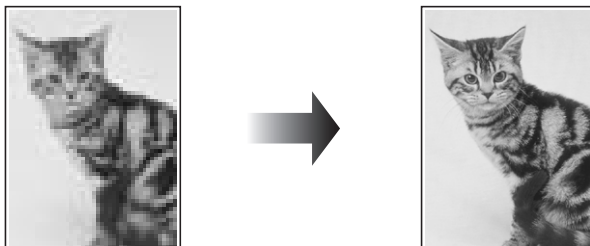
  ページごとに指定された部数を印刷します。
  たとえば、1 ～3 ページまでを 3 部印刷すると、1、1、1、2、2、2、3、3、3 の順で印刷されます。

- **ソートする場合**

  ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。
  たとえば、1 ～3 ページまでを 3 部印刷すると、1、2、3、1、2、3、1、2、3 の順で印刷されます。

■ 用紙の左上を原点として印字する（→P.6-38）

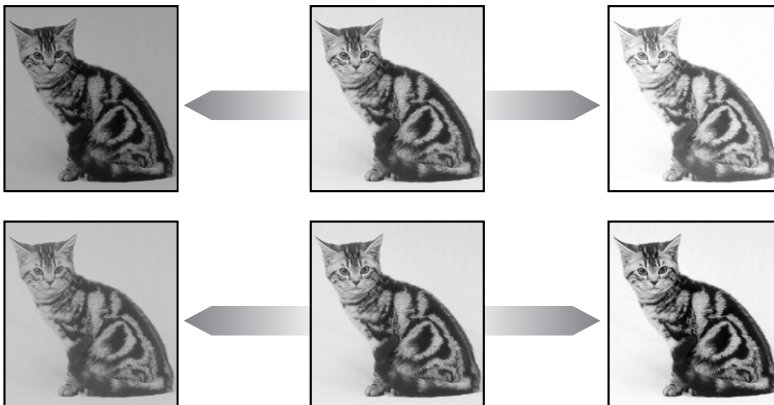
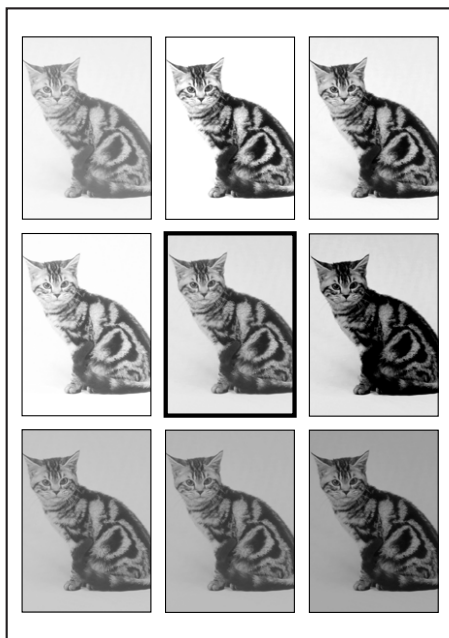
通常、用紙の左上 5mm（封筒は 10mm）を原点として印字されるため、用紙いっぱいに印刷する原稿などは、一部の方向（右下など）が欠けて印刷される場合があります。このような場合に、用紙の左上余白 0mm を原点として印字して、印刷できる範囲を用紙の端近くまで広げることができます。

■ 印刷の向きを 180 度回転して印刷する（→P.6-40）

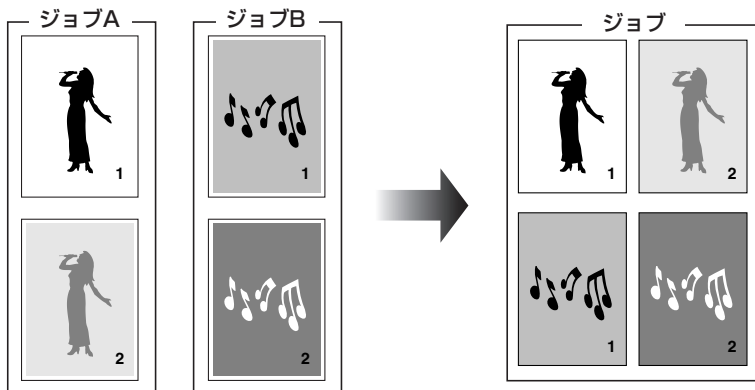
画像を 180 度回転させて用紙に印刷することができます。特定方向のみでしか給紙できない封筒やインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。

■ ページごとに用紙を指定して印刷する（→P.6-42）

表紙を異なる用紙に印刷するときなど、ページごとに用紙を指定して印刷することができます。

■ 粗い画像を補正してなめらかに印刷する（→P.6-44）

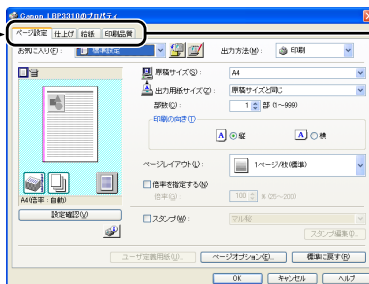
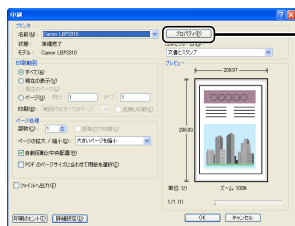
低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷することができます。

■ トナー濃度を調節して印刷する（→P.6-46）

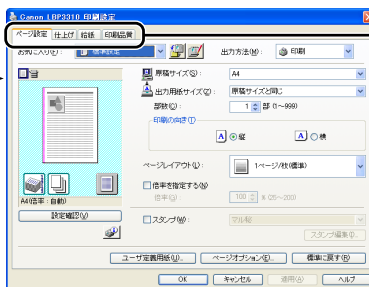
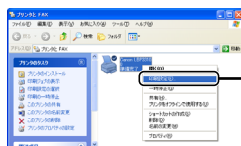
トナーの濃度を調節して印刷することができます。

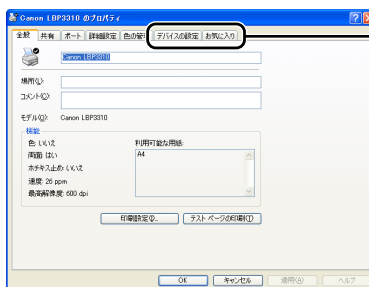
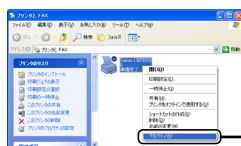
■ 明るさやコントラストを調整して印刷する（→P.6-48）
明るさやコントラストを調整して印刷することができます。

■ グレー調整サンプルを印刷する（→P.6-50）
グレー調整した画像のサンプルを印刷することができます。

■ ジョブを編集する（→P.6-58）

2 つ以上のジョブを 1 つに結合して印刷したり、さらに結合したジョブの設定内容を変更して印刷することができます。異なるアプリケーションの印刷ジョブの編集も可能です。また、ジョブのプレビュー表示もできます。

プリンタドライバのページについて

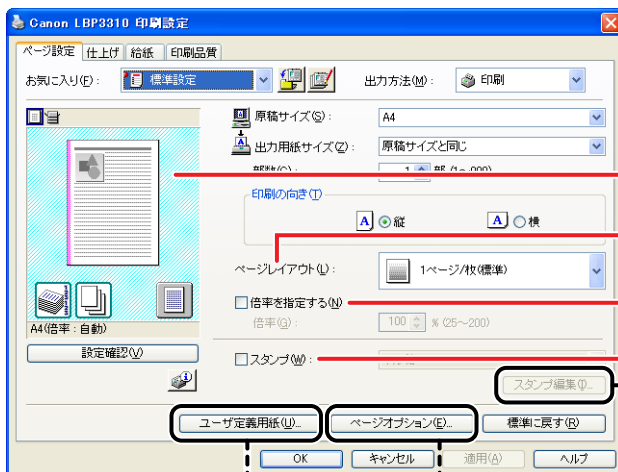
プリンタドライバのページのタブをクリックすると、表示されるページが切り替わります。ここでは、どのようなページが表示されるかを説明します。

アプリケーションソフトから表示

- ［ページ設定］ページ（→P.6-11）
- ［仕上げ］ページ（→P.6-12）
- ［給紙］ページ（→P.6-13）
- ［印刷品質］ページ（→P.6-14）

プリンタアイコンから表示
（［印刷設定］を選択した場合）

- ［ページ設定］ページ（→P.6-11）
- ［仕上げ］ページ（→P.6-12）
- ［給紙］ページ（→P.6-13）
- ［印刷品質］ページ（→P.6-14）

プリンタアイコンから表示
（［プロパティ］を選択した場合）

- ［デバイスの設定］ページ（→P.6-15）
- ［お気に入り］ページ（→P.6-16）

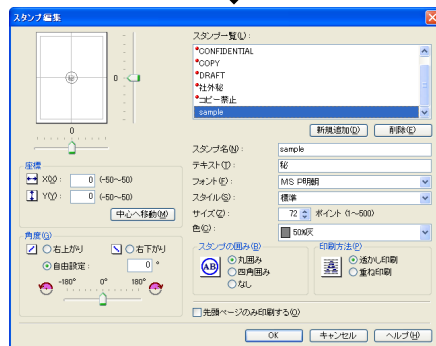
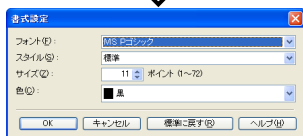
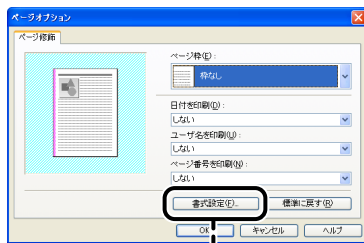
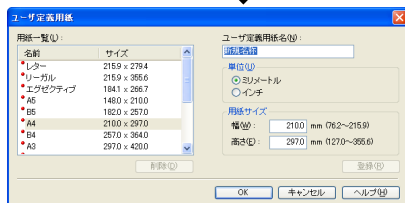
メモ　プリンタドライバの［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］ページは、Windows が表示するページです。これらのページの詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

[ページ設定]ページ

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」(→P.5-24)を参照してください。

[仕上げ] ページ

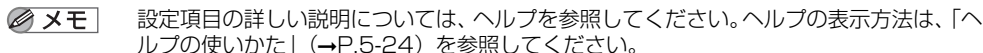
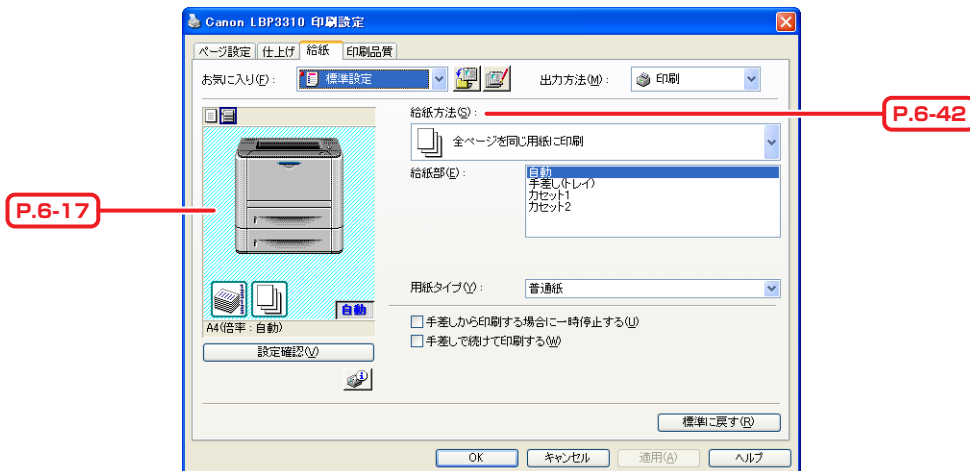
P. は、設定方法の参照先をあらわしています。

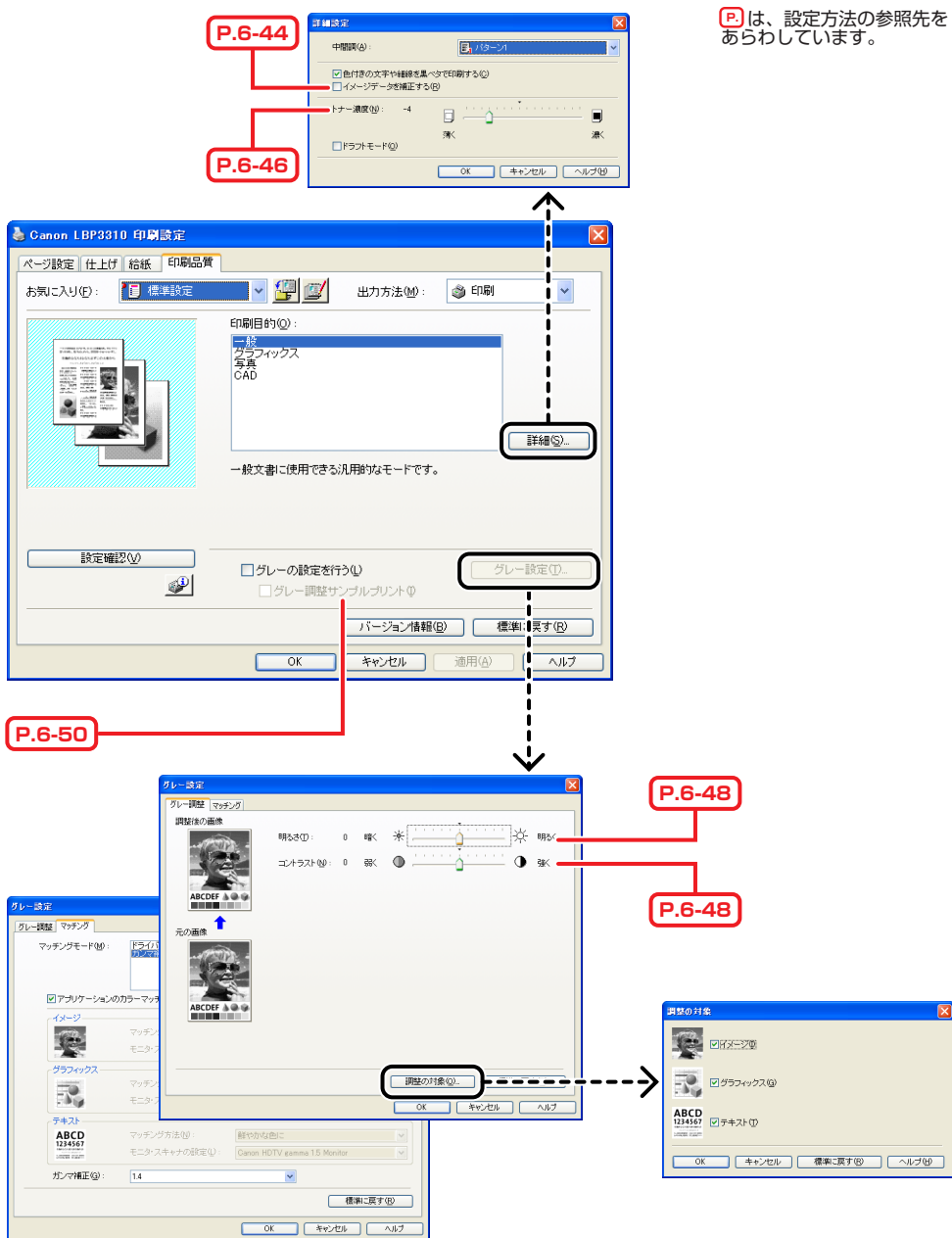
メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（→P.5-24）を参照してください。

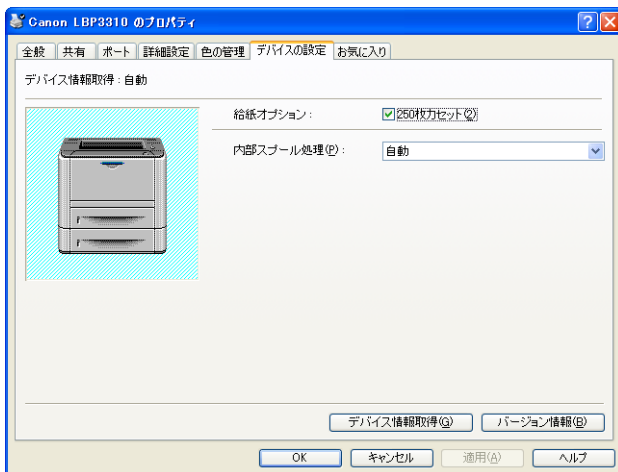
[給紙] ページ

P. は、設定方法の参照先をあらわしています。

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」(→P.5-24) を参照してください。

6

Windowsでいろいろな印刷機能を使用する

[印刷品質] ページ

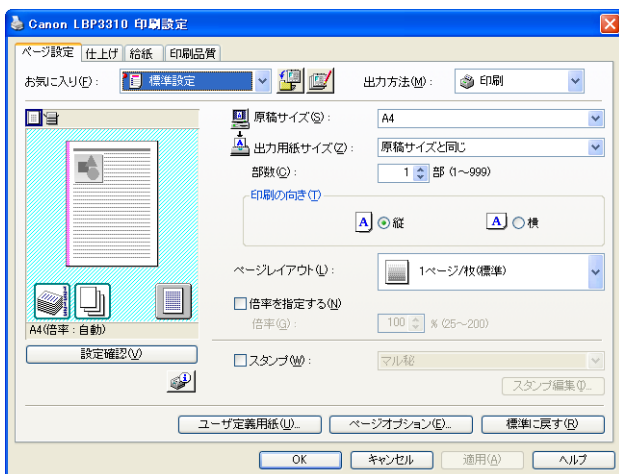
P. は、設定方法の参照先をあらわしています。

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（→P.5-24）を参照してください。

［デバイスの設定］ページ

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（→P.5-24）を参照してください。

[お気に入り]ページ

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（→P.5-24）を参照してください。

プレビュー画面について

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］ページにあるプレビュー画面には、現在の設定が表示されます。また、プレビュー画面をクリックすることによって、プリンタドライバの項目を設定することもできます。

設定できる項目は、プレビュー画面の左上にあるアイコン（、）のどちらを選択しているかで異なります。

■ を選択している場合

プレビュー画面のクリックする位置によって、次の設定ができます。

- ［とじ方向］：　ページ枠を左クリックします。
- ［ページレイアウト］：　ページ枠内を繰り返し左クリックするか、プレビュー画面を右クリックします。

また、プレビューの右下にあるアイコンの用途は次のとおりです。

アイコン	用途
	クリックすると、［片面印刷］と［両面印刷］の切り替えができます。

■ を選択している場合

プレビュー画面のクリックする位置によって、次の設定ができます。

- ［給紙部］：　給紙部（手差しトレイや給紙カセット）を左クリックします。
- ［排紙方法］：プレビュー画面を右クリックします。

また、［給紙方法］で次のいずれかを選択した場合は、各ページの給紙部が設定できます。

- ［最初と最後の用紙を指定して印刷］
- ［最初と2枚目、最後の用紙を指定して印刷］
- ［表紙の用紙を指定して印刷］

印刷する用紙のサイズやタイプに応じて、給紙部を自動的に切り替えたい場合は、プレビューの右下にある［自動］を左クリックします。

用紙 1 枚に複数ページを印刷する

1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。

重要 印刷する前に、[デバイスの設定] ページの [内部スプール処理] の設定が [自動] になっていることを確認してください。(➞ [内部スプール処理] の設定を確認する : P.10-10)

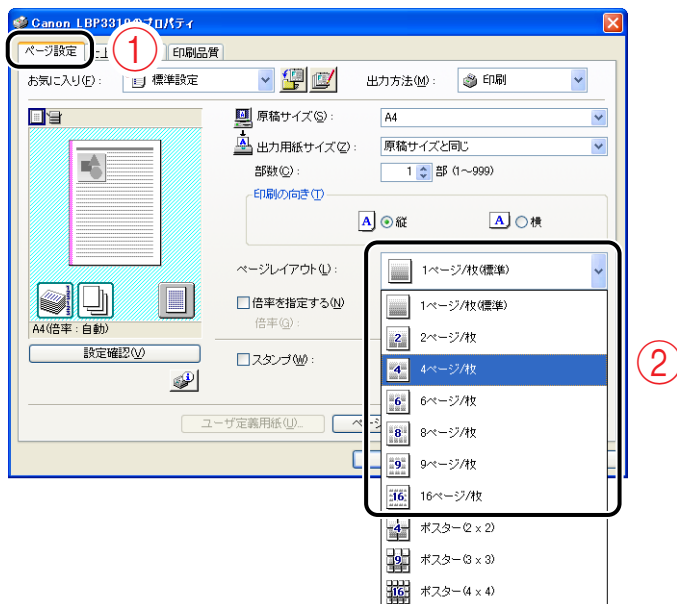
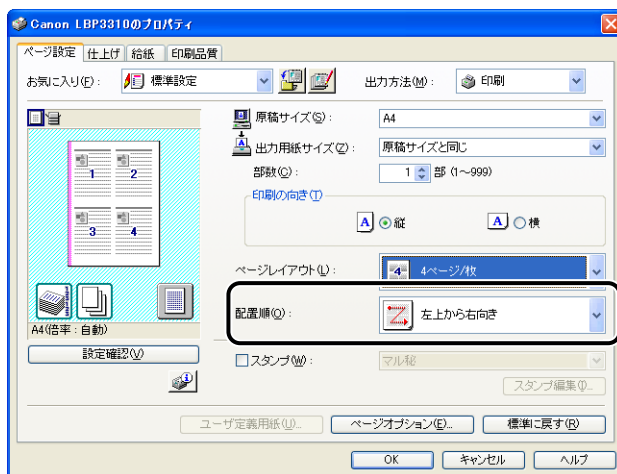
1 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

[印刷] ダイアログボックスが表示されます。

メモ お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 本プリンタを選択して、[プロパティ] または [詳細設定] をクリックします。

3 [ページ設定] ページを表示して ①、[ページレイアウト] で 1 枚に収めるページ数を選択します ②。

選択できるページ数は、1、2、4、6、8、9、16 ページ/枚のいずれかです。

4 手順３で２、４、６、８、９、16ページ／枚のいずれかを選択すると、［配置順］が表示されますので、ページを並べる順番を選択します。

メモ　［配置順］の選択肢は、印刷する用紙の向きや１枚に収めるページ数によって異なります。

5 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

6 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

拡大／縮小して印刷する

自動で倍率を設定したり、任意に倍率を設定して拡大／縮小印刷することができます。
設定できる倍率は 25 ～ 200% です。

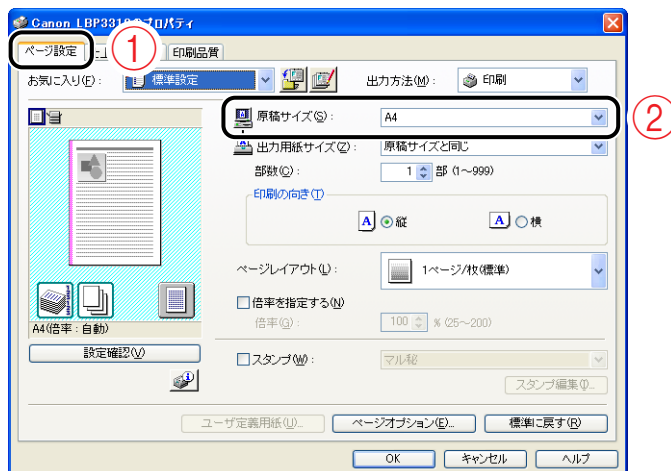
自動で倍率を設定して印刷する

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 **本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。**

3 **［ページ設定］ページを表示して①、［原稿サイズ］を選択します②。**

4 **［出力用紙サイズ］を選択します。**

選択した［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に合わせて、自動的に倍率が設定されます。

5 設定内容を確認して、[OK]をクリックします。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

6 [OK]または[印刷]をクリックします。

印刷がはじまります。

任意に倍率を設定して印刷する

1 アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

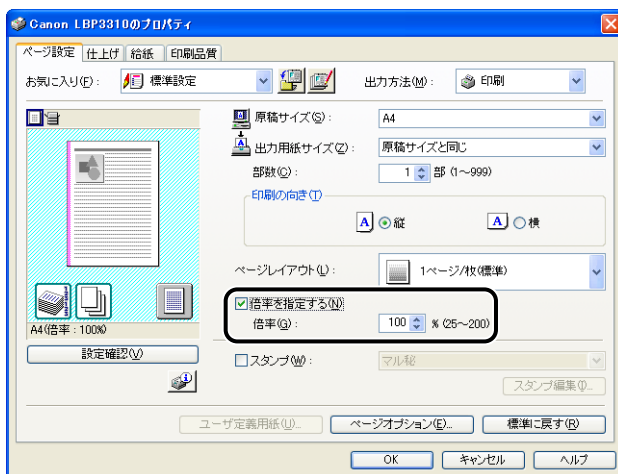
[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 本プリンタを選択して、[プロパティ]または[詳細設定]をクリックします。

3 [ページ設定]ページを表示して、[原稿サイズ]を選択します。

4 [出力用紙サイズ]を選択します。

5 ［倍率を指定する］にチェックマークを付けて、スピンボックスの数値を変更します。

6 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

7 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

ポスター印刷を行う

1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙に分割して印刷します。この印刷した複数枚の用紙を貼り合わせると、ポスターのような大きなプリントを作成することができます。

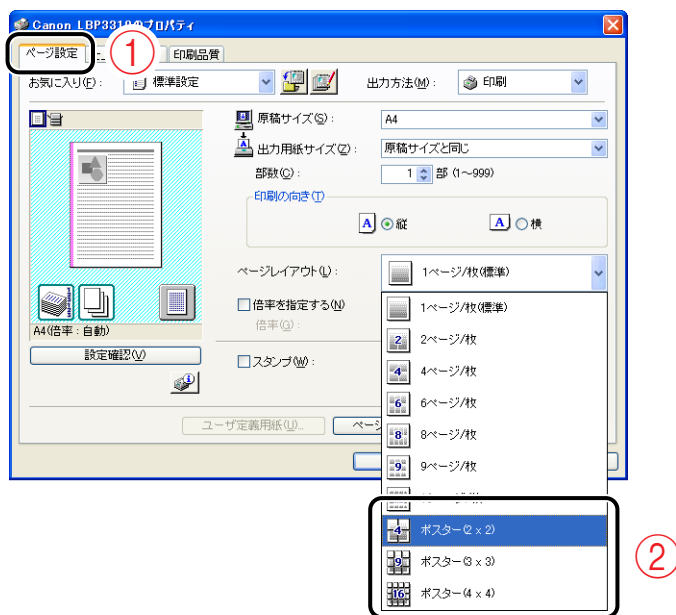
重要　印刷する前に、［デバイスの設定］ページの［内部スプール処理］の設定が［自動］になっていることを確認してください。（➞［内部スプール処理］の設定を確認する：P.10-10）

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 **本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。**

3 ［ページ設定］ページを表示して①、［ページレイアウト］から［ポスター（N x N）］（N＝2、3、4）を選択します②。

印刷後のレイアウトイメージがプレビュー画面に表示されます。

4 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

スタンプを付けて印刷する

アプリケーションソフトで作成した原稿に、スタンプ（［COPY］や［DRAFT］などの透かし文字）を重ね合わせて印刷します。
また、新しいスタンプを登録したり、すでに登録したスタンプを編集したりすることもできます。

重要　印刷や編集する前に、［デバイスの設定］ページの［内部スプール処理］の設定が［自動］になっていることを確認してください。（➞［内部スプール処理］の設定を確認する：P.10-10）

スタンプを付けて印刷する

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

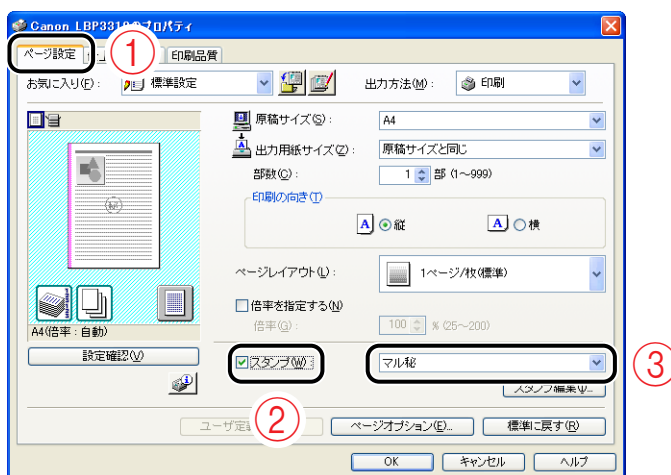
メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 **本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。**

3 次の操作を行います。

① ［ページ設定］ページを表示する

② ［スタンプ］にチェックマークを付ける

③ ［スタンプ］の右側にあるリストから、スタンプとして印刷する文字列を選択する

4 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

スタンプを編集する

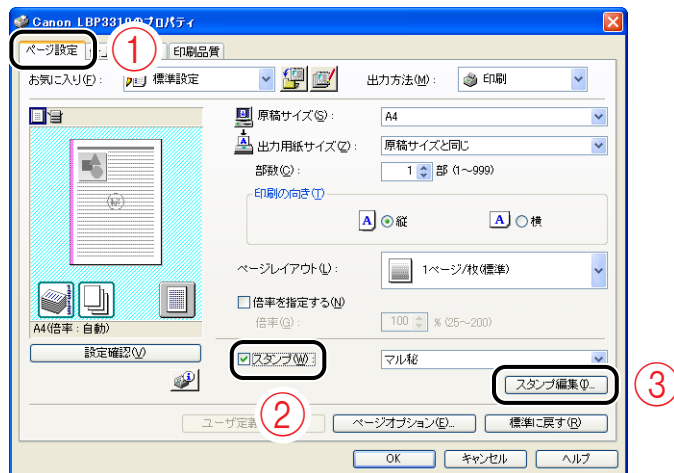
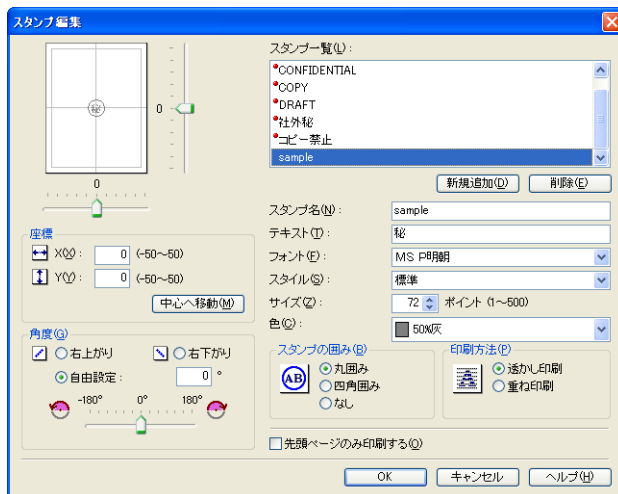
1 次の操作を行います。

① ［ページ設定］ページを表示する

② ［スタンプ］にチェックマークを付ける

③ ［スタンプ編集］をクリックする

2 必要に応じて項目を設定します。

メモ

- 設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」(→P.5-24)を参照してください。
- 新しくスタンプを登録する場合は、[新規追加]をクリックします。
- あらかじめ登録されているスタンプの変更はできません。

3 設定内容を確認して、[OK]をクリックします。

[ページ設定]ページに戻ります。

ページに枠や日付を付けて印刷する

出力する用紙に枠や日付、ページ番号などを一緒に印刷します。

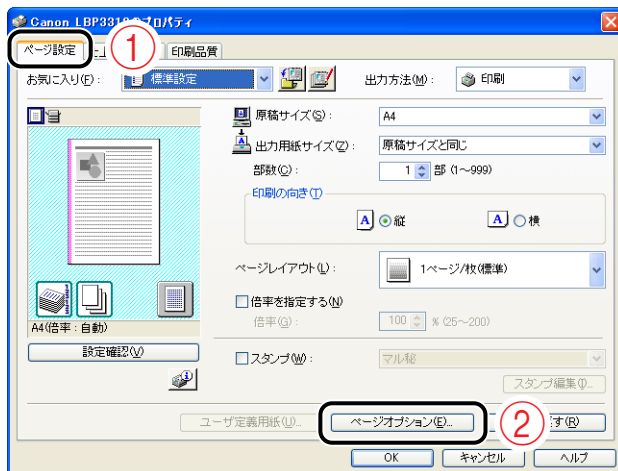
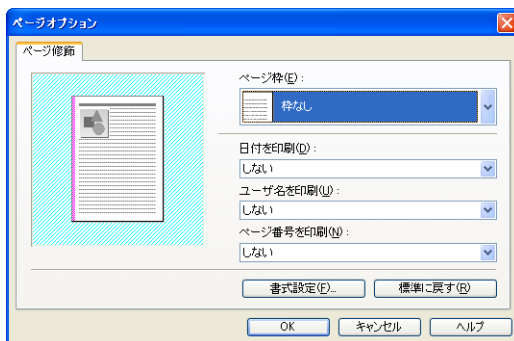
重要 印刷する前に、［デバイスの設定］ページの［内部スプール処理］の設定が［自動］になっていることを確認してください。（→［内部スプール処理］の設定を確認する：P.10-10）

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。

3 ［ページ設定］ページを表示して ①、［ページオプション］をクリックします ②。

4 必要に応じて項目を設定します。

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」(➞P.5-24) を参照してください。

5 設定内容を確認して、[OK] をクリックします。

[ページ設定] ページに戻ります。

6 [OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

7 [OK] または [印刷] をクリックします。

印刷がはじまります。

製本印刷を行う

製本印刷を行うと、印刷した用紙を2つ折りにするだけで、本のようにすることができます。

たとえば、8ページの文書を製本印刷するときは、1枚の用紙の両面に2ページずつ印刷され、合計2枚の用紙に印刷されます。

また、大量のページを製本印刷したいときは、2つ折りにする枚数を指定し、2つ折りにしたものをまとめて、本を作ることもできます。

重要

- 製本印刷を行う場合は、プリンタ背面の用紙サイズ切り替えレバーが正しくセットされていることを、必ず確認してください。正しくセットされていないと、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になることがあります。
  用紙サイズ切り替えレバーのセット方法は、「自動で両面に印刷する」(➞P.5-10)を参照してください。
- 印刷する前に、[デバイスの設定]ページの[内部スプール処理]の設定が[自動]になっていることを確認してください。(➞[内部スプール処理]の設定を確認する:P.10-10)

1 **アプリケーションソフトの[ファイル]メニューから[印刷]を選択します。**

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

メモ

お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

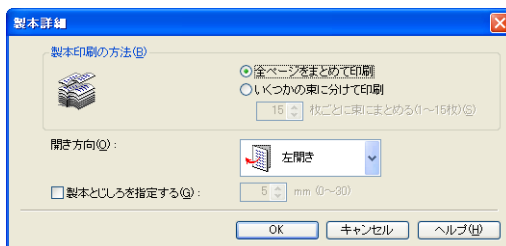
2 **本プリンタを選択して、[プロパティ]または[詳細設定]をクリックします。**

3 次の操作を行います。

① ［仕上げ］ページを表示する

② ［印刷方法］で［製本印刷］を選択する

③ ［製本詳細］をクリックする

4 必要に応じて項目を設定します。

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（→P.5-24）を参照してください。

5 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［仕上げ］ページに戻ります。

6 ［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

7 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

とじしろを付けて印刷する

印刷する用紙にとじしろを付けることができます。とじしろとして設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。

また、とじしろを設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを設定することもできます。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

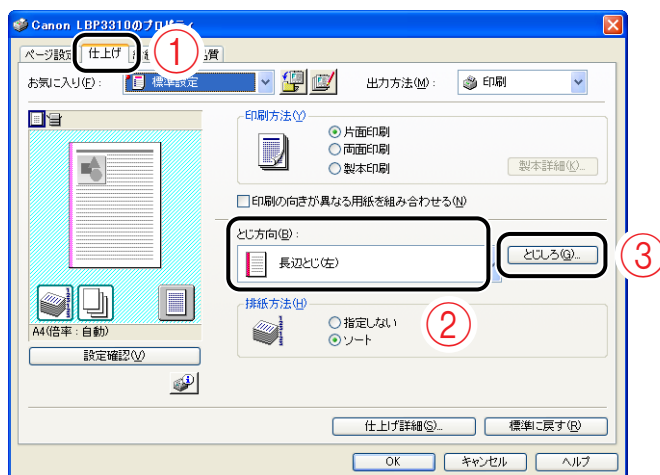
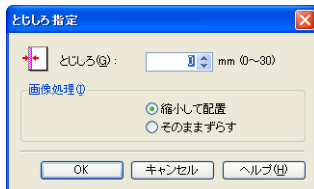
メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。

3 次の操作を行います。

① ［仕上げ］ページを表示する

② ［とじ方向］でとじしろを付ける方向を選択する

③ ［とじしろ］をクリックする

4 必要に応じて項目を設定します。

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」(→P.5-24)を参照してください。

5 設定内容を確認して、[OK]をクリックします。

[仕上げ]ページに戻ります。

6 [OK]をクリックします。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

7 [OK]または[印刷]をクリックします。

印刷がはじまります。

排紙方法を選択して印刷する

排紙方法を次の項目から選択して印刷します。

- ［指定しない］
  ページごとに指定された部数を印刷します。
  たとえば、1 ～ 3 ページまでを 3 部印刷すると、1、1、1、2、2、2、3、3、3 の順で印刷されます。
- ［ソート］
  ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。
  たとえば、1 ～ 3 ページまでを 3 部印刷すると、1、2、3、1、2、3、1、2、3 の順で印刷されます。

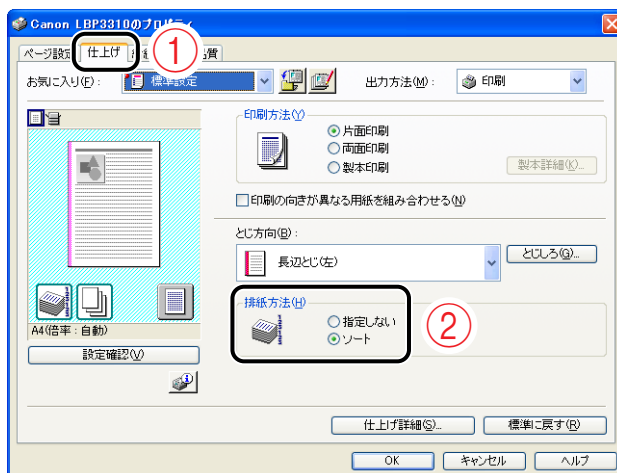
---

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 **本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。**

3 ［仕上げ］ページを表示して ①、［排紙方法］で排紙方法を選択します ②。

4 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

用紙の左上を原点として印字する

通常、用紙の左上 5mm（封筒は 10mm）を原点として印字されるため、用紙いっぱいに印刷する原稿などは、一部の方向（右下など）が欠けて印刷されることがあります。このような場合に、用紙の左上余白 0mm を原点として印字して、印刷できる範囲を用紙の端近くまで広げることができます。

重要
- 印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されることがあります。
- お使いのアプリケーションソフトによっては、［用紙の左上を原点として印字する］の機能は無効となります。

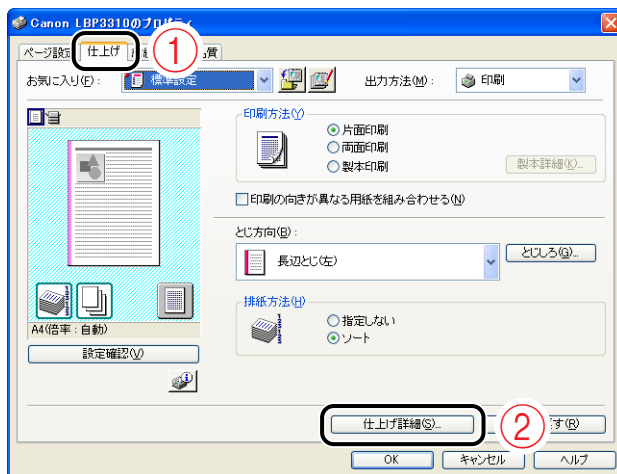
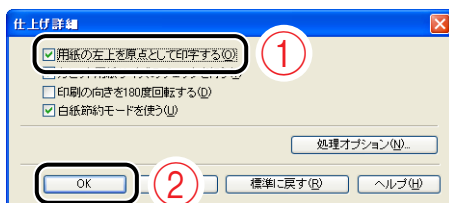
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ
お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。

3 ［仕上げ］ページを表示して ①、［仕上げ詳細］をクリックします ②。

Windowsでいろいろな印刷機能を使用する

4 [用紙の左上を原点として印字する] にチェックマークを付けて ①、[OK] をクリックします ②。

[仕上げ] ページに戻ります。

5 [OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

6 [OK] または [印刷] をクリックします。

印刷がはじまります。

印刷の向きを 180 度回転して印刷する

画像を 180 度回転させて用紙に印刷します。
特定方向のみでしか給紙できない封筒やインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。

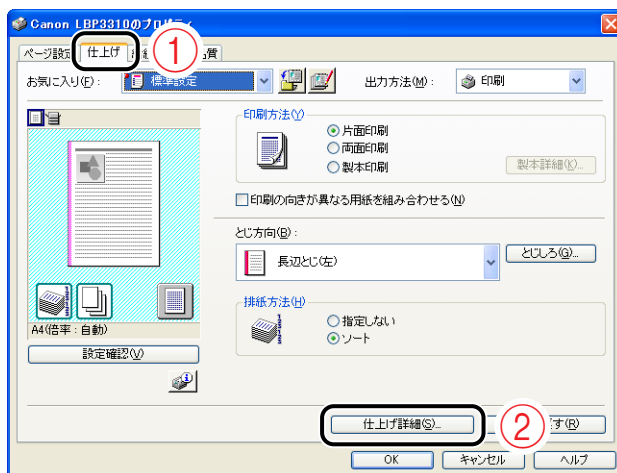
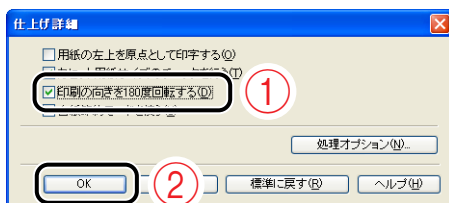
1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 **本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。**

3 **［仕上げ］ページを表示して ①、［仕上げ詳細］をクリックします ②。**

6
Windowsでいろいろな印刷機能を使用する

4 ［印刷の向きを 180 度回転する］にチェックマークを付けて ①、［OK］をクリックします ②。

［仕上げ］ページに戻ります。

5 ［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

6 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

ページごとに用紙を指定して印刷する

表紙を異なる用紙に印刷するときなど、ページごとに用紙を指定して印刷することができます。

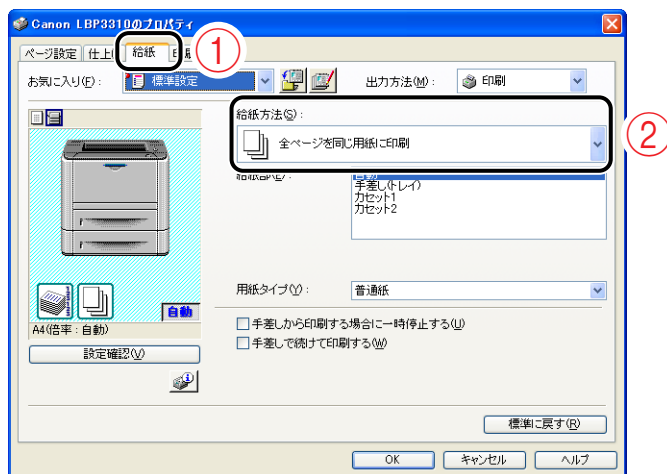
重要 印刷する前に、［デバイスの設定］ページの［内部スプール処理］の設定が［自動］になっていることを確認してください。（➞［内部スプール処理］の設定を確認する：P.10-10）

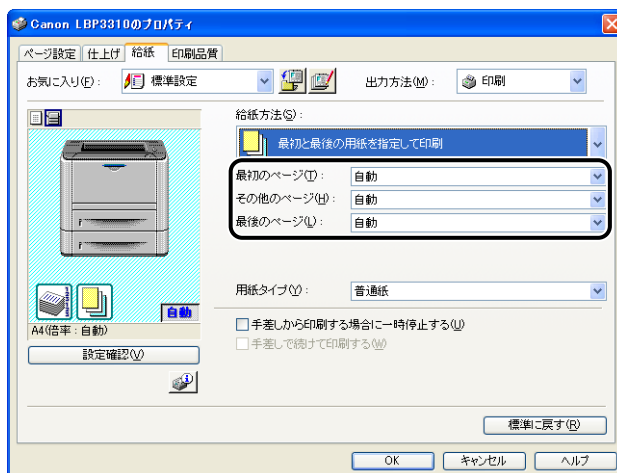
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。

3 ［給紙］ページを表示して ①、［給紙方法］で用紙を指定するページを選択します ②。

重要 ［表紙の用紙を指定して印刷］は、［仕上げ］ページの［印刷方法］の設定が［製本印刷］の場合にのみ選択できます。

4 給紙部を選択します。

5 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

6 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

粗い画像を補正してなめらかに印刷する

写真画像などのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。そのような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷することができます。

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

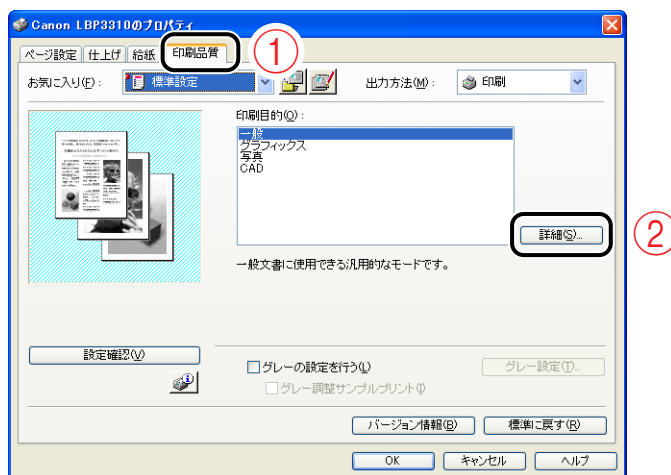
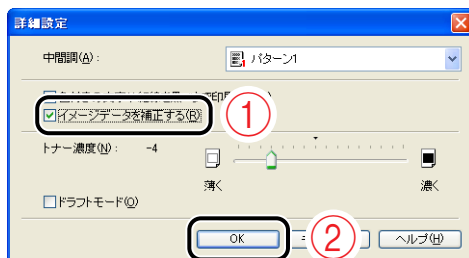
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。

3 ［印刷品質］ページを表示して①、［詳細］をクリックします②。

6

Windowsでいろいろな印刷機能を使用する

4 ［イメージデータを補正する］にチェックマークを付けて①、［OK］をクリックします②。

［印刷品質］ページに戻ります。

5 ［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

6 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

トナー濃度を調節して印刷する

トナーの濃度を調節して印刷します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

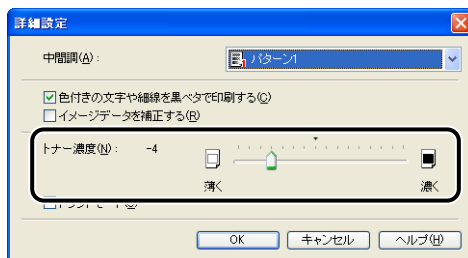
2 **本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。**

3 **［印刷品質］ページを表示して ①、［詳細］をクリックします ②。**

6

Windowsでいろいろな印刷機能を使用する

4 [トナー濃度] のつまみを左右にドラッグして、トナー濃度を調節します。

右へ動かすと濃くなり、左へ動かすと薄くなります。

5 設定内容を確認して、[OK] をクリックします。

[印刷品質] ページに戻ります。

6 [OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

7 [OK] または [印刷] をクリックします。

印刷がはじまります。

明るさやコントラストを調整して印刷する

明るさやコントラストを調整して印刷することができます。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 **本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。**

3 **次の操作を行います。**

① ［印刷品質］ページを表示する

② ［グレーの設定を行う］にチェックマークを付ける

③ ［グレー設定］をクリックする

4 ［グレー調整］ページを表示して①、印刷するときの明るさやコントラストを調整します②。

［明るさ］のつまみを右へ動かすと明るくなり、左へ動かすと暗くなります。
［コントラスト］のつまみを右へ動かすとコントラストが強くなり、左へ動かすとコントラストが弱くなります。

5 設定内容を確認して、［OK］をクリックします。

［印刷品質］ページに戻ります。

6 ［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

7 ［OK］または［印刷］をクリックします。

印刷がはじまります。

明るさとコントラストを調整した画像のサンプルを印刷することができます。詳しくは、「グレー調整サンプルを印刷する」（→P.6-50）を参照してください。

グレー調整サンプルを印刷する

グレー調整した画像のサンプルを印刷することができます。用紙の中央に［調整後の画像］が印刷され、［調整後の画像］の周りに［明るさ］と［コントラスト］をそれぞれ 1 目盛り分変更した画像が印刷されます。

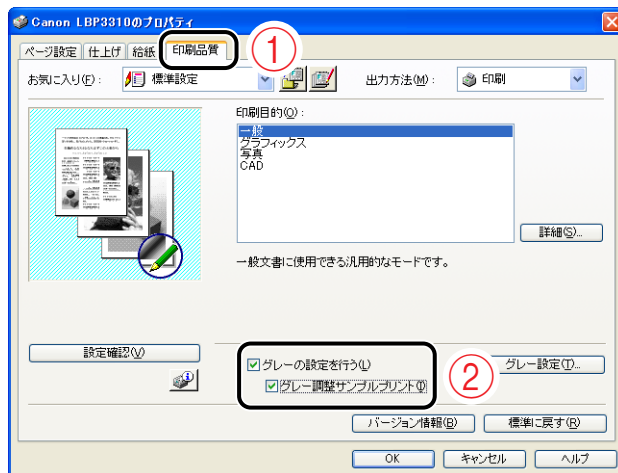
重要　印刷する前に、［デバイスの設定］ページの［内部スプール処理］の設定が［自動］になっていることを確認してください。（➞［内部スプール処理］の設定を確認する：P.10-10）

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 **本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。**

3 **［印刷品質］ページを表示して ①、［グレーの設定を行う］と［グレー調整サンプルプリント］にチェックマークを付けます ②。**

重要　グレー調整サンプルを印刷する場合、［ページ設定］ページの［ページレイアウト］は、必ず［1 ページ / 枚 (標準)］を選択してください。

4 [OK] をクリックします。

[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

5 [OK] または [印刷] をクリックします。

グレー調整サンプルが印刷されます。

重要　グレー調整サンプルを印刷したあとは、[グレー調整サンプルプリント] のチェックマークを消してください。

「お気に入り」を使用する

さまざまな印刷に対応したプリンタドライバの設定が、「お気に入り」としてあらかじめ用意されています。「お気に入り」を選択するだけで、目的に応じた最適な設定の印刷を行うことができます。

また、あらかじめ用意されている「お気に入り」を使用するだけでなく、独自の「お気に入り」を登録して使用することもできます。

メモ
- 「お気に入り」はログオンユーザー名ごとに最大50まで設定できます。
- プリンタの名称を変更すると、登録した「お気に入り」を使用できなくなります。名称を元に戻すと、使用可能になります。

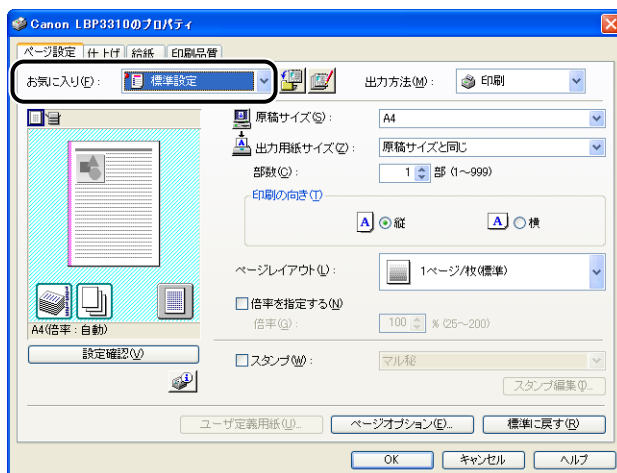
「お気に入り」を選択して印刷する

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ
お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 **本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。**

3 ［お気に入り］から目的に応じた「お気に入り」を選択します。

4 ［OK］をクリックします。

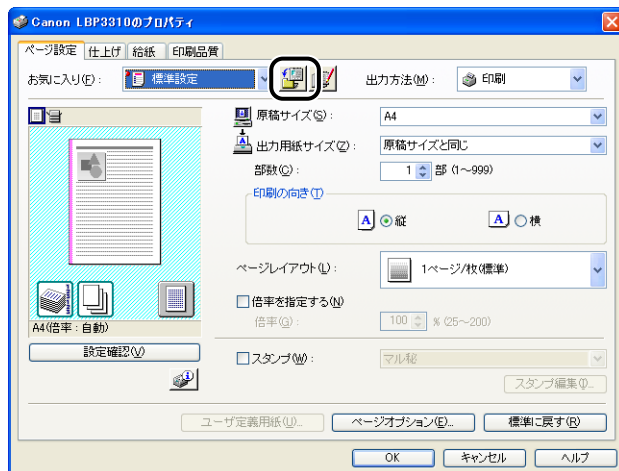
［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［OK］または［印刷］をクリックします。

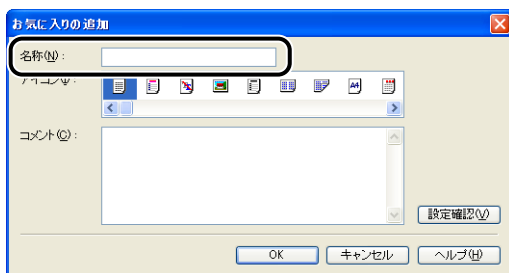
印刷がはじまります。

「お気に入り」を登録する

1 [ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質] の各ページで登録したい内容を設定します。

2 [ ] (お気に入りの追加) をクリックします。

3 [名称] に「お気に入り」の名前を入力します。

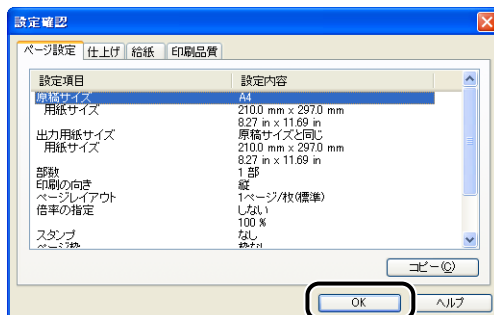
[アイコン] では、アイコンを選択できます。
メモしておきたいことがあれば、[コメント] に入力します。

メモ

[名称] には全角、半角にかかわらず 31 文字まで、[コメント] には全角、半角にかかわらず 255 文字まで入力できます。

6

Windowsでいろいろな印刷機能を使用する

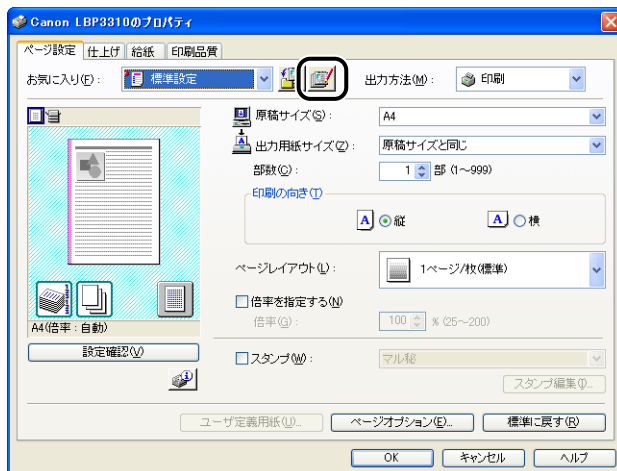
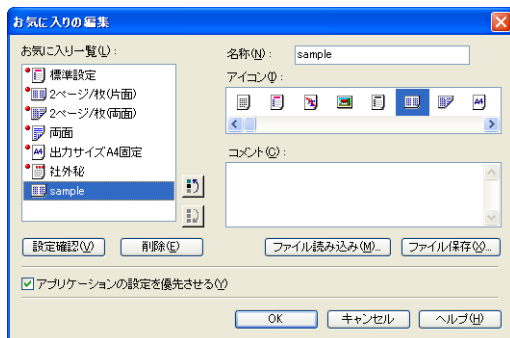
4 必要に応じて各ページの設定内容を確認します。

1. ［設定確認］をクリックします。
2. ［OK］をクリックすると、［お気に入りの追加］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［OK］をクリックします。

最初のページに戻ります。
設定したお気に入りの名称が、［お気に入り］に追加されていることを確認してください。

「お気に入り」を編集する

登録した「お気に入り」の情報を変更したり、「お気に入り」をファイルとして保存することなどができます。

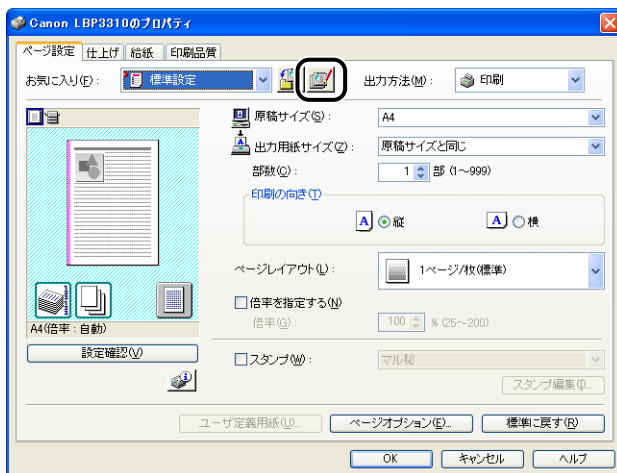
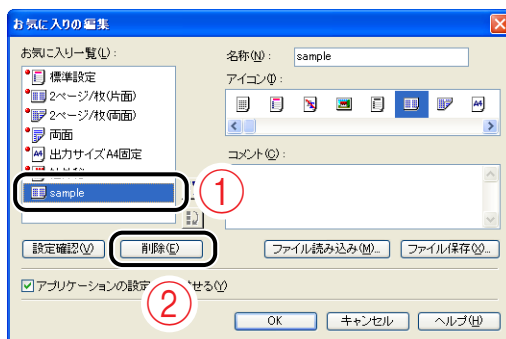
1 ［ ］（お気に入りの編集）をクリックします。

2 「お気に入り」の情報を編集します。

メモ　設定項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。ヘルプの表示方法は、「ヘルプの使いかた」（→P.5-24）を参照してください。

3 [OK] をクリックします。

最初のページに戻ります。

「お気に入り」を削除する

登録した「お気に入り」は削除することができます。

1 [ ]（お気に入りの編集）をクリックします。

2 ［お気に入り一覧］から削除したい「お気に入り」を選択して①、［削除］をクリックします②。

重要　削除できるのは独自に登録した「お気に入り」だけです。あらかじめ用意されている「お気に入り」を削除することはできません。また、各ページで選択中の「お気に入り」も削除することはできません。

3 ［OK］をクリックします。

最初のページに戻ります。

6

Windowsでいろいろな印刷機能を使用する

ジョブを編集する

2 つ以上のジョブを 1 つに結合して印刷したり、さらに結合したジョブの設定内容を変更して印刷することができます。異なるアプリケーションソフトの印刷ジョブの編集も可能です。また、ジョブのプレビュー表示もできます。

重要　印刷する前に、［デバイスの設定］ページの［内部スプール処理］の設定が［自動］になっていることを確認してください。（➞［内部スプール処理］の設定を確認する：P.10-10）

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

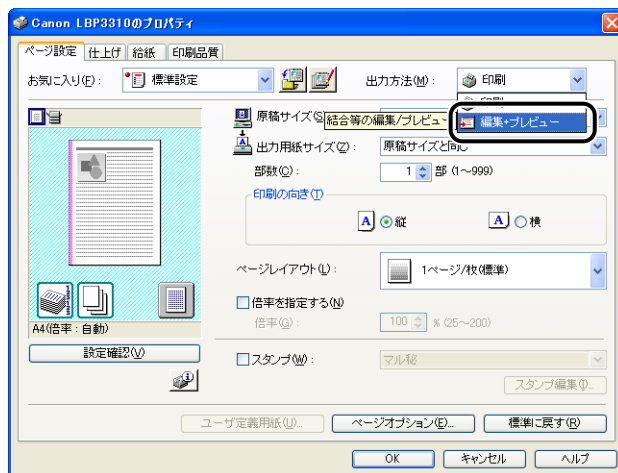
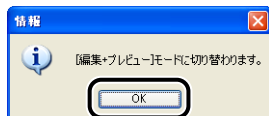
［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

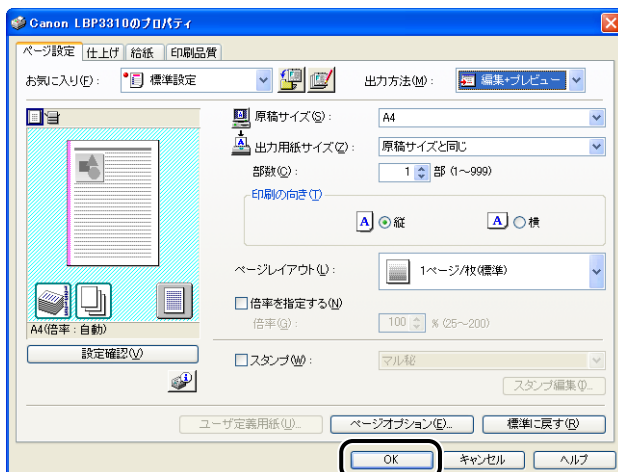
メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 本プリンタを選択して、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックします。

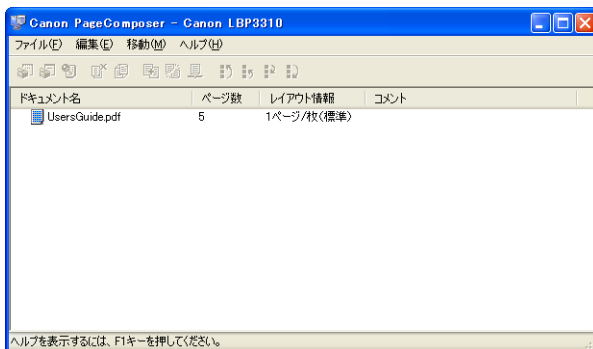
3 ［出力方法］から［編集＋プレビュー］を選択します。

6

Windowsでいろいろな印刷機能を使用する

4 ［OK］をクリックします。

5 各ページで印刷条件の設定を行い、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

6 ［OK］または［印刷］をクリックします。

［Canon PageComposer］ダイアログボックスが表示され、ジョブがリストに表示されます。

7 編集したいジョブを同様に手順 1 から 6 を繰り返します。

8 [Canon PageComposer] ダイアログボックスでリストにあるジョブの編集を行います。

メモ

- [Canon PageComposer] ダイアログボックスでの詳しい設定方法については、Canon PageComposer のヘルプをご覧ください。
- 印刷設定の初期値として [編集 + プレビュー] モードを選択して、[ ] (ロック) を設定している場合は、印刷時に必ず [Canon PageComposer] ダイアログボックスが表示されます。
  印刷設定の初期値を変更する方法については、「印刷設定の初期値 (デフォルト値) を変更する」(➞P.5-8) を参照してください。

日常のメンテナンス

この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明します。

重要　トナーカートリッジの寿命が近づいても、お使いのコンピュータに警告メッセージは表示されません。用紙の縦方向に白いすじが入ったり、印刷のカスレやムラが出た場合を交換の目安としてください。最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

機種名	対応するキヤノン純正トナーカートリッジ
LBP3310	Canon Cartridge 515（キヤノン　トナーカートリッジ　５１５） Canon Cartridge 515 II（キヤノン　トナーカートリッジ　５１５　II）

メモ
- 本プリンタ用トナーカートリッジ（キヤノン純正品）の寿命は、次のようになっています。このページ数は、A4サイズで、「ISO/IEC 19752」*に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。トナー消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。
  - ･Canon Cartridge 515：　3,000ページ
  - ･Canon Cartridge 515 II：7,000ページ

  * 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準
- ここでは、トナーカートリッジがCanon Cartridge 515の場合のイラストで手順を説明します。

トナーカートリッジを交換するときのご注意

⚠警告　使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。
- 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。

メモ
- トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱いのご注意」（➞P.7-14）を参照してください。
- 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

トナーカートリッジの偽造品にご注意ください

トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。

「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」を含む非純正トナーカートリッジに起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは、下記 Web サイトを参照してください。

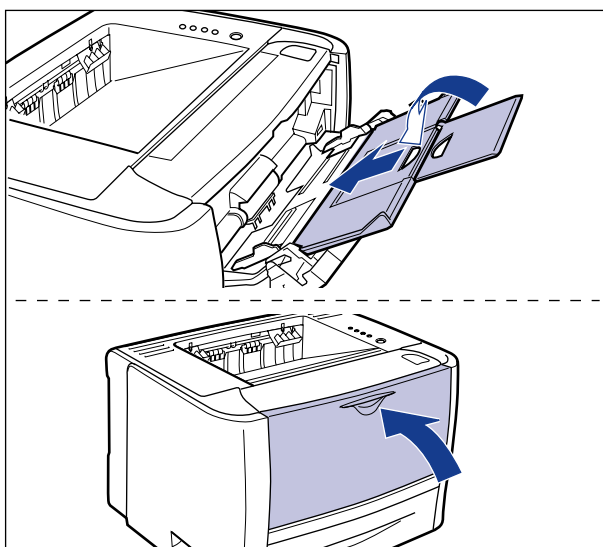
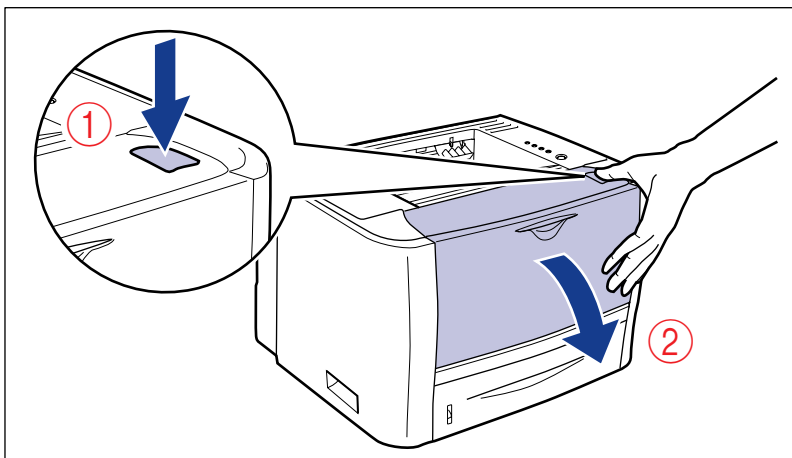
canon.com/counterfeit

トナーカートリッジを交換する前に

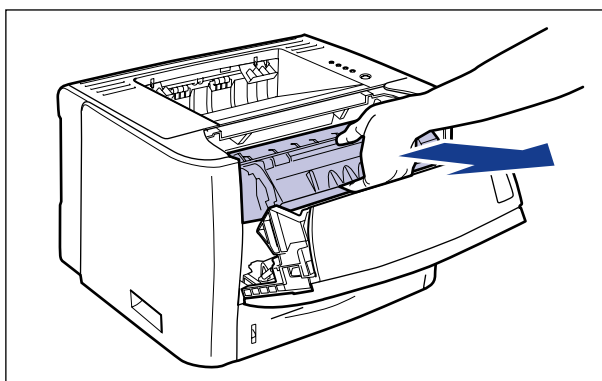
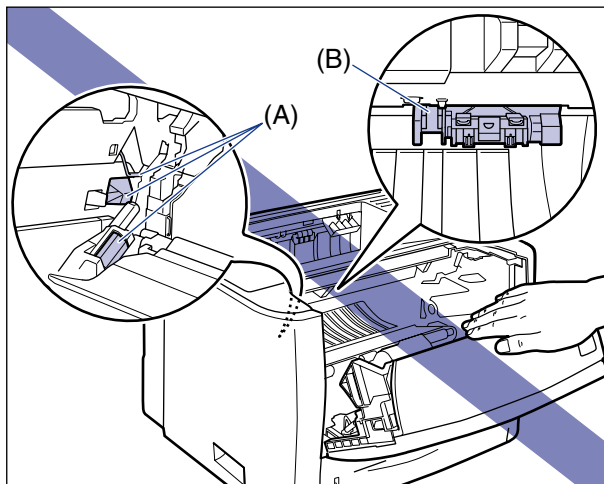
トナーカートリッジは消耗品です。トナーが不足すると、次のような症状が出ます。

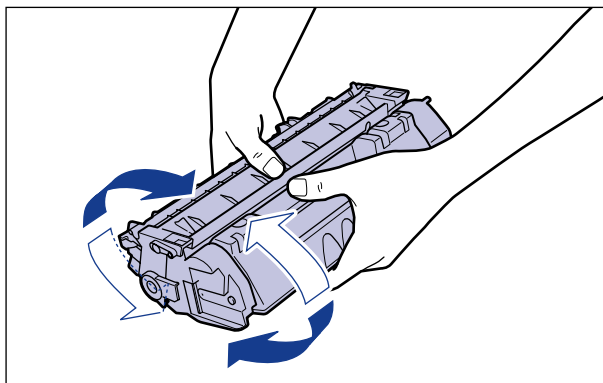
- 用紙の縦方向に白いすじが入る
- 印刷のカスレやムラが出る

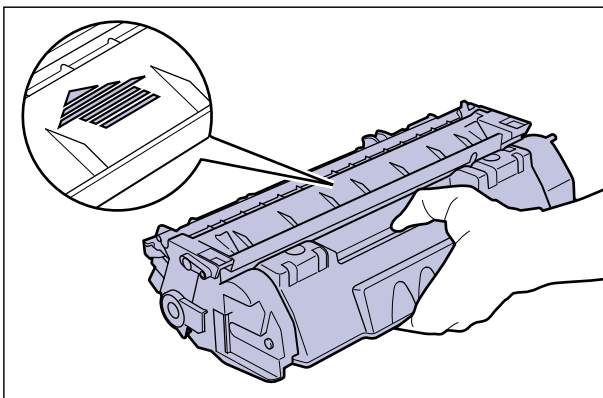
このような症状が出たら、トナーカートリッジを交換する前に次の操作をしてみてください。トナーが完全になくなるまで、しばらくの間印刷できることがあります。

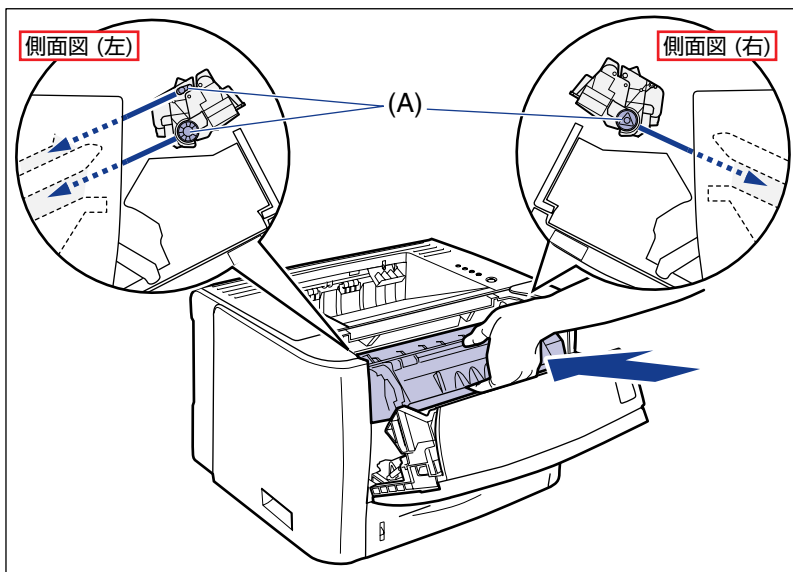
1 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。

2 前カバーを開けます。

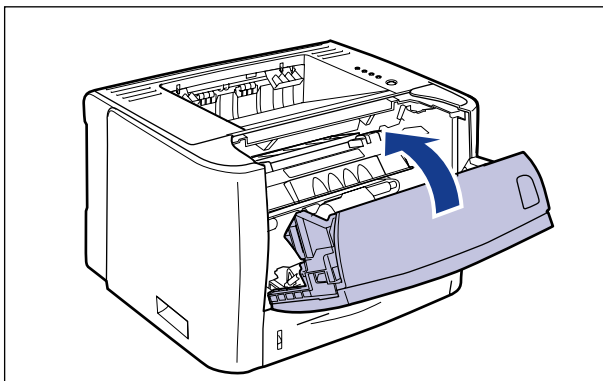
前カバー上面にあるオープンボタンを押しながら ①、ゆっくりと開けます ②。

3 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

重要　図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。プリンタの故障の原因になることがあります。

4 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

トナーがこぼれないように振ってください。

重要
- トナーが均一になっていないと、印刷品質が低下します。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

5 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

6 トナーカートリッジを取り付けます。

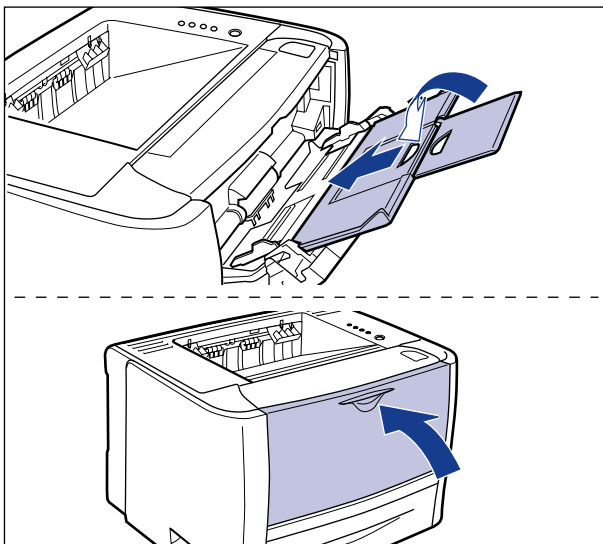
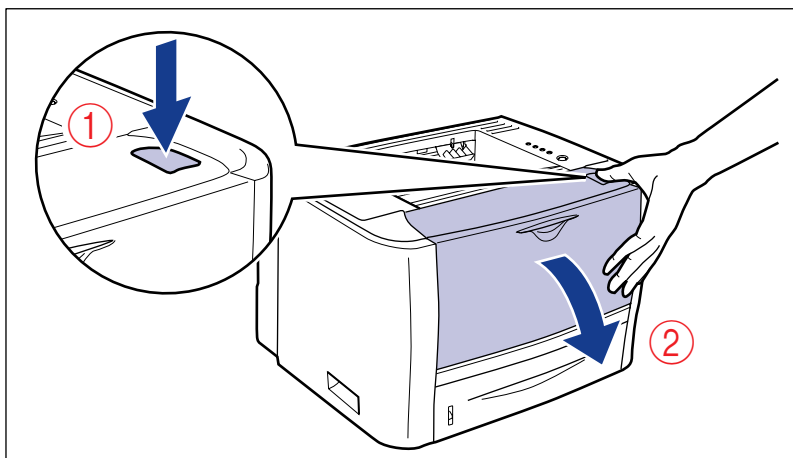
トナーカートリッジ左右の（A）をプリンタ内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。

7 前カバーを閉めます。

前カバーはゆっくりと確実に閉めます。

重要

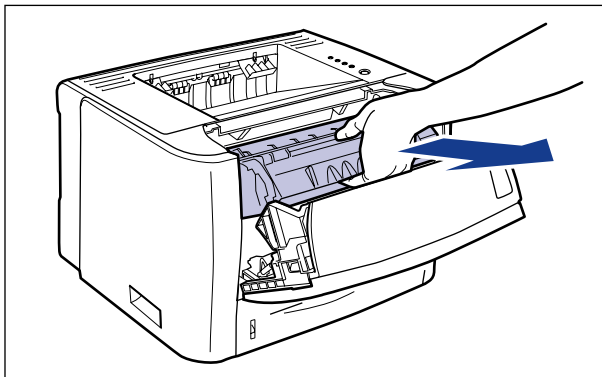
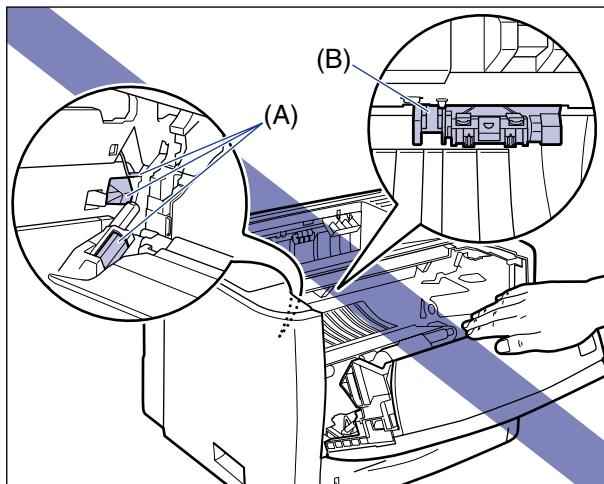
- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。印刷品質低下の原因になることがあります。

このような操作をしても印刷がかすれるときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

トナーカートリッジの交換

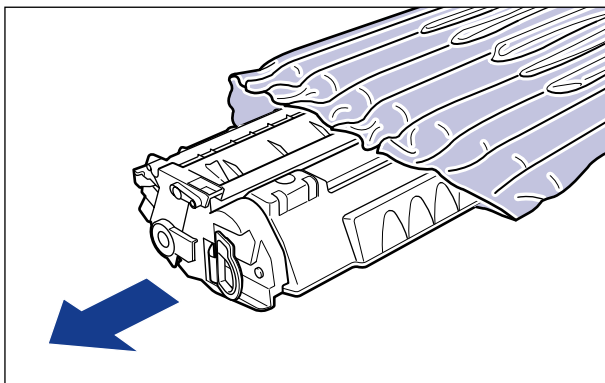
1 **手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。**

2 **前カバーを開けます。**

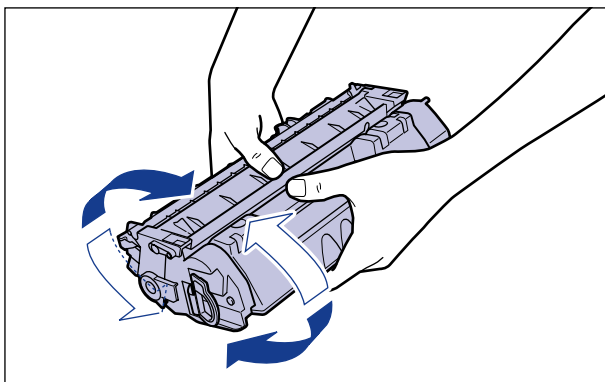
前カバー上面にあるオープンボタンを押しながら ①、ゆっくりと開けます ②。

3 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

重要　図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。プリンタの故障の原因になることがあります。

メモ　使用済みトナーカートリッジの回収にご協力ください。詳しくは「使用済みトナーカートリッジ回収のお願い」（→P.7-14）を参照してください。

4 新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。

5 保護袋からトナーカートリッジを取り出します。

保護袋は矢印付近に切り込みがありますので、手で切り取って開けることができます。ただし、手で切り取れない場合は、トナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けてください。

重要 トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

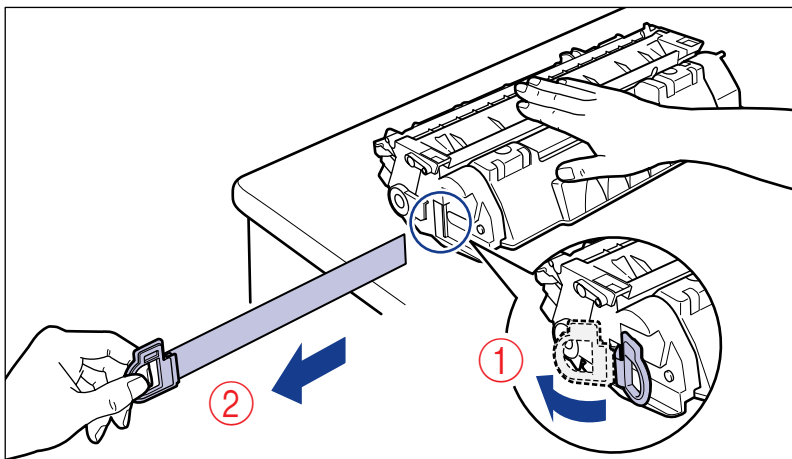
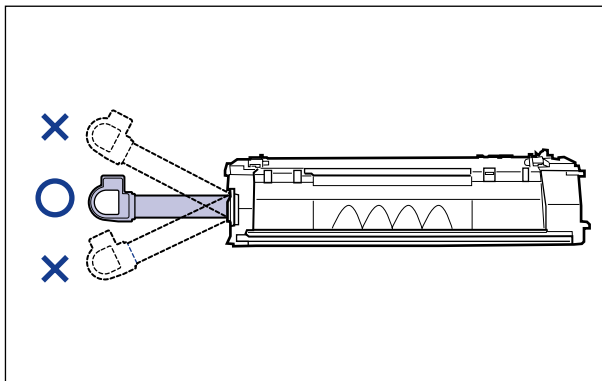
6 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

重要
- トナーが均一になっていないと、印刷品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないとトナーがこぼれることがあります。

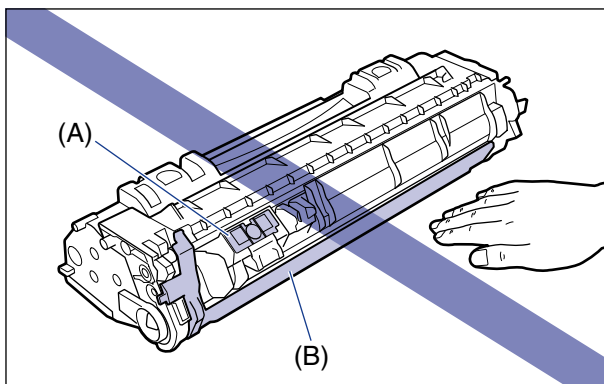
7 トナーカートリッジを平らな場所に置きます。

8 シーリングテープを引き抜きます。

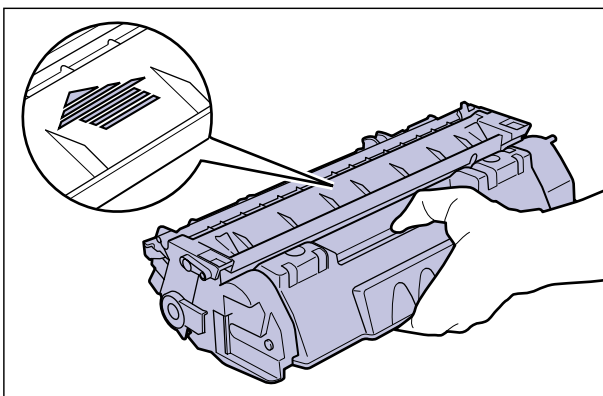
トナーカートリッジを押さえながらタブに指を掛けて折ります ①。
シーリングテープ（約 45cm）を矢印の方向にまっすぐにゆっくりと引き抜きます ②。

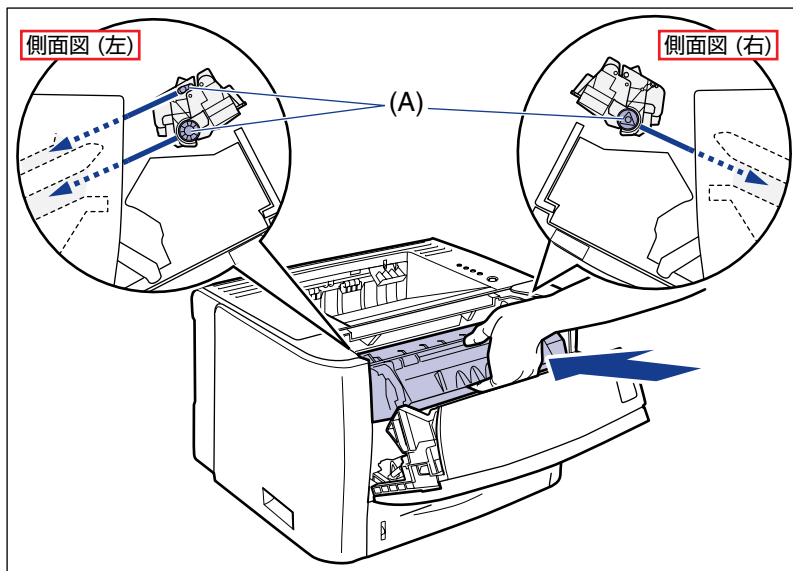
⚠注意 シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

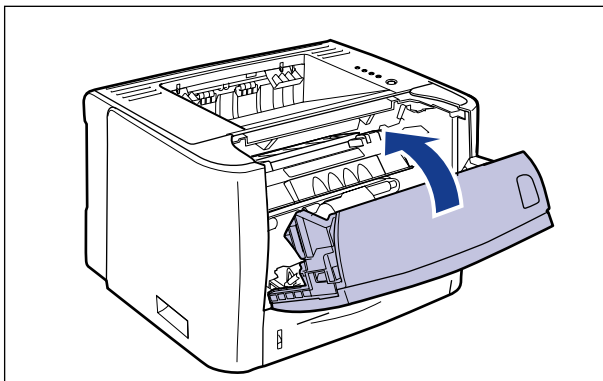
重要

- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。

- シーリングテープを引き抜くときは、トナーカートリッジメモリ（A）に触れたり、ドラム保護シャッター（B）を手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

9 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

7

日常のメンテナンス

10 トナーカートリッジを取り付けます。

トナーカートリッジ左右の（A）をプリンタ内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。

11 前カバーを閉めます。

前カバーはゆっくりと確実に閉めます。

重要

- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。印刷品質低下の原因になることがあります。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に回収窓口をご用意しております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。

回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**http://canon.jp/recycle**

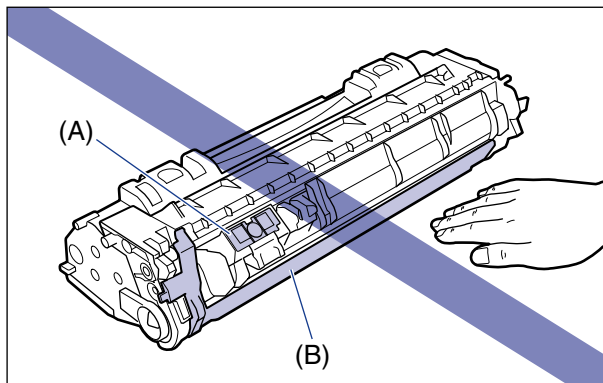
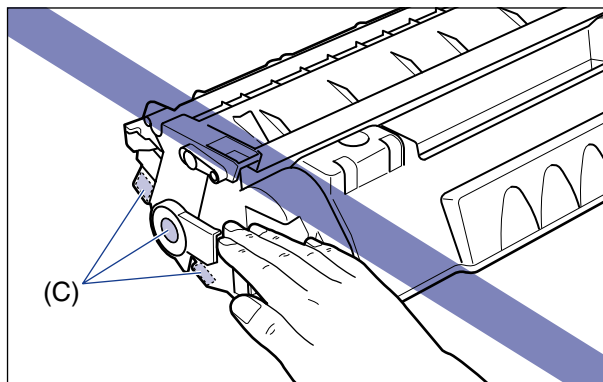
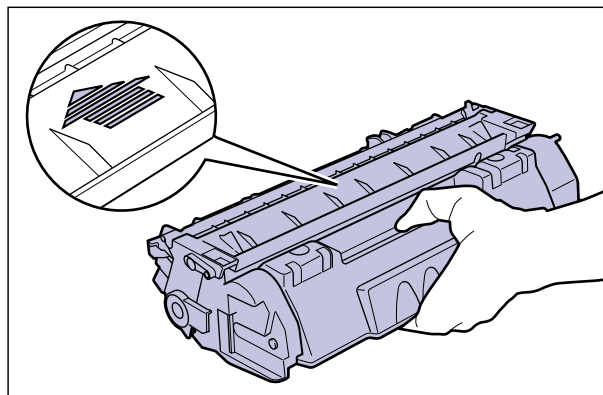
トナーカートリッジの取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印刷品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次のことに気を付けて取り扱ってください。

⚠警告　使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠注意　トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要
- プリンタの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。

- トナーカートリッジメモリ（A）に衝撃を与えたり、磁気を近づけたりしないでください。故障の原因になることがあります。また、内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印刷品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッター（B）を開けないでください。

- 電気接点部（C）など指定された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように矢印のついている面を上にして、正しく取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着（結露）することがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなどは、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- トナーカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。データ破損などの原因になることがあります。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

重要

- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。
- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所での保管は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所での保管は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ホコリの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品の近くには置かないでください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

定着ローラを清掃する

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。

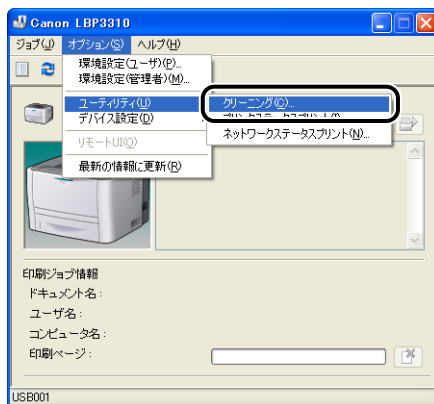
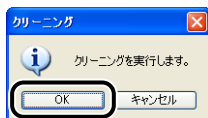
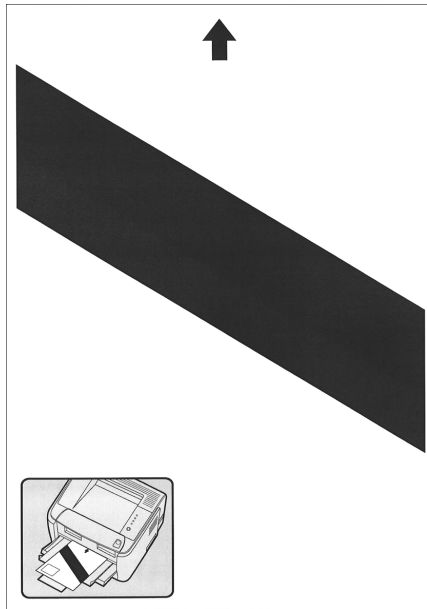
※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

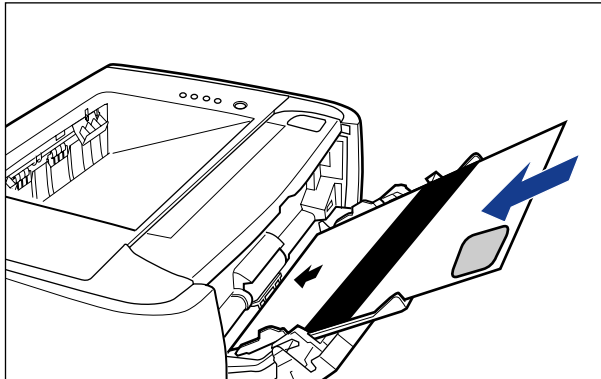
A4 サイズの用紙以外に、クリーニングページを印刷することはできません。A4 サイズの用紙をご用意ください。

1 手差しトレイまたは給紙カセットに、A4 サイズの用紙をセットします。

2 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.5-34）を参照してください。

3 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］➞［クリーニング］を選択します。

4 ［OK］をクリックします。

クリーニングページが印刷されます。

5 **手差しトレイに用紙がセットされている場合は、セットされている用紙を取り除きます。**

6 **クリーニングページの印刷された面を上にして、手差しトレイにセットします。**

用紙がゆっくりと送られて、定着ローラの清掃を開始します。

メモ

- クリーニングの実行には、約 80 秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

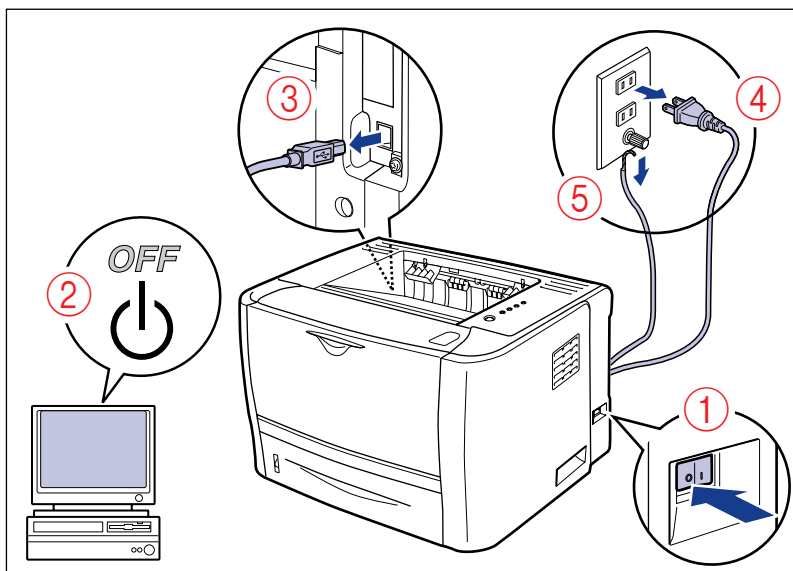
プリンタの外部を清掃する

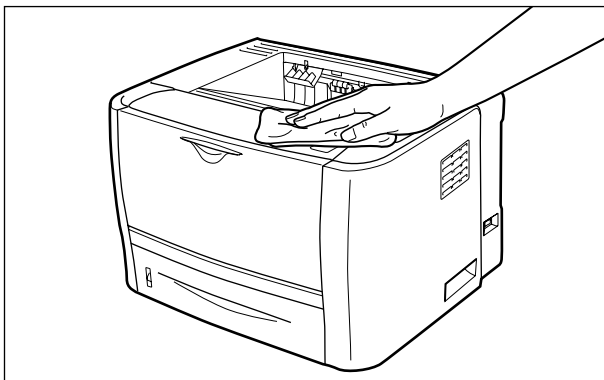
本プリンタの最良の印刷品質を保つために、定期的にプリンタ外部や通気口を清掃してください。本プリンタの清掃を行う場合は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けてください。

警告
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- プリンタのプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルをプリンタから抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。

3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

5 必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。

プリンタを移動する

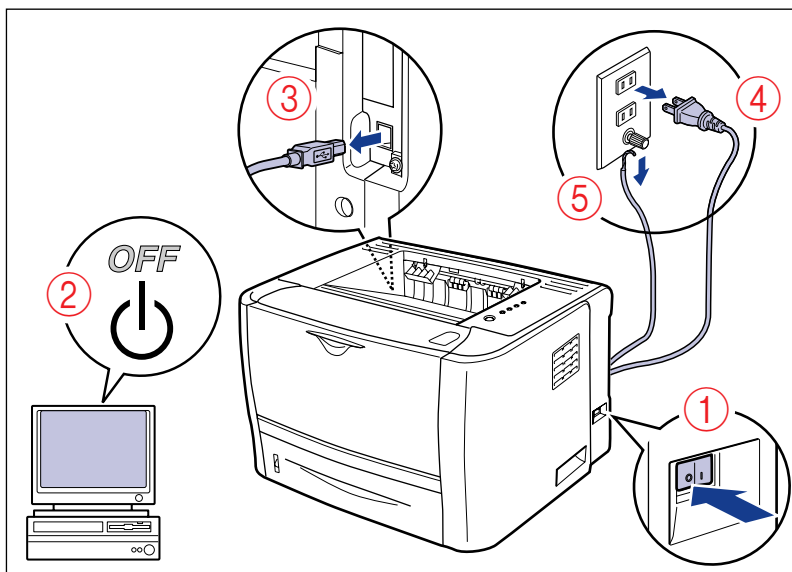
メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず次の手順にしたがってください。

注意 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

重要 必ず前カバーや手差しトレイなどが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

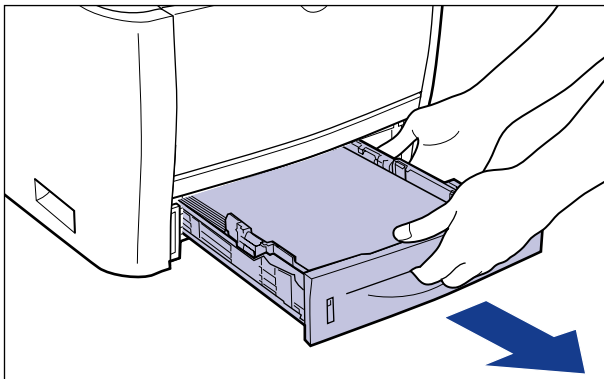
メモ 設置場所については、「設置場所について」（→P.2-3）を参照してください。

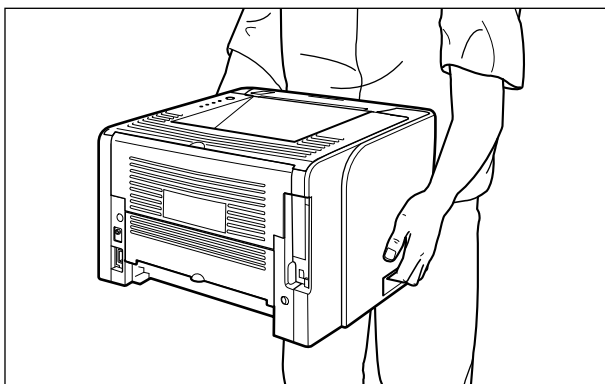
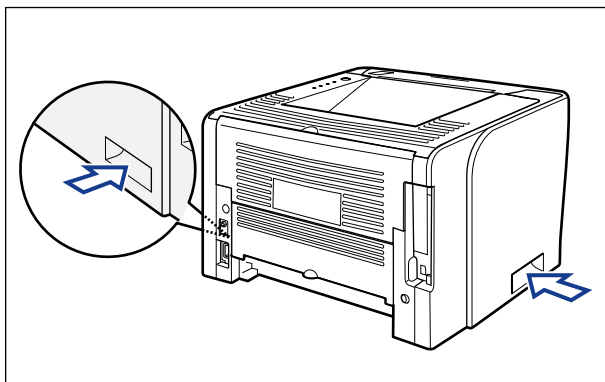
1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

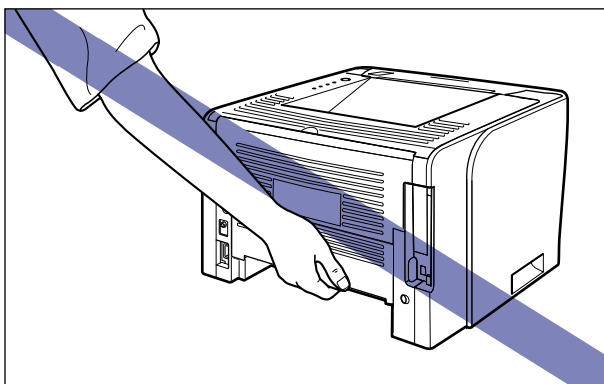
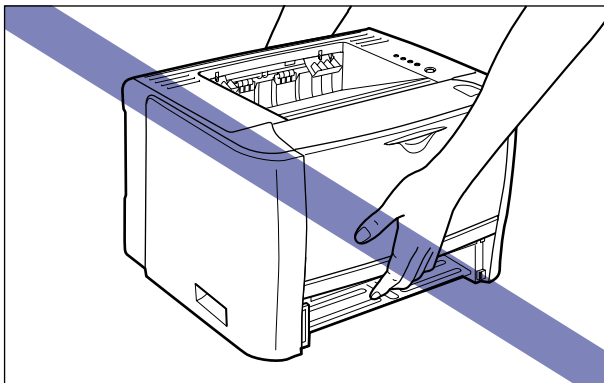
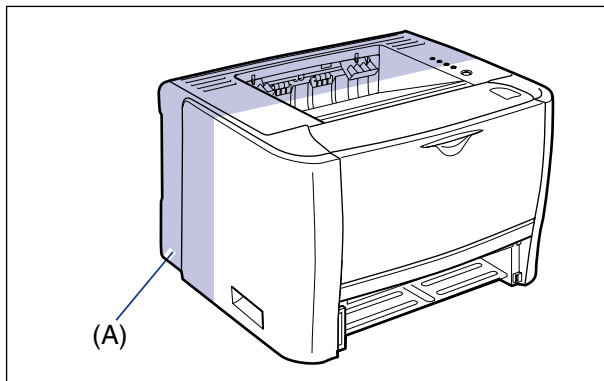
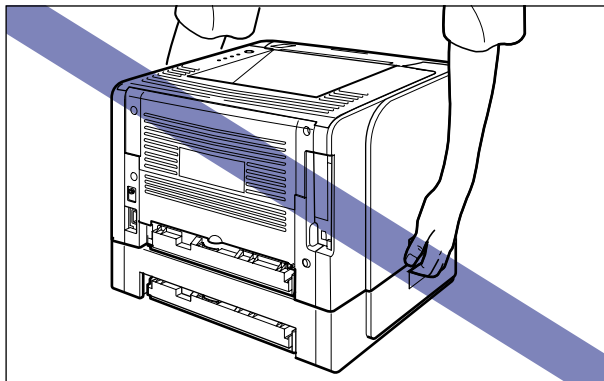
プリンタの電源を切ります ①。
USBケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USBケーブルをプリンタから抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

2 電源コードとアース線をプリンタから取り外します。

3 LANケーブルを接続している場合は、LANケーブルをネットワークボードから抜きます。

4 給紙カセットを引き出します。

5 プリンタを設置場所から移動します。

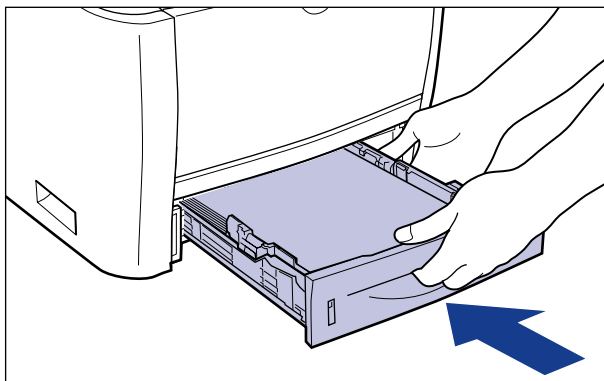
プリンタ下部にある運搬用取っ手に、プリンタ前面から手を掛け、両手でしっかり持ってください。

⚠注意 • 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 11kg あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

- プリンタの前面や背面など運搬用取っ手以外の部分は、絶対に持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

- 本プリンタは、背面側（A）が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下して、けがの原因になることがあります。

メモ　オプションのペーパーフィーダが取り付けられていたときは、プリンタを移動場所に運ぶ前にペーパーフィーダを移動場所に設置します。取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（→P.9-2）を参照してください。

6 移動場所にゆっくりとおろします。

⚠注意　プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

7 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセットの前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

⚠注意　給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

8 必要に応じて、LAN ケーブルをネットワークボードに接続します。

9 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

10 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

11 必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。

●プリンタを輸送するときは

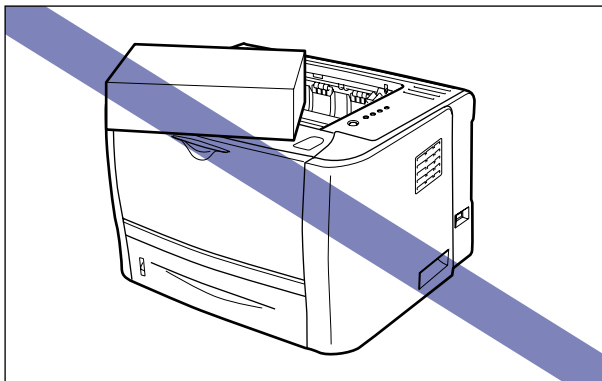
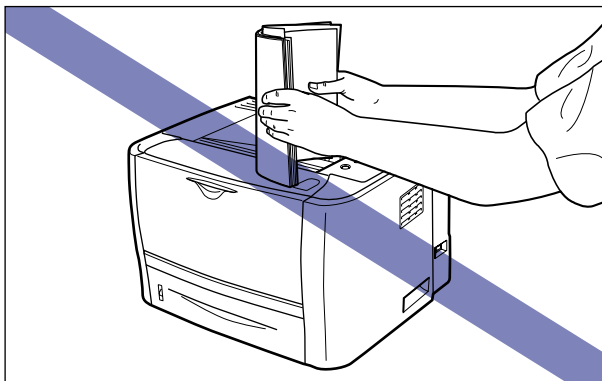
移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。

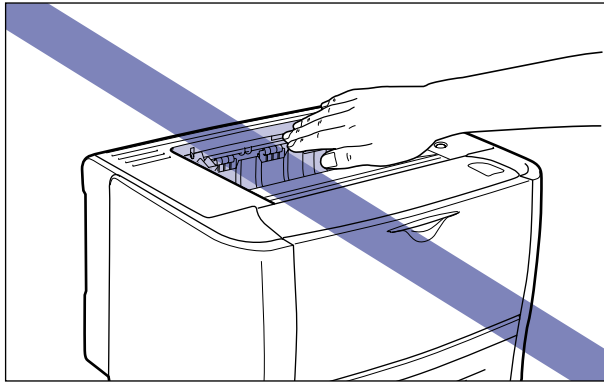
本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。次の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

重要

- 本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」(→P.xv) もお読みください。
- プリンタやトレイ、カバーなどの上に印刷する用紙以外のものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

- 各カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、印刷の品質が低下する原因になります。
- 振動を与えないでください。印字不良や故障の原因になることがあります。

- 印刷中は、 絶対にプリンタのカバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 各カバーは、 丁寧に開閉してください。プリンタ破損の原因になります。
- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源を切って、プリンタの温度が十分に下がってから行ってください。

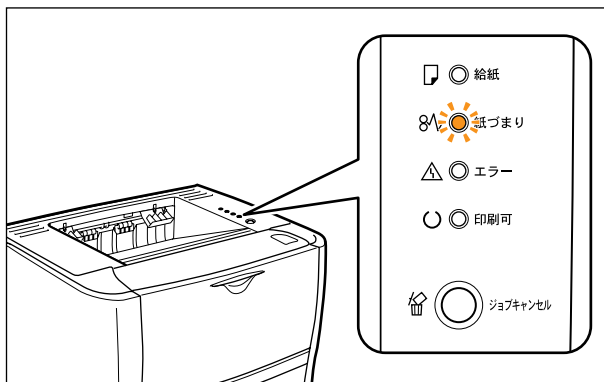
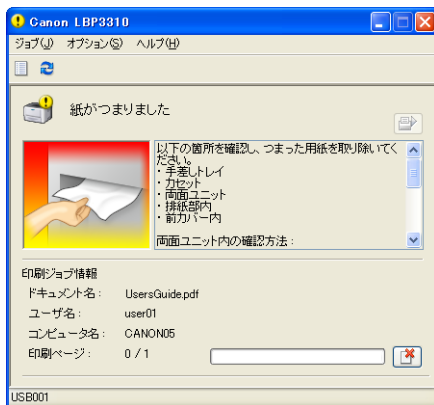
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。
- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスダウン排紙トレイ周辺が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスダウン排紙トレイ周辺に触れないように気を付けてください。

困ったときには

この章では、紙づまりが起こったときや印刷品質に問題があるときの対処のしかたについて説明しています。

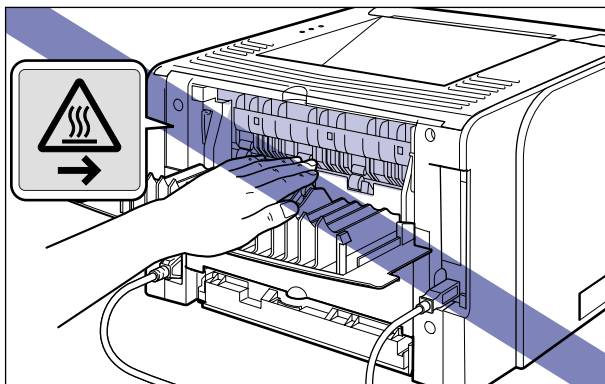
トラブル解決マップ

本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

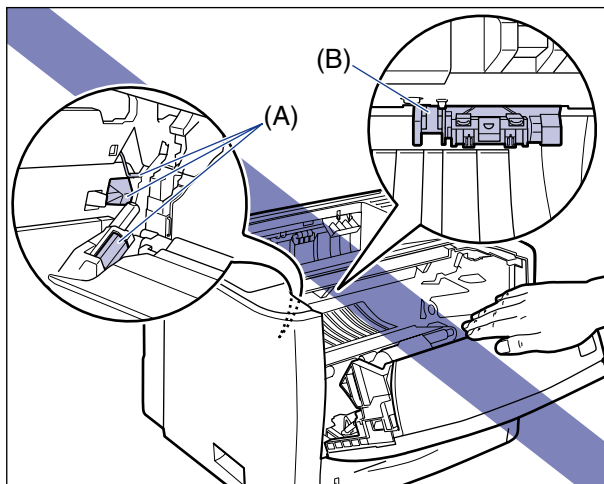
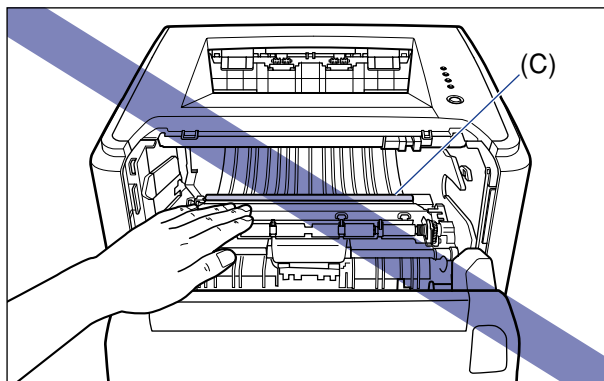
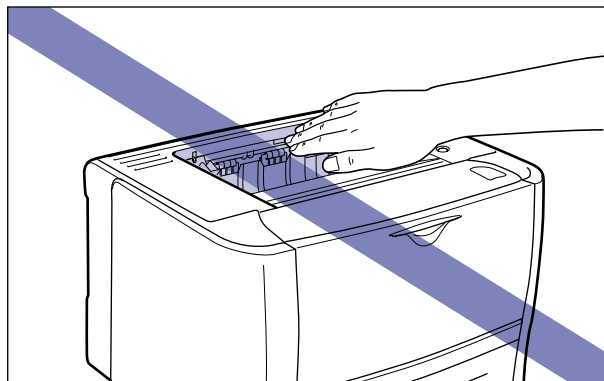
紙づまりが起こったときには

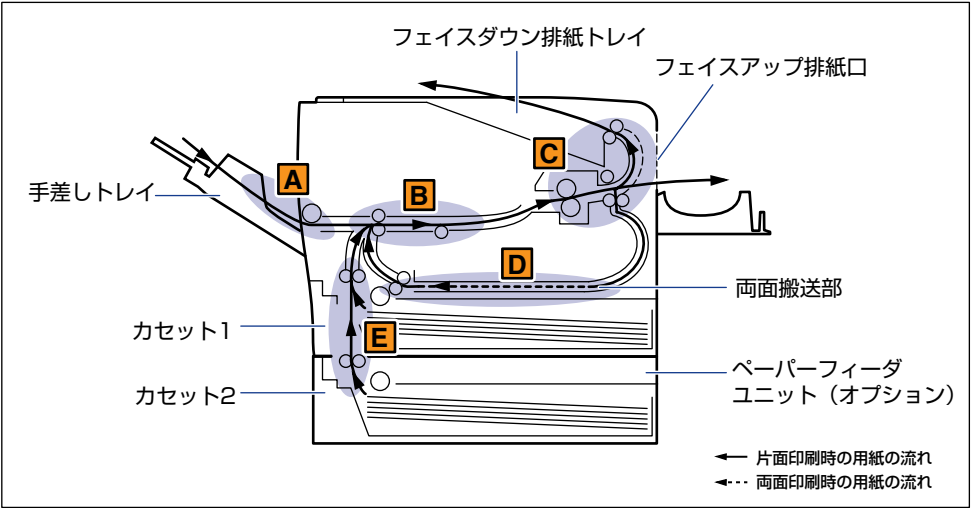
印刷中に紙づまりが起こると、紙づまりランプ（オレンジ色）が点滅し、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に次のメッセージが表示されます。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）

紙づまりを除去するときのご注意

⚠警告　製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

⚠注意
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。紙づまりの処理をするときは、定着器が完全に冷えてから作業を行ってください。定着器が高温のまま触れると、やけどの原因になることがあります。
- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスアップ排紙口が高温になります。フェイスアップ排紙口周辺に触れないように気を付けてください。やけどの原因になることがあります。

- 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続印刷した場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。
- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、排紙部にあるローラには衣服や手などを近づけないでください。印刷中でなくてもローラが急に回転し、衣服や手などが巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

重要
- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源を入れたままで作業を行ってください。電源を切ると、印刷中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、残りの紙片も探して取り除いてください。

- 図の位置にある高圧接点部（A）や電気接点部（B）には、絶対に触れないでください。プリンタの故障の原因になることがあります。

- 転写ローラ（C）には、絶対に手を触れないでください。印刷品質が低下することがあります。

- プリンタの使用中や使用直後は、フェイスダウン排紙トレイ周辺が高温になります。用紙を取り除くときや、紙づまりの処理をするときは、フェイスダウン排紙トレイ周辺に触れないように気を付けてください。

紙づまりの位置

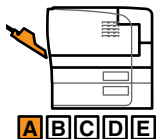
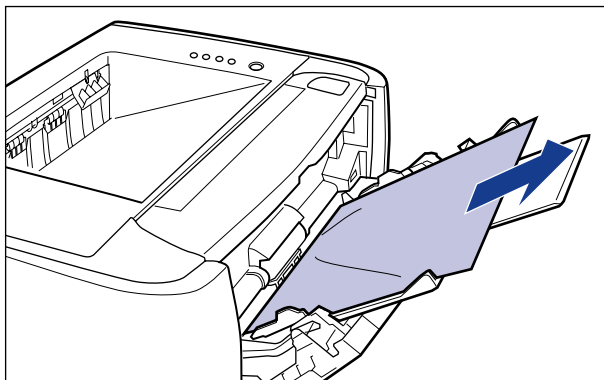
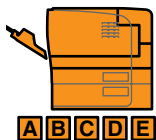
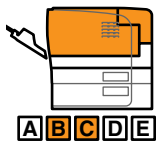
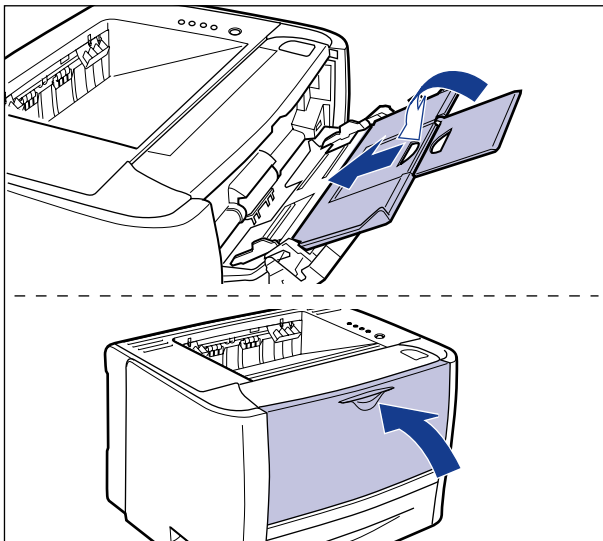
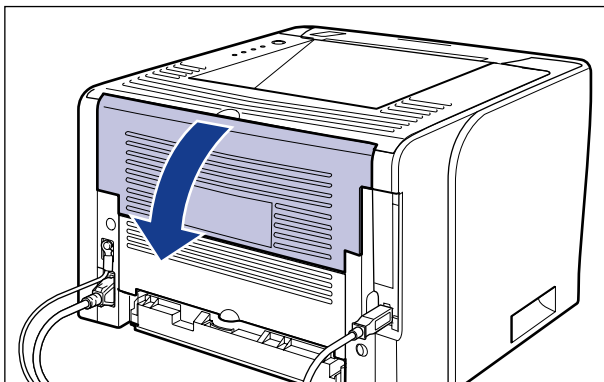
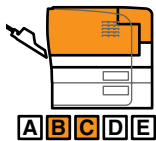
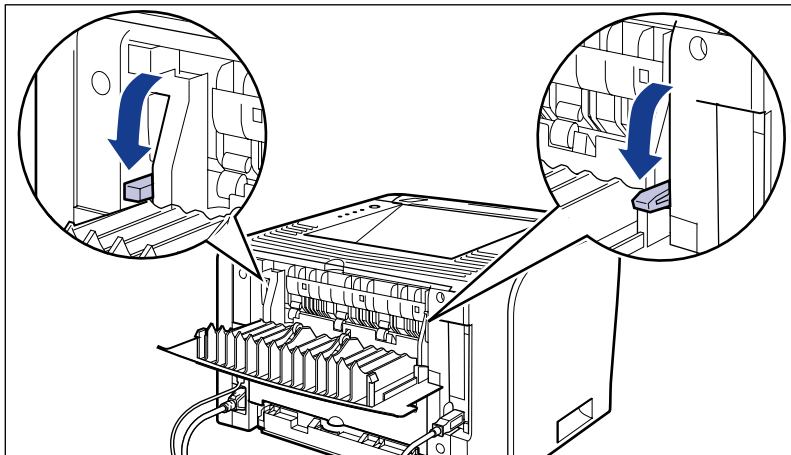
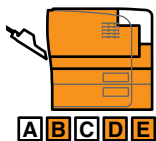
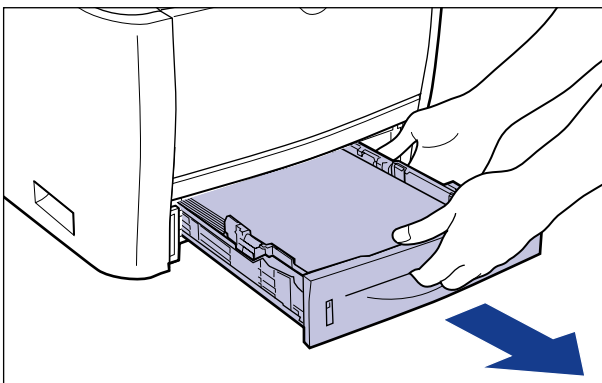
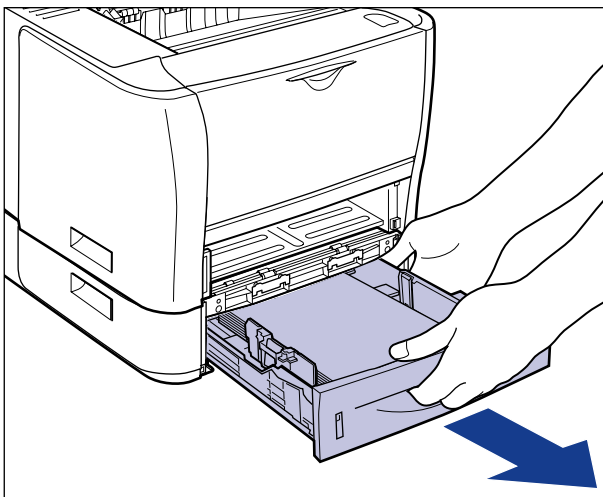
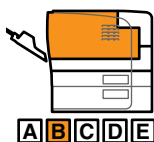
プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に表示されているメッセージは、紙づまりが起きた場所を示しており、次の種類があります。

紙づまり位置		紙づまり位置を示すマーク *	メッセージ
A	手差しトレイ		手差しトレイ
B	前カバー内部		前カバー内
C	排紙部		排紙部内
D	両面搬送部		両面ユニット
E	カセット 1、カセット 2		カセット

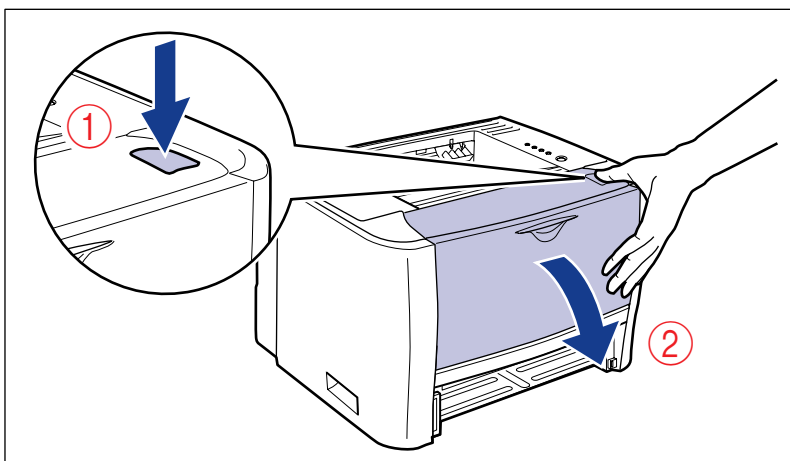
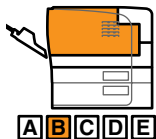
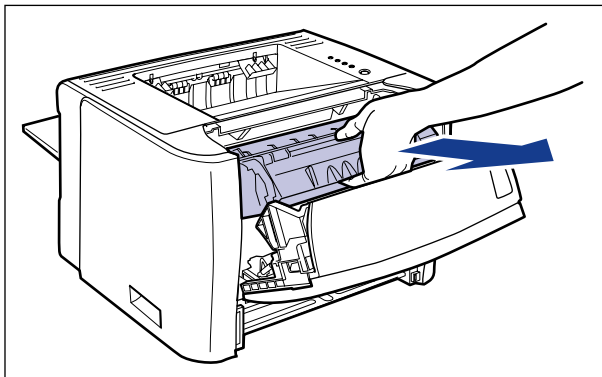
* 「紙づまりの除去手順」（→P.8-7）では、このマークを各手順の左側に付けており、各手順に記載されている操作が必要な紙づまり位置を表しています。

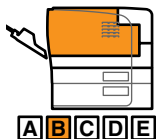
紙づまりの除去手順

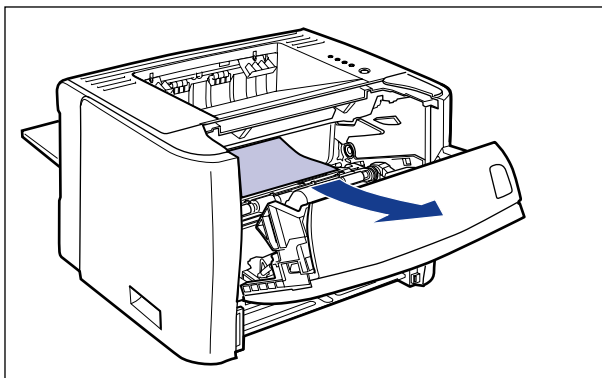
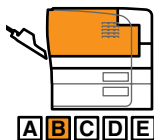
次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

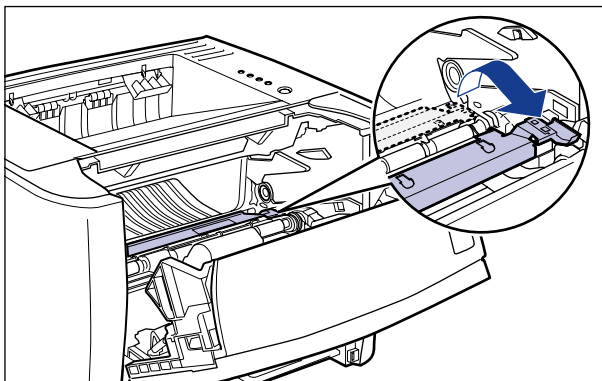
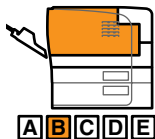
重要 前カバーを開けずにつまっている用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。このような場合は、前カバーを一度開閉してください。

メモ 手順の左側に付いているプリンタのマークは、手順に記載されている操作が必要な紙づまり位置を表しています。

1 **手差しトレイにつまっている用紙を取り除きます。**

重要 つまっている用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに手順 2 に進んでください。

2 手差しトレイを使用している場合は、手差しトレイを閉めます。

3 排紙切り替えカバーを開けます。

4 緑色の定着器の加圧解除レバーを左右ともに下げます。

ここで用紙が見えていても、取り除かないで手順５に進んでください。

5 給紙カセットを引き出します。

ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットも引き出します。

ここで用紙が見えていても、取り除かないで手順 6 に進んでください。

6 前カバーを開けます。

前カバー上面にあるオープンボタンを押しながら ①、ゆっくりと開けます ②。

7 トナーカートリッジをプリンタから取り出します。

取り出したトナーカートリッジは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。

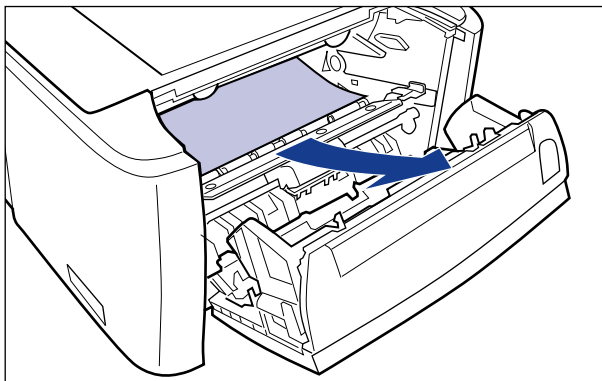
メモ　トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱いのご注意」(➞P.7-14) を参照してください。

8 前カバー内に用紙の手前が見える場合は、つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

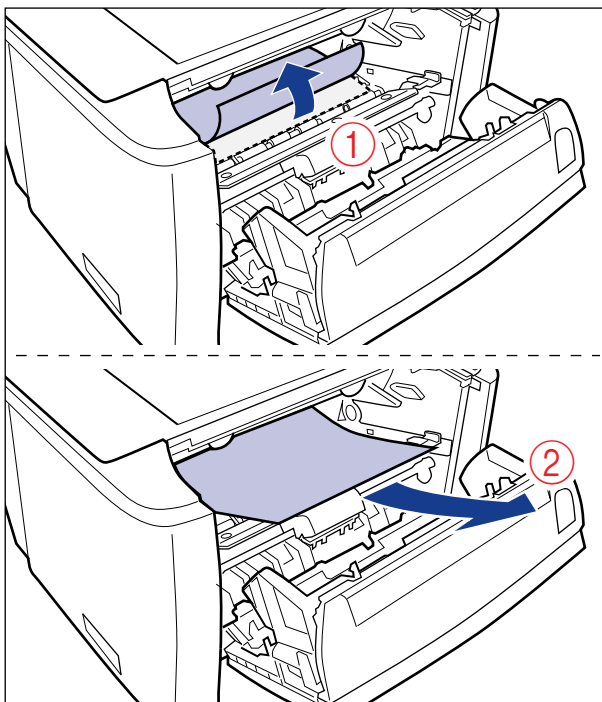
定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと取り除いてください。

重要　つまっている用紙を斜め上に引くと、定着していないトナーがこぼれることがあります。つまった用紙はできるだけ水平に引いて、取り除いてください。内部が汚れると、印刷品質低下の原因になります。

9 搬送ガイドを持ち上げて、手前に倒します。

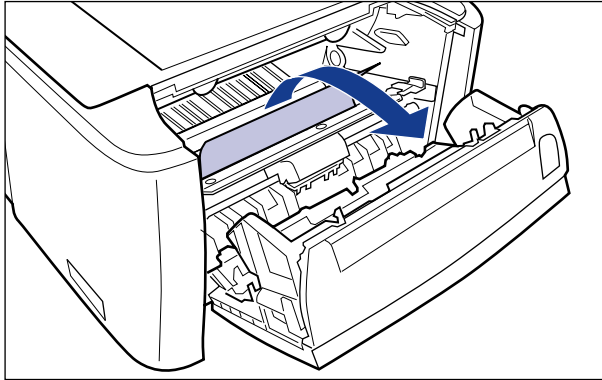
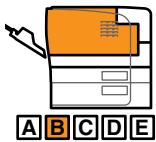
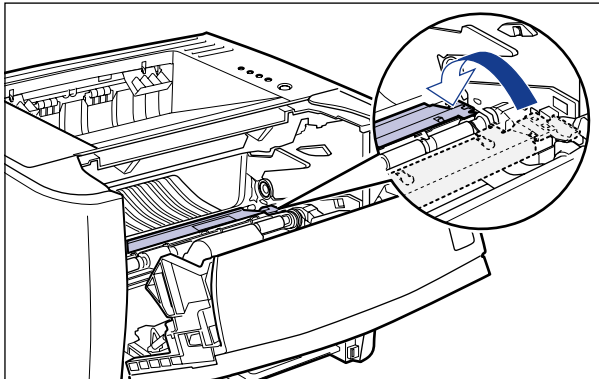
搬送ガイドは緑色の取っ手を持って持ち上げて、手前に倒します。

注意 搬送ガイドから手を離さないでください。搬送ガイドが勢いよく元の位置に戻り、けがの原因になることがあります。

10 つまっている用紙を取り除きます。

定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと取り除いてください。

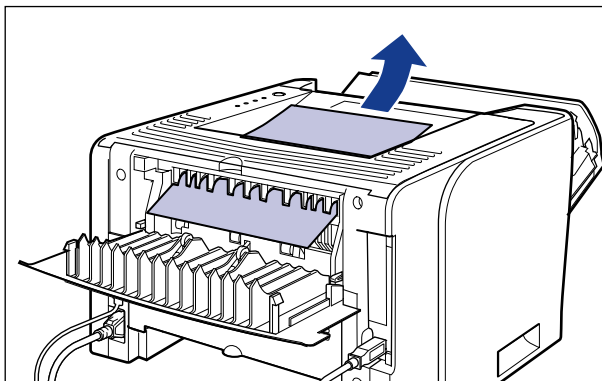
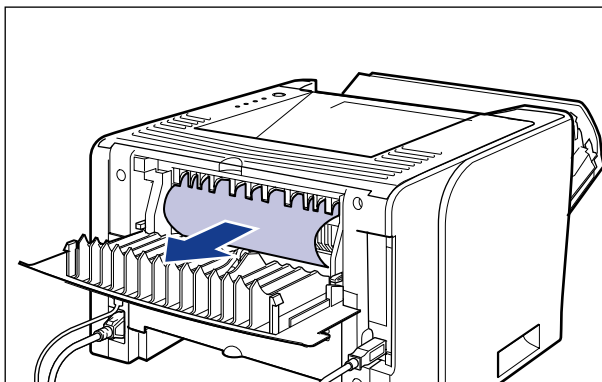
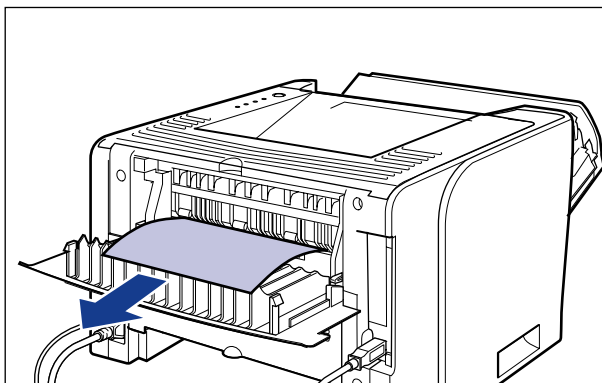
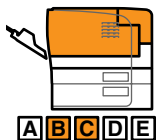
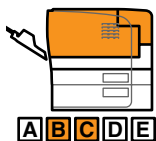
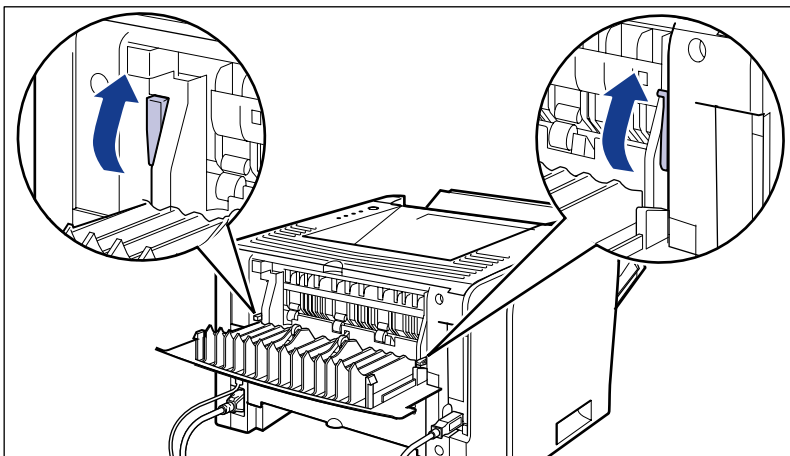
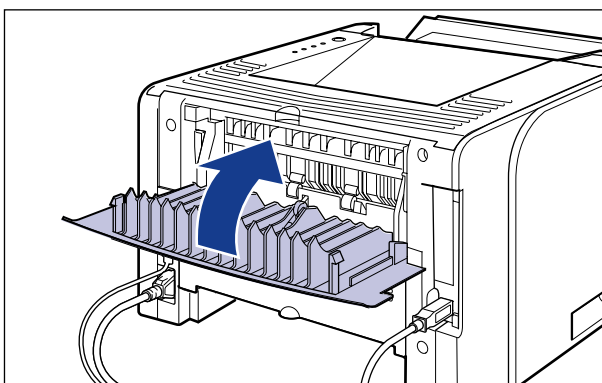
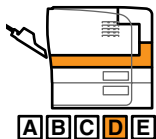
• 用紙の後端が見える場合

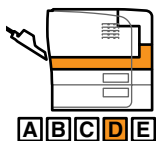
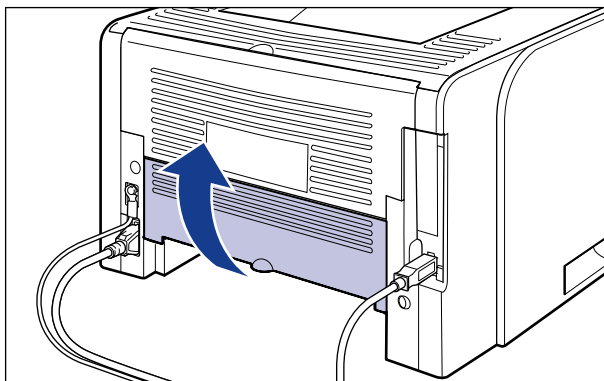
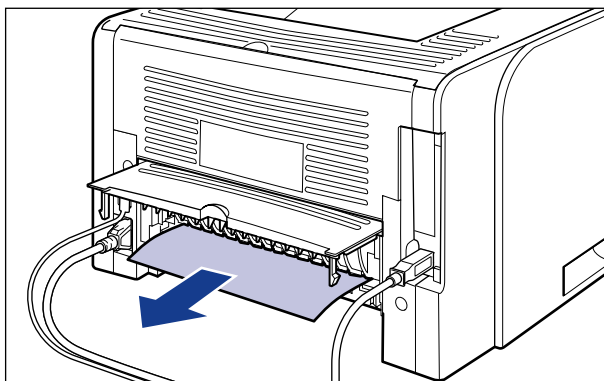
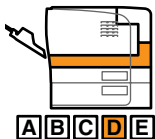
矢印の方向に引っぱって取り除きます。

• 用紙の後端も先端も見えない場合

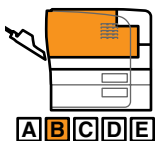
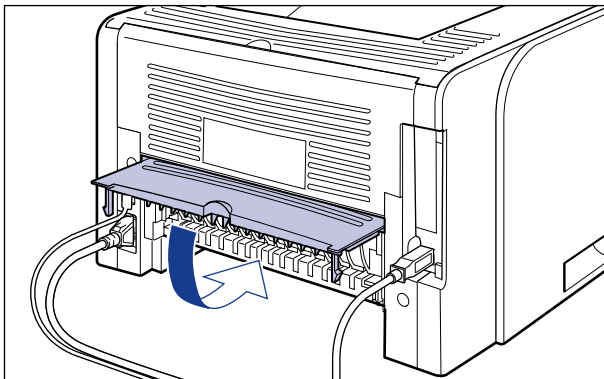
用紙の後端を引き出して ①、矢印の方向に引っぱって取り除きます ②。

• **用紙の先端が見える場合**

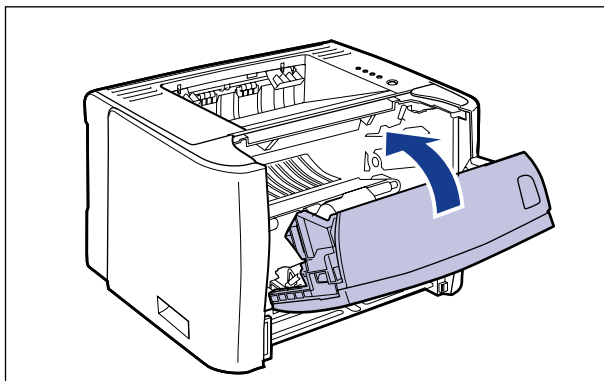
矢印の方向に引っぱって取り除きます。

つまっている用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに手順 11 に進んでください。

11 搬送ガイドをゆっくりと元の位置に戻します。

注意 元の位置に戻るまで搬送ガイドから手を離さないでください。搬送ガイドが勢いよく元の位置に戻り、けがの原因になることがあります。

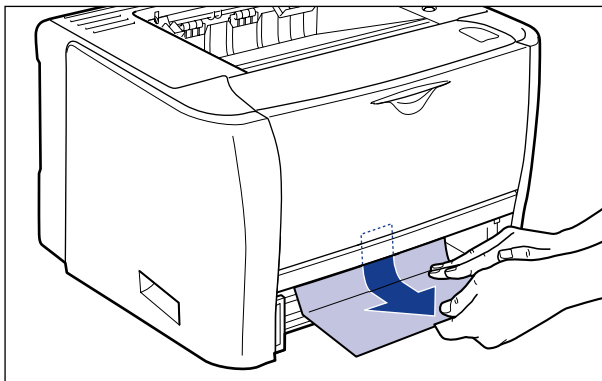
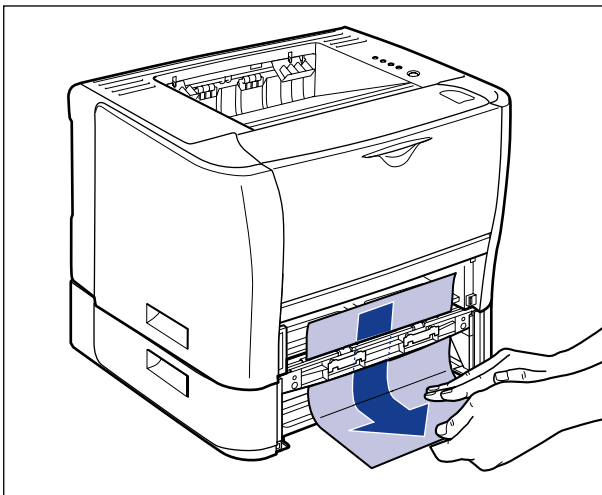
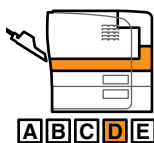
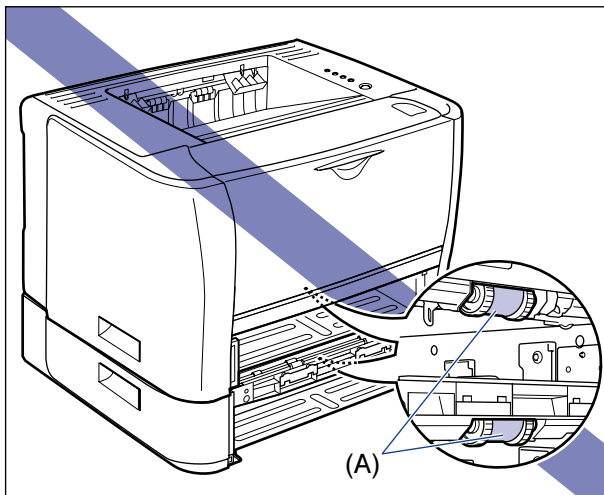
12 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

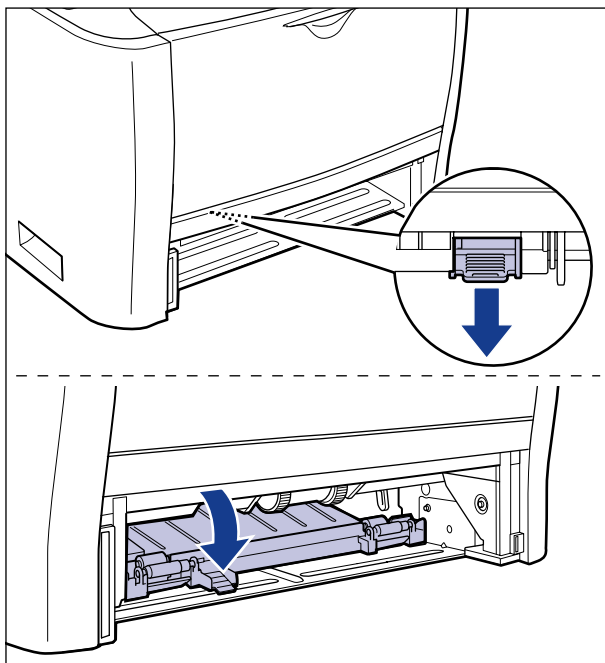
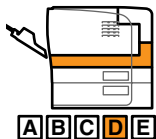
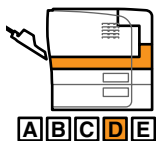
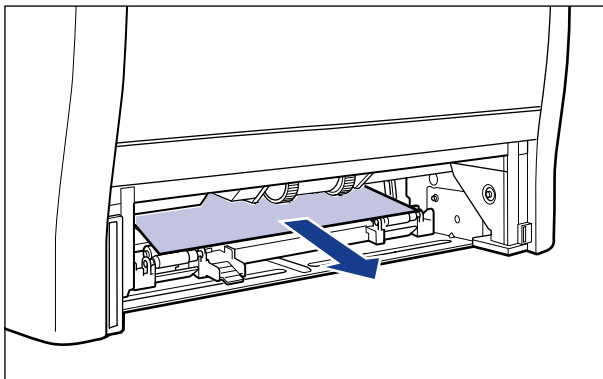
- 用紙の先端が排紙されている場合

- 用紙の後端も先端も見えない場合

- 用紙の先端のみが見える場合

13 緑色の定着器の加圧解除レバーを元の位置に戻します。

14 排紙切り替えカバーを閉めます。

15 両面ユニットカバーを開けます。

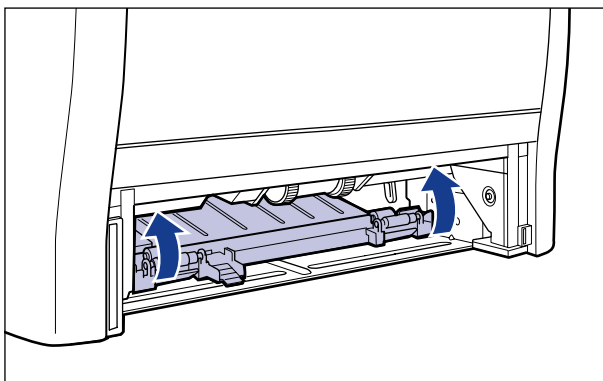
両面ユニットカバーは中央の取っ手を持って、ゆっくりと開けます。

16 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

重要 つまっている用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに手順 17 に進んでください。

17 両面ユニットカバーを閉めます。

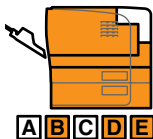
両面ユニットカバーは中央の取っ手を持って、ゆっくりと確実に閉めます。

18 前カバーを閉めます。

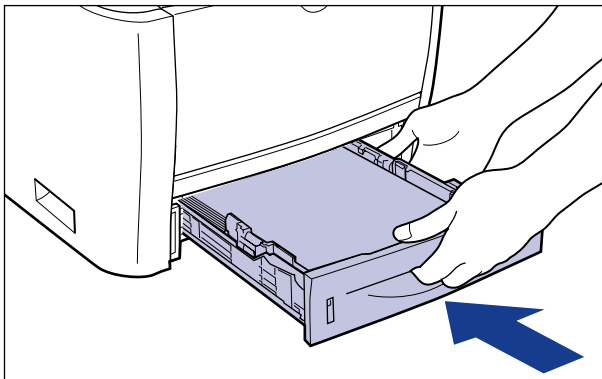
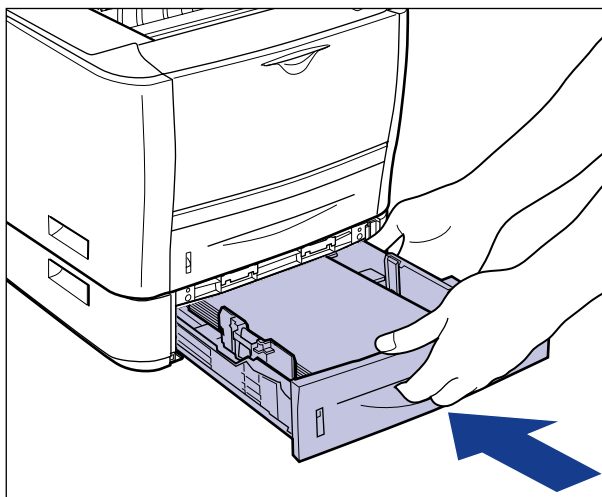
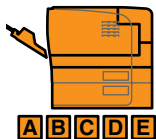
前カバーはゆっくりと確実に閉めます。

19 用紙を押し下げるように、つまっている用紙を取り除きます。

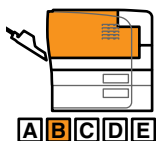
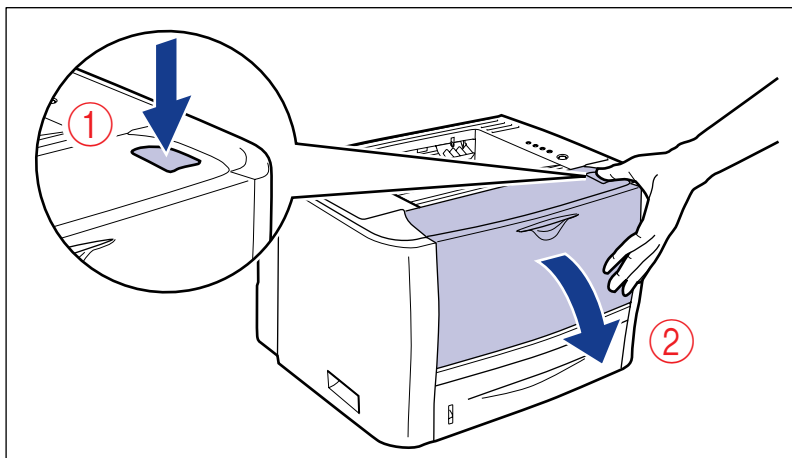
• プリンタの場合

• ペーパーフィーダの場合

プリンタとペーパーフィーダの給紙ローラ（A）には、絶対に触れないでください。故障や動作不良の原因になります。

20 両面搬送ガイドを開けます。

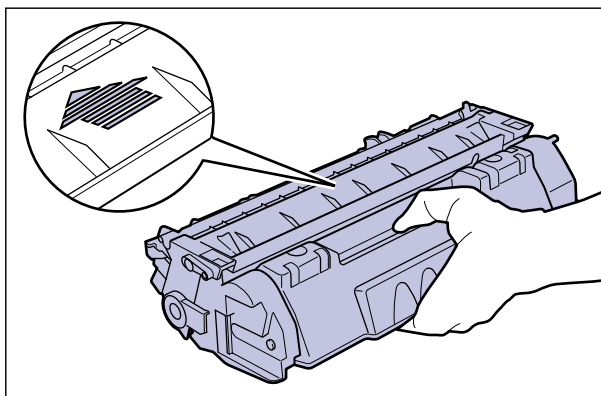
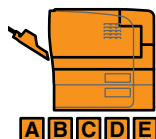
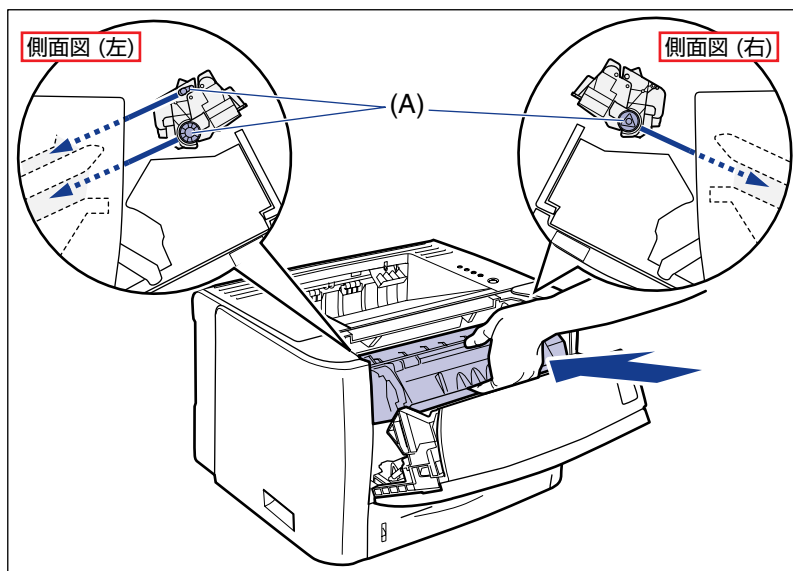
両面搬送ガイドは緑色の取っ手を持って押し下げます。

21 つまっている用紙を矢印の方向に引っぱって取り除きます。

22 両面搬送ガイドを閉めます。

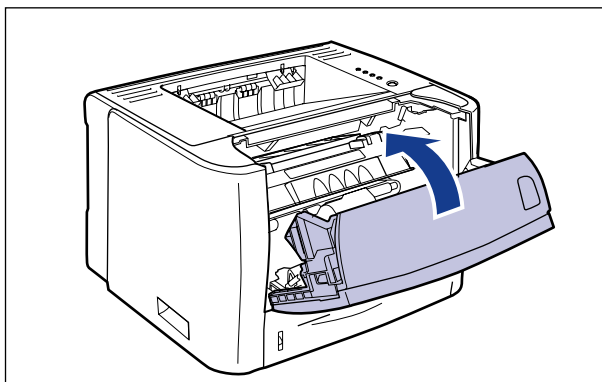
両面搬送ガイドは緑色の取っ手を持って、左右をしっかりと閉めます。

重要

両面搬送ガイドが完全に閉まっているかどうかを、必ず確認してください。両面搬送ガイドが完全に閉まっていないと、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

23 給紙カセットをプリンタにセットします。

給紙カセット前面が、プリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

ペーパーフィーダが装着されている場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットもセットします。

注意 給紙カセットをセットするときは、指を挟まないように注意してください。

24 前カバーを開けます。

前カバー上面にあるオープンボタンを押しながら ①、ゆっくりと開けます ②。

25 トナーカートリッジを取り付けます。

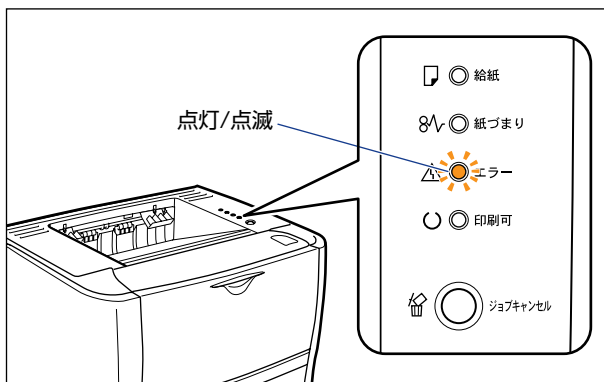
1. トナーカートリッジを、保護袋や厚い布から取り出します。
2. 図のように矢印のついている面を上にして、トナーカートリッジを正しく持ちます。

3. トナーカートリッジ左右の（A）をプリンタ内部のトナーカートリッジガイドに合わせて、奥に当たるまで確実に押し込みます。

26 前カバーを閉めます。

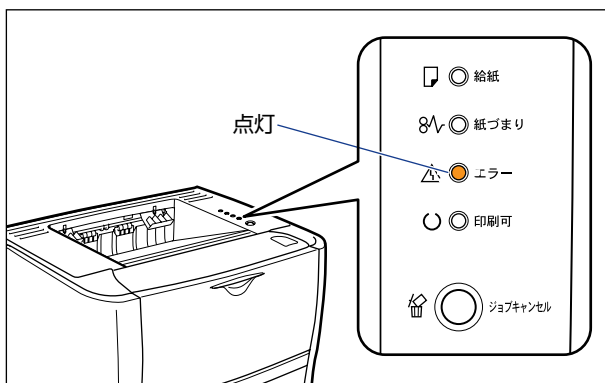
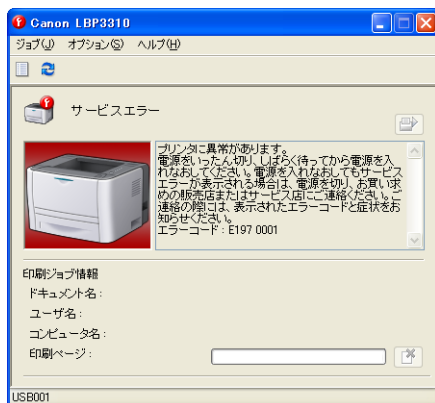
前カバーはゆっくりと確実に閉めます。

重要

- 前カバーが閉まらないときは、トナーカートリッジが正しく取り付けられていることを確認してください。無理に前カバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。印刷品質低下の原因になることがあります。

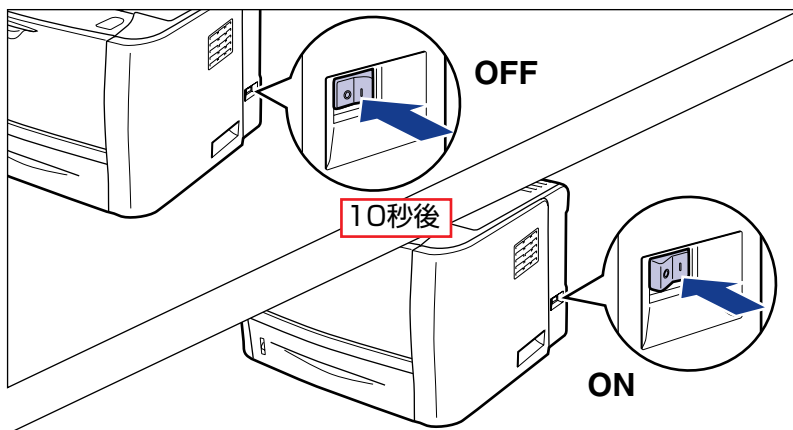
エラーランプが点灯／点滅している

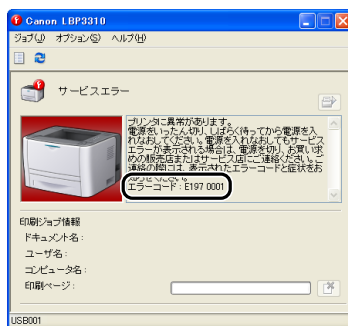
プリンタに何らかのトラブルが起こると、エラーランプ（オレンジ色）が点灯または点滅します。エラーランプの状態に合わせた処置を行ってください。

- 点灯している場合：　「エラーランプが点灯している（サービスエラーと表示されている）」（→P.8-26）
- 点滅している場合：　「エラーランプが点滅している」（→P.8-29）

エラーランプが点灯している（サービスエラーと表示されている）

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、プリンタのエラーランプ（オレンジ色）が点灯し、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に次のようなサービスエラーが表示されます。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）

サービスエラーが表示されたら、次の手順で電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

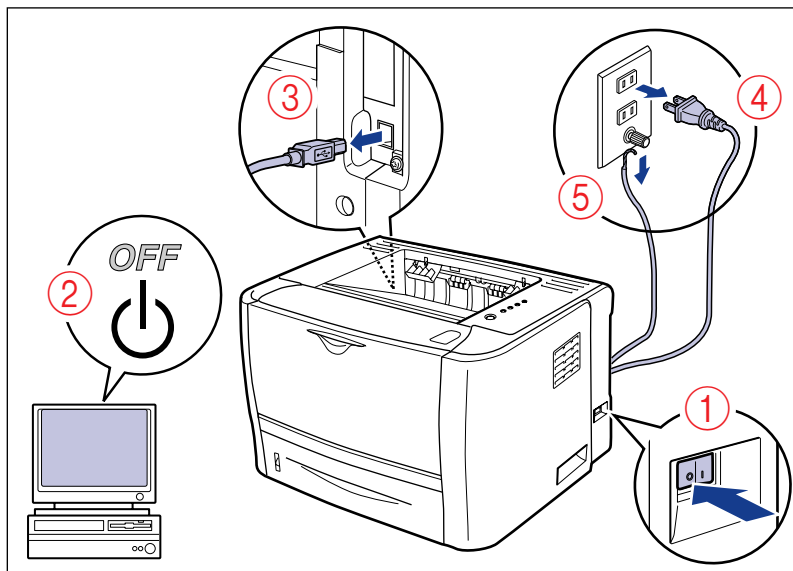
メモ
- プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.5-34）を参照してください。
- ステータスモニタの表示方法は、オンラインマニュアル「第４章 便利な印刷機能」を参照してください。

1 電源をいったん切り、10　秒以上待ってから電源を入れなおしてください。

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。
再度メッセージが表示された場合は、手順 2 に進んでください。

2 プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に表示されているエラーコードを書きとめます。

（Windows）

（Macintosh）

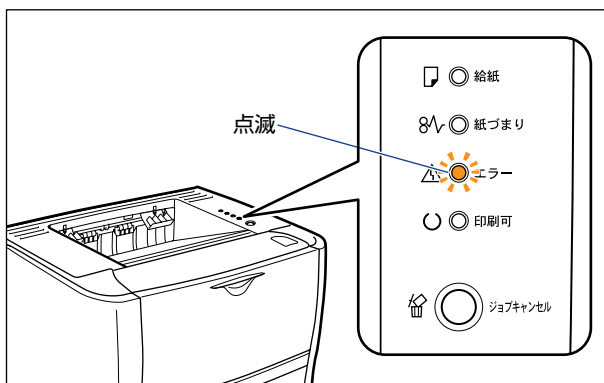
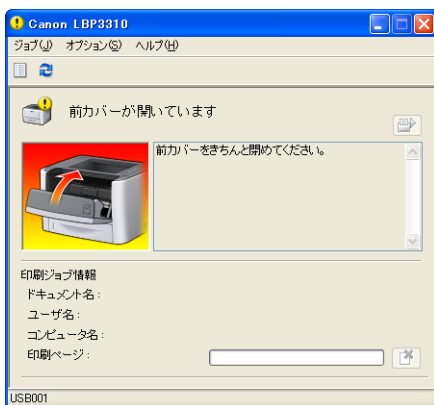
3 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルをプリンタから抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめたエラーコードをお知らせください。

メモ　不明な点がありましたら、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

エラーランプが点滅している

プリンタに何らかのエラーが起こり、処置が必要になった場合は、プリンタのエラーランプ（オレンジ色）が点滅し、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に次のようなエラーメッセージが表示されます。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）

エラーメッセージが表示されたら、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）の表示にしたがって、対処してください。

メモ

- プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.5-34）を参照してください。
- ステータスモニタの表示方法は、オンラインマニュアル「第４章 便利な印刷機能」を参照してください。

8 困ったときには

印刷品質のトラブル

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

※ ここに記載されている操作方法は、Windows を例に記載しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

※ Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

重要
- プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって対処してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには」（→P.8-3）を参照してください。
- 次のような場合は、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。
  - ・ここに記載されていない症状が起こった場合
  - ・記載されている処置を行っても問題が解決しない場合
  - ・原因がどうしてもわからない場合

白いすじが入る

原因 1　トナーが残り少なくなっている

処　置　トナーカートリッジを取り出して、ゆっくり 5 ～ 6 回振ってトナーをならしてからセットしなおします。
それでも同じ症状がでるときは、トナーカートリッジを新品に交換してください。
（→ トナーカートリッジを交換する：P.7-2）

原因 2　トナーカートリッジ内のドラムが劣化している

処　置　トナーカートリッジを新品に交換してください。（→ トナーカートリッジを交換する：P.7-2）

部分的に白く抜ける

原因 1　適切な用紙を使用していない

処　置　本プリンタで使用できる用紙に交換してください。（→ 用紙について：P.3-2）

原因 2　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　未開封の新しい用紙に交換してください。（→ 用紙について：P.3-2）

原因３　**トナーカートリッジ内のドラムが劣化している**

処　置　トナーカートリッジを新品に交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.7-2）

印字が全体的にうすい

原因１　**［トナー濃度］の設定が適当でない**

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［詳細］をクリックする
3. ［トナー濃度］を［濃く］の方へドラッグする

原因２　**［ドラフトモード］が有効になっている**

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［詳細］をクリックする
3. ［ドラフトモード］のチェックマークを消す

印字が全体的に黒ずむ

原因１　**［トナー濃度］の設定が適当でない**

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［詳細］をクリックする
3. ［トナー濃度］を［薄く］の方へドラッグする

原因２　**プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている**

処　置　プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。または、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

印字ムラが出る

原因１　**トナーが残り少なくなっている**

処　置　トナーカートリッジを取り出して、ゆっくり５～６回振ってトナーをならしてからセットしなおします。
それでも同じ症状がでるときは、トナーカートリッジを新品に交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.7-2）

原因２　**用紙が湿っている、あるいは乾燥している**

処　置　未開封の新しい用紙に交換してください。（➞ 用紙について：P.3-2）

原因３　**トナーカートリッジ内のドラムが劣化している**

処　置　トナーカートリッジを新品に交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.7-2）

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

原　因　**定着ローラが汚れている**

処　置　定着ローラを清掃してください。（➞ 定着ローラを清掃する：P.7-17）

ページの一部が印刷されない

原因１　**拡大／縮小率の設定が適当でない**

処置１　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［ページ設定］ページを表示する
2. ［倍率を指定する］のチェックマークを消す
   チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。

処置２　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［ページ設定］ページを表示する
2. ［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定する

原因２　**用紙をセットする位置が合っていない**

処　置　用紙を正しくセットしてください。（➞給紙カセットに用紙をセットする：P.3-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.3-31）

原因３　**余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した**

処置１　本プリンタの有効印字領域は用紙の周囲５mm（封筒は10mm（右余白は7.6mm））の範囲を除いた領域です。データの周囲に余白を取ってください。

重要　はがきや封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印刷品質が得られないことがあります。データをはがきや封筒の有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

処置２　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［仕上げ］ページを表示する
2. ［仕上げ詳細］をクリックする
3. ［用紙の左上を原点として印字する］にチェックマークを付ける

重要　印刷する原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されることがあります。

印字位置がずれてしまう

原因 1　**[とじしろ] が設定されている**

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. [仕上げ] ページを表示する
2. [とじしろ] をクリックする
3. [とじしろ] の設定を「0」にする

原因 2　**アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が適当でない**

処　置　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定してください。(➞ アプリケーションソフトの取扱説明書)

ページの途中から次ページに分かれて印刷される

原　因　**アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない**

処　置　ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してください。(➞ アプリケーションソフトの取扱説明書)

用紙が真っ白で何も印刷されない

原因 1　**シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした**

処　置　トナーカートリッジを取り出して、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.7-2)

原因 2　**用紙が重なって送られた**

処　置　用紙をよく揃えてからセットしなおしてください。OHP フィルム、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。(➞ 給紙カセットに用紙をセットする：P.3-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.3-31)

用紙全面が真っ黒に印刷される

原　因　**トナーカートリッジ内のドラムが劣化している**

処　置　トナーカートリッジを新品に交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.7-2)

カラーの線や文字がかすれる

原　因　**細い線や文字を使用している**

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［詳細］をクリックする
3. ［色付きの文字や細線を黒ベタで印刷する］にチェックマークを付ける

カラーの文字がぼけて見える

原　因　**カラーの文字に太いフォントを使用している**

処置1　細めのフォントを使用してください。

処置2　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［印刷品質］ページを表示する
2. ［グレーの設定を行う］にチェックマークを付け、［グレー設定］をクリックする
3. ［マッチング］ページを表示する
4. ［マッチング方法］を［モニタの色に合わせる］に設定する

印刷した用紙の裏が汚れる

原　因　**セットされている用紙サイズよりも大きなサイズの印刷データを送った**

処　置　印刷データがセットされている用紙サイズに合っているか確認してください。

印刷した用紙にすじ状の汚れが付着する

原因1　**トナーカートリッジを交換した、または印刷を長期間行わなかった**

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［仕上げ］ページを表示する
2. ［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
3. ［特殊印字モードB］の設定を［モード1］に設定する
［モード1］に設定しても問題が解決しない場合は、［モード2］に設定する
［モード2］に設定しても問題が解決しない場合は、［モード3］に設定する

原因2　**用紙の種類や使用環境によっては、すじ状の汚れが付着することがある**

処置1　未開封の新しい用紙に交換してください。（→用紙について：P.3-2）

処置2　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［仕上げ］ページを表示する
2. ［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
3. ［特殊印字モード A］の設定を［モード 2］に設定する
［モード 2］に設定しても問題が解決しない場合は、［モード 3］に設定する
［モード 3］に設定しても問題が解決しない場合は、［モード 4］に設定する

定着性が悪い

原因 1　適切な用紙を使用していない

処　置　本プリンタで使用できる用紙に交換してください。（➞ 用紙について：P.3-2）

原因 2　郵便はがきを使用している

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［仕上げ］ページを表示する
2. ［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックする
3. ［はがき定着補正］の設定を［レベル 1］に設定する
［レベル 1］に設定しても問題が解決しない場合は、［レベル 2］に設定する
［レベル 2］に設定しても問題が解決しない場合は、［レベル 3］に設定する

原因 3　［用紙タイプ］の設定が適切でない

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［給紙］ページを表示する
2. ［用紙タイプ］の設定を適切な値にする

原因 4　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1　プリンタステータスウィンドウに「サービスエラー」が表示されているときは、電源をいったん切り、10 秒以上待ってから電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

用紙のトラブル

※ ここに記載されている操作方法は、Windows を例に記載しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

用紙にしわがよる

原因 1　給紙カセットや手差しトレイに用紙が正しくセットされていない

処　置　給紙カセットや手差しトレイに用紙を正しくセットしてください。（➞ 給紙カセットに用紙をセットする：P.3-17、手差しトレイに用紙をセットする：P.3-31）

原因 2　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　未開封の新しい用紙に交換してください。（➞ 用紙について：P.3-2）

用紙がカールする

原因 1　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　未開封の新しい用紙に交換してください。（➞ 用紙について：P.3-2）

原因 2　適切な用紙を使用していない

処　置　本プリンタで使用できる用紙に交換してください。（➞ 用紙について：P.3-2）

原因 3　薄手の用紙を使用している

処　置　プリンタドライバで次の操作を行います。

1. ［給紙］ページを表示する
2. ［用紙タイプ］を［普通紙 L］にする

原因 4　カールしやすい用紙をフェイスダウン排紙トレイに排紙している

処　置　カールしやすい OHP フィルムやラベル用紙、はがき、封筒などに印刷するときは、フェイスアップ排紙口に切り替えます。（➞ 用紙について：P.3-2）

印刷した OHP フィルムに白い粉がつく

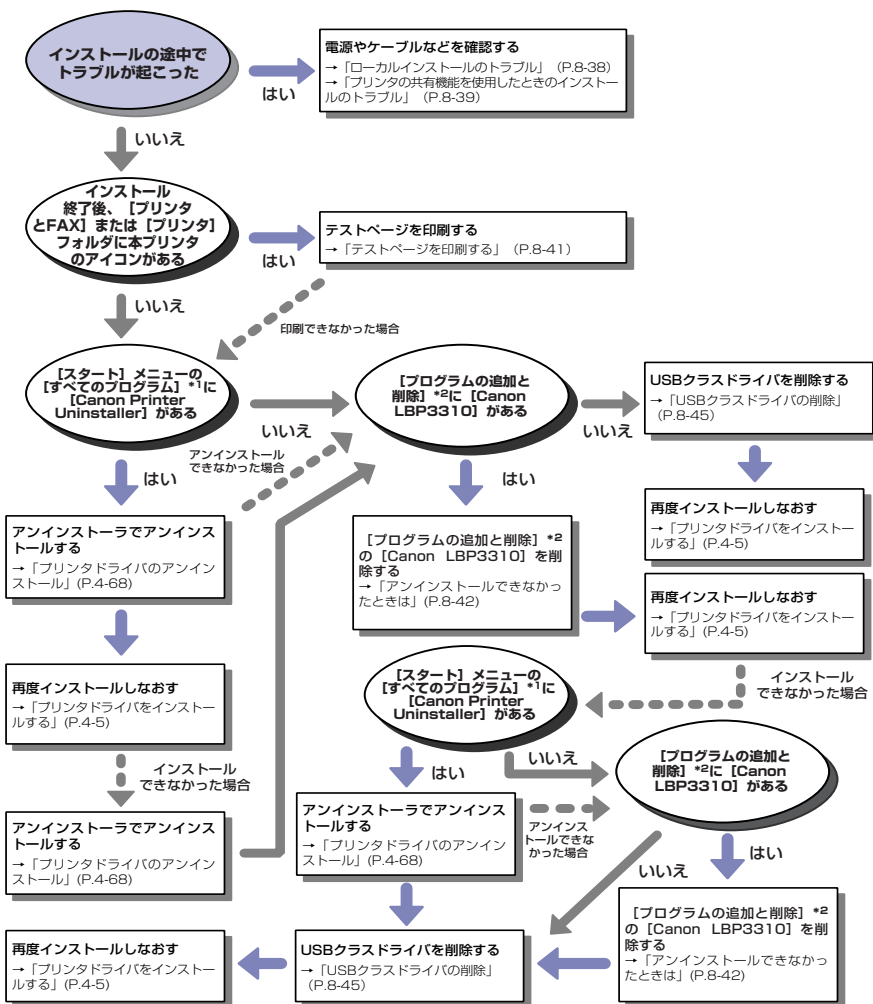
原　因　OHP フィルム以外の用紙を連続して印刷したあとに、OHP フィルムを印刷すると、紙粉が付着して排紙される場合がある

処　置　やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。

インストールのトラブル（Windows のみ）

プリンタドライバのインストールが正常にできないときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

※ Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

メモ　ネットワークインストール時のトラブルについては、ネットワークガイド／本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。

*1 Windows 2000 は［プログラム］

*2 Windows 2000 は［アプリケーションの追加と削除］、Windows Vista は［プログラムのアンインストール］

ローカルインストールのトラブル

CD-ROM からプリンタドライバをインストールするとき、USB ケーブルを接続しても自動認識しない

原因 1　**プリンタドライバをインストールする前に、すでに USB ケーブルが接続されていて、プリンタの電源が入っている**

処　置　次の操作を行います。

1. プリンタの電源を切る
2. USB ケーブルを取り外す
3. 再度 USB ケーブルを接続しなおす
4. プリンタの電源を入れる

原因 2　**プリンタの電源が入っていない**

処　置　プリンタの電源を入れてください。

原因 3　**USB ケーブルが正しく接続されていない**

処　置　プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 4　**USB ケーブルが合っていない**

処　置　本プリンタのUSB インタフェース環境に合ったUSBケーブルを使用してください。USB インタフェース環境は、USB 2.0 Hi-Speed、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。
また、USB ケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

原因 5　**USB クラスドライバがインストールされている**

処　置　USBクラスドライバを削除してください。（→USBクラスドライバの削除：P.8-45）

プリンタの共有機能を使用したときのインストールのトラブル

接続するプリントサーバが見つからない

原因 1 **プリントサーバが起動されていない**

処　置 プリントサーバを起動してください。

原因 2 **プリンタが共有設定されていない**

処　置 プリンタを共有設定してください。（➞ プリントサーバの設定：P.4-36）

原因 3 **プリントサーバ、またはプリンタに接続する権限がない**

処　置 ネットワーク管理者にユーザの権限の変更を依頼してください。

原因 4 **Windows Vista をお使いの場合、［ネットワーク探索］が［有効］に設定されていない**

処　置 次の操作を行います。

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックする
3. ［ネットワーク探索］を［有効］に設定する

共有プリンタに接続できない

原因 1 **使用するコンピュータのユーザ登録やパスワードの設定がされていない**

処　置 プリントサーバに使用するコンピュータのユーザ登録やパスワードの設定を行ってください。詳しくは、ネットワーク管理者へお問い合わせください。

原因 2 **ネットワークのパスが正しくない**

処置 1 次の確認をしてください。

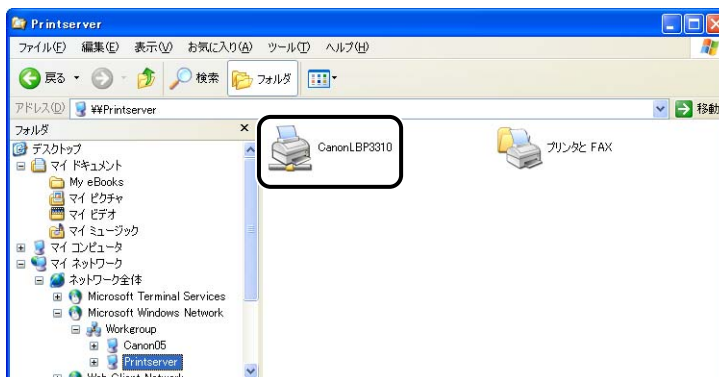
1. ［エクスプローラ］を選択します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［プログラム］➞［アクセサリ］➞［エクスプローラ］を選択します。

Windows XP **Windows Server 2003** **Windows Vista**

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］➞［アクセサリ］➞［エクスプローラ］を選択します。

2. ［マイ　ネットワーク］（Windows Vista の場合は［ネットワーク］）からプリントサーバを選択して、本プリンタのアイコンを確認します。

- **本プリンタのアイコンが見つからない場合**

  ネットワーク管理者へお問い合わせください。

- **本プリンタのアイコンが見つかる場合**

  次のいずれかの操作を行い、画面の指示に従って操作することで、プリンタドライバをインストールできます。

  ・本プリンタのアイコンをダブルクリックする

  ・本プリンタのアイコンを［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダにドラッグ・アンド・ドロップする

処置２　［プリンタと　FAX］または［プリンタ］フォルダからインストールする場合で、「¥」を使用して直接ネットワークのパスを指定するときは、「¥¥ プリントサーバ名（プリントサーバのコンピュータ名）¥ プリンタ名」で正しく指定されているか確認してください。

テストページを印刷する

次の手順でテストページを印刷して、プリンタドライバの動作を確認します。

1 プリンタステータスウィンドウにエラーが表示されていないかを確認してください。

重要 エラーが表示されている場合は、プリンタステータスウィンドウに表示されているメッセージにしたがって対処してください。プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（→P.5-33）を参照してください。

2 ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional **Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタとFAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

3 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

4 ［全般］ページにある［テストページの印刷］をクリックします。

● **テストページが印刷される場合**

プリンタドライバからの印刷は可能です。アプリケーションソフトをチェックして、すべての印刷設定が適切かどうか確認してください。

● **テストページが印刷できない場合**

「インストールのトラブル（Windowsのみ）」（→P.8-37）を参照してください。

アンインストールできなかったときは

インストール時に作成されたアンインストーラでアンインストールできなかった場合は、次の手順にしたがってプリンタドライバを削除します。

1 次の操作を行います。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［コントロールパネル］を選択して、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

Windows XP

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プログラムの追加と削除］をクリックします。

Windows Server 2003

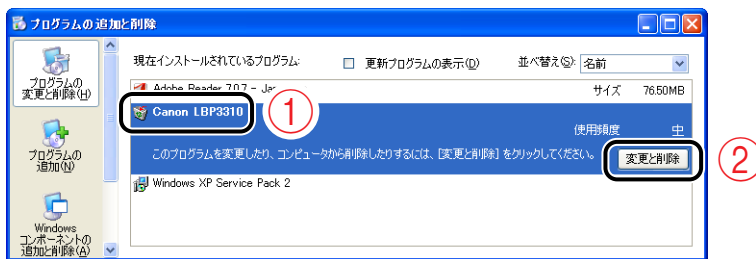
［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［プログラムの追加と削除］を選択します。

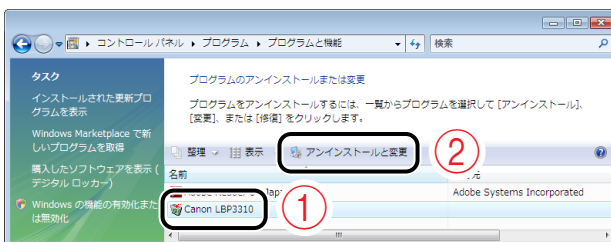
Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

2 次の操作を行います。

Windows 2000 **Windows XP** **Windows Server 2003**

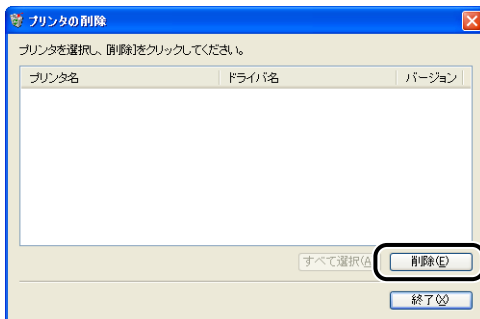
［Canon LBP3310］を選択して ①、［変更と削除］をクリックします ②。

Windows Vista

［Canon LBP3310］を選択して ①、［アンインストールと変更］をクリックします ②。

- ダイアログボックス内に［Canon LBP3310］がない場合は「USBクラスドライバの削除」（➞P.8-45）を行って再度インストールしてください。
- Windows Vistaをお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。

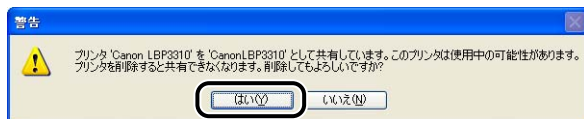
3 次の操作を行います。

● ［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストに本プリンタが表示されている場合

本プリンタを選択して①、［削除］をクリックします②。

● ［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストに本プリンタが表示されていない場合

［削除］をクリックします。

4 ［はい］をクリックします。

プリンタ共有している場合は、次の画面が表示されます。メッセージの内容を確認して、アンインストールする場合は［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 ［終了］をクリックします。

6 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

7 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダに本プリンタのアイコンがないことを確認します。

重要

本プリンタのアイコンが表示されている場合は、必ずアイコンを削除してください。アイコンを削除しないと、プリンタドライバを再度インストールすることができません。
本プリンタのアイコンを削除する場合は、アイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［削除］を選択します。

8 Windows を再起動します。

USB クラスドライバの削除

USB クラスドライバの削除は、次の場合に行います。

- プリンタドライバをインストールしなおしても正しくインストールできなかった場合
- プリンタドライバをアンインストールできなかった場合

1 USB ケーブルでコンピュータとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認します。

2 次の操作を行います。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［コントロールパネル］を選択して、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

Windows XP

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プログラムの追加と削除］をクリックします。

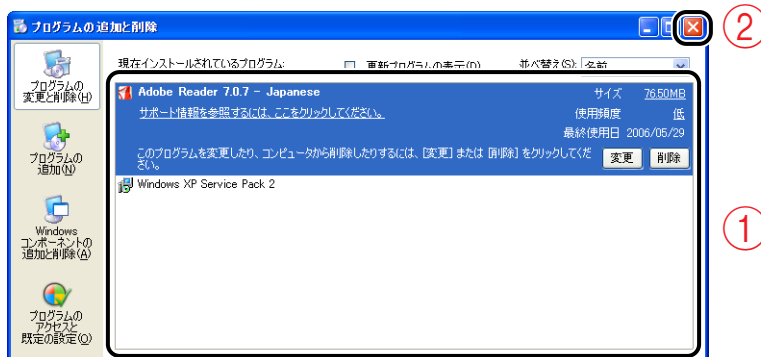
Windows Server 2003

［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［プログラムの追加と削除］を選択します。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

3 ダイアログボックス内に［Canon LBP3310］がないことを確認して ①、［×］をクリックします ②。

8
困ったときには

メモ　ダイアログボックス内に［Canon LBP3310］がある場合は、「アンインストールできなかったときは」（➞P.8-42）を参照して ダイアログボックス内の［Canon LBP3310］を削除してください。

4 ［デバイスマネージャ］を表示します。

Windows 2000

1. ［スタート］メニューから［設定］➞［コントロールパネル］を選択します。
2. ［システム］アイコンをダブルクリックします。
3. ［ハードウェア］➞［デバイスマネージャ］の順にクリックします。

Windows XP

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択します。
2. ［パフォーマンスとメンテナンス］➞［システム］をクリックします。
3. ［ハードウェア］➞［デバイスマネージャ］の順にクリックします。

Windows Server 2003

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］➞［システム］を選択します。
2. ［ハードウェア］➞［デバイスマネージャ］の順にクリックします。

Windows Vista

1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択します。
2. ［ハードウェアとサウンド］➞［ハードウェアとデバイスを表示］をクリックします。

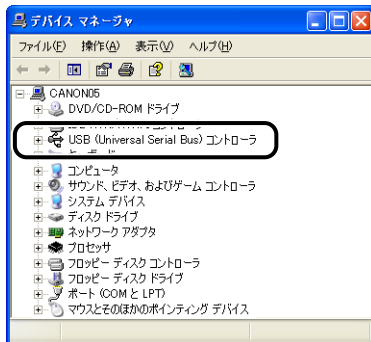
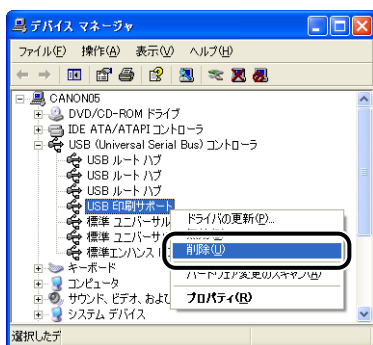
メモ　Windows Vista をお使いの場合、［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示されたときは、［続行］をクリックします。

5 次の操作を行います。

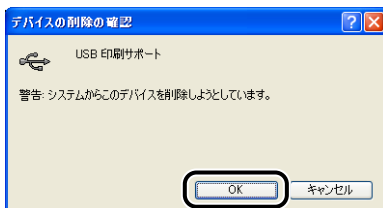
Windows 2000　**Windows XP**　**Windows Server 2003**

［USB（Universal Serial Bus）コントローラ］をダブルクリックします。

Windows Vista

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。

6 ［USB 印刷サポート］を右クリックして、ポップアップメニューから［削除］を選択します。

重要

- USB クラスドライバが［その他のデバイス］の下にある場合も正常にインストールされていません。［不明なデバイス］を選択して、削除してください。
- 他のデバイスのドライバは、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合、Windows が正常に動作しなくなることがあります。
- USB クラスドライバが正しくインストールされていない場合は［USB 印刷サポート］は表示されません。

7 ［OK］をクリックします。

8 ［×］をクリックします。

［デバイスマネージャ］が閉じます。

9 USB ケーブルをコンピュータから抜いて、Windows を再起動します。

再起動が終了したら、もう一度プリンタドライバをインストールしなおしてください。（→プリンタドライバをインストールする：P.4-5）

8
困ったときには

データがプリンタへ送られないときには

※ ここに記載されている操作方法は、Windows を例に記載しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。
※ Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

メモ　プリンタとコンピュータを LAN ケーブルで接続している場合は、ネットワークガイド／本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。

プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続している場合

プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続している場合で、印刷するデータがプリンタに送られず、印刷できないときは、次のことが考えられます。適切な処置を行ってください。

プリンタの電源に問題がある

原因 1　プリンタの電源が入っていない

処　置　プリンタの電源を入れます。（→ 電源を入れる：P.2-27）

原因 2　電源プラグが電源コンセントから抜けている

処　置　電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

原因 3　延長コードを使用したり、タコ足配線をしている

処　置　壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。

原因 4　ブレーカが落ちている

処　置　配電盤のブレーカをオンにします。

原因 5　電源コード内部で断線している

処　置　同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい同じタイプの電源コードを購入の上、交換してください。

USB ケーブルの接続に問題がある

原因 1 **USB ケーブルが正しく接続されていない**

処　置 プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 2 **USB ケーブルが合っていない**

処　置 本プリンタのUSB インタフェース環境に合ったUSBケーブルを使用してください。USB インタフェース環境は、USB 2.0 Hi-Speed、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。
また、USB ケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

使用するポートに問題がある

原　因 **使用するポートが正しく選択されていない**

処　置 次の操作を行ってください。

1. ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

   Windows 2000

   ［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

   Windows XP Professional **Windows Server 2003**

   ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

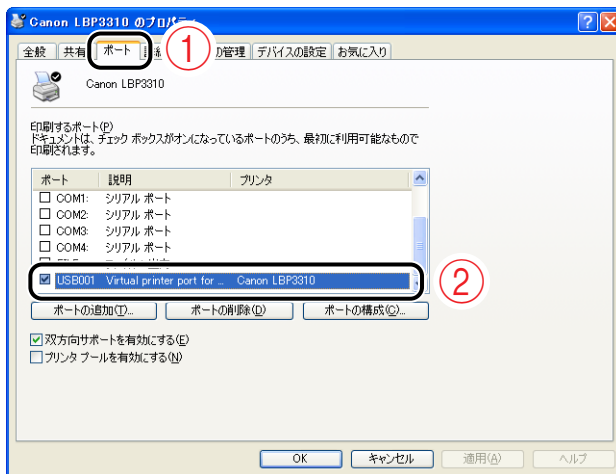
   Windows XP Home Edition

   ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

   Windows Vista

   ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2. 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

3. ［ポート］ページを表示して①、使用するポートが正しく選択されているか確認します②。

• **正しいポートが選択されていない場合**

正しいポートを選択して、［OK］をクリックします。

• **使用するポートがない場合**

プリンタドライバをアンインストールして、もう一度インストールしなおしてください。(➞ プリンタドライバのアンインストール：P.4-68、プリンタドライバをインストールする：P.4-5)

双方向通信に問題がある

原　因　**双方向通信が有効になっていない**

処　置　次の操作を行ってください。

1. 双方向通信を有効にする
2. コンピュータを再起動する
3. プリンタを再起動（電源をいったん切り、10 秒以上待ってから入れる）する

メモ　双方向通信は、次の手順で設定します。

1. ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2. 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

3. ［ポート］ページを表示して、［双方向サポートを有効にする］にチェックマークを付けます。

プリンタの共有機能を使用している場合

プリンタの共有機能を使用している場合で、印刷するデータがプリンタに送られず、印刷できないときは、次のことが考えられます。適切な処置を行ってください。

プリンタの電源に問題がある

原因 1　プリンタの電源が入っていない

処　置　プリンタの電源を入れます。（➞ 電源を入れる：P.2-27）

原因 2　電源プラグが電源コンセントから抜けている

処　置　電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

原因 3　延長コードを使用したり、タコ足配線をしている

処　置　壁の電源コンセントに直接電源プラグを差し込みます。

原因 4　ブレーカが落ちている

処　置　配電盤のブレーカをオンにします。

原因 5　電源コード内部で断線している

処　置　同じタイプの他の装置に使用している電源コードに交換してみて、電源が入るようであれば電源コード内部の断線です。新しい同じタイプの電源コードを購入の上、交換してください。

インタフェースケーブルの接続に問題がある

原因 1　インタフェースケーブルが正しく接続されていない

処　置　プリンタとプリントサーバ、プリントサーバとクライアントのコンピュータがインタフェースケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 2　USB ケーブルが合っていない

処　置　プリンタに USB ケーブルを接続する場合は、本プリンタの USB インタフェース環境に合った USB ケーブルを使用してください。USB インタフェース環境は、USB 2.0 Hi-Speed、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。
また、USB ケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。

プリントサーバに問題がある

原因 1　プリントサーバの電源が入っていない

処　置　プリントサーバの電源を入れてください。

原因 2　プリントサーバがネットワークに正しく接続されていない

処置 1　プリントサーバとネットワークがLANケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

処置 2　プリントサーバのネットワーク設定が正しいか確認してください。

原因 3　プリントサーバが 64 ビット版の Windows XP/Server 2003/Vista の場合に、追加ドライバ（代替ドライバ）が正しく更新されていない

処　置　追加ドライバ（代替ドライバ）を更新（アップデート）するときは、次の操作を行います。

1. プリントサーバで使用しているプリンタドライバをアンインストールする（→P.4-68）
2. プリントサーバに新しいプリンタドライバをインストールする（→P.4-5）
3. 「プリントサーバの設定」（→P.4-36） を参照して再度追加ドライバをインストールしなおす

メモ　お使いの Windows Vista が、64 ビット版かどうかがわからない場合は、「Windows Vistaのプロセッサバージョンを確認する」（→P.10-9）を参照してください。

プリントサーバへのネットワークのパスに問題がある

原因 1　プリンタドライバのインストール時にネットワークのパスを間違って指定している

処　置　［プリンタと　FAX］または［プリンタ］フォルダからインストールする場合に、「¥」を使用して直接ネットワークのパスを指定するときは、「¥¥ プリントサーバ名（プリントサーバのコンピュータ名）¥ プリンタ名」で正しく指定します。

原因 2　プリントサーバへのネットワークのパスが変更された

処　置　ネットワーク管理者へお問い合わせください。

その他のトラブル

※ ここに記載されている操作方法は、Windows を例に記載しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

※ Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章 困ったときには」を参照してください。

メモ　オプションのネットワークボード装着時のトラブルについては、ネットワークガイド／本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。

LBP3310 が正常に動作しない

原因 1　LBP3310 が通常使うプリンタとして設定されていない

処　置　通常使うプリンタとして設定してください。

原因 2　プリンタドライバが正常にインストールされていない

処　置　「インストールのトラブル（Windows のみ）」（➞P.8-37）を参照してください。

印刷終了後、次の印刷が開始するまでに時間がかかる

原　因　印刷品質を保つため、定着器の冷却を行っている（特に幅の狭い用紙の印刷終了後）

処　置　そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。定着器の冷却が終わると、印刷が開始されます。

CD-ROM Setup が自動的に表示されない（Windows Vista のみ）

原　因　CD-ROM Setup を自動的に表示する設定になっていない

処　置　次の操作を行います。

1. ［コントロールパネル］から［CD または他のメディアの自動再生］をクリックする
2. ［すべてのメディアとデバイスで自動再生を使う］にチェックマークを付ける
3. ［ソフトウェアとゲーム］を［プログラムのインストール / 実行］に設定してください。

プリンタステータスウィンドウ（Windows）／ステータスモニタ（Macintosh）に「用紙が指定と異なります」が表示される

原　因　次のようにセットされている用紙サイズや設定が異なる

• 給紙カセットから印刷する場合の例：

A. セットした用紙サイズ	B. ［出力用紙サイズ］*1	C. ［用紙サイズの登録］*2	プリンタの動作
A5	A4	A5	B と C の設定が異なっているため、メッセージが表示され、印刷を一時停止します。
A4	A4	A5	

*1 ［ページ設定］ページにある設定

*2 プリンタステータスウィンドウの［カセット設定］ダイアログボックスにある設定

• 手差しトレイから印刷する場合の例：

A. セットした用紙サイズ	B. ［出力用紙サイズ］*	C. 直前に印刷したジョブの［出力用紙サイズ］* の設定	プリンタの動作
A4	A4	A5	B と C の設定が異なっているため、メッセージが表示され、印刷を一時停止します。
A5	A4	A5	

* ［ページ設定］ページにある設定

処　置　メッセージが表示された場合は、次の操作を行います。

• B で設定した用紙サイズに印刷する場合

· 給紙カセットから印刷するとき：
正しい用紙をセットしなおして、C の設定を正しい用紙サイズに設定する

· 手差しトレイから印刷するとき：
正しい用紙をセットしなおす

• 現在セットされている用紙に印刷する場合

プリンタステータスウィンドウの［ ］（エラー復帰）をクリックする

8

困ったときには

プリンタの機能を確認したいときには（Windows のみ）

本プリンタは、次のようなプリンタの情報が確認できるプリンタステータスプリントの機能を備えています。

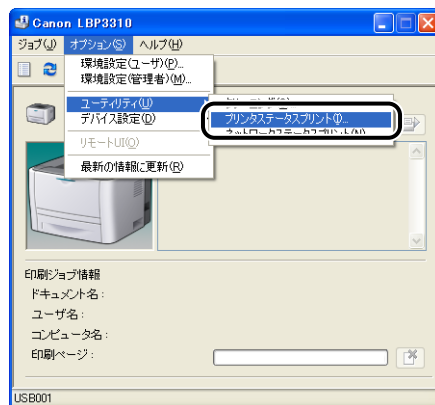
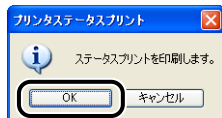
- プリンタのオプション設定
- プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューにある［デバイス設定］の設定値
- ［総印刷ページ数］

プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

メモ
- プリンタステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- オプションのネットワークボードのバージョンや　TCP/IP　の設定が確認できるネットワークステータスプリントについては、ネットワークガイド／本編「第４章 困ったときには」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.5-34）を参照してください。

2 プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［プリンタステータスプリント］を選択します。

3 ［OK］をクリックします。

4 プリンタステータスプリントの印刷内容を確認します。

重要 ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで印刷したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

Canon ステータスプリント

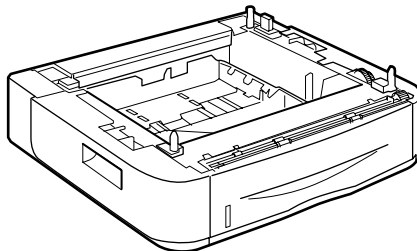
項目	内容
オプション機器	
カセット2	: あり
ネットワークボード	: あり
デバイス設定	
カセットの登録用紙サイズ	
カセット1	: A4
カセット2	: A4
ジョブキャンセルキー設定	
エラー中のジョブキャンセル	: する
印刷中のジョブキャンセル	: する
プリンタ日時	: 2007/07/26 16:29
製品名	: LBP3310
コントローラバージョン	:
エンジンバージョン	:
プリンタ名	: Canon LBP3310
ポート名	: USB001
ドライババージョン	:
ランゲージモニタプログラムバージョン	:
ステータスモニタプログラムバージョン	:
USB	
ベンダーID	:
プロダクトID	:
シリアルナンバー	:
カウンタ	
日時	: 2007/07/26 14:29
総印刷ページ数	: 100 ページ
両面印刷枚数	: 18 枚
ジョブ数	: 69 ジョブ

Canon および Canon ロゴはキヤノン株式会社の商標です。

オプション品の取り付け

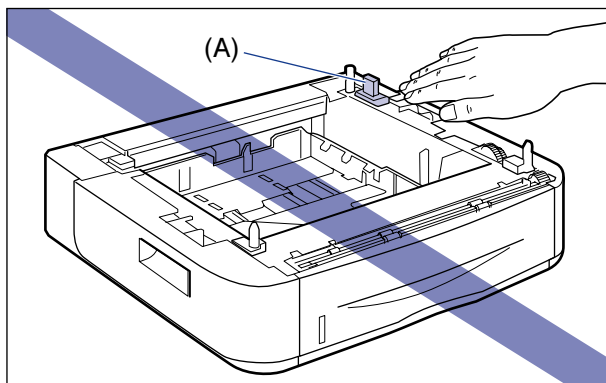
この章では、オプション品の取り付けかたについて説明しています。

ペーパーフィーダ

ペーパーフィーダは、プリンタの底面に取り付けて使用します。

ペーパーフィーダユニットPF-35P

⚠警告 ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要

- ペーパーフィーダのコネクタ（A）には触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

- カセット２から印刷する場合は、必ずカセット１がセットされていることを確認してから印刷してください。カセット１がセットされていない状態で、カセット２から印刷すると紙づまりが起こります。

メモ ペーパーフィーダの用紙のセット方法は、カセット１と同じです。詳細については、「給紙カセットに用紙をセットする」（➞P.3-17）を参照してください。

プリンタを移動する

プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

1 プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。

プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルをプリンタから抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

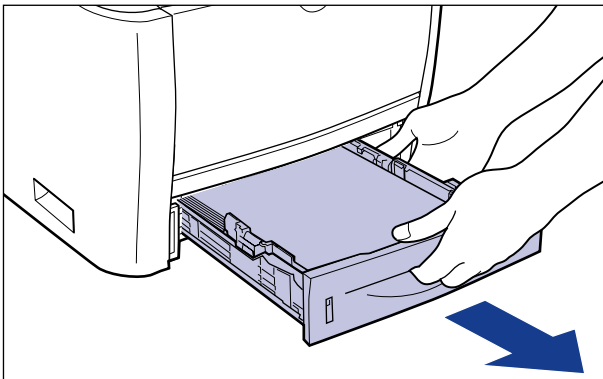
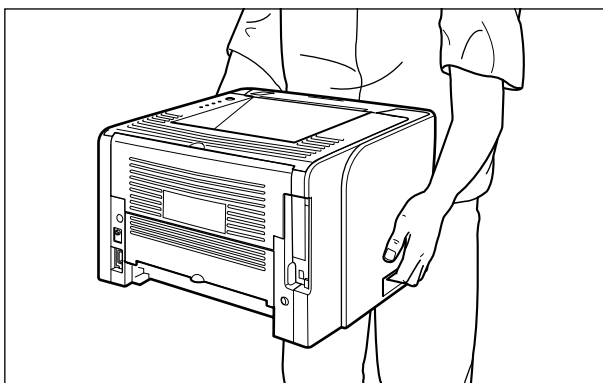
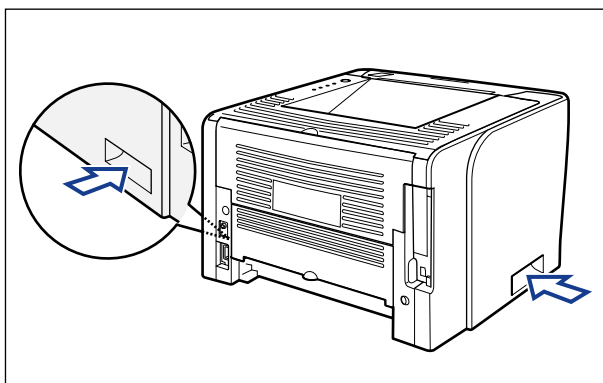
2 電源コードとアース線をプリンタから取り外します。

3 LAN ケーブルを接続している場合は、LAN ケーブルをネットワークボードから抜きます。

4 給紙カセットを引き出します。

5 プリンタを設置場所から移動します。

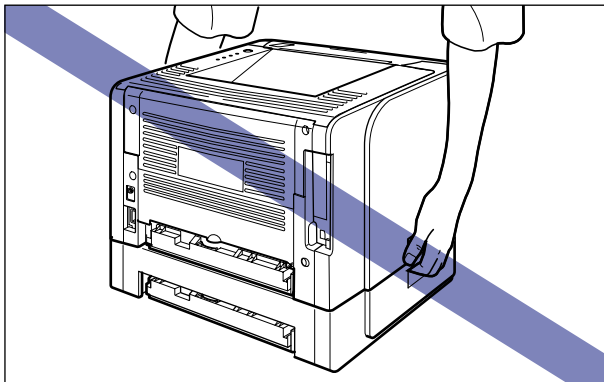
プリンタ下部にある運搬用取っ手に、プリンタ前面から手を掛け、両手でしっかり持ってください。

⚠注意

- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 11kg あります。腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- プリンタの前面や背面など運搬用取っ手以外の部分は、絶対に持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

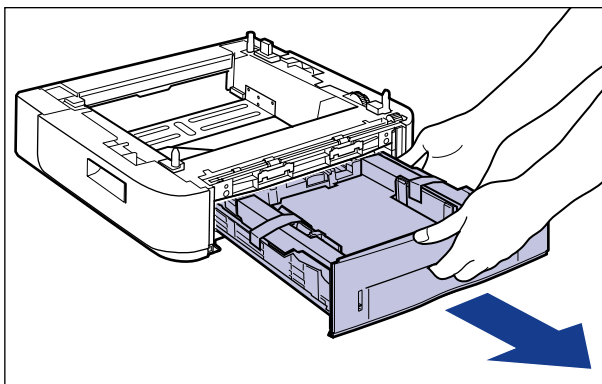
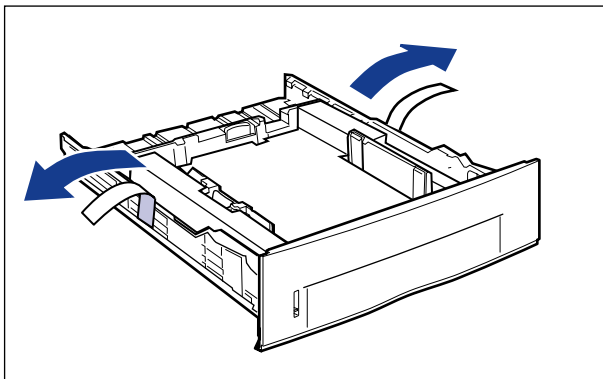
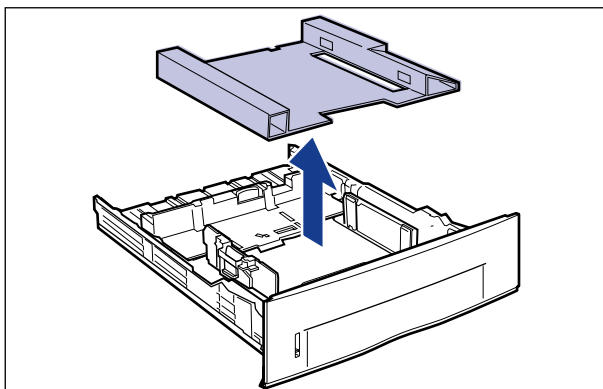
- 本プリンタは、背面側（A）が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないように注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

重要　必ず前カバーや手差しトレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。

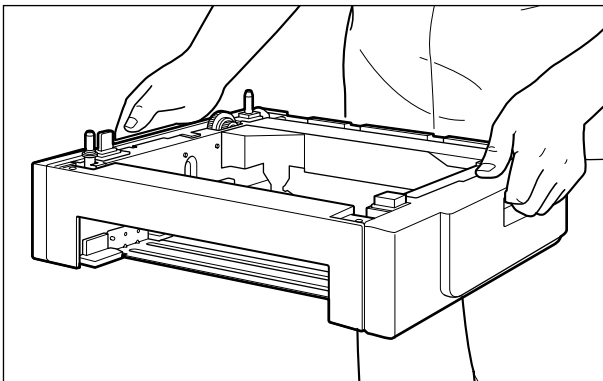
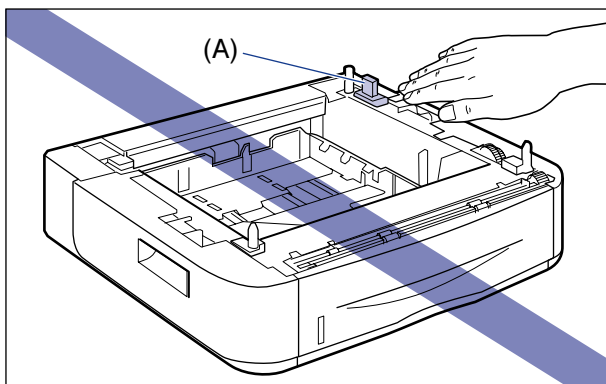
梱包材を取り外して、ペーパーフィーダを取り付ける

注意
- プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

重要
- ペーパーフィーダ内部に梱包材が残っていると、動作時に給紙不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

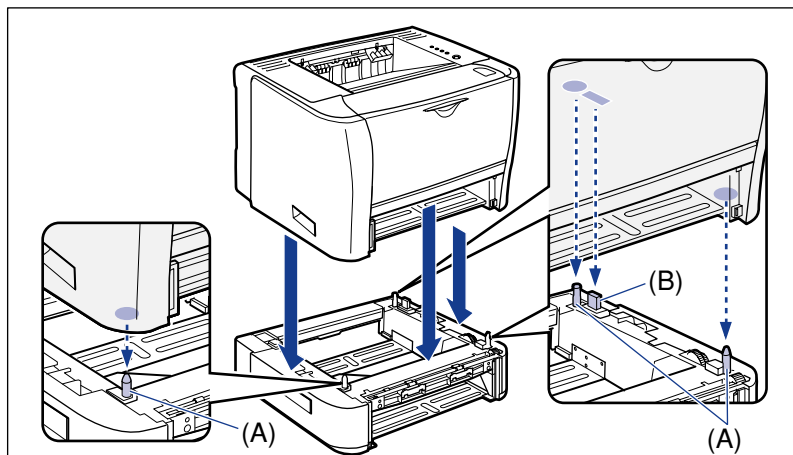
メモ
梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

1 給紙カセットを引き出します。

2 給紙カセット内部の梱包材を止めているテープ(2箇所)を取り外します。

3 給紙カセット内部の梱包材を取り外します。

4 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。

重要

- ペーパーフィーダのコネクタ（A）には触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。

5 プリンタをペーパーフィーダの両側面や前面に合わせてゆっくりと載せます。

プリンタを載せるときは、位置決めピン（A）やコネクタ（B）も合わせてください。

重要 プリンタがペーパーフィーダにうまく載らないときは、一度プリンタを持ち上げて、水平にしてから載せなおしてください。プリンタを持ち上げずに無理に載せようとすると、ペーパーフィーダのコネクタや位置決めピンが破損することがあります。

6 給紙カセットをプリンタ、ペーパーフィーダにセットします。

7 必要に応じて、LAN ケーブルをネットワークボードに接続します。

8 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

9 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

10 必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。

重要 ペーパーフィーダの設置後、はじめて給紙カセットに用紙をセットするときは、必ずプリンタの電源を一度入れてから行ってください。

ペーパーフィーダの情報を設定する

ペーパーフィーダを装着したあとは、ペーパーフィーダの情報を設定します。

※ ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 2 章 プリンタドライバのインストールと印刷方法」を参照してください。

1 ［プリンタと FAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional **Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

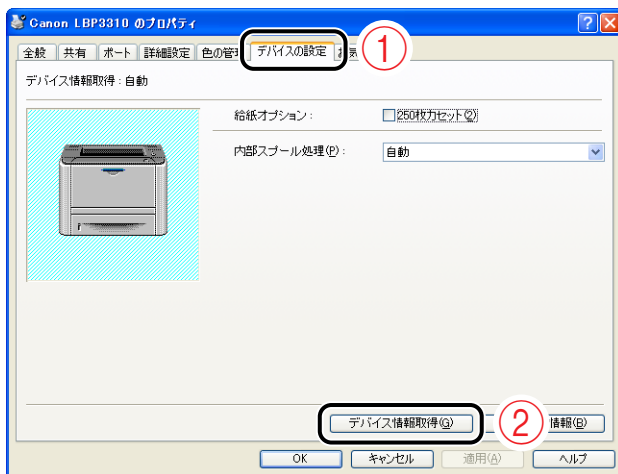
Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

9

オプション品の取り付け

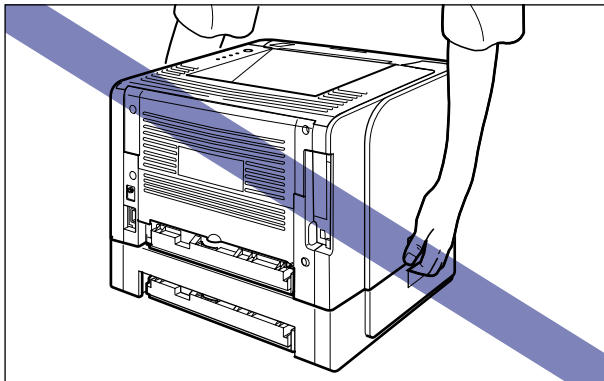
3 ［デバイスの設定］ページを表示して ①、［デバイス情報取得］をクリックします ②。

ペーパーフィーダの情報が自動的に取得されます。

メモ　ペーパーフィーダの情報が自動で取得できない場合は、［給紙オプション］の［250 枚カセット］にチェックマークを付けてください。

ペーパーフィーダを取り外す

警告　ペーパーフィーダを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

重要　プリンタの移動や修理の際は、ペーパーフィーダや給紙カセットを取り外してください。

1 プリンタの電源を切ります。

2 USBケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って、USBケーブルをプリンタから抜きます。

3 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

4 アース線を専用のアース線端子から取り外します。

5 電源コードとアース線をプリンタから取り外します。

6 LAN ケーブルを接続している場合は、LAN ケーブルをネットワークボードから抜きます。

7 プリンタ、ペーパーフィーダから給紙カセットを引き出します。

8 プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。

9 ペーパーフィーダを移動します。

10 プリンタを設置場所へ戻します。

11 給紙カセットをプリンタにセットします。

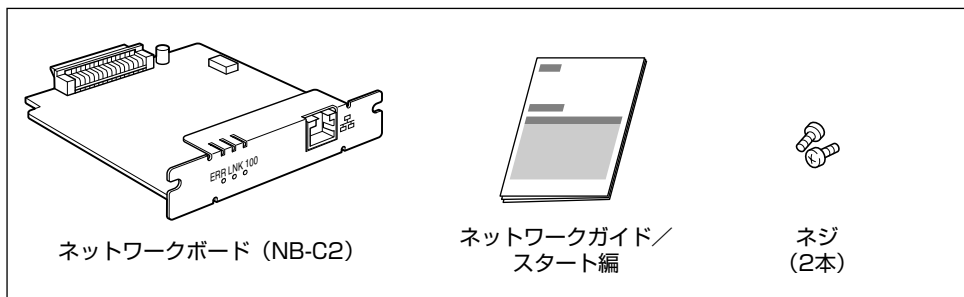
12 必要に応じて、LAN ケーブルをネットワークボードに接続します。

13 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

14 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

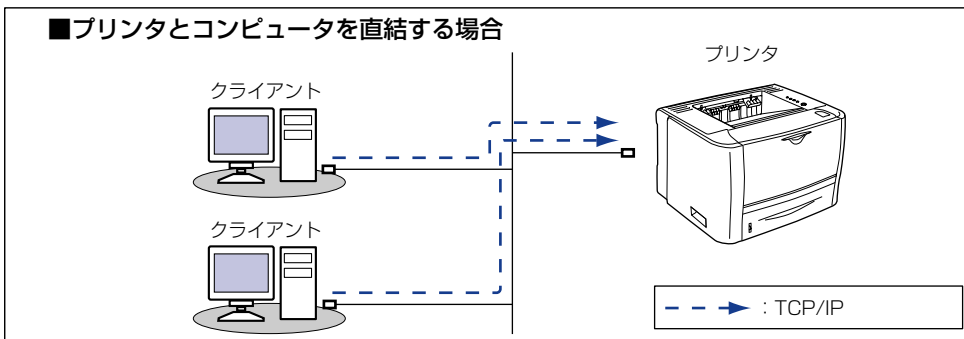
15 必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。

ネットワークボード

ネットワークボードは、プリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。

* お買い求めになったネットワークボードによっては、CD-ROM が付属している場合があります。

オプションのネットワークボードを装着すると、LBP3310 をネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

9

オプション品の取り付け

* プリントサーバを経由して接続する場合は、次の設定を行う必要があります。

1. プリントサーバへプリンタドライバをインストールする → ネットワークガイド／本編
2. プリントサーバの設定 →P.4-36
3. クライアントへのインストール →P.4-48

注意

- ネットワークボードを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにしてから、USB ケーブルを取り外してください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要

- ネットワークボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。
  - ・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。
  - ・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。
  - ・ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
  - ・静電気の影響を避けるために、ネットワークボードは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はネットワークボードを取り外すときに必要になります。捨てずに保管しておいてください。

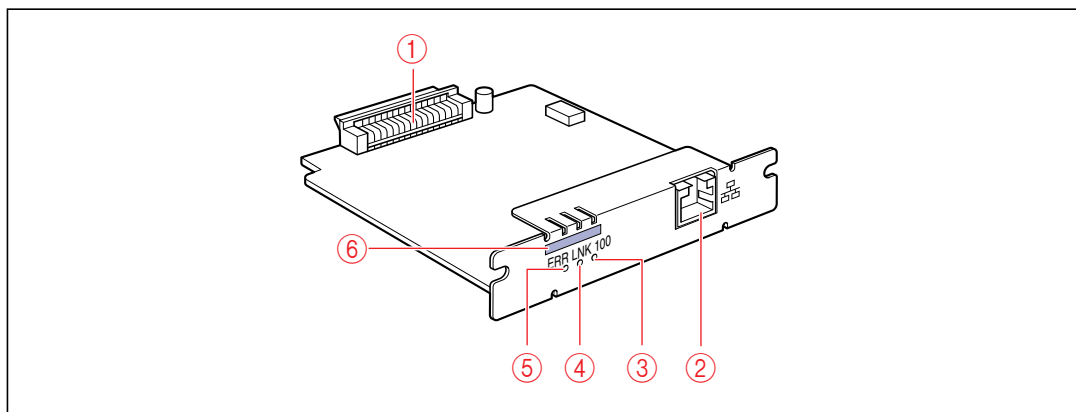
• 本プリンタに対応するネットワークボードのファームウェアのバージョンは次のとおりです。

プリンタ	ネットワークボードのファームウェアのバージョン
LBP3310	Ver 1.30 以降

ファームウェアのバージョンが 1.30 以降でない場合、正常に動作しないことがあります。ネットワークボードの取り付けとプリンタドライバのインストールが完了したあと、バージョンが 1.30 以降であることを確認してください。
バージョンが1.30以降でない場合は、プリンタに付属のCD-ROM内の「NB-C2_Firmware」フォルダに収められているアップデートファイルを使用して、ネットワークボードのファームウェアを更新してください。
ファームウェアのバージョンの確認方法や更新方法については、「NB-C2_Firmware」フォルダに収められている README ファイルをご覧ください。
なお、ファームウェアのアップデートファイルは、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードすることもできます。

メモ

本ネットワークボードには、LAN ケーブルやハブなどは付属していません。必要に応じて別途ご用意ください。
LAN ケーブルは、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルをご使用ください。

各部の名称と機能

① **プリンタ接続コネクタ**
プリンタとの接続部です。コネクタには直接手を触れないでください。

② **LAN コネクタ**
10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル接続部です。

③ **100 ランプ（緑色）**
ネットワークボードが100BASE-TXでネットワークに接続されているときに、点灯します。
10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

④ **LNK ランプ（緑色）**
ネットワークボードがネットワークに正しく接続されているときに、点灯します。

⑤ **ERR ランプ（オレンジ色）**
ネットワークボードが正常に動作していないときに、点灯または点滅します。

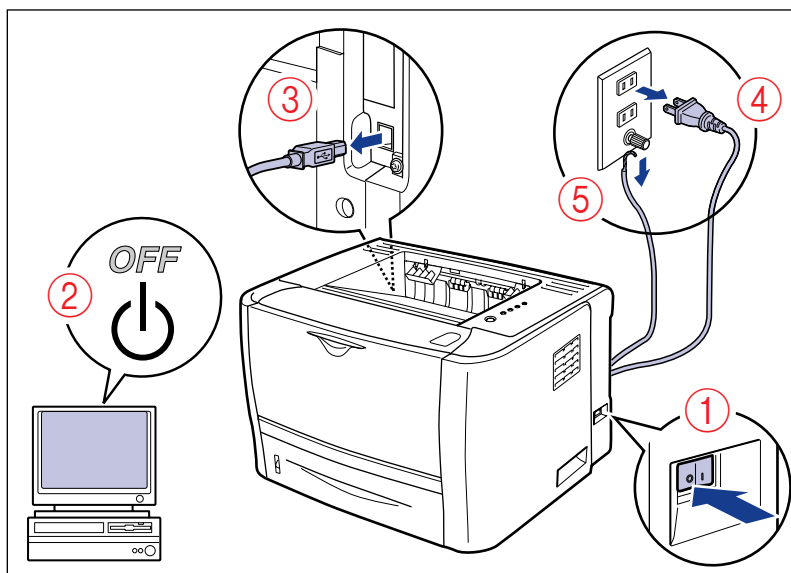
⑥ **MAC アドレス**
ARP/PING コマンドを使用して、IP アドレスを設定する場合に必要になります。また、プリンタドライバをインストールする場合に必要になることがあります。

ネットワークボードを取り付ける

ネットワークボードは、次の手順でプリンタの拡張ボードスロットに取り付けます。

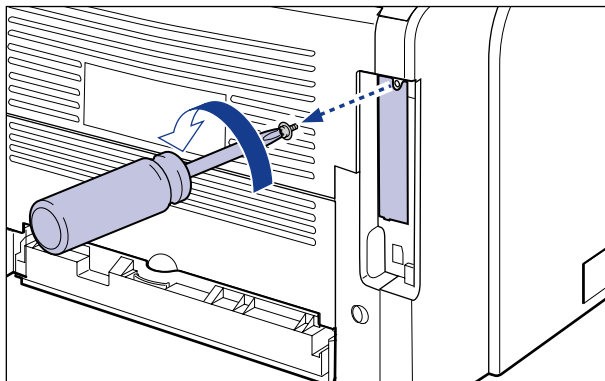
メモ　ネットワークボードの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 **プリンタの電源を切り、接続されているケーブルを取り外します。**

プリンタの電源を切ります ①。
USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って ②、USB ケーブルをプリンタから抜きます ③。
電源プラグを電源コンセントから抜きます ④。
アース線を専用のアース線端子から取り外します ⑤。

2 **電源コードとアース線をプリンタから取り外します。**

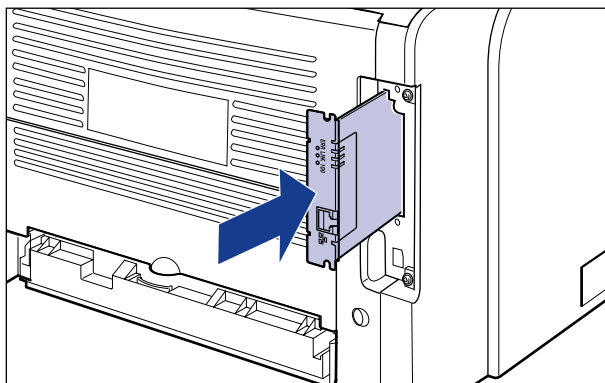
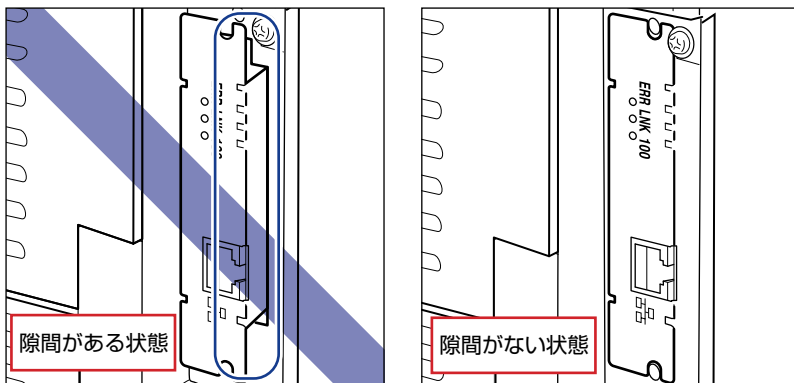
作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

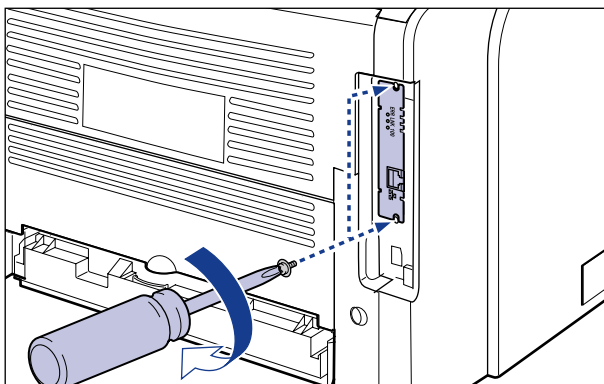
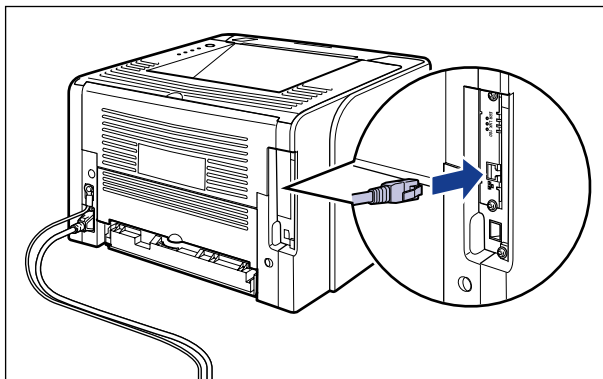
9
オプション品の取り付け

3 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

重要
- プリンタ内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがプリンタ内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 取り外した保護板とネジは、なくさないように保管しておいてください。ネットワークボードを取り外すときに必要になります。

4 ネットワークボードを拡張ボードスロットに図の向きで差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに差し込みます。

重要

- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 拡張ボードスロットとネットワークボードのパネル部分の間に隙間ができないように、ネットワークボードをしっかりと確実に押し込んでください。

- ネットワークボードが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。ネットワークボードを取り外すときに必要になります。

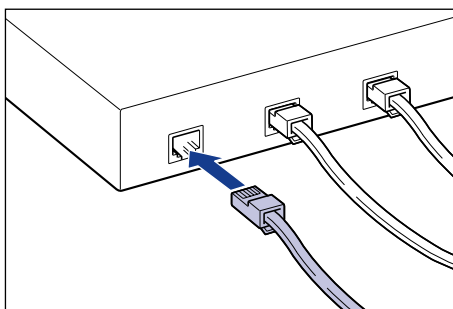
5 ネットワークボードの上下を、付属の２本のネジで固定します。

9

オプション品の取り付け

6 LAN ケーブルをネットワークボードの LAN コネクタへ接続します。

メモ

本ネットワークボードには、LAN ケーブルやハブなどは付属していません。必要に応じて別途ご用意ください。
LAN ケーブルは、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルをご使用ください。

7 LAN ケーブルの反対側をハブに接続します。

8 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

9 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

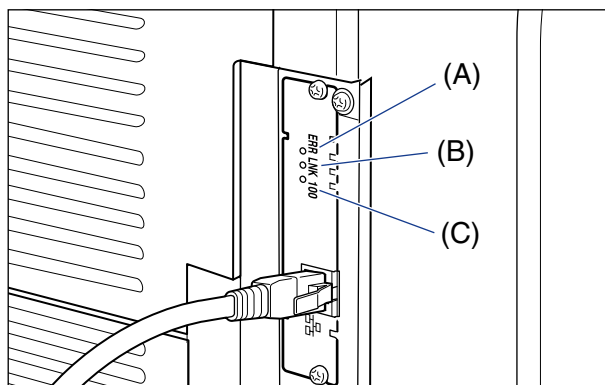
10 必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。

11 プリンタの電源を入れます。

重要

正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（➞P.8-1）を参照してください。

12 ネットワークボードのLNKランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-Tの場合は、LNKランプが点灯していれば正常です。
100BASE-TXの場合は、LNKランプと100ランプが点灯していれば正常です。
((A)：ERRランプ（B)：LNKランプ（C)：100ランプ）

● 正常に動作していない場合

プリンタの電源を切って、次のことを確認してください。

- LANケーブルが正しく接続されているか
- ハブが正しく動作しているか
- ネットワークボードが正しく取り付けられているか

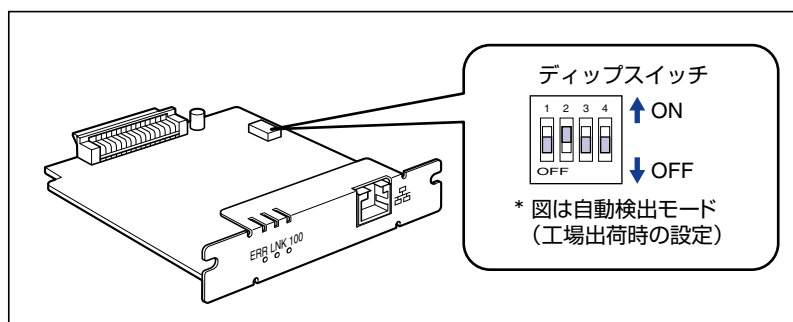
本プリンタに対応するネットワークボードのファームウェアのバージョンは次のとおりです。

プリンタ	ネットワークボードのファームウェアのバージョン
LBP3310	Ver 1.30以降

ファームウェアのバージョンが 1.30 以降でない場合、正常に動作しないことがあります。ネットワークボードの取り付けとプリンタドライバのインストールが完了したあと、バージョンが1.30以降であることを確認してください。
バージョンが1.30以降でない場合は、プリンタに付属のCD-ROM内の「NB-C2_Firmware」フォルダに収められているアップデートファイルを使用して、ネットワークボードのファームウェアを更新してください。
ファームウェアのバージョンの確認方法や更新方法については、「NB-C2_Firmware」フォルダに収められているREADMEファイルをご覧ください。
なお、ファームウェアのアップデートファイルは、キヤノンホームページ（http://canon.jp/）からダウンロードすることもできます。

ネットワークボードを設定する

ネットワークボードは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。
ネットワーク側の機器とうまく通信できない場合は、次の手順でディップスイッチを設定して、通信速度や転送モードを設定することができます。接続したネットワークの通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

メモ ネットワークボードの取り外し作業や、取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

■ ネットワークの通信速度／転送モードとディップスイッチの設定

LANの通信速度／転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード （工場出荷時の設定）	1 2 3 4 OFF ON OFF
10BASE-T／半二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF
10BASE-T／全二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF
100BASE-TX／半二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF
100BASE-TX／全二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF

1 プリンタの電源を切ります。

2 USB　ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って、USB ケーブルをプリンタから抜きます。

3 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

4 アース線を専用のアース線端子から取り外します。

5 電源コードとアース線をプリンタから取り外します。

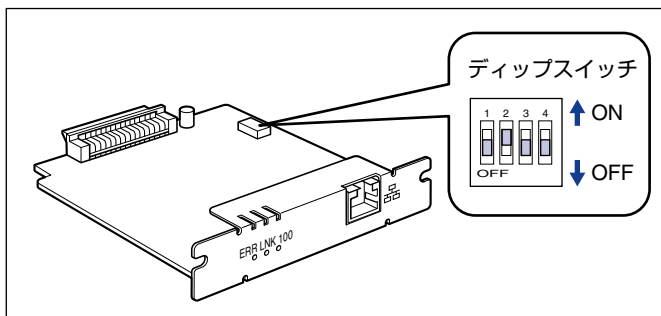
6 LAN ケーブルをネットワークボードから抜きます。

7 2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要

- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリンタ内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがプリンタ内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

8 ディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.9-21 の表を参照してください。

重要

ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

9 **ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。**

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードをしっかりと確実に押し込んでください。

10 **ネットワークボードの上下を、付属の 2 本のネジで固定します。**

11 **LAN ケーブルをネットワークボードに接続します。**

12 **電源コードとアース線をプリンタに接続します。**

13 **アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。**

14 **必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。**

ネットワークボードの初期化

ネットワークボードの設定値を工場出荷時の値に戻したいときは、次のいずれかの方法で行います。詳細については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

- リモート UI
- FTP クライアント
- NetSpot Device Installer

上記のいずれの方法も行えない場合は、次の手順でディップスイッチを設定して、ネットワークボードの設定値を初期化することができます。

メモ
ネットワークボードの取り外し作業や、取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源を切ります。

2 USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って、USB ケーブルをプリンタから抜きます。

3 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

4 アース線を専用のアース線端子から取り外します。

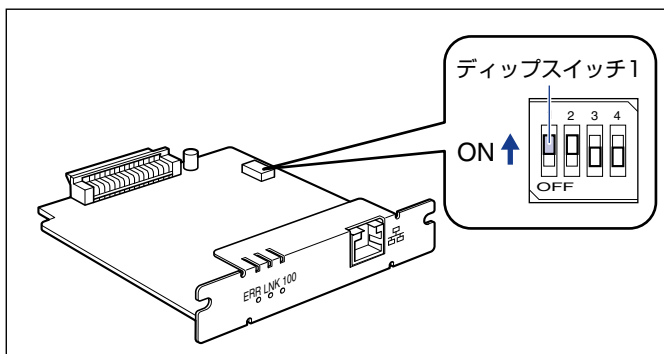
5 電源コードとアース線をプリンタから取り外します。

6 LAN ケーブルをネットワークボードから抜きます。

7 2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリンタ内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがプリンタ内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。

8 ディップスイッチ 1 をオン側に切り替えます。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要

ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

9 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードをしっかりと確実に押し込んでください。

10 ネットワークボードの上下を、付属の２本のネジで固定します。

11 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

12 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

13 プリンタの電源を入れて、印刷可ランプが点灯するまで待ちます。

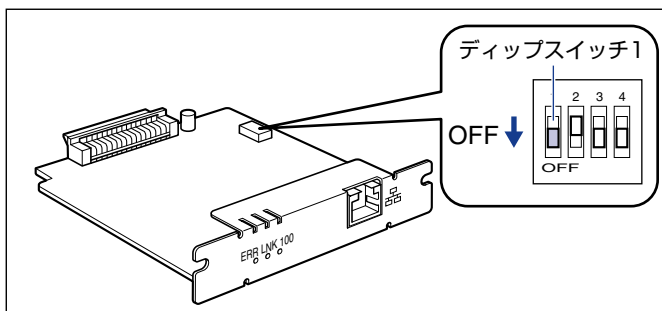
14 プリンタの電源を切ります。

15 電源プラグを電源コンセントから抜きます。

16 アース線を専用のアース線端子から取り外します。

17 電源コードとアース線をプリンタから取り外します。

18 ネットワークボードを取り外して、ディップスイッチ1をオフ側に戻します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要

- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリンタ内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがプリンタ内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

19 ネットワークボードを取り付けます。

20 LAN ケーブルをネットワークボードに接続します。

21 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

22 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

23 必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。

ネットワークボードを取り外す

ネットワークボードの取り外しは、次の手順で行います。ネットワークボードの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

⚠注意
- 必ずプリンタとコンピュータの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源をオフにしてから、USB ケーブルを取り外してください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

---

1 **プリンタの電源を切ります。**

2 **USB ケーブルを接続している場合は、コンピュータの電源を切って、USB ケーブルをプリンタから抜きます。**

3 **電源プラグを電源コンセントから抜きます。**

4 **アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

5 **電源コードとアース線をプリンタから取り外します。**

6 **LAN ケーブルをネットワークボードから抜きます。**

7 **2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。**

取り外したネットワークボードは、ネットワークボードを梱包してあった保護袋に入れて保管してください。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- プリンタ内部に、ネジやクリップ、ステイプル針などを落とさないでください。これらがプリンタ内部に落ちたときは、電源プラグを電源コンセントに接続しないで、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 取り外したネジは、なくさないように保管しておいてください。再度ネットワークボードを取り付けるときに必要になります。

8 拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。

9 電源コードとアース線をプリンタに接続します。

10 アース線を専用のアース線端子に、電源プラグを電源コンセントに接続します。

11 必要に応じて、USB ケーブルをプリンタに接続します。

10

CHAPTER

付録

この章では、おもな仕様、索引、保守サービスのご案内、ソフトウェアのバージョンアップ方法などを記載しています。

おもな仕様

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。

本製品に関する情報はキヤノンホームページでもご確認いただけます。

キヤノンホームページ（http://canon.jp/）の製品情報から「プリンター」のカテゴリーを選択し、お使いの機種のページを参照してください。

ハードウェアの仕様

<table>
<tr><td colspan="2">形式</td><td>デスクトップ型ページプリンタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリント方式</td><td>電子写真方式（オンデマンド定着）</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリント速度
普通紙 (60～89g/m^2)</td><td>A4 連続プリント時
26 ページ／分
* プリント速度は、用紙サイズや用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウォームアップタイム
（電源オンからプリンタがスタンバイになるまでの時間）</td><td>8 秒以下
* プリンタの使用条件（ご使用のトナーカートリッジ、オプション品装着の有無、設置環境など）によって異なる場合があります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファーストプリント時間</td><td>A4 プリント／フェイスダウン排紙時
約 6.5 秒以下
* ご使用のトナーカートリッジや出力環境によって異なる場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">用紙サイズ</td><td>カセット 1</td><td rowspan="2">・ 定形サイズ
A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ
・ ユーザ定義用紙
幅 148.0～215.9mm、長さ 210.0 ～ 355.6mm
最大積載枚数　約 250 枚　(64g/m^2)</td></tr>
<tr><td>カセット 2
（オプション）</td></tr>
<tr><td>手差しトレイ</td><td>・ 定形サイズ
A4、B5、A5、リーガル、レター、エグゼクティブ、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒洋形 4 号、封筒洋形 2 号
・ ユーザ定義用紙
幅 76.2～215.9mm、長さ 127.0 ～ 355.6mm
最大積載枚数　約 50 枚　(64g/m^2)</td></tr>
<tr><td colspan="2">自動両面印刷</td><td>A4、リーガル、レター</td></tr>
</table>

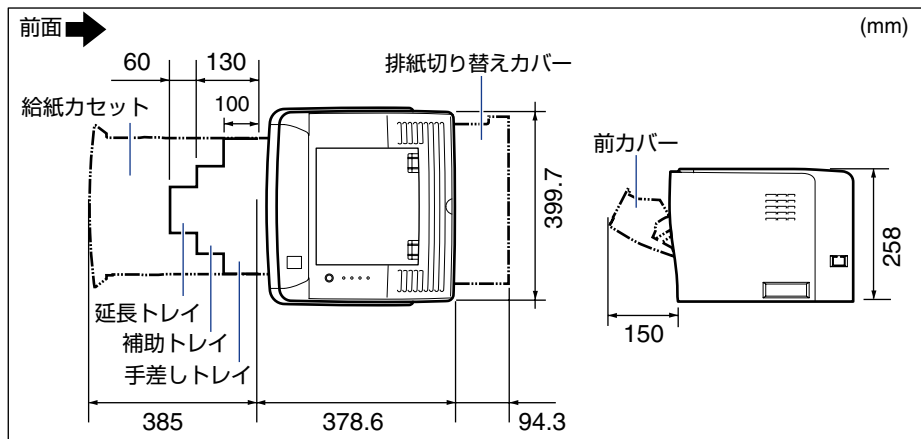
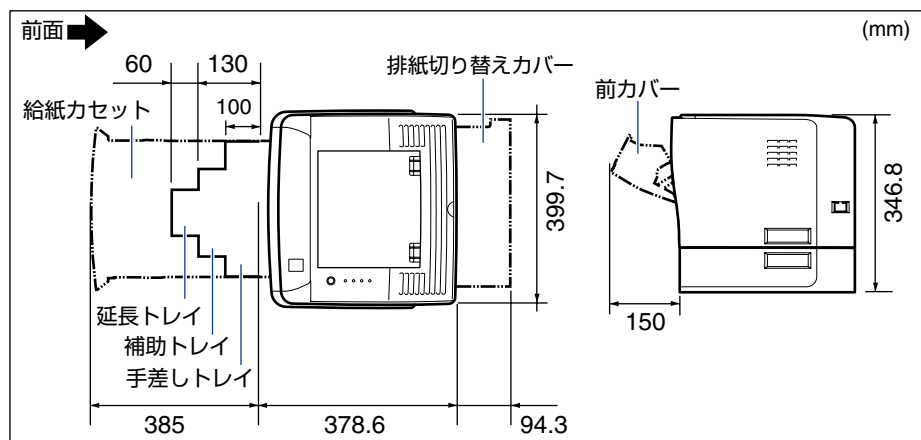
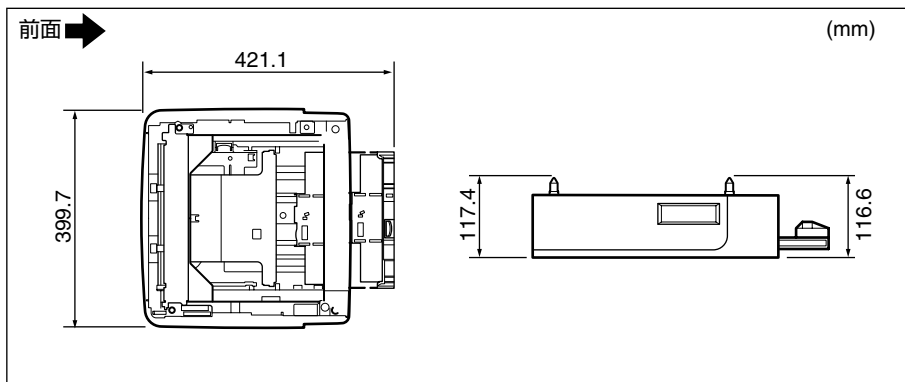
項目		仕様
排紙方式		フェイスダウン／フェイスアップ
排紙積載枚数		フェイスダウン排紙トレイ　　約 125 枚（64g/m^2） フェイスアップ排紙口　　　　1 枚
稼働音（ISO9296 に基づく表示騒音放射値）		Lwad（表示 A 特性音響パワーレベル（1B=10dB）） 　スタンバイ時：暗騒音 　プリント時：6.81B 以下 音圧レベル（バイスタンダ位置） 　スタンバイ時：暗騒音 　プリント時：55dB（A）以下
使用環境（プリンタ本体のみ）		動作環境温度 10 ～ 32.5 ℃ 湿度 20 ～ 80%RH（結露しないこと）
ホストインタフェース		USB インタフェース ・ USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当） ネットワークインタフェース（オプション） ・ 10BASE-T/100BASE-TX 共用（RJ-45） 　全二重・半二重
ユーザインタフェース		LED ランプ 5 個 操作キー 1 個
電源		100V ± 10%（50 / 60Hz ± 2Hz）
消費電力（20 ℃時）		動作時平均　約 363W スタンバイ時平均　約 4W 最大 550W 以下
消耗品	**トナーカートリッジ**	Canon Cartridge 515 （キヤノン　トナーカートリッジ　５１５） プリント可能ページ数　3,000 ページ *1 *1 A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」*2 に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合 *2「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構(International Organization for Standardization)より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準
		Canon Cartridge 515 II （キヤノン　トナーカートリッジ　５１５　II） プリント可能ページ数　7,000 ページ *1 *1 A4 サイズで、「ISO/IEC 19752」*2 に準拠し、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合 *2「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構(International Organization for Standardization)より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準
質量	**プリンタ本体および同梱品**	プリンタ本体（トナーカートリッジは除く）..... 約 11.2kg トナーカートリッジ.. 約 0.8kg
	消耗品およびオプション品	トナーカートリッジ (Canon Cartridge 515)................................... 約 0.8kg トナーカートリッジ (Canon Cartridge 515 II)................................ 約 1.0kg ペーパーフィーダユニット PF-35P （カセット含む）... 約 3.5kg

ソフトウェアの仕様

プリンティングソフトウェア	CAPT（Canon Advanced Printing Technology）
有効印字領域	用紙周囲から上下左右 5.0mm を除いた領域（封筒は 10mm（右余白は 7.6mm）） * Windows をお使いの場合、用紙いっぱいにデータがあるときは、次の設定を行います。 1.［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］をクリックする 2.［用紙の左上を原点として印字する］にチェックマークを付ける この設定を行っても、データの周囲が欠けて印字される場合は、プリンタドライバでデータが欠けないように縮小率を設定し、印刷しなおしてください。 * はがきや封筒の有効印字領域いっぱいのデータを印刷した場合、最適な印刷品質が得られないことがあります。データを有効印字領域より少し小さ目に設定することをおすすめします。

各部の寸法

■ プリンタ

- 標準仕様

- ペーパーフィーダ装着仕様

■ ペーパーフィーダユニット PF-35P

Macintosh をお使いのお客様へ

Macintosh 用のプリンタドライバの使いかたについては、「オンラインマニュアル」を参照してください。

「オンラインマニュアル」は、付属の CD-ROM 内（または、キヤノンホームページからダウンロードしたファイル内）の［CAPT］-［Japanese］-［Documents］フォルダに［GUIDE-CAPT-x.xxJP.pdf］* というファイル名で収められています。Macintosh をお使いのお客様は、「オンラインマニュアル」をよくお読みのうえ、プリンタの機能を十分に活用してください。

* 「x.xx」はお使いのプリンタドライバのバージョンによって異なります。

NetSpot Device Installer について

付属の CD-ROM には、プリンタドライバと共に、ネットワークに接続されたプリンタの初期設定を行うユーティリティソフトウェア「NetSpot Device Installer」が同梱されています。「NetSpot Device Installer」は、簡単にプリンタのネットワーク接続の初期設定を行うことができるソフトウェアです。

「NetSpot Device Installer」の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

メモ　CD-ROM Setup からプリンタドライバをインストールする場合、自動的にネットワークの初期設定が行われます。「NetSpot Device Installer」は、CD-ROM Setup を使用せずに手動で IP アドレスを設定しなおす場合に、必要に応じてご使用ください。

Windows Vista のプロセッサバージョンを確認する

お使いの Windows Vista が、32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからない場合は、次の手順で確認することができます。

1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択します。

2 [システムとメンテナンス] → [システム] をクリックします。

3 [システムの種類] で Windows Vista のプロセッサバージョンを確認します。

32 ビット版の場合は、[32 ビット オペレーティング システム] と表示されます。
64 ビット版の場合は、[64 ビット オペレーティング システム] と表示されます。

［内部スプール処理］の設定を確認する

［内部スプール処理］（コンピュータ内部でのジョブの処理）の設定は、次の手順で確認することができます。

1 ［プリンタとFAX］または［プリンタ］フォルダを表示します。

Windows 2000

［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional　**Windows Server 2003**

［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。

Windows XP Home Edition

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタとFAX］の順にクリックします。

Windows Vista

［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択して、［プリンタ］をクリックします。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択します。

10
付録

3 ［デバイスの設定］ページを表示して ①、［内部スプール処理］の設定を確認します ②。

メモ　［ホスト側での処理を無効にする］に設定されている場合、使用できる機能が限定されます。

FontGallery について

FontGallery には、TrueType フォントとして和文 20 書体、欧文 100 書体が収められています。また、Windows をお使いの場合は、かな 31 書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ和文書体とかな書体を組み合わせた 44 書体が収められています。

ご使用になる前に「FontGallery 製品使用許諾契約書」（➞P.10-14）を必ずお読みください。

必要なシステム環境

FontGallery および FontComposer を使用するには、次のシステム環境が必要です。

重要

- かな書体および FontComposer は、Windows をお使いの場合にご利用いただけます。Macintosh をお使いの場合は、ご利用いただけません。
- FontGallery は、1 台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途 FontGallery ライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。

■ Windows 版を使用する場合

- OS
  - ・Microsoft Windows 98 日本語版
  - ・Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ

メモ

Windows Vista をお使いの場合は、FontGallery および FontComposer はご利用いただけません。

■ Macintosh 版を使用する場合

- OS
  - ・Mac OS 9.1 以降、OS X（10.1.5 ～ 10.4.2）
- コンピュータ
  - ・上記 OS が動作するコンピュータ

コード表について

2種類のコード表をファイルとして用意してあります。収容文字の確認などにお使いください。なお、CSV形式のコード表をお使いの場合は、CSV形式のファイルを開くことのできるアプリケーションからテキストを指定してご使用ください。

- Windows用
  - ・リッチテキスト形式（*.rtf）
  - ・CSV形式（*.csv）
- Macintosh用
  - ・シンプルテキスト形式
  - ・CSV形式

インストール方法について

Windows で FontGallery をインストールする前には、必ず付属の CD-ROM 内の［FGALLERY］フォルダにあるREADMEファイルをお読みください。

Macintosh で FontGallery をインストールする前には、必ず付属の CD-ROM 内の［FGallery］フォルダにある［FontGallery取扱説明］をお読みください。

■ FontGallery

FontGallery のインストール手順については、次のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- Windows用
  - ・FontGallery取扱説明書：
    ¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Font¥Fgmanual.pdf（PDF形式）
- Macintosh用
  - ・FontGallery取扱説明書：
    ［FGallery］フォルダ内の［FontGallery取扱説明］（シンプルテキスト形式）

メモ

- フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1書体につき10秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerが必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

■ FontComposer（Windowsのみ）

FontComposerのインストール手順については、次のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- FontComposer取扱説明書：
  ¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Composer¥Fcmanual.pdf（PDF形式）

重要

FontComposerを使用するには、約10～20MBのハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposerを起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書とBITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本 FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

(1) お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に 1 台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

(2) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

(3) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2.「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置 1 台のみに 1 コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

(1) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパン株式会社（以下、キヤノンマーケティングジャパンといいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。

(2) キヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

(1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

(2) お客様は、キヤノンに対して 30 日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。

(3) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。

(4) 本契約は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。上記 (2) または (3) により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノンマーケティングジャパンは、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノンマーケティングジャパンに請求できません。

(5) お客様には、本契約の終了後 2 週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。

(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様と BITSTREAM とのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本 Bitstream 製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーである BITSTREAM はライセンシーであるお客様に対し、Bitstream 製品を、1 台のプリンタ、あるいは 1 台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した 1 台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAM は、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。
2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。
3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書 Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をご利用いただけます。

■ **和文書体**

和文書体の見本を次に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ かな書体

かな書体の見本を次に示します。

書体名	見本
こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

■ 和文書体とかな書体の組み合わせ

和文書体とかな書体の組み合わせ見本を次に示します。

平成明朝体　Ｗ３＋からたちＬ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋こでまりＬ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋さんざしＬ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋てっせんＬ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋からたちＭ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋こでまりＭ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋さんざしＭ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋てっせんＭ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋からたちＢ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋こでまりＢ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋さんざしＢ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋てっせんＢ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋からたちＨ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋こでまりＨ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋さんざしＨ　　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋てっせんＨ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋あしびＬ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋さざんかＬ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋はしばみＬ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋あしびＭ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋さざんかＭ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋はしばみＭ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋あしびＢ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋さざんかＢ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋はしばみＢ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋あしびＨ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋さざんかＨ　　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋はしばみＨ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ　　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋ｓｅ２Ｈ　　夢のある多彩なフォント
丸ゴ　Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１　　夢のある多彩なフォント
楷書体　ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ　　夢のある多彩なフォント
行書体　ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名　　夢のある多彩なフォント

メモ

- Windowsをお使いの場合は、FontComposerを使用して組み合わせ書体を自由に作成できます。
- Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ上記の組み合わせ書体が収録されています。

■ 欧文書体

欧文書体の見本を次に示します。

書体	見本
American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
American Garamond Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
American Garamond Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Bodoni Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Bodoni Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cataneo Light	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Cataneo Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
* Cataneo Light Swash	*ABCDEF a de 12345*
* Cataneo Regular Swash	*ABCDEF a de 12345*
* Cataneo Bold Swash	***ABCDEF a de 12345***
Cooper Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cooper Black Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Century Schoolbook Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Century Schoolbook Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Clarendon Roman	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Clarendon Black	**ABCDEF abcdef 12345**
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	±°′″∅+ ©®©®™ ●●▪■■
Commercial Script Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Dutch 801 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**

＊「Cataneo Swash」には、一部文字が収容されておりません。これは、「Cataneo」と組み合わせて使用される書体のためです。

Dutch 801 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Dutch 801 Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Dutch 801 Extra Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Goudy Oldstyle Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Goudy Oldstyle Extra Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	**ABCDEF abcdef 12345**
Poster Bodoni Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Ribbon 131 Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Ribbon 131 Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Regular	*ABCDEF abcdef 12345*
Roundhand Bold	***ABCDEF abcdef 12345***
Roundhand Black	***ABCDEF abcdef 12345***
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Serifa Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Serifa Black	**ABCDEF abcdef 12345**

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 555	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Condensed Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Swiss 721 Bold Condensed Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Extended	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	**ABCDEF abcdef 12345**
Swiss 721 Black Rounded	**ABCDEF abcdef 12345**
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ *αβχδεφ* 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	*ABCDEF abcdef 12345*
Zapf Humanist 601 Bold	**ABCDEF abcdef 12345**
Zapf Humanist 601 Bold Italic	***ABCDEF abcdef 12345***
Zapf Humanist 601 Ultra	**ABCDEF abcdef 12345**
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	***ABCDEF abcdef 12345***

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

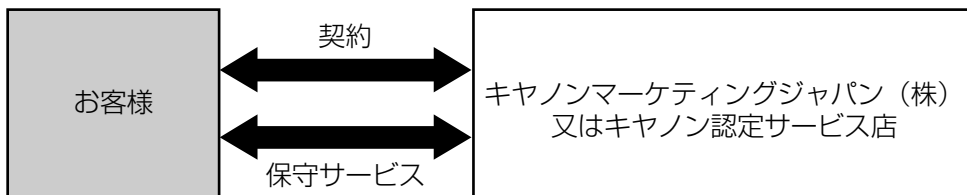
わ

保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**

このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。(無償修理保証期間を含みます)

キヤノンサービスパックのメリット

■ 簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ 電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ 固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。(消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります)
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。(保証期間を含みます)

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン(株)までお願いいたします。

キヤノンサービスパックの登録有効期間は、本体ご購入後 90 日以内となります。

補修用性能部品

本製品の補修用性能部品およびトナーカートリッジの最低保有期間は、本製品製造打ち切り後 7 年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

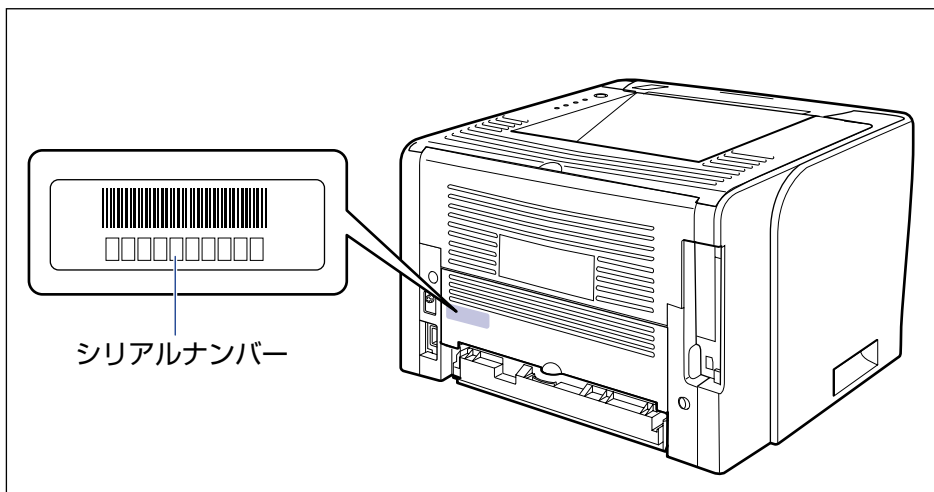
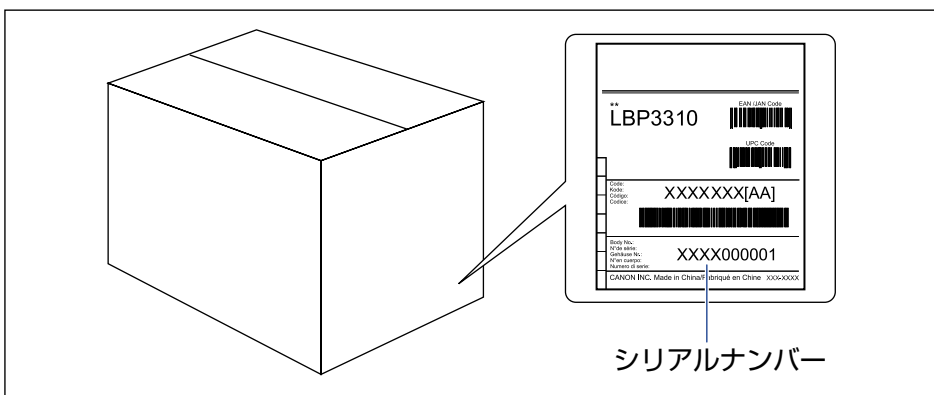
シリアルナンバーの表示位置について

本プリンタの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバー (Serial No.) が必要になります。本プリンタのシリアルナンバーは、下図の位置に表示されています。

重要　シリアルナンバーが書かれたラベルは、サービスや保守の際の確認に必要です。絶対にはがさないでください。

■ プリンタ背面

■ 梱包箱外側

10 付録

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ **キヤノンホームページ (http://canon.jp/)**
キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

サテラ　ご購入者アンケート協力のお願い

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。

本プリンタに付属の CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。

ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）　商品名称　　LBP3310

　　　本体機番　　LXMA000001

　　　（保証書およびプリンタ背面、梱包箱外側に記載されています。）

10

付録

Canon

キヤノンお客様ご相談窓口 一覧表

ご相談窓口のご案内

お客様相談センター
（全国共通番号）　**050-555-90061**

[受付時間]　<平日>9:00～20:00　<土日祝日>10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。なお、ご不明な場合は、上記の**お客様相談センター**にご相談ください。

修理受付窓口

Satera LBP3310の修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または下記の修理受付窓口へお問い合わせください。
修理受付窓口の受付時間は9:00～17:30です。土曜、日曜、祝日は休ませていただきます。
（ただし、東京QRセンター・新宿QRセンターの受付時間は10:00～18:00です。日曜、祝日は休ませていただきます。）
また、※印の修理受付窓口では、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。
お願い：Satera LBP3310のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

北海道地区

※札幌サービスセンター	TEL 011 (728) 0665	〒060-0807	北海道札幌市北区北7条西1-1-2　ＳＥ山京ビル1Ｆ

東北地区

※仙台QRセンター	TEL 022 (217) 3210	〒980-0803	宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1　仙台パークビルヂング1Ｆ

関東・信越地区

東日本修理センター（持込のみ）	TEL 043 (211) 9032	〒261-0023	千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2　キヤノンＭＪ幕張事業所1Ｆ

東京・神奈川・山梨地区

東京QRセンター（持込のみ）	TEL 03 (3837) 2961	〒110-0005	東京都台東区上野1-1-12　信井ビル1Ｆ
新宿QRセンター（持込のみ）	TEL 03 (3348) 4725	〒160-0023	東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル1Ｆ
横浜QRセンター（持込のみ）	TEL 045 (312) 0211	〒220-0004	神奈川県横浜市西区北幸2-6-26　ＨＩ横浜ビル2Ｆ
※キヤノンテクニカルセンター	TEL 0297 (35) 5000	〒306-0605	茨城県坂東市馬立1234　F7棟3F

関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送り下さい。

中部・北陸地区

※名古屋QRセンター	TEL 052 (939) 1830	〒461-0005	愛知県名古屋市東区東桜2-2-1　高岳パークビル1Ｆ

近畿地区

※大阪QRセンター	TEL 06 (6459) 2565	〒530-0005	大阪府大阪市北区中之島6-1-21　キヤノンビジネスサポート中之島ビル2Ｆ

中国・四国地区

広島サービスセンター（持込のみ）	TEL 082 (240) 6712	〒730-0051	広島県広島市中区大手町3-7-5　広島パークビルヂング1Ｆ

九州地区

※福岡QRセンター	TEL 092 (411) 4173	〒812-0017	福岡県福岡市博多区美野島1-2-1　キヤノンＭＪ福岡ビル1Ｆ

2007年9月1日現在　　上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ：http://canon.jp